

平成 13 年度

日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究

タイ(バンコック)アンケート調査集計結果報告書

平成 15 年 3 月

独立行政法人

国立国語研究所

本報告書について

インターネットを始めとする様々な情報流通のあり方の変化に伴い、日本語を学習する、あるいは教える環境や手段も多様化し、支援のあり方も柔軟に対応する必要がある。そのためには、まず国内外で日本語を学習し、あるいは教えている人々がどのような環境で日本語を学習し、あるいは教え、どのような手段で日本語を学習し、あるいは教えているかについて広く情報収集し、「多様化」している現状を把握する必要がある。

このような必要に鑑み、国立国語研究所日本語教育部門では、国内外の地域を対象に各地域と連携しながら平成12年度より5年計画で「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」を実施している。その一環として、平成13年度は国際交流基金バンコック日本語センターの協力を得て、日本語教育支援のための基礎研究として、タイ（バンコック）での日本語教育の学習環境と学習手段に関する実態把握をアンケート・インタビューの手法を用いて行った。

本報告書は、その中の「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究：タイ（バンコック）アンケート調査」の集計結果について、その概略をまとめたものである。本来であれば集計結果の報告にとどまらず、詳細な分析結果までを一括して報告すべきであるが、同時に実施したインタビュー調査結果との関係等、様々な観点からの分析を現在試みている最中であり、その報告にはさらに時間を要する。そのため、本報告書では集計結果の概略を示すことにとどめ、分析結果については「報告書：分析編」として、今後調査を行う予定の他地域（韓国、オーストラリア等）との比較を含め、改めて報告する予定である。

本報告書は、4章から構成されている。第1章でタイ（バンコック）アンケート調査の概要、第2章で学習者の集計結果、第3章で教師の集計結果、第4章で今後の「報告書：分析編」に向けた課題としてまとめを行った。なお、本報告書の中心である集計結果の概略について簡単に把握できるよう、第2・3章の最初の部分には要約を載せてある。本報告書の作成・編集には巻末に掲げた担当者のうち、主に小河原義朗（日本語教育部門第一領域研究員）が担当した。

本調査は、国際交流基金バンコック日本語センターのご協力なくしては成し得なかった。ここに改めて深く御礼申し上げます。また、泰日経済技術振興協会の湯山佳代氏には、調査票の印刷から配布や回収等の作業に至るまで大変お世話になった。そしてなにより、本調査にご協力くださった現地の多くの日本語教育関係の方々に深く御礼申し上げます。

本報告書は、「集計結果報告書」として刊行するが、今後の日本語教育方策や日本語教育の内容・方法の検討に際しての一助となれば幸いである。

平成15年3月

独立行政法人国立国語研究所
日本語教育部門長 杉戸 清樹

目次

第1章 タイ（バンコック）アンケート調査実施概要	1
1-1. 「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」概要	1
1-2. 調査目的	1
1-3. 調査地域	2
1-4. 調査対象	2
1-5. 調査期間	2
1-6. 調査方法	2
1-7. 調査票（アンケート）	2
1-8. 回収率	3
1-9. 分析対象	4
1-10. 調査票（アンケート）の集計	5
第2章 集計結果：学習者	6
2. 概要と要約	6
[要約]：2-1. 学習者について	6
[要約]：2-2. 日本語を使つてのやりとりについて	7
[要約]：2-3. 日本語が使われているものとの接触について	7
[要約]：2-4. 内容が日本や日本語のものとの接触について	8
[要約]：2-5. 授業時間外の教科書等の使用について	8
[要約]：2-6. 利用経験のある機会や場所について	9
[要約]：2-7. 日本語学習のために現在使っているものについて	9
[要約]：2-8. 今後の充実を希望するものについて	9
2-1. 学習者について	10
2-1-1. 性別	10
2-1-2. 国籍	10
2-1-3. 年齢	10
2-1-4. 母語	11
2-1-5. 訪日経験	11
2-1-6. 訪日目的	11
2-1-7. 日本語学習動機	12
2-1-8. 日本語力（(1)「読むこと」(2)「書くこと」(3)「聞くこと」(4)「話すこと」）	12

2-5-1. 使用の有無	31
2-5-2. 授業時間外の利用方法	31
2-5-3. 授業時間外に教科書などを利用しない理由	32
2-6. 利用経験のある機会や場所について	33
2-6-1. 利用経験の有無	33
2-6-2. 利用経験のある機会や場所	33
2-6-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無	34
2-6-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所	35
2-6-5. 再度あるいは継続して経験したい理由	35
2-6-6. 経験したことがない理由	36
2-7. 日本語学習のために現在使っているものについて	37
2-8. 今後の充実を希望するものについて	37
第3章 集計結果：教師	39
3. 概要と要約	39
〔要約〕：3-1. 教師について	39
〔要約〕：3-2. 授業について	40
〔要約〕：3-3. 日本語を使つてのやりとりについて（以下、タイ人教師対象）	42
〔要約〕：3-4. 日本語が使われているものとの接触について	43
〔要約〕：3-5. 内容が日本や日本語のものとの接触について	44
〔要約〕：3-6. 利用経験のある機会や場所について	44
〔要約〕：3-7. 日本語学習のために現在使っているものについて	44
〔要約〕：3-8. 今後の充実を希望するものについて	45
3-1. 教師について	45
3-1-1. 性別	45
3-1-2. 国籍	45
3-1-3. 年齢	46
3-1-4. 母語	46
3-1-5. 日本語学習歴	46
3-1-6. 訪日経験	47
3-1-7. 訪日目的	47
3-1-8. 日本語教育経験	48
3-1-9. 日本語以外の教育経験の有無	48
3-1-10. 日本語以外の専門領域	49
3-1-11. 日本語力（(1)「読むこと」(2)「書くこと」(3)「聞くこと」(4)「話すこと」）	50

3-1-12. 日本語教育を始めた理由	52
3-1-13. 日本語教育に関する研修の経験について	52
3-1-14. 日本語教育に関する研修を受けた回数	53
3-2. 授業について	53
3-2-1. 授業で使うもの	53
3-2-2. 生教材について	55
3-2-3. 生教材を使う理由	57
3-2-4. 自作教材について	57
3-2-5. 授業での使用機材について	58
3-2-6. 授業での日本語の使用頻度	58
3-2-7. 授業準備に利用するもの	59
3-2-8. 日本語教師としての能力に対する意識	61
3-2-9. 日本語教師の資質・能力向上のために充実を希望するもの	62
3-2-9-1. 充実を希望するもの：文法解説書	64
3-2-9-2. 充実を希望するもの：辞書	65
3-2-9-3. 充実を希望するもの：漢字字典	65
3-2-9-4. 充実を希望するもの：教師用指導参考書	66
3-2-9-5. 充実を希望するもの：音声テープ	67
3-2-9-6. 充実を希望するもの：コンピューターソフト	67
3-2-10. 日本語教師の資質・能力向上のために役立つもの	68
3-2-11. 日本語教師の資質・能力向上のために経験したもの	69
3-2-12. コンピューターを使ってできること	71
3-2-13. 日本語教育へのコンピューター利用の必要性	72
3-3. 日本語を使つてのやりとりについて（以下、タイ人教師対象）	73
3-3-1. 日本語を使つてのやりとりの有無	73
3-3-2. やりとりの相手	74
3-3-3. 最もよくやりとりをする相手	74
3-3-4. やりとりをする相手の国籍	75
3-3-5. やりとりをする相手の性別	75
3-3-6. やりとりを始めた頃の日本語力	76
3-3-7. やりとりをする頻度	76
3-3-8. やりとりをする手段	76
3-3-9. やりとりをするときの日本語の割合	77
3-3-10. やりとりの内容	77
3-3-11. 日本語でやりとりをする理由	77
3-3-12. 授業以外で日本語を使わない理由	78

資料

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究

—タイ(バンコック) アンケート調査— 調査票

・ 学習者用 (日本語版・タイ語版)	3
・ 教師用 (日本語版・タイ語版)	17
・ 学校フェイスシート (日本語版・タイ語版)	33

第1章 タイ（バンコック）アンケート調査実施概要

1-1. 「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」概要

学習目的、分野、母語等学習者の特性や、各国・地域における日本語の社会的位置づけ、日本語教育機関の設備・環境、教師の教育観や日本語能力等、日本語教育の多様性についての認識は定着しつつあり、それぞれの教育現場において独自の対応がなされてきている。一方、学習者及び教師の地球規模での移動・交流はますます加速しており、日本語教育の各領域全体の様相を捉え、連携体制を整え、必要な支援を行うことが日本語教育推進のために求められている。

そこで、本調査研究では日本語教育の振興を図るための適切な支援、連携体制整備を進めるため、国内及び海外の各地域における多様化した日本語教育の実態を学習環境と学習手段の両側面から明らかにすることを目的とする。

本調査研究の特色は以下の3点である。

(1) 国内と海外の両方を視野においた調査研究である。

国内外の社会状況や教育制度、学習環境等の異なる地域を比較することで世界の日本語教育の状況全体を把握することができる。

具体的には、国外では学習者数・学習環境面での多様性や調査協力体制等の観点から、タイ（バンコック）、オーストラリア（ヴィクトリア州・ニューサウスウェールズ州（予定））、韓国、マレーシア（予定）、台湾（予定）の5地域において、着手または実施予定である。国内では、現在山梨県全域について着手し、今後他地域にも拡大していく予定である。

(2) 微視的・巨視的視野の両面からの研究である。

各国・地域の一般的な教育観、言語教育政策、日本との経済・文化等の交流関係等、それぞれの社会環境の中で日本語教育がどのような位置づけにあるかというマクロな視野を持ちつつ、同時に学習者・教師の具体的な行動や意識、教材等、個々の日本語学習／教育の実態というミクロレベルでの調査を行う。

(3) 学習者と教師の両面からアプローチする研究である。

各国・地域における初・中・高等教育機関、民間日本語教育機関、ボランティア教室（国内）などにおける学習者および教師を対象に、アンケートとインタビューの手法を用いて行う。

1-2. 調査目的

1-1で示した「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」の一環として、平成13年度は国際交流基金バンコック日本語センターの協力を得て、タイ（バンコック）での日本語教育の学習環境と学習手段に関する実態について、全体的な傾向を把握し、新たな観点から日本語教育の改善・支援のための基礎資料を作成する。あわせて、他地域での調査に向けた、調査方法のあり方、アンケートやインタビュー調査の内容・技術に関する検討のための基礎資料とする。

1-3. 調査地域

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」における国外第一調査地域として、学習者数や現地での調査協力体制等を勘案し、さらに、学習環境は一国の中でも地域によってかなり多様であることから、タイ国バンコック市内（一部その近郊を含む）とした。そのため、本調査はタイ国全体を把握するものではない。なお、タイ国内における他地域との比較については本調査結果をもとに今後の課題とする。

1-4. 調査対象

タイ国バンコック市内で日本語教育を実施している機関における日本語学習者と日本語教師を対象とした。

1-5. 調査期間

平成 13 年 12 月 1 日～21 日

1-6. 調査方法

国際交流基金バンコック日本語センターから得た日本語教育実施機関情報をもとに、バンコック市内 87 機関（大学 17+地域総合大学 6+technical college12+高校 49+学校教育以外 3）を対象として調査票を配布し、回収するという方法で行った。調査票の配布および回収作業については現地協力者の協力を得て、各機関との事前調整の後、各機関に直接指定日時に配布・回収するメッセージ方式で行った。なお、平行して同様の対象者に対してインタビュー調査も実施したが、その結果については「報告書：分析編」にて報告する予定である。

1-7. 調査票（アンケート）

調査票（アンケート）は、学習者用と教師用があり、それぞれタイ語版と日本語版のものを用意した。主な調査項目は以下のとおりである。詳細については、巻末資料の「調査票サンプル」を御覧いただきたい。

〔学習者用〕

属性

- ・ 性別、国籍、年齢、母語、身分、日本語学習の開始学年、日本語学習の場所、訪日経験、日本語学習動機、4 技能別日本語力自己評価等

質問

- ・ 日本語使用状況（相手，頻度，手段，内容，理由等）
- ・ 日本語接触状況（物，頻度，内容，理由等）
- ・ 内容が日本・日本語に関するものとの接触状況（物，言語，頻度，内容，理由等）
- ・ 授業で使用する日本語教材の授業外使用状況
- ・ 日本語接触状況（機会）
- ・ 日本語学習のためのリソース（物）
- ・ 日本語学習のために充実を希望するもの

〔教師用〕

属性

- ・ 性別，国籍，年齢，母語，日本語学習歴，その他の外国語学習歴，訪日経験，日本語教育経験，日本語以外の教育経験，日本語以外の専門領域，4技能別日本語力自己評価，日本語教育を始めた理由，日本語教育に関する研修等

質問

I：授業及び授業準備に関する質問（タイ人教師及び日本人教師対象）

- ・ 授業での使用教材，使用生教材の種類，使用自作教材の種類
- ・ 授業での使用機材
- ・ 授業での日本語使用状況
- ・ 授業準備のためのリソース（物，人）
- ・ 日本語教師に必要な能力に関する意識
- ・ 資質・能力向上のために充実を希望するもの
- ・ 資質・能力向上のためにしていること，役に立つと思うこと
- ・ コンピューター使用状況
- ・ コンピューター使用に関する意識

II：日本語力向上のための環境に関する質問（タイ人教師対象）

- ・ 日本語使用状況（相手，頻度，手段，内容，理由等）
- ・ 日本語接触状況（物，頻度，内容，理由等）
- ・ 内容が日本・日本語に関するものとの接触状況（物，言語，頻度，内容，理由等）
- ・ 日本語接触状況（機会）
- ・ 日本語学習のためのリソース（物）
- ・ 日本語学習のために充実を希望するもの

1-8. 回収率

77 機関の学習者 6,035 名，教師 214 名から調査票を回収した(表 1-1)。本調査の全体機関回収率は 88.5%

である。表 1-1 中、「フェイス数」とは「学校フェイスシート」を示す。機関名、住所、日本語教師数、学習者数、使用設備等を把握するために各機関を対象に行ったものであるが、十分な回収が得られなかったため、本報告書では扱わない。調査票サンプルを巻末資料に示した。なお、以下の集計に際しては固有名詞や機関を特定する記述については省略する。

〈表 1-1 回収結果〉

	高校	大学	地域総合大学	Technical college	学校教育以外	合計
機関数	41	16	6	11	3	77
学習者数	2,414	1,742	497	742	640	6,035
教師数	52	68	13	18	63	214
フェイス数	20	8	4	6	1	39

1-9. 分析対象

表 1-1 の回収結果から、調査票の一部が欠落している等、回答が明らかに不完全なものを除いた有効回答数は学習者 5,919 名、教師 204 名である。

本調査研究では、当該地域だけではなく、諸外国における学習手段・環境の比較検討までを視野に入れている。しかし、各国の教育制度・学校体系は国によって異なるため、第 2 章からの集計・分析には国際交流基金日本語国際センター（1998）『海外の日本語教育の現状—日本語教育機関調査・1998 年—』を参考に、調査対象機関を以下の 3 つに分類して、比較・集計を進める。

- ①「中等教育機関」：日本の高等学校（後期中等教育）にあたる学校教育機関
- ②「高等教育機関」：日本の大学院・大学・短期大学・高等専門学校にあたる学校教育機関
- ③「学校教育以外の機関」：上記①②に含まれない機関

表 1-1 の technical college については、機関によっては同一機関内で中等教育・高等教育が行われている場合もあることから、回答者の回答（巻末資料：学習者用調査票（p. 3, 参照）F 5 身分）によって同一機関内で中等教育と高等教育に振り分けた。

その結果、分析対象と分析の枠組みは、表 1-2 のとおりである。なお、調査項目によって、設問の意図を理解していないと思われる回答箇所は、集計上は無回答とした。そのため、第 2 章以降の集計結果では、調査項目によって回答者数に違いがある。

〈表 1-2：分析対象〉（ ）内は%

	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
教師数	50(24.5)	93(45.6)	61(29.9)	204(100.0)
学習者数	2,710(45.8)	2,559(43.2)	650(11.0)	5,919(100.0)

比較のために、前掲の国際交流基金日本語国際センター（1998）によれば、1998 年でタイ国全体における学習者数、教師数は表 1-3 のようになっている。

〈表 1-3：タイ国全体における教師数・学習者数〉（ ）内は%

	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
教師数	142(23.1)	285(46.3)	188(30.6)	615(100.0)
学習者数	7,694(19.3)	24,218(60.8)	7,910(19.9)	39,822(100.0)

1-10. 調査票（アンケート）の集計

回収された調査票（アンケート）のデータ集計は、(株)ストーム（代表：藤田茂）に委託した。

第2章 集計結果：学習者

2. 概要と要約

本章では、「学習者」の集計結果について報告する。本章の構成は8節からなるが、具体的な結果を報告する前に、ここでまず各節で取り上げる調査内容とその結果を要約してまとめ、本章全体の概要がわかるように示してある。各節の詳細については、2-1以降の各節を参照されたい。なお、各節の集計結果が、実際に使用した調査票（巻末資料）の中のどの項目に対応するかがわかるように、各節の最後に項目番号を入れた。例えば、「(学F1)」は「学習者用調査票の項目番号F1」を示す。

本調査における学習者の所属別有効回答数とその内訳は表2-1のとおりである。

〈表2-1：回答者数・内訳〉（ ）内は%

	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	2,710 (45.8)	2,559 (43.2)	650 (11.0)	5,919 (100)
〈内訳〉				
高校生	2,710 (100)	0 (0)	58 (8.9)	2,768 (46.8)
大学生	0 (0)	2,531 (98.9)	143 (22.0)	2,674 (45.2)
大学院生	0 (0)	28 (1.1)	24 (3.7)	52 (0.9)
勤労者	0 (0)	0 (0)	375 (57.7)	375 (6.3)
無職	0 (0)	0 (0)	44 (6.8)	44 (0.7)
その他	0 (0)	0 (0)	6 (0.9)	6 (0.1)

〔要約〕：2-1. 学習者について

- ・性別：女性75.7%>男性24.3%
- ・国籍：99.4%がタイ人
- ・年齢：中等教育では10代(97.0%)、高等教育・学校教育以外では20代(67.3%・63.8%)が最も多い。
- ・母語：99.0%がタイ語
- ・訪日経験：学習者全体の90.9%は訪日経験がない。
- ・訪日目的：①「観光」(63.4%) ②「交流」(25.2%) ③「留学」(18.4%)
- ・日本語学習動機：①「日本語に興味があるから」②「就職に有利だから」
- ・4技能別自己評価
 - 読むこと：中等教育では「ひらがなとかたかなが読める」(57.6%)、高等教育・学校教育以外では「簡単な文章ならだいたい理解できる」(46.6%・44.5%)が最も多い。
 - 書くこと：「ひらがなとかたかなが書ける」が共通して多い。
 - 聞くこと：「日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる」が共通して多い。
 - 話すこと：「挨拶ができる。簡単な自己紹介ができる」が共通して多い。

(要約)：2-2. 日本語を使つてのやりとりについて

・授業以外での日本語によるやりとり

全体で 2,249 人 (38.8%) が「ある」、3,552 人 (61.2%) が「ない」。所属別にみると、学校教育以外ではやりとりをしている学習者の方が 55.6% で多い。

・やりとりの相手：①「日本語の教師」(1,491 人) ②「学校の友人」(1,048 人) ③「知り合い」(945 人)

・最もやりとりをする相手

①「日本語の教師」(43.8%) ②「学校の友人」(18.3%) ③「知り合い」(15.4%)。所属別にみると、学校教育以外では「会社の上司」が 24.2% で最も多い。

・相手の国籍

中等教育ではタイ人 (68.1%)、高等教育・学校教育以外では日本人 (58.2%・69.6%) が多い。

・相手の性別：全体では女性が 92.8%。所属別にみると学校教育以外では 60.6% で男性の方が多い。

・やりとりをするようになった頃の日本語力

共通して「少しできた」が 55.3% で最も多く、続いて「ほとんどできなかった」が 24.7%

・やりとりの頻度

中等・高等教育では「週に 2,3 回」が 36.5%・33.5%、学校教育以外では「毎日」が 33.8% と最も多い。

・やりとりの手段：直接相手と「会って話す」が 76.6% で共通して最も多い。

・日本語を使用する割合

「日本語と他の言語が半々」が 42.7% で共通して最も多い。「全部日本語」は全体で 10.3%。

・話す内容

全体で「生活について」が 56.3% で共通して最も多い。続く内容として、中等・高等教育が「勉強について」(47.0%・55.6%)、学校教育以外では「仕事について」(47.6%) となっている。

・やりとりをする理由

共通して「日本語を使うのは楽しいから」「日本語の母語話者と話したいから」「日本語能力向上や維持のため」が高く「仕事として義務付けられているから」「日本語が最もわかりあえる言葉だから」は低い。

・授業以外で日本語を使わない理由

中等教育・高等教育では「自分の日本語力が充分ではないから」(50.5%・38.7%)、学校教育以外では「日本語を使う相手がいないから」(62.6%) が多い。

(要約)：2-3. 日本語が使われているものとの接触について

・身の回りで日本語が使われているものの有無：「はい」5,108 人 (89.5%)、「いいえ」600 人 (10.5%)

・日本語の授業以外での見聞きの有無：「はい」4,512 人 (88.6%)、「いいえ」582 人 (11.4%)

・見聞きするもの：①「テレビ放送」(57.0%) ②「マンガ」(54.6%) ③「雑誌」(48.8%)

・最も見聞きするもの：①「テレビ放送」(21.2%) ②「ゲームソフト」(11.6%) ③「マンガ」(11.1%)

・見聞きする頻度：共通して「週 2,3 回」が最も多い。

・見聞きするものの所有者：「自分」が 54.4% で最も多い。

・見聞きするもの内容：①「その他」(30.7%) ②「日本語」(29.6%) ③「社会・生活」(25.9%)

・見聞きする理由

「楽しいから」「日本や日本語に興味があるから」「日本語の学習に役に立つと思うから」「日本や日本人について知ることができるから」「視野を広げたいから」「その分野やトピックに興味があるから」のいずれの項目も共通して高い。「その他」としては、中等教育では「ゲームのため」など、高等教育では「好きだから」「仕事のため」「日本人の知り合いを作るため」など、学校教育以外では「日本人とのコミュニケーションのため」「仕事で必要だから」など、非常に多岐に渡っている。

・見聞きしない理由：「自分の日本語力が充分でないから」が 62.7% で最も多い。

(要約)：2-4. 内容が日本や日本語のものとの接触について

- ・身の回り内容が日本や日本語のもの(タイ語や英語によるものでも可)の有無
「はい」4,781人(86.4%),「いいえ」754人(13.6%)
- ・実際に見聞きした経験:「はい」4,346人(91.1%),「いいえ」422人(8.9%)
- ・見聞きするもの
 - ①「テレビ放送」(69.2%)②「雑誌」(57.4%)③「ビデオ・VCD」(50.4%)の順に多い。「その他」としては、「マンガ」「ゲーム」「アニメ」などが所属に関わらず多く、少数意見としては「化粧品」「お菓子の包装紙」などの日本製品が挙げられた。
- ・最もよく見聞きするもの:①「テレビ放送」(28.1%)②「本」(11.8%)③「雑誌」(11.2%)
- ・見聞きするものの言語
「タイ語」が81.6%で共通して多い。「その他の言語」はほとんどが「英語」。
- ・見聞きする頻度:共通して「毎日」(35.3%)が多い。
- ・見聞きするものの所有者:「自分」が51.8%で最も多い。
- ・見聞きするものの内容
 - ①「日本の社会・生活」(37.5%)②「日本人」(35.4%)「日本の文化・芸術」(26.3%)。「その他」は「歌、ゲーム、テレビ番組、ドラマ、ファッション、マンガ、娯楽、芸能、芸能人」などが挙げられた。
- ・見聞きする理由
「楽しいから」「日本や日本語に興味があるから」「日本語の学習に役に立つと思うから」「日本や日本人について知ることができるから」「視野を広げたいから」「その分野のトピックに興味があるから」のいずれの項目も共通して高い。「その他」としては、中等教育では「(その内容が)好きだから」「おもしろいから」「英語の勉強のため」など、高等教育では「好きだから」「暇つぶし」「自分の興味のある分野と関連しているから」などであった。
- ・見聞きしない理由
「時間がないから」が51.7%で共通して多い。「その他」として中等教育では「つまらない」「教科書以外のものがない」「日本語の能力の不足」など、高等教育では「見たり聞いたりするものがない」「何がわからない」「日本語能力や日本についての基礎知識の不足」「機会がない」など、学校教育以外では「知識・能力の不足」「見たり聞いたりするものがない」などが挙げられていた。

(要約)：2-5. 授業時間外の教科書等の使用について

- ・授業外での使用の有無:「はい」4,582人(81.8%),「いいえ」1,017人(18.2%)
- ・使用方法
 - ①「暗記、暗唱する」(68.3%)②「語句の意味を調べる」「練習問題を解く」(67.6%)が多い。「その他」として「復習」「試験勉強」「書く練習(ひらがな、カタカナ、漢字など)」「読む練習」などが挙げられ、かなり多様な使用方法が見られる。
- ・使用しない理由
 - ①「使い方がわからないから」(41.1%)②「授業以外の時間に勉強をしないから」(30.5%)③「教科書がわかりにくいから」(17.7%)。「その他」としては、「授業時間以外に時間がない」が多く、「使う機会がない」「教科書が古すぎる・多すぎる」など教科書の内容に関するコメントもあった。

(要約)：2-6. 利用経験のある機会や場所について

- ・日本語学習に関する機会や場所の利用経験の有無
「ある」2,622人(48.3%)、「ない」2,804人(51.7%)。所属別では、学校教育以外のみ経験のある学習者の方が59.0%と多い。
- ・利用経験のある機会や場所
①「日本・日本語に関するイベント」(59.5%) ②「日本人との交流会」(33.8%) ③「日本人のいる場所、日本人が集まる場所」(32.3%)。所属別では、中等教育で「日本・日本語に関するイベント」が67.5%と他よりも多く、「日本語が使われている職場でのアルバイト」(4.7%)、「日本人のいる場所、日本人が集まる場所」(26.6%)、「日本・日本語に関する資料センター」(21.0%)の利用が少ない。
- ・再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無：「ある」91.2%、「ない」8.8%
- ・最も経験したいもの
①「日本・日本語に関するイベント」(27.4%)と②「日本人との交流会」(26.4%)が多い。所属別にみると、中等教育で他よりもその傾向が強く、高等教育・学校教育以外で「日本語が使われている職場でのアルバイト」(10.7%・15.7%)が3位となっている。
- ・再度あるいは継続して経験したい理由
①「日本語能力が向上するから」(84.4%) ②「習った日本語を使ってみたいから」(65.8%) ③「楽しいから」(61.2%)。所属別では、中等教育で「日本語能力が向上するから」が94.8%と他に比べて多いが、「日本人と話したいから」は14.5%と他に比べてかなり少ない。
- ・経験したことがない理由
①「利用したいと思うが、そのような機会や場所がないから」②「時間がないから」(34.0%) ③「日本語がわからないと思うから」(30.4%)

(要約)：2-7. 日本語学習のために現在使っているものについて

- ・全体的に①「文法解説書」(71.9%)が共通して最も多い。続く②「日本語のテレビ番組、日本の映画」・「日本語の歌の入った音楽テープ、CD」は30.9%となっている。

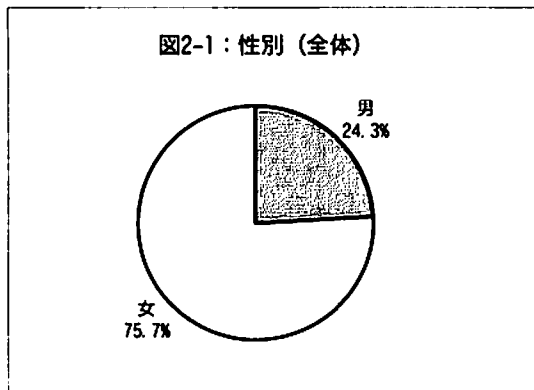
(要約)：2-8. 今後の充実を希望するものについて

- ・全体として①「文法解説書」(67.6%)②「日本語のテレビ番組、日本の映画」(61.3%)③「辞書」(60.1%)④「日本人との交流会」(56.9%)⑤「日本人家庭への訪問、ホームステイ」(56.3%)の順に高い。

2-1. 学習者について

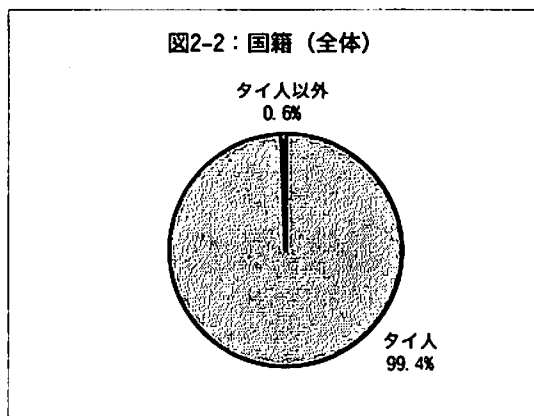
ここでは、本調査に回答した学習者の性別、国籍、年齢、母語、訪日経験とその目的、日本語学習動機、日本語力等の基礎的情報について聞いた結果を報告する。

2-1-1. 性別



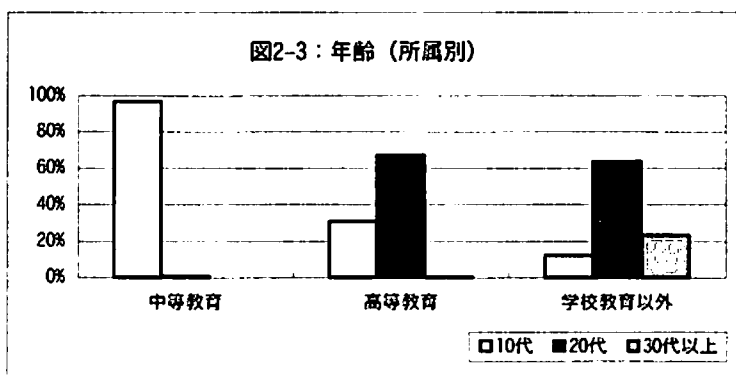
学習者の性別は、女性が75.7%、男性が24.3%となっており、所属に共通して女性が多い(図2-1)。
(学F1)

2-1-2. 国籍



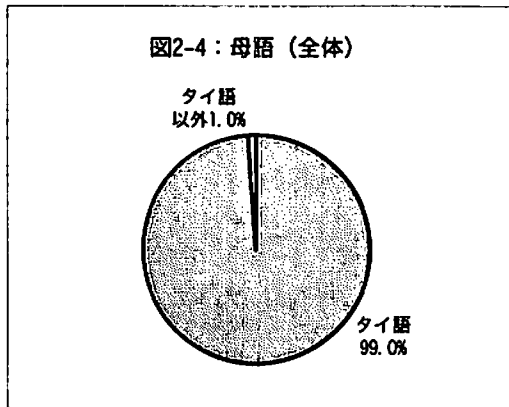
学習者の国籍は、99.4%がタイ人である(図2-2)。タイ人以外では、カンボジア人、ラオ人、中国人、台湾人、ロシア人、日本人、イギリス人、フランス人などである。(学F2)

2-1-3. 年齢



学習者の年齢は、中等教育では10代が97.0%、高等教育・学校教育以外では20代が67.3%・63.8%と最も多い(図2-3)。(学F3)

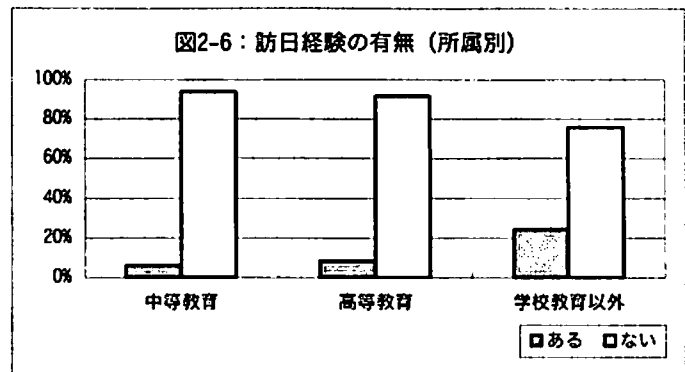
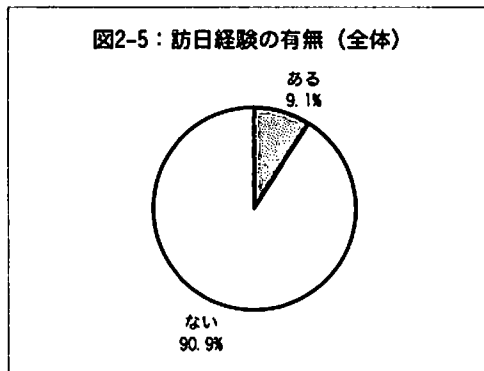
2-1-4. 母 語



学習者の母語は、99.0%がタイ語である（図 2-4）。タイ語以外では、ラオス語、カンボジア語、中国語、英語、マレー語、フランス語、日本語などが挙げられていた。（学 F4）

2-1-5. 訪日経験

学習者全体の90.9%は訪日経験がない（図 2-5）。所属別に見ると、学校教育以外の学習者は24.4%と比較的多い（図 2-6）。（学 F8）



2-1-6. 訪日目的

訪日の目的は、表 2-2 のとおりである。全体では、①「観光」（63.4%）②「交流」（25.2%）③「留学」（18.4%）の順に多い。所属別では、学校教育以外で「企業研修」（19.2%）が2位となっている。「その他」の内容としては、「親戚訪問」という回答が多かった。（学 F8）

〈表 2-2：訪日目的〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	観 光 (63.4)	観 光 (70.7)	観 光 (63.1)	観 光 (56.4)
2位	交 流 (25.2)	交 流 (30.6)	交 流 (26.2)	企業研修 (19.2)
3位	留 学 (18.4)	留 学 (17.2)	留 学 (26.2)	交 流 (17.9) そ の 他 (17.9)

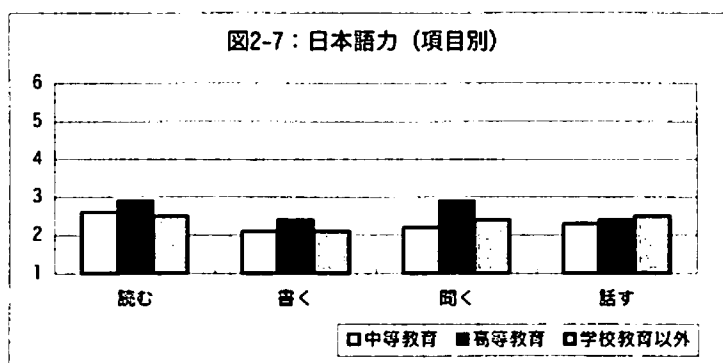
2-1-7. 日本語学習動機

日本語学習を始めた理由や動機については、表 2-3 のとおりである。所属に共通して①「日本語に興味があるから」②「就職に有利だから」の順に多い。3位は所属によって異なり、中等教育では「日本に行きたいから」、高等教育では「学校の授業にあるから」、学校教育以外では「現在の仕事に必要なから」となっている。(学 F9)

〈表 2-3：日本語学習動機〉

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語に興味がある	日本語に興味がある	日本語に興味がある	日本語に興味がある
2位	就職に有利	就職に有利	就職に有利	就職に有利
3位	日本に行きたい	日本に行きたい	学校の授業にある	現在の仕事に必要な

2-1-8. 日本語力



現在、どれぐらい日本語力があると思うか、4技能について自己評価してもらった。技能別全体の結果は図 2-7 のとおりである。数値の意味は各技能で異なるが、数値が高いほど、自己評価が高いことを示す。

〈学 F10〉

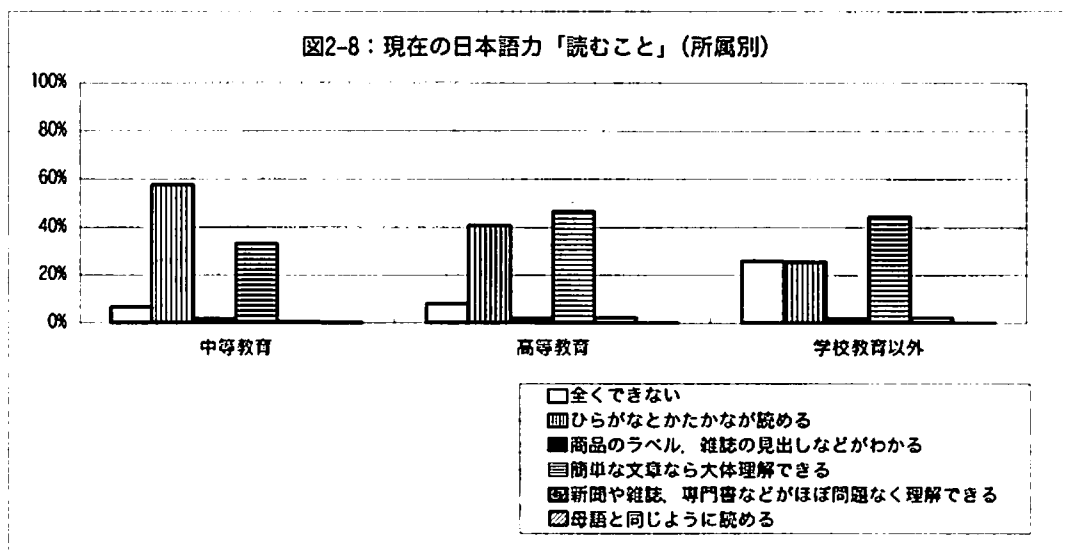
〈表 2-4：日本語力〉

4技能	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
読 む	2.7	2.6	2.9	2.5
書 く	2.3	2.1	2.4	2.1
聞 く	2.4	2.2	2.9	2.4
話 す	2.4	2.3	2.4	2.5

技能別の結果は以下のとおりである。

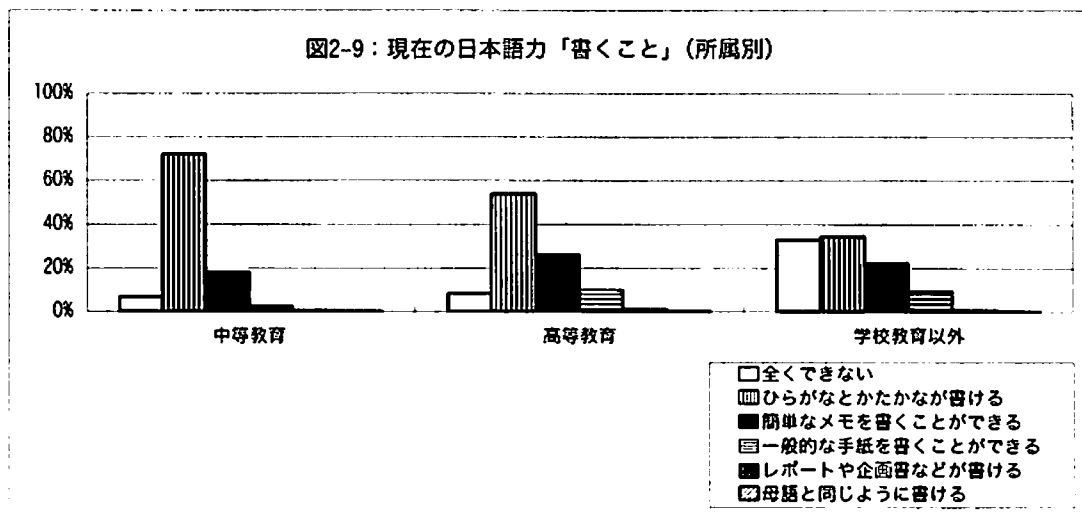
(1) 「読むこと」

中等教育では、「ひらがなとかたかなが読める」(57.6%)「簡単な文章ならだいたい理解できる」(33.2%)の順に多く、高等教育では逆に「簡単な文章ならだいたい理解できる」(46.6%)「ひらがなとかたかなが読める」(40.8%)の順に多い。学校教育以外では、「簡単な文章ならだいたい理解できる」(44.5%)が最も多いが、「全くできない」も25.9%いる(図 2-8)。(学 F10-1)



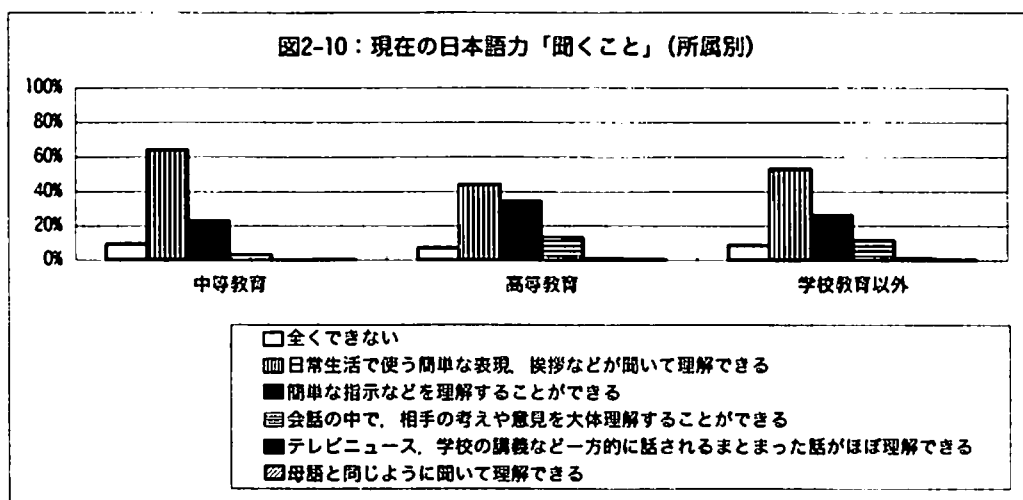
(2) 「書くこと」

全体的に「ひらがなとかたかなが書ける」が所属に共通して多い。学校教育以外では「全くできない」が33.0%いる(図2-9)。(学F10-2)



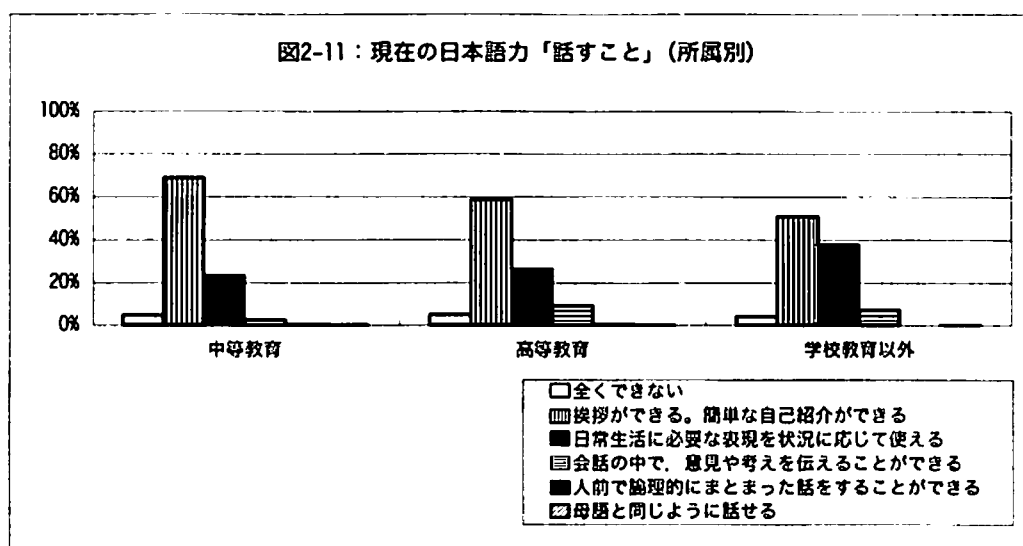
(3) 「聞くこと」

全体的に「日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる」が所属に共通して多いが、高等教育では「簡単な指示などを理解することができる」が34.3%と比較的多い(図2-10)。(学F10-3)



(4) 「話すこと」

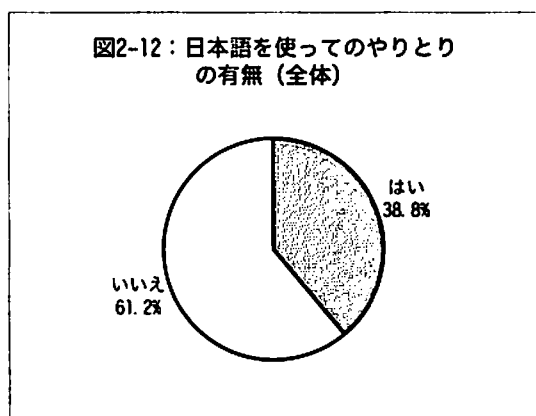
全体的に「挨拶ができる。簡単な自己紹介ができる」が最も多いが、学校教育以外で「日常生活に必要な表現を状況に応じて使える」が37.8%と比較的多い(図2-11)。(学F10-4)



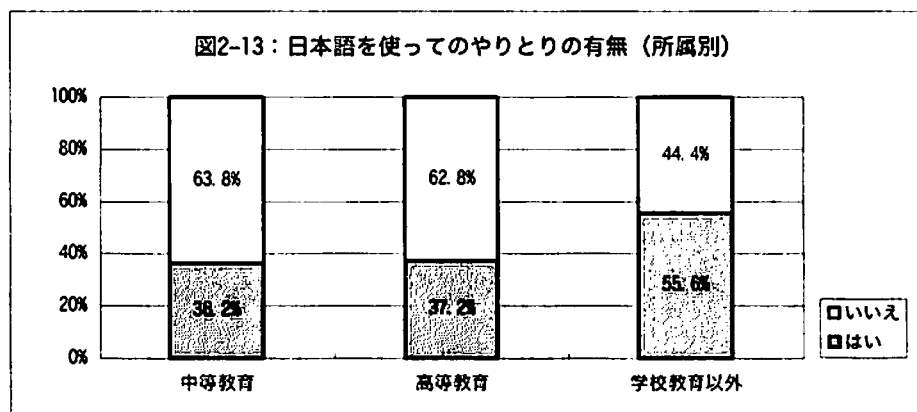
2-2. 日本語を使っのやりとりについて

ここでは、日本語の授業以外で学習者が実際に日本語を使っどのようなやりとりをするのか、やりとりの有無、相手、頻度、手段、内容、理由等について聞いた結果をまとめる。

2-2-1. 日本語を使つてのやりとりの有無



日本語の授業以外における日本語でのやりとりについては、全体で2,249人（38.8%）が「ある」、3,552人（61.2%）が「ない」と答え、やりとりがない学習者の方が多い（図2-12）。所属別では、図2-13のように中等教育・高等教育では、やりとりをしている学習者は36.2%・37.2%でやりとりにしない学習者の方が多いが、学校教育以外では55.6%とやりとりをしている学習者の方が多い。（学Q1）



〈表2-5：日本語を使つてのやりとりの有無〉（ ）内は%

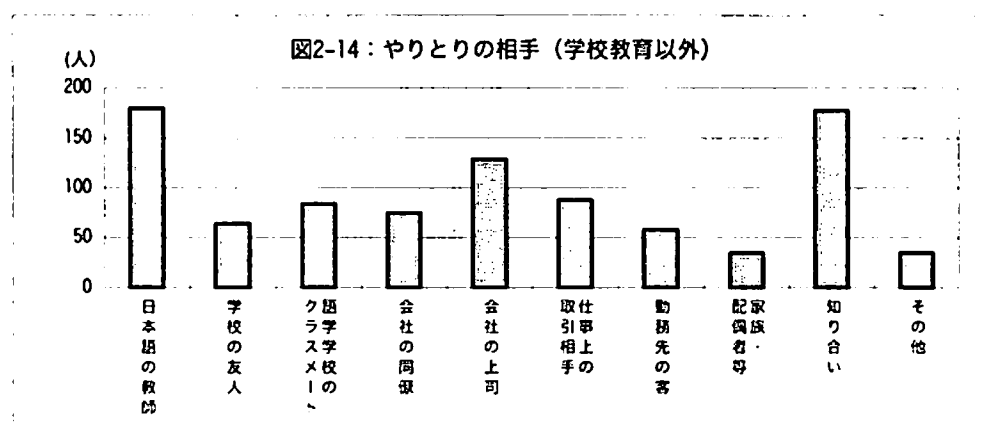
		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	はい	958 (36.2)	933 (37.2)	358 (55.6)	2,249 (38.8)
	いいえ	1,689 (63.8)	1,577 (62.8)	286 (44.4)	3,552 (61.2)
	無回答	89	63	6	118

2-2-2. やりとりの相手

2-2-1でやりとりをしていると回答した学習者に対して、やりとりの相手について聞いたところ、表2-6のようになった。全体では①「日本語の教師」(1,491人)②「学校の友人」(1,048人)③「知り合い」(945人)の順に多い。所属別でみると、中等教育・高等教育では特に①「日本語の教師」の割合が高いのに対して、学校教育以外では、図2-14に示したとおり、③「仕事上の取引相手」等、①「日本語の教師」以外の項目にも分散しており、多様な相手とのやりとりがある。（学Q1-1）

〈表 2-6：やりとりの相手〉（ ）内は人数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師 (1,491)	日本語の教師 (672)	日本語の教師 (639)	日本語の教師 (180)
2位	学校の友人 (1,048)	学校の友人 (554)	学校の友人 (430)	知り合い (178)
3位	知り合い (945)	知り合い (359)	知り合い (408)	会社の上司 (129)



2-2-3. 最もよくやりとりをする相手

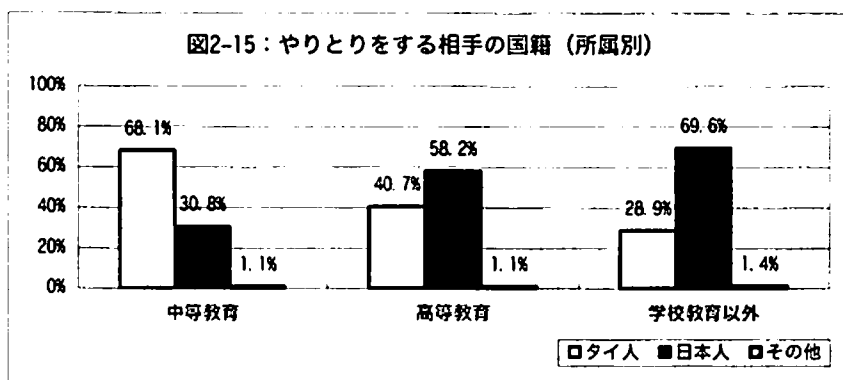
2-2-2の日本語でやりとりをする相手の中で、最もよくやりとりをする相手について聞いたところ、表 2-7 のようになった。全体では①「日本語の教師」(43.8%) ②「学校の友人」(18.3%) ③「知り合い」(15.4%) の順で、2-2-2と同様の結果になっている。所属別にみると、中等・高等教育では「日本語の教師」が 36.1%・33.8%と最も多いのに対して、学校教育以外では「会社の上司」が 24.2%と最も多い。(学 Q1-2)

〈表 2-7：最もよくやりとりをする相手〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師 (43.8)	日本語の教師 (36.1)	日本語の教師 (33.8)	会社の上司 (24.2)
2位	学校の友人 (18.3)	学校の友人 (17.0)	知り合い (13.4)	知り合い (19.6)
3位	知り合い (15.4)	知り合い (7.2)	学校の友人 (12.1)	日本語の教師 (13.5)

なお、最もよくやりとりする相手ごとの集計結果については、他の項目との関係を考慮して「報告書：分析編」にて詳細に扱い、本報告では全体的な集計結果のみを報告する。

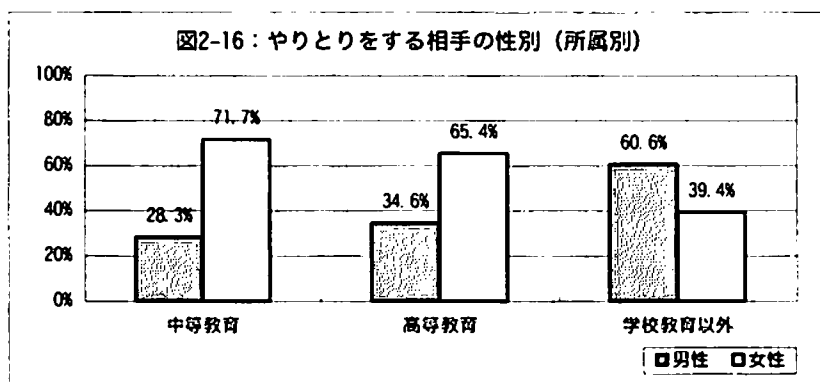
2-2-4. やりとりをする相手の国籍



やりとりをする相手の国籍は、中等教育ではタイ人（68.1%）、高等教育（58.2%）・学校教育以外（69.6%）では日本人が多い（図2-15）。

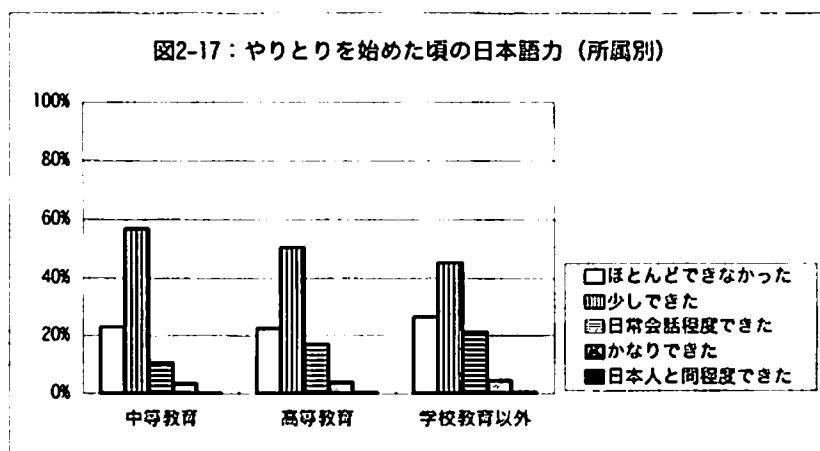
〈学 Q1-2〉

2-2-5. やりとりをする相手の性別



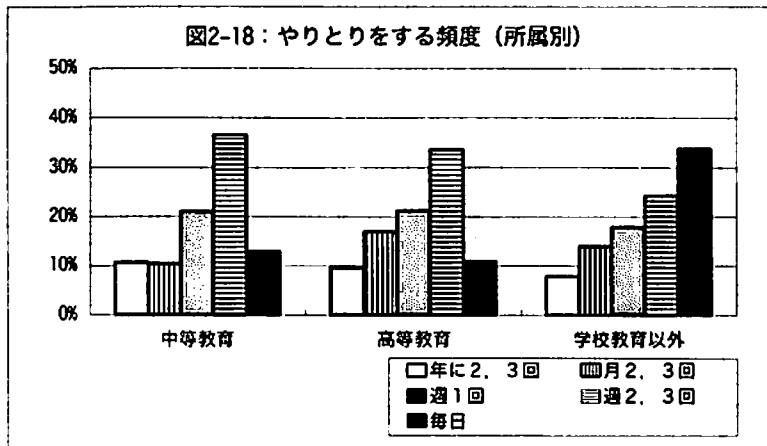
やりとりをする相手の性別は、全体的には92.8%と女性が多いが、所属別にみると図2-16のように学校教育以外では60.6%と男性の方が多。〈学 Q1-2〉

2-2-6. やりとりを始めた頃の日本語力



やりとりをするようになった頃の日本語力について自己評価してもらったところ、所属に共通して「少しできた」が55.3%と最も多く、続いて「ほとんどできなかった」が24.7%となっている（図2-17）。〈学 Q1-2〉

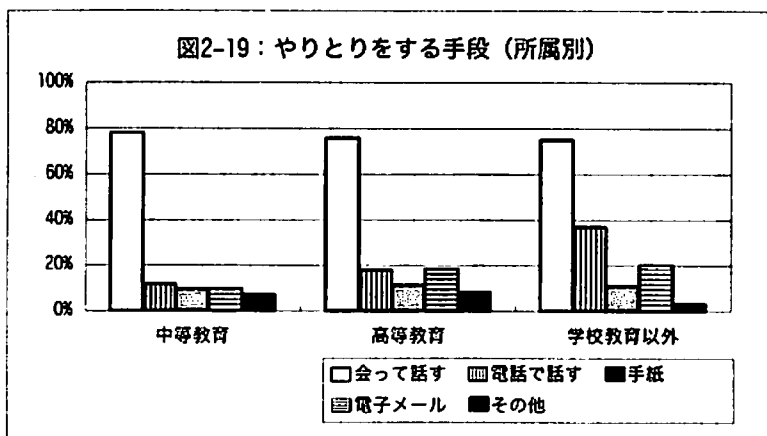
2-2-7. やりとりをする頻度



日本語でやりとりをする頻度は、中等・高等教育では「週に2,3回」が36.5%・33.5%、学校教育以外では「毎日」やりとりする学習者が33.8%と最も多かった(図2-18)。

(学 Q1-2)

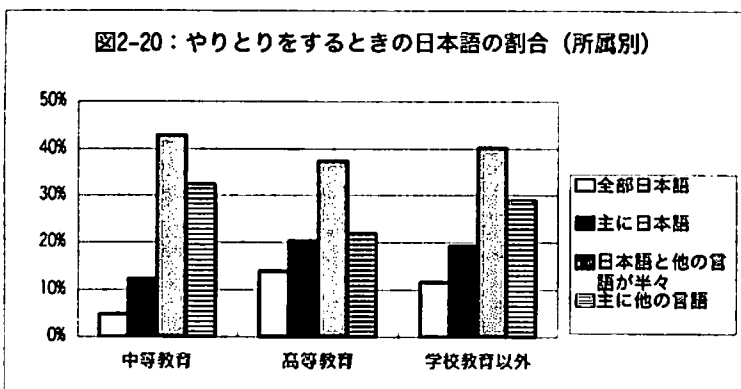
2-2-8. やりとりをする手段



やりとりをするときの手段は、全体で直接相手と「会って話す」学習者が76.6%で、所属に共通して最も多い(図2-19)。

(学 Q1-2)

2-2-9. やりとりをするときの日本語の割合



やりとりをするときに日本語を使用する割合はどのぐらいか聞いたところ、全体で「日本語と他の言語が半々」という学習者が42.7%で所属に共通して最も多い(図2-20)。「全部日本語」という学習者は全体で10.3%となっている。(学 Q1-2)

2-2-10. やりとりの内容

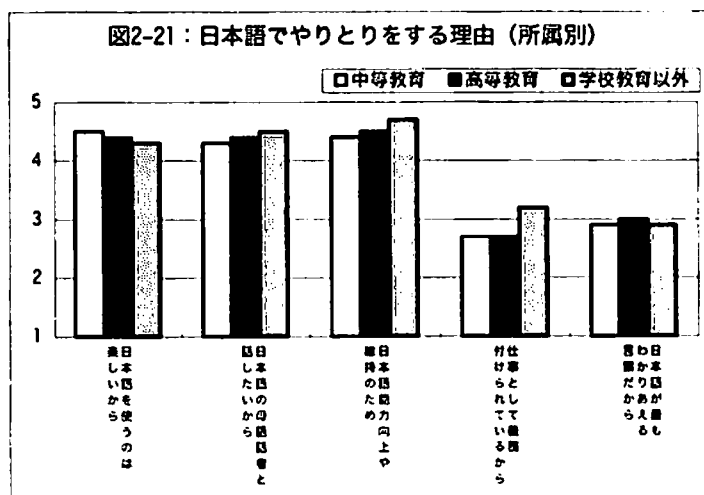
やりとりをして話す内容については、「生活について」が全体で56.3%と所属に共通して最も多い(表2-8)。続く内容としては、中等・高等教育が「勉強について」(47.0%・55.6%)であるのに対し、学校教育以外では「仕事について」(47.6%)となっている。(学Q1-2)

〈表2-8：やりとりの内容〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	生 活 (56.3)	生 活 (53.0)	生 活 (57.8)	生 活 (60.9)
2位	勉 強 (47.1)	勉 強 (47.0)	勉 強 (55.6)	仕 事 (47.6)
3位	日 本 語 (26.6)	日 本 語 (27.4)	日 本 語 (28.1)	勉 強 (26.3)

割合は低いですが、「その他」の内容としては、「挨拶」「日本について(文化・日本人・習慣・歌など)」「一般的なこと」「授業について」などが挙げられ、特に学校教育以外では「上司との連絡や商品・製品について」、「患者の容体を聞く」などが挙げられていた。

2-2-11. 日本語でやりとりをする理由



日本語でやりとりをする理由について5段階(「5. 全くそう思う」-「1. 全くそう思わない」、以下同様)で聞いたところ、図2-21のように所属に共通して「日本語を使うのは楽しいから」「日本語の母語話者と話したいから」「日本語能力向上や維持のため」が高く、「仕事として義務付けられているから」「日本語が最もわかりあえる言葉だから」は低い。(学Q1-2)

〈表2-9：日本語でやりとりをする理由〉

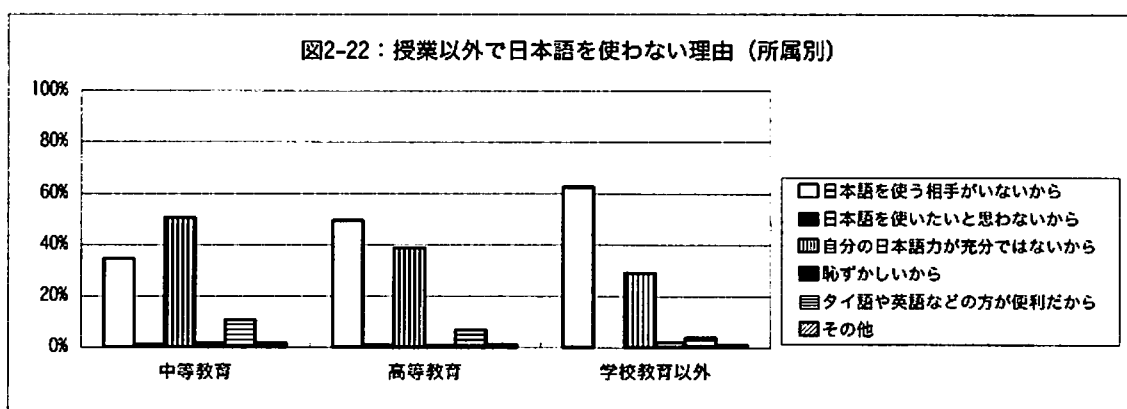
理 由	全 体	中 等 教 育	高 等 教 育	学 校 教 育 以 外
日本語を使うのは楽しいから	4.4	4.5	4.4	4.3
日本語の母語話者と話したいから	4.4	4.3	4.4	4.5
日本語能力向上や維持のため	4.5	4.4	4.5	4.7
仕事として義務付けられているから	2.8	2.7	2.7	3.2
日本語が最もわかりあえる言葉だから	2.9	2.9	3.0	2.9

「その他」としては、「日本や日本文化を理解できるから」「今現在使われている生の日本語を勉強できるから」「好きだから」「日本人の恋人が欲しいから」「かっこよく見せるため」「他の人に知られたくない話ができるから」「先生が日本人だから」などが挙げられていた。

2-2-12. 授業以外で日本語を使わない理由

2-2-1 (p. 15, 参照) でみたように、全体でみると日本語の授業以外で日本語でのやりとりをしない学習者が 61.2% で、やりとりをする学習者 (38.8%) よりも多かった。では、なぜ授業以外で日本語を使わないのかその理由を聞いたところ、全体的に「日本語を使う相手がいないから」(44.0%) と「自分の日本語力が充分ではないから」(44.0%) の2つの理由が多かった。〈学 Q1-3〉

所属別では、中等教育では「自分の日本語力が充分ではないから」が 50.5%，学校教育以外では、「日本語を使う相手がいないから」が 62.6% と多くなっている (図 2-22)。



2-3. 日本語が使われているものとの接触について

ここでは、日本語の授業以外で学習者が日本語で書かれたものや日本語が使われているものの中で、どのようなものをどのように見たり聞いたりしているのか等について、学習者に聞いた結果をまとめる。

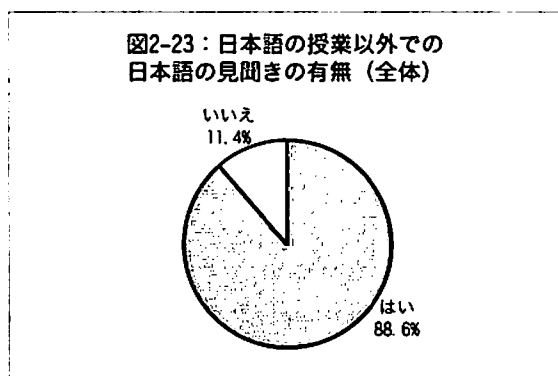
2-3-1. 身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無

まず、学習者の身の回りで、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりしたことがあるかについて聞いたところ、表 2-10 のように 5,108 人 (89.5%) の学習者が「はい」と答えている。一方、「いいえ」と答えている学習者も 600 人 (10.5%) いる。〈学 Q2〉

〈表 2-10：身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無〉（ ）内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	全 体
回答者数	はい	2,155 (88.3)	2,396 (91.1)	557 (87.4)	5,108 (89.5)
	いいえ	286 (11.7)	234 (8.9)	80 (12.6)	600 (10.5)
	無回答	118	80	13	211

2-3-2. 日本語の授業以外で日本語で書かれたものや日本語が使われているものの見聞きの有無



2-3-1で「はい」と答えた5,108人の学習者に、特に日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりすることがあるかについて聞いたところ、4,512人(88.6%)の学習者が「はい」と答え、逆に「いいえ」と答えた人も582人(11.4%)いる(図2-23)。所属による違いはほとんど見られない(表2-11)。

〈学 Q2-1〉

〈表 2-11：日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無〉（ ）内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	全 体
回答者数	はい	2,133(89.2)	1,882(87.5)	497(90.2)	4,512(88.6)
	いいえ	259(10.8)	269(12.5)	54(9.8)	582(11.4)
	無回答	4	4	6	14

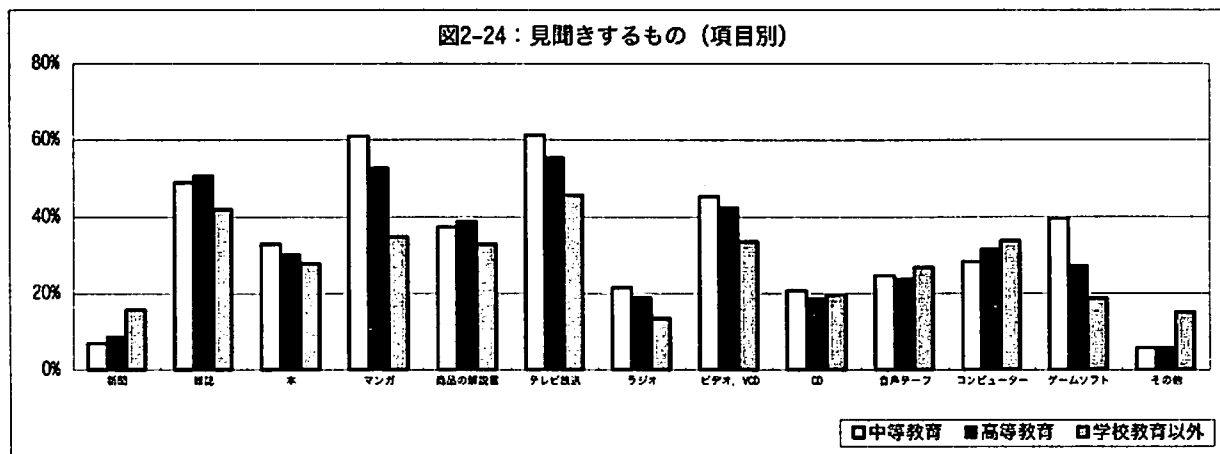
2-3-3. 見聞きするもの

どのようなものを見聞きするのか聞いたところ、表2-12のようになった。全体的に所属に共通して①「テレビ放送」(57.0%)②「マンガ」(54.6%)③「雑誌」(48.8%)の順に多い。所属別では、割合としては低いですが、中等教育で「ゲームソフト」(39.6%)、学校教育以外で「新聞」「その他」が他に比べて多い(図2-24、なお図中「VCD」とは「Video CD」を意味する、以下同様)。〈学 Q2-2〉

〈表 2-12：見聞きするもの〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ放送 (57.0)	テレビ放送 (61.2)	テレビ放送 (55.3)	テレビ放送 (45.6)
2位	マ ン ガ (54.6)	マ ン ガ (60.8)	マ ン ガ (52.6)	雑 誌 (41.9)
3位	雑 誌 (48.8)	雑 誌 (48.8)	雑 誌 (50.6)	マ ン ガ (34.8)

図2-24：見聞きするもの（項目別）



「その他」として挙げられたものは、中等教育では「アニメ」「ゲーム」「お菓子の包装」「文具」など、高等教育では「友達との会話」「歌」「商品の説明書」など、学校教育以外では「書類」「ファックス」「商品・製品のカタログ」「パンフレット」などであった。

2-3-4. 最もよく見聞きするもの

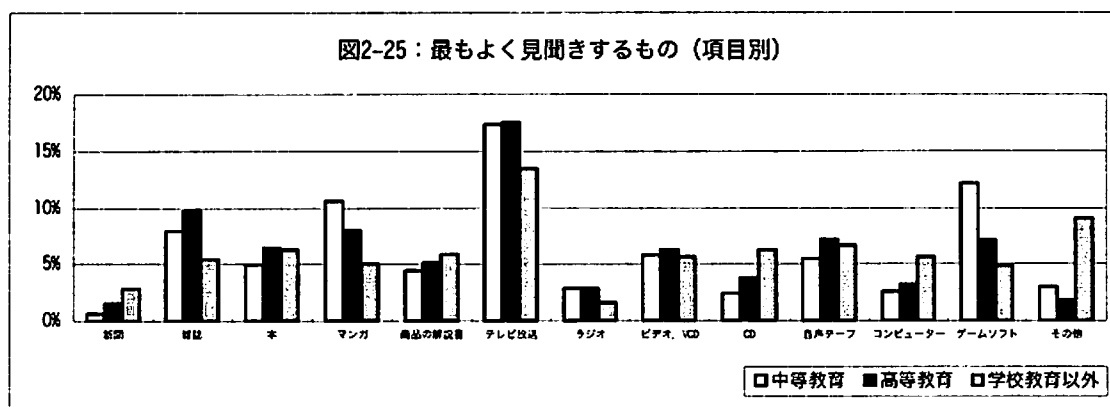
2-3-3の見聞きするものの中でも、特に最も見聞きするものについては、表2-13のとおりである。全体では①「テレビ放送」(21.2%) ②「ゲームソフト」(11.6%) ③「マンガ」(11.1%)と2-3-3と似た結果になっている。〈学Q2-3〉

〈表2-13：最もよく見聞きするもの〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ放送 (21.2)	テレビ放送 (17.3)	テレビ放送 (17.5)	テレビ放送 (13.5)
2位	ゲームソフト (11.6)	ゲームソフト (12.2)	雑 誌 (9.8)	そ の 他 (9.1)
3位	マ ン ガ (11.1)	マ ン ガ (10.6)	マ ン ガ (8.0)	音声テープ (6.6)

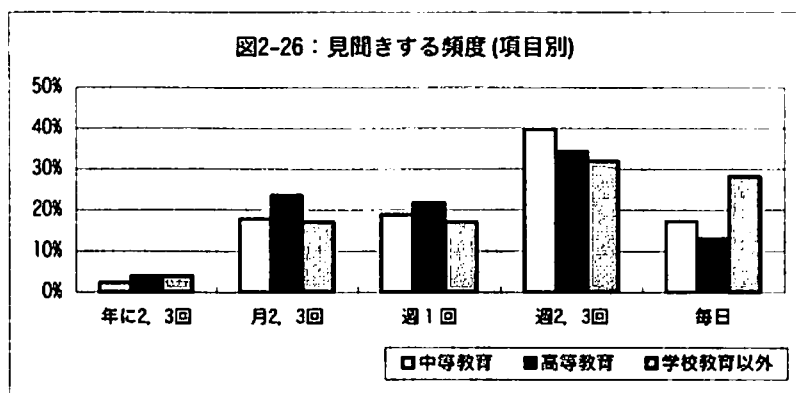
所属別では、図2-25のように「テレビ放送」が共通して多いが、中等教育では「ゲームソフト」(12.2%)、高等教育では「雑誌」(9.8%)、学校教育以外では「その他」(9.1%)が続いている。

図2-25：最もよく見聞きするもの（項目別）



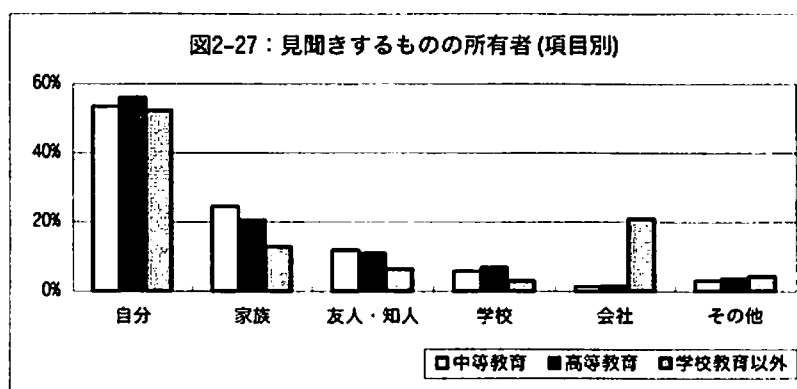
なお、最もよく見聞きするものごとの集計結果については、他の項目との関係を考慮して「報告書：分析編」にて詳細に扱い、本報告では全体的な集計結果のみを報告する。

2-3-5. 見聞きする頻度



日本語のものを見聞きする頻度は、共通して「週2,3回」が最も多いが、学校教育以外では「毎日」見聞きする学習者が28.2%と比較的多い(図2-26)。(学Q2-3)

2-3-6. 見聞きするものの所有者



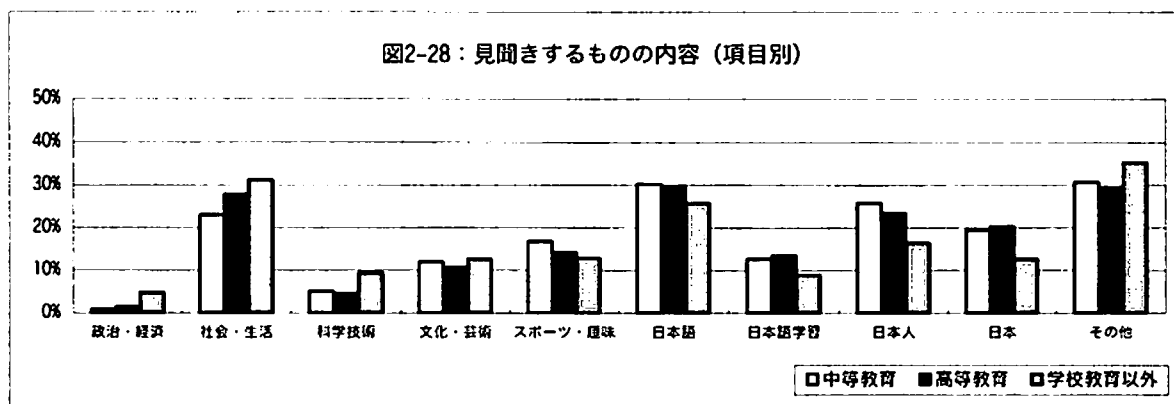
見聞きするものの所有者は、「自分」が全体的に54.4%で半数以上となっている。学校教育以外では、図2-27のように「会社」が20.9%ある。(学Q2-3)

2-3-7. 見聞きするものの内容

見聞きするものの内容については、全体として①「その他」(30.7%)②「日本語」(29.6%)③「社会・生活」(25.9%)の順になっている(表2-14)。「その他」の内容について所属別にみると、中等教育は「ゲーム」「歌」「マンガ」「ドラマ」「テレビ番組」「娯楽」など、高等教育では「テレビ番組(『TVチャンピオン』など)」「歌」「ドラマ」「芸能」「料理」「ゲーム」など、学校教育以外では「歌」「ニュース」「テレビ番組」「会社の仕事」などが挙げられた(図2-28)。(学Q2-3)

〈表 2-14：見聞きするものの内容〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	そ の 他 (30.7)	そ の 他 (30.7)	日 本 語 (29.8)	そ の 他 (35.3)
2位	日 本 語 (29.6)	日 本 語 (30.3)	そ の 他 (29.4)	社 会 ・ 生 活 (31.2)
3位	社 会 ・ 生 活 (25.9)	日 本 人 (25.8)	社 会 ・ 生 活 (27.8)	日 本 語 (25.8)

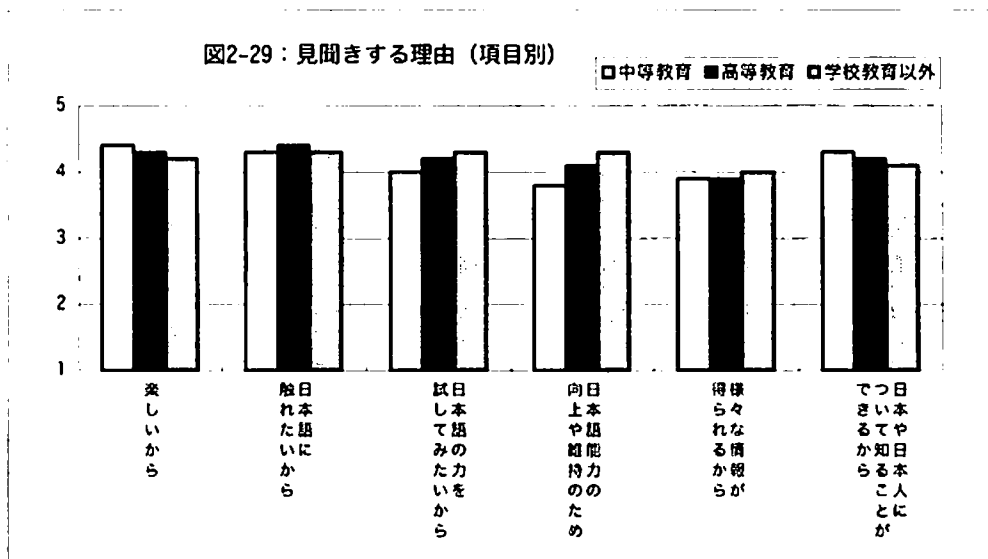


2-3-8. 見聞きする理由

日本語のものを見たり聞いたりする理由を聞いたところ、図 2-29 のようにどの項目についても共通して高い。「その他」としては、中等教育では「ゲームのため」など、高等教育では「好きだから」「仕事のため」「日本人の知り合いを作るため」など、学校教育では「日本人とのコミュニケーションのため」「仕事で必要だから」など、非常に多岐に渡っている。(学 Q2-3)

〈表 2-15：見聞きする理由〉

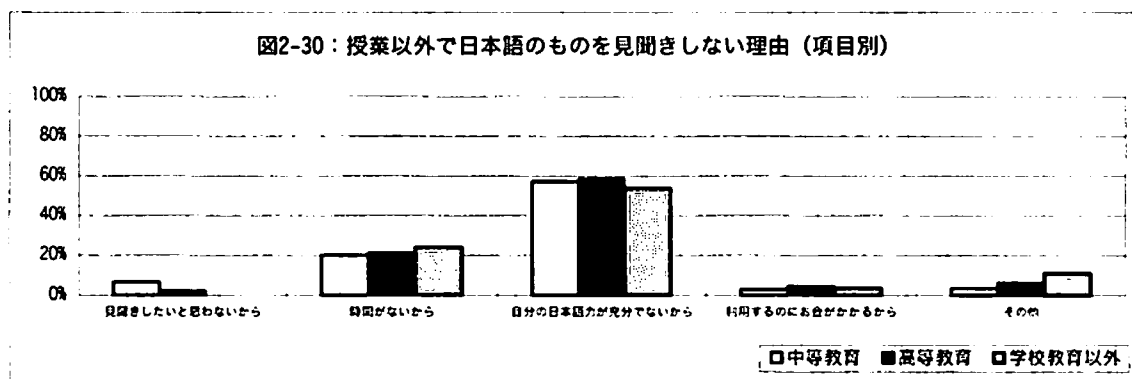
理 由	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
楽しいから	4.2	4.4	4.3	4.2
日本語に触れたいから	4.4	4.3	4.4	4.3
日本語の力を試してみたいから	4.1	4.0	4.2	4.3
日本語能力の向上や維持のため	4.0	3.8	4.1	4.3
様々な情報が得られるから	3.9	3.9	3.9	4.0
日本や日本人について知ることができるから	4.2	4.3	4.2	4.1



2-3-9. 授業以外で日本語のものを見聞きしない理由

2-3-2 (p. 21, 参照) でみたように、全体でみると日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりしない学習者は 582 人 (11.4%) で少なかった。しかし、なぜ授業以外で日本語のものを見聞きしないのかその理由を聞いたところ、全体で「自分の日本語力が充分でないから」が 62.7% と所属に共通して多かった (図 2-30)。〈学 Q2-4〉

「その他」として挙げられていたのは、中等教育では「見聞きするものがない」など、高等教育では「環境、設備、教材の問題」「機会がない」などであった。



2-4. 内容が日本や日本語のものとの接触について

2-3 では、日本語の授業以外で日本語で書かれたものや日本語が使われているものを対象としたが、ここでは特に「日本語」で表現されたものに限定せず、タイ語や英語によるものであっても「内容」が日本や日本語のものを対象とする。その中でどのようなものをどのように見たり聞いたりしているのか等について、

学習者に聞いた結果をまとめる。

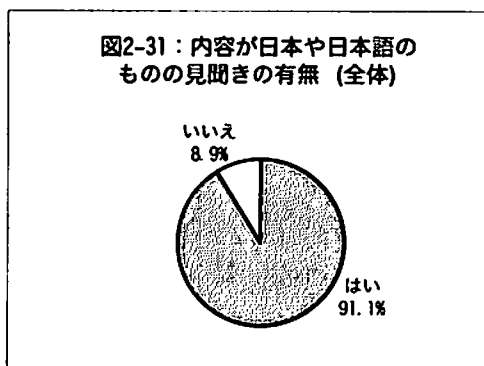
2-4-1. 身の回りで内容が日本や日本語のものの有無

まず、学習者の身の回りで、内容が日本や日本語のもの（タイ語や英語によるものでも可）があるかどうかについて聞いたところ、表 2-16 のように 4,781 人（86.4%）の学習者が「はい」と答えている。一方、「いいえ」と答えている学習者も 754 人（13.6%）いる。（学 Q3）

〈表 2-16：身の回りで内容が日本や日本語のものの有無〉（ ）内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	はい	2,214 (87.0)	2,029 (85.7)	538 (86.6)	4,781 (86.4)
	いいえ	332 (13.0)	339 (14.3)	83 (13.4)	754 (13.6)
	無回答	164	191	29	384

2-4-2. 内容が日本や日本語のものの見聞きの有無



2-4-1で「はい」と答えた、つまり内容が日本や日本語のものがあると認識している 4,781 人の学習者に、それらを実際に見たり聞いたりすることがあるかについて聞いたところ、「はい」が 4,346 人（91.1%）、「いいえ」が 422 人（8.9%）であった（図 2-31）。所属による違いは、ほとんど見られない（表 2-17）。（学 Q3-1）

〈表 2-17：内容が日本や日本語のものの見聞きの有無〉（ ）内は%

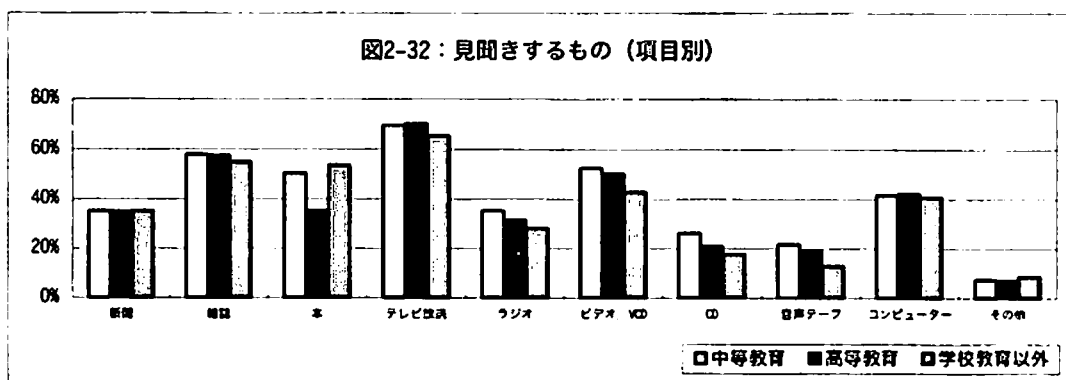
		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	はい	2,022 (91.7)	1,834 (90.5)	490 (91.2)	4,346 (91.1)
	いいえ	183 (8.3)	192 (9.5)	47 (8.8)	422 (8.9)
	無回答	9	3	1	13

2-4-3. 見聞きするもの

2-4-2で「はい」と答えた 4346 人に対して、どのようなものを見聞きするのか聞いたところ、表 2-18 のようになった。全体として、①「テレビ放送」（69.2%）②「雑誌」（57.4%）③「ビデオ・VCD」（50.4%）の順に多い。所属別では、図 2-32 のように学校教育以外で 3 位が「本」（53.6%）となっている。「その他」としては、「マンガ」「ゲーム」「アニメ」などが所属に共通して多く、少数意見としては「化粧品」「お菓子」等の日本製品が挙げられていた。（学 Q3-2）

〈表 2-18：見聞きするもの〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ放送 (69.2)	テレビ放送 (69.4)	テレビ放送 (70.1)	テレビ放送 (65.2)
2位	雑 誌 (57.4)	雑 誌 (57.8)	雑 誌 (57.5)	雑 誌 (54.9)
3位	ビデオ・VCD (50.4)	ビデオ・VCD (52.4)	ビデオ・VCD (50.2)	本 (53.6)

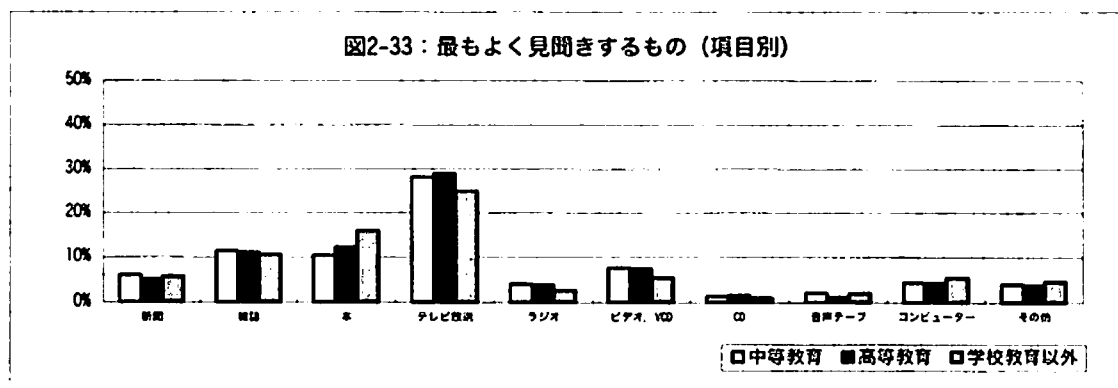


2-4-4. 最もよく見聞きするもの

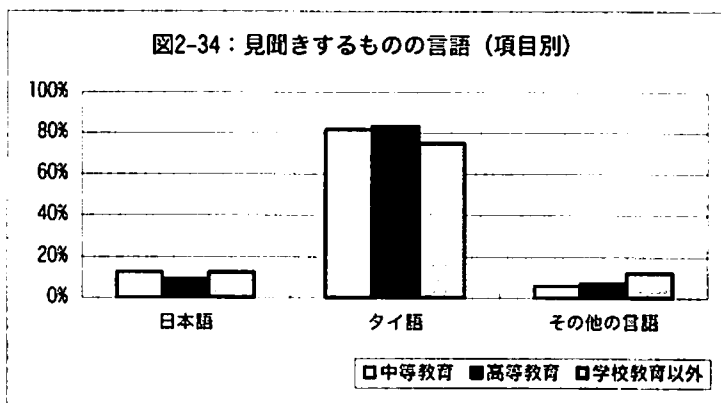
2-4-3でみた見聞きするものの中でも、特に最もよく見聞きするものについては、表 2-19 のとおりである。全体では①「テレビ放送」(28.1%) ②「本」(11.8%) ③「雑誌」(11.2%) で2-4-3と似た結果であるが、特に「テレビ放送」の割合が高くなっている。所属による違いは、図 2-33 のように特にみられない。(学 Q3-3)

〈表 2-19：最もよく見聞きするもの〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ放送 (28.1)	テレビ放送 (28.1)	テレビ放送 (29.0)	テレビ放送 (24.9)
2位	本 (11.8)	雑 誌 (11.4)	本 (12.3)	本 (15.9)
3位	雑 誌 (11.2)	本 (10.4)	雑 誌 (11.1)	雑 誌 (10.6)

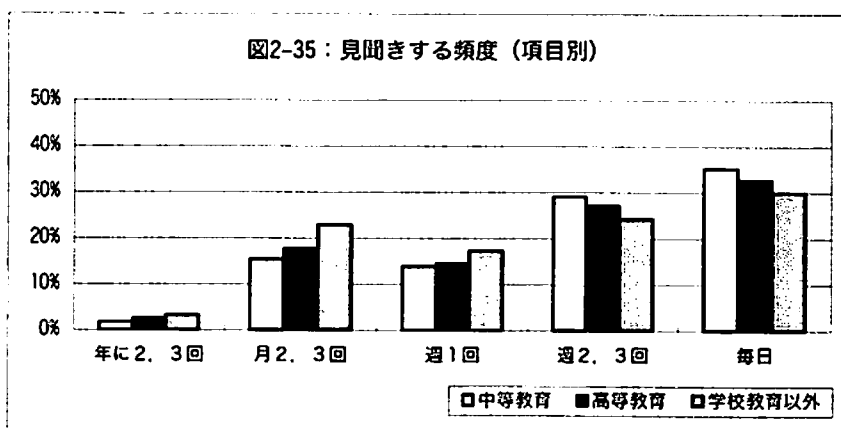


2-4-5. 見聞きするものの言語



見聞きするものの言語は、全体で「タイ語」が81.6%と共通して多い（図2-34）。「その他の言語」としては、ほとんどが「英語」で、「中国語」「スペイン語」「韓国語」「フランス語」「カンボジア語」なども挙げられていた。（学Q3-3）

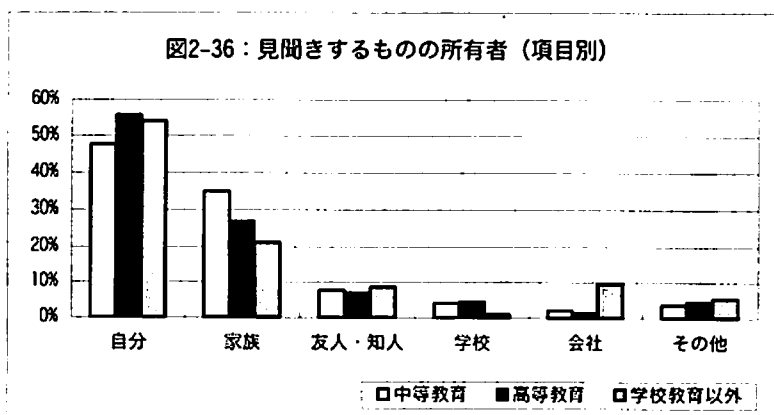
2-4-6. 見聞きする頻度



内容が日本や日本語のものを見聞きする頻度は、全体的に共通して「毎日」（35.3%）が多い（図2-35）。

（学Q3-3）

2-4-7. 見聞きするものの所有者



見聞きするものの所有者は、「自分」が全体的に51.8%で半数以上となっている。所属別では、図2-36のように中等教育で「家族」が34.9%ある。

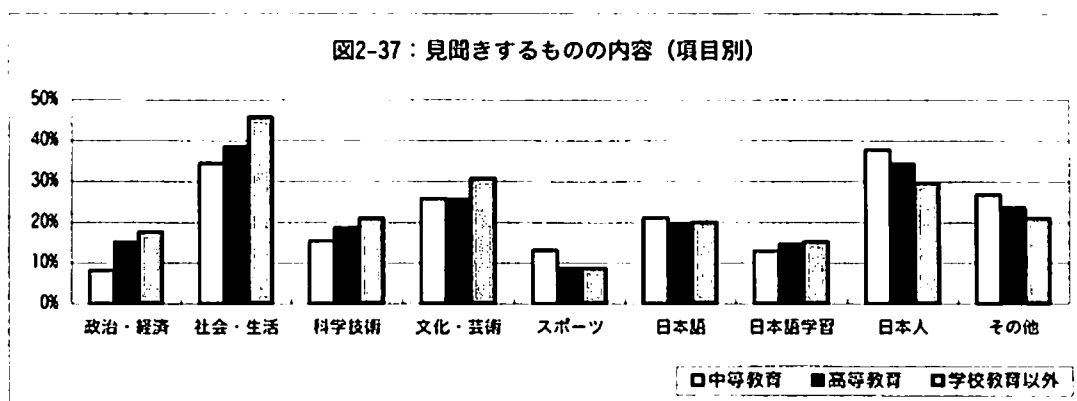
（学Q3-3）

2-4-8. 見聞きするものの内容

見聞きするものの内容については、全体としては①「日本の社会・生活」(37.5%) ②「日本人」(35.4%) 「日本の文化・芸術」(26.3%)の順に多い(表2-20)。所属別でも、順位の違いは見られるが共通した傾向となっている(図2-37)。「その他」については、「歌、ゲーム、テレビ番組、ドラマ、ファッション、マンガ、娯楽、芸能、芸能人」などが挙げられた。(学Q3-3)

〈表2-20：見聞きするものの内容〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本の社会・生活 (37.5)	日 本 人 (37.8)	日本の社会・生活 (38.6)	日本の社会・生活 (45.8)
2位	日 本 人 (35.4)	日本の社会・生活 (34.5)	日 本 人 (34.4)	日本の文化・芸術 (30.8)
3位	日本の文化・芸術 (26.3)	そ の 他 (26.8)	日本の文化・芸術 (25.7)	日 本 人 (29.7)

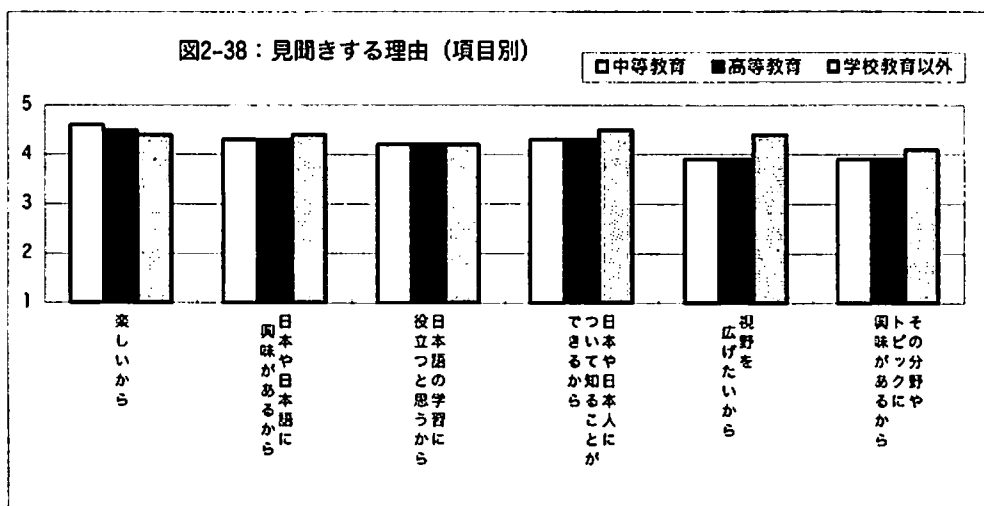


2-4-9. 見聞きする理由

内容が日本や日本語のものを見聞きする理由は、どの項目も4.0ポイント以上と高く、共通している(表2-21)。所属別では、「視野を広げたい」が学校教育以外で比較的高い(図2-38)。「その他」としては、中等教育では「(その内容が)好きだから」「おもしろいから」「英語の勉強のため」など、高等教育では「好きだから」「暇つぶし」「自分の興味のある分野と関連しているから」などであった。(学Q3-3)

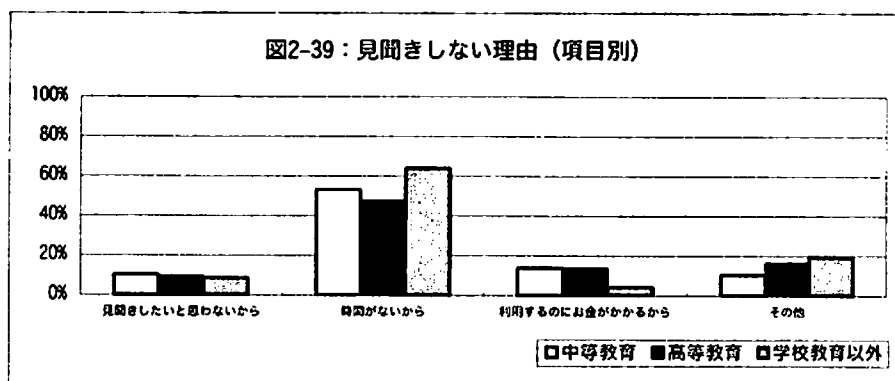
〈表2-21：見聞きする理由〉

理 由	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
楽しいから	4.6	4.6	4.5	4.4
日本や日本語に興味があるから	4.3	4.3	4.3	4.4
日本語の学習に役立つと思うから	4.2	4.2	4.2	4.2
日本や日本人について知ることができるから	4.3	4.3	4.3	4.5
視野を広げたいから	4.2	3.9	3.9	4.4
その分野やトピックに興味があるから	4.0	3.9	3.9	4.1



2-4-10. 見聞きしない理由

2-4-2 (p26, 参照) でみたように、内容が日本や日本語のものがあると認識しているが、それらを実際に見たり聞いたりしない学習者は8.9%で少なかった。なぜ見たり聞いたりしないのかその理由を聞いたところ、全体で「時間がないから」が51.7%と所属に関係なく共通して多かった(図2-39)。〈学Q3-4〉

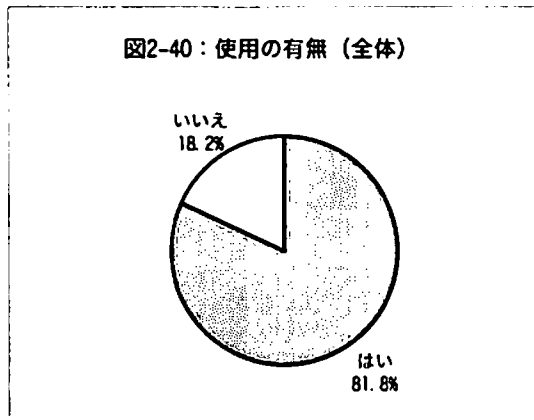


「その他」としては、中等教育では「つまらない」「教科書以外のものがない」「日本語の能力の不足」など、高等教育では「見たり聞いたりするものがない」「何がいいかわからない」「日本語能力や日本についての基礎知識の不足」「機会がない」など、学校教育以外では「知識・能力の不足」「見たり聞いたりするものがない」などが挙げられていた。

2-5. 授業時間外の教科書等の使用について

ここでは、学習者が現在使っている日本語の教科書や授業で教師から渡されるものを授業以外の時間にどのように利用しているのか等について、学習者に聞いた結果をまとめる。

2-5-1. 使用の有無



まず、学習者が現在使っている日本語の教科書や授業で教師から渡されるものを授業以外の時間にも何らかの形で利用しているかどうかについて聞いたところ、図2-40のように全体で4,582人(81.8%)の学習者が「はい」と答え、「いいえ」と答えた学習者は1,017人(18.2%)と少ない。所属による違いは、ほとんど見られない(表2-22)。(学Q4)

〈表2-22：使用の有無〉()内は%

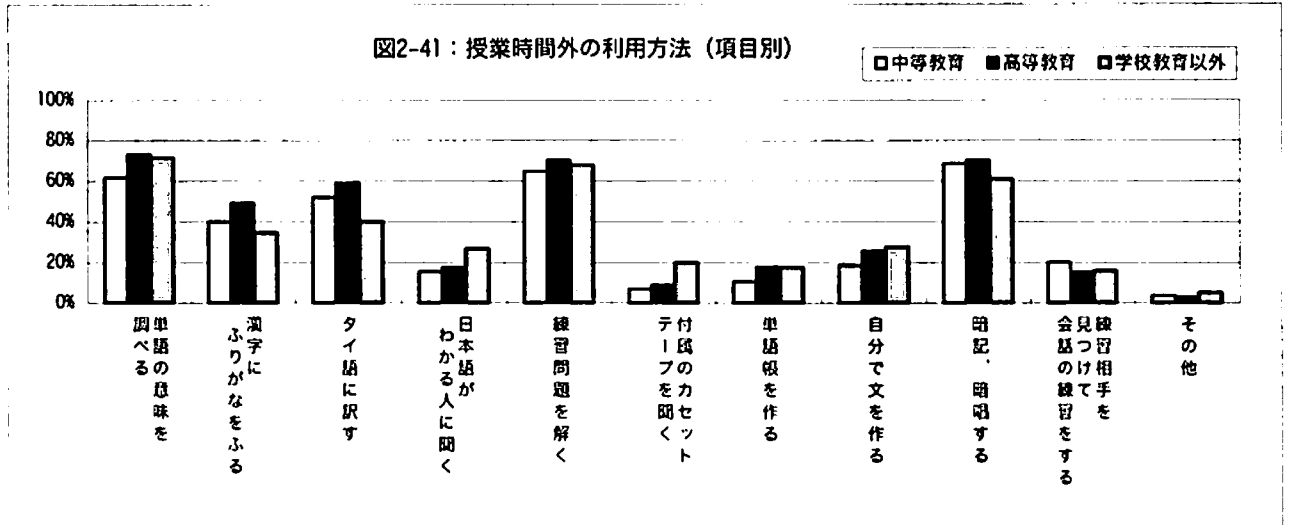
		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	はい	1,965 (77.0)	2,061 (85.4)	556 (87.7)	4,582 (81.8)
	いいえ	586 (23.0)	353 (14.6)	78 (12.3)	1,017 (18.2)
	無回答	159	145	16	320

2-5-2. 授業時間外の利用方法

2-5-1で利用していると答えた4,582人に対して、具体的にどのように利用しているのか、その方法について聞いたところ、表2-23のようになった。①「暗記、暗唱する」(68.3%)②「語句の意味を調べる」「練習問題を解く」(67.6%)が多く、所属別にみてもあまり違いはない(図2-41)。「その他」としては、「復習」「試験勉強」「書く練習(ひらがな、カタカナ、漢字など)」「読む練習」などが挙げられ、かなり多様な利用方法が見られる。(学Q4-1)

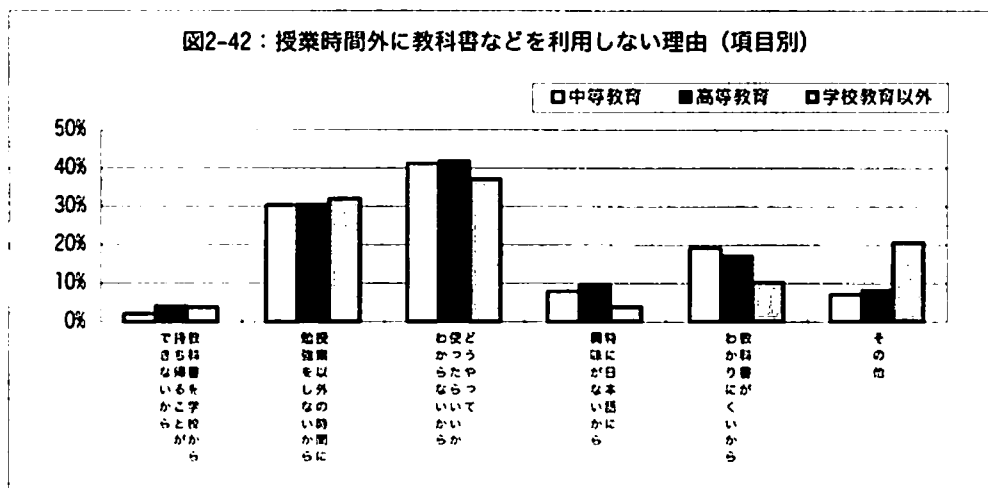
〈表2-23：授業時間外の利用方法〉()内は%

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	暗記・暗唱する (68.3)	暗記・暗唱する (68.4)	語句の意味を調べる (73.1)	語句の意味を調べる (71.5)
2位	語句の意味を調べる (67.9)	練習問題を解く (64.7)	練習問題を解く (70.2)	練習問題を解く (68.0)
3位	練習問題を解く (67.6)	語句の意味を調べる (61.6)	暗記・暗唱する (70.1)	暗記・暗唱する (60.9)



2-5-3. 授業時間外に教科書などを利用しない理由

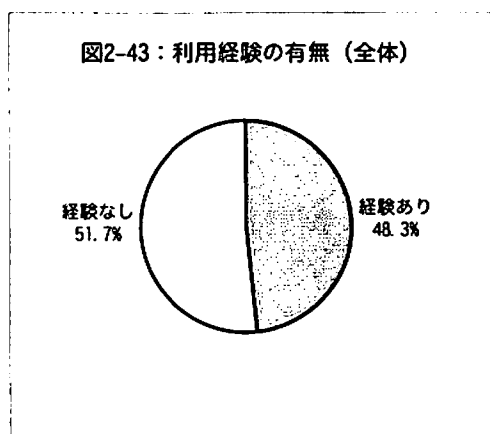
2-5-1で利用しないと答えた1,017人の学習者に対して、その理由を聞いたところ、全体で①「使い方がわからないから」が最も多く(41.1%)、続いて②「授業以外の時間に勉強をしないから」(30.5%)、③「教科書がわかりにくいから」(17.7%)の順に多かった。所属別にみてもあまり違いは見られない(図2-42)が、学校教育以外で「その他」が20.5%と他と比べて多い。「その他」としては、「授業時間以外に時間がない」が多く、「使う機会がない」「教科書が古すぎる・多すぎる」など教科書の内容に関するコメントもあった。(学Q4-2)



2-6. 利用経験のある機会や場所について

ここでは、学習者が授業以外の様々な日本語学習の機会や場所をどれぐらい利用しているのか等について、学習者に聞いた結果をまとめる。

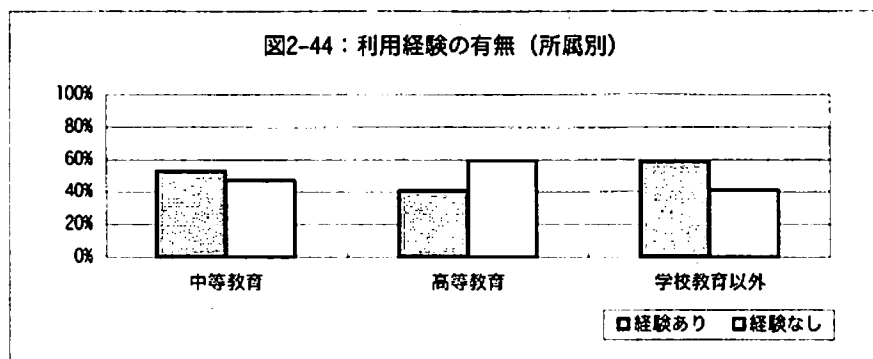
2-6-1. 利用経験の有無



まず、これまでに何らかの日本語学習に関する機会や場所を利用した経験があるかどうかについて聞いたところ、図2-43のように全体で2,622人(48.3%)の学習者が経験があり、「経験したことがない」と答えた学習者は2,804人(51.7%)となっている。所属別にみると、表2-24・図2-44のように高等教育では経験のない学習者の方が59.4%と多く、学校教育以外では経験のある学習者の方が59.0%と多い。(学Q5)

〈表 2-24：利用経験の有無〉()内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	経験あり	1,311 (52.8)	943 (40.6)	368 (59.0)	2,622 (48.3)
	経験なし	1,170 (47.2)	1,378 (59.4)	256 (41.0)	2,804 (51.7)
	無回答	229	238	26	493



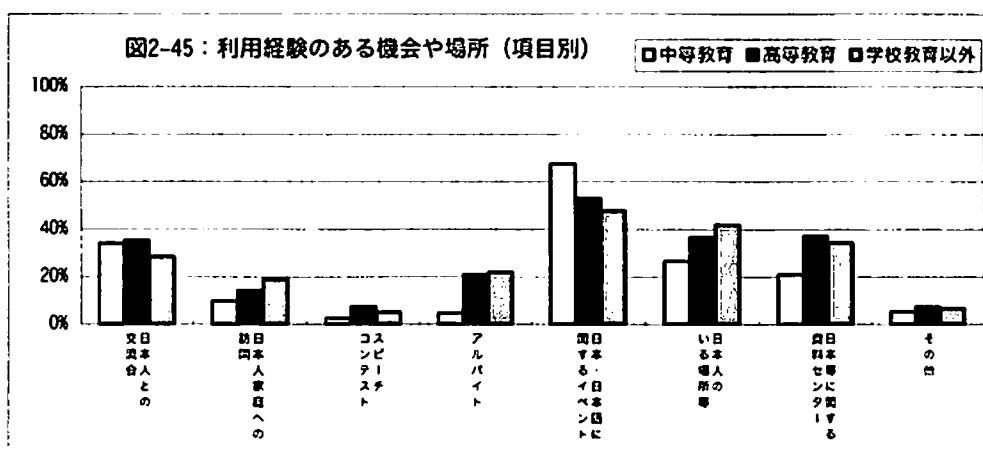
2-6-2. 利用経験のある機会や場所

利用経験のある学習者2,622人に対して、これまでに利用した経験のある機会や場所について聞いたところ、表2-25のように全体では①「日本・日本語に関するイベント」(59.5%)が最も多く、②「日本人との交流会」(33.8%)、③「日本人のいる場所、日本人が集まる場所」(32.3%)となっている。所属別では、

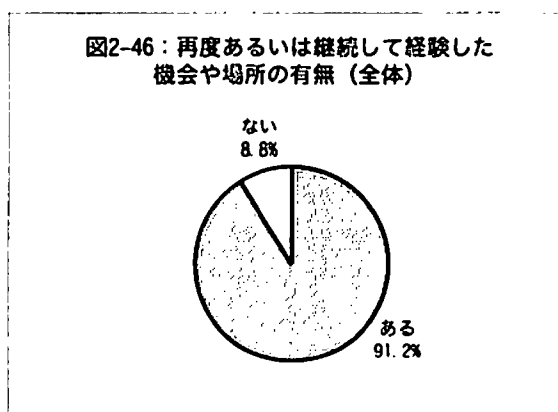
特に中等教育で「日本・日本語に関するイベント」が67.5%と他よりも多く、「日本語が使われている職場でのアルバイト」(4.7%),「日本人のいる場所,日本人が集まる場所」(26.6%),「日本・日本語に関する資料センター」(21.0%)の利用が少ない(図2-45)。(学Q5)

〈表 2-25：利用経験のある機会や場所〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本・日本語に関するイベント (59.5)	日本・日本語に関するイベント (67.5)	日本・日本語に関するイベント (53.0)	日本・日本語に関するイベント (47.8)
2位	日本人との交流会 (33.8)	日本人との交流会 (34.1)	日本・日本語に関する資料センター (37.1)	日本人のいる場所・日本人が集まる場所 (41.8)
3位	日本人のいる場所・日本人が集まる場所 (32.3)	日本人のいる場所・日本人が集まる場所 (26.6)	日本人のいる場所・日本人が集まる場所 (36.6)	日本・日本語に関する資料センター (34.5)



2-6-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無



利用した経験のあるものの中で、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したい機会や場所があるかどうかについて聞いたところ、全体で91.2%が「ある」と答え、所属に共通して多い。「ない」と答えた学習者は8.8%となっている(図2-46)。

(学Q5-1)

〈表 2-26：再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無〉（ ）内は%

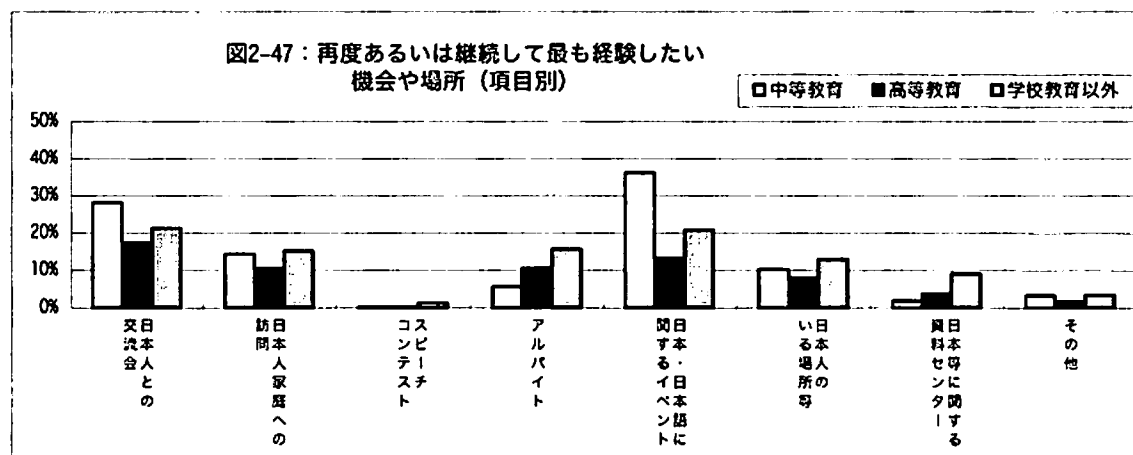
		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	ある	1,071 (88.1)	815 (93.2)	331 (96.5)	2,217 (91.2)
	ない	144 (11.9)	59 (6.8)	12 (3.5)	215 (8.8)
	無回答	96	69	25	190

2-6-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所

もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思う機会や場所の中で、最も経験したいものについて聞いたところ、表 2-27 のように全体では①「日本・日本語に関するイベント」(27.4%)と②「日本人との交流会」(26.4%)が多い。所属別にみると、図 2-47 のように中等教育で他よりもその傾向が強い。また、高等教育・学校教育以外で「日本語が使われている職場でのアルバイト」(10.7%・15.7%)が3位となっている。(学 Q5-1)

〈表 2-27：再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所〉（ ）内は%

順位	全 体	中 等 教 育	高 等 教 育	学 校 教 育 以 外
1 位	日本・日本語に関するイベント (27.4)	日本・日本語に関するイベント (36.2)	日本人との交流会 (17.4)	日本人との交流会 (21.3)
2 位	日本人との交流会 (26.4)	日本人との交流会 (28.1)	日本・日本語に関するイベント (13.3)	日本・日本語に関するイベント (20.9)
3 位	日本人家庭への訪問 (15.1)	日本人家庭への訪問 (14.3)	日本語が使われている職場でのアルバイト (10.7)	日本語が使われている職場でのアルバイト (15.7)



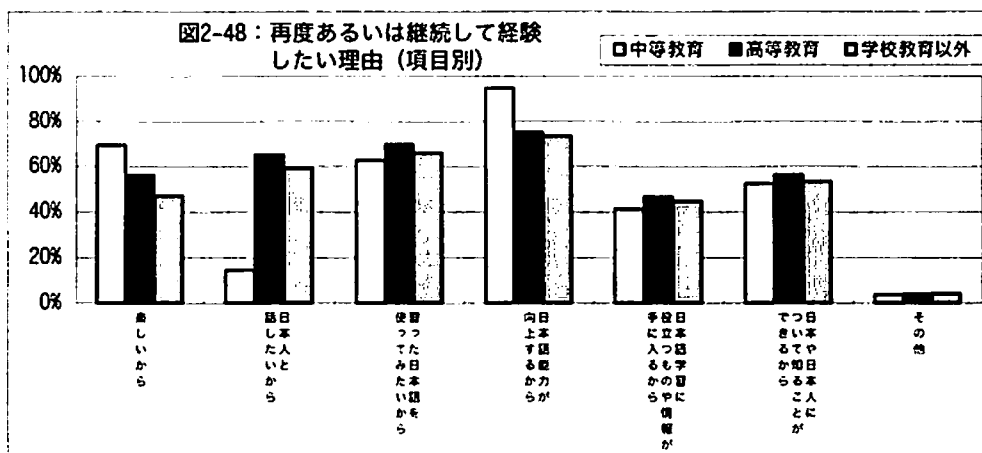
2-6-5. 再度あるいは継続して経験したい理由

再度あるいは継続して経験したい理由について聞いたところ、表 2-28 のように全体では①「日本語能力が向上するから」(84.4%)が最も多く、続いて②「習った日本語を使ってみたいから」(65.8%)③「楽しいから」(61.2%)となっている。所属別では、図 2-48 のように中等教育で「日本語能力が向上するから」

と答えた学習者が 94.8%と他に比べて多いが、逆に「日本人と話したいから」と答えた学習者は 14.5%と他に比べてかなり少ない。〈学 Q5-2〉

〈表 2-28：再度あるいは継続して経験したい理由〉（ ）内は%

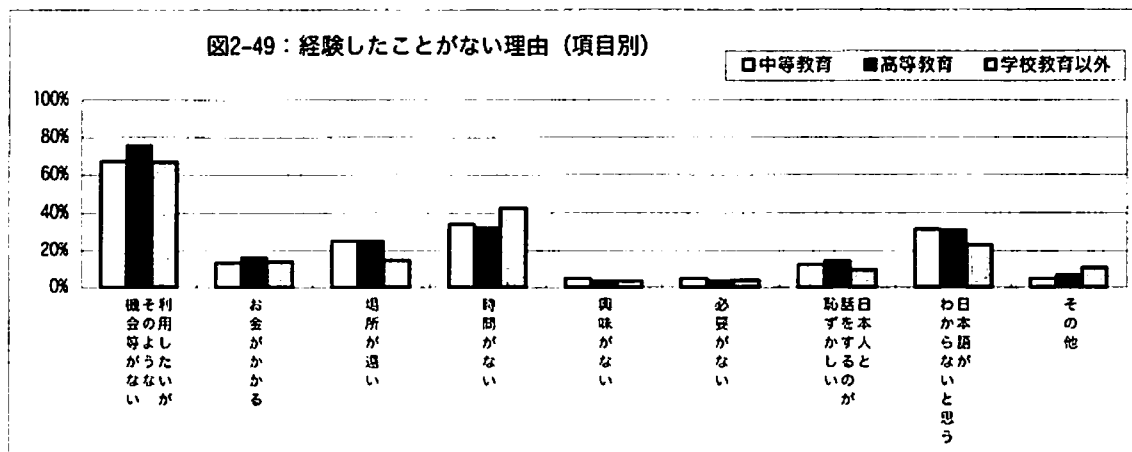
順位	全 体	中等教育	高等 教育	学校教育以外
1位	日本語能力が向上するから (84.4)	日本語能力が向上するから (94.8)	日本語能力が向上するから (75.2)	日本語能力が向上するから (73.6)
2位	習った日本語を使ってみみたいから (65.8)	楽しいから (69.5)	習った日本語を使ってみみたいから (69.9)	習った日本語を使ってみみたいから (66.0)
3位	楽しいから (61.2)	習った日本語を使ってみみたいから (62.7)	日本人と話したいから (65.3)	日本人と話したいから (59.3)



2-6-6. 経験したことがない理由

2-6-1で経験したことがない2,804人の学習者にその理由について聞いたところ、全体で①「利用したいと思うが、そのような機会や場所がないから」が所属に共通して最も多い(71.4%)。続いて②「時間がないから」(34.0%) ③「日本語がわからないと思うから」(30.4%) となっている(図2-49)。

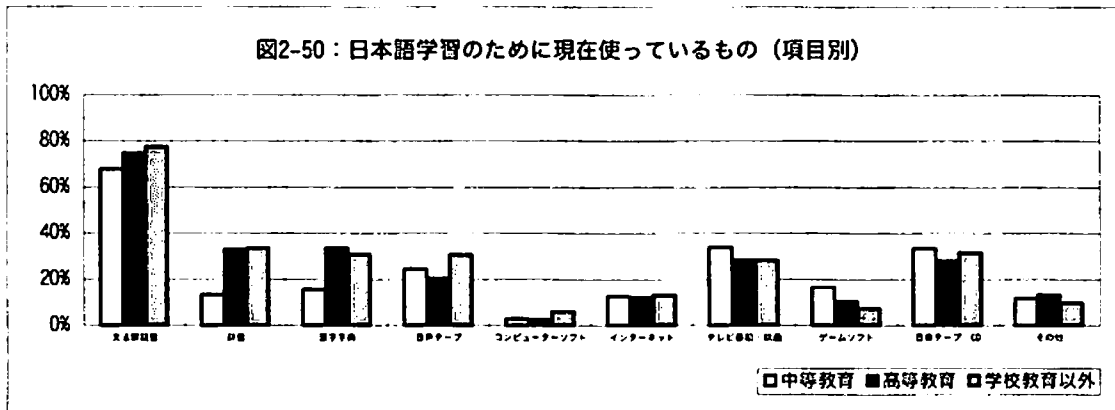
〈学 Q5-3〉



2-7. 日本語学習のために現在使っているものについて

ここでは、日本語学習のために現在どのようなものを使っているのかについて、学習者に聞いた結果をまとめます。

現在使っているものとして、全体的に①「文法解説書」(71.9%)が共通して最も多い。続く②「日本語のテレビ番組、日本の映画」・「日本語の歌の入った音楽テープ、CD」は30.9%となっている。所属別にみると、図2-50のように中等教育では「辞書」(13.4%)・「漢字字典」(15.6%)が他に比べて使われていない。(学Q6)



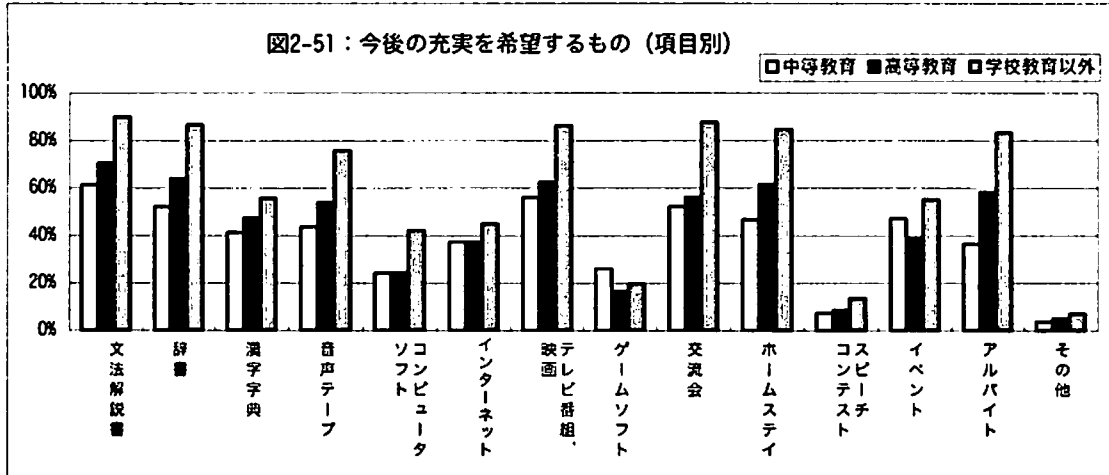
2-8. 今後の充実を希望するものについて

ここでは、日本語学習や日本理解のために、今後さらに充実を希望するものとしてどのようなものがあるのかについて、学習者に聞いた結果をまとめます。

今後の充実を希望するものとして、全体として①「文法解説書」(67.6%) ②「日本語のテレビ番組、日本の映画」(61.3%) ③「辞書」(60.1%) ④「日本人との交流会」(56.9%) ⑤「日本人家庭への訪問、ホームステイ」(56.3%)の順に高い(表2-29)。所属別にみても、図2-51のように同様の傾向となっているが、特に学校教育以外ではその希望が他よりも強い。また、学校教育以外では「その他」にも「日本語を使うアルバイト」(83.3%)・「日本語学習のための音声テープ」(75.7%)なども多く挙げられている。「その他」としては、「日本への留学の機会、日本人との交流プロジェクト、日本人の友人・知り合い、歌、日本人との会話、マンガ、日本人の先生」などが多く挙げられた。(学Q7)

〈表 2-29：今後の充実を希望するもの〉（ ）内は%

順位	全 体	中 等 教 育	高 等 教 育	学 校 教 育 以 外
1 位	文法解説書 (67.6)	文法解説書 (61.3)	文法解説書 (70.6)	文法解説書 (90.0)
2 位	日本語のテレビ番組・映画 (61.3)	日本語のテレビ番組・映画 (56.0)	辞 書 (64.0)	日本人との交流会 (87.8)
3 位	辞 書 (60.1)	日本人との交流会 (52.3)	日本語のテレビ番組・映画 (62.5)	辞 書 (86.6)



第3章 集計結果：教師

3. 概要と要約

本章では、「教師」の集計結果について報告する。本章の構成は、8節からなるが、第2章と同様に具体的な結果を報告する前に、ここでまず各節で取り上げる調査内容とその結果を要約してまとめ、本章全体の概要がわかるように示してある。各節の詳細については、3-1以降の各節を参照されたい。なお、各節の集計結果が、実際に使用した調査票（巻末資料）の中のどの項目に対応するかわかるように、各節の最後に項目番号を入れた。例えば、「〈教F1〉」は「教師用調査票の項目番号F1」を示す。

集計結果は以下の2つの観点でまとめている。

- (1) 国籍別：3-1-2 (p.45, 参照) で国籍はタイと日本に明確に分かれたことから、「タイ人教師」と「日本人教師」の2つに区分して比較・集計した。
- (2) 所属別：1-9 (p.4, 参照) で述べたように、本報告書では「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の3つに区分して比較・集計した。

本調査における教師の所属別有効回答数とその内訳は表3-1のとおりである。特に中等教育の日本人教師が8人と少ないため、3-1以降のデータの解釈には注意を要する。

〈表3-1：回答者数・内訳〉（ ）内は%

	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	50 (24.5)	93 (45.6)	61 (29.9)	204 (100)
〈内訳〉				
タイ人教師	42 (84.0)	44 (47.3)	27 (44.3)	113 (55.4)
日本人教師	8 (16.0)	49 (52.7)	34 (55.7)	91 (44.6)

(要約)：3-1. 教師について

- ・性別：女性 73.4% > 男性 26.6%
- ・国籍
「タイ」と「日本」のみ。所属別では、中等教育で日本人教師が8人(16.0%)と少ないのに対して、高等教育・学校教育以外ではほぼ半々。
- ・年齢
タイ人教師は30・40代(79.7%)が多い。所属別では、中等教育で40代(57.1%)、高等教育・学校教育以外で30代(43.2%・44.4%)が多い。日本人教師は共通して20・30代(71.5%)が多い。
- ・母語：タイ人教師「タイ語」98.2%、日本人教師「日本語」100%
- ・日本語学習歴(タイ人教師対象)
全体的に4~6年が44.4%と最も多い。学習歴が1年未満で教えている教師も10.2%いる。
- ・訪日経験の有無(タイ人教師対象)：全体で95.5%と所属に共通して多い。
- ・訪日目的(タイ人教師対象)
中等教育「日本語教育研修」(64.1%)・「語学研修」(43.6%)、高等教育・学校教育以外「留学」(69.2%・74.1%)が多い。

・日本語教育経験

タイ人教師は「中堅（3～20年未満）」が共通して多い。高等教育では「ベテラン（20年以上）」が23.8%と多くなっている。日本人教師は所属に共通して「初任（3年以下）」と「中堅」が半々で、「ベテラン」は0%。

・日本語以外の教育経験

タイ人教師は「ある」（50.5%）「ない」（49.5%）と半々で、所属別では中等教育で81.0%が経験しているのに対して、高等教育・学校教育以外では33.3%・29.6%と少ない。日本人教師は「ある」（34.1%）「ない」（65.9%）で、経験がない人の方が多い。

・日本語以外の専門領域の有無

タイ人教師は中等教育で「はい」が57.1%と比較的多い。日本人教師は「はい」が中等教育で62.5%と高く、逆に高等教育では32.7%と少ない。

・4技能別自己評価（タイ人教師）

読むこと

中等教育「簡単な文章ならだいたい理解できる」（81.0%）、高等教育・学校教育以外「新聞や雑誌、専門書などがほぼ問題なく理解できる」（54.5%・88.9%）が最も多い。

書くこと

中等教育・高等教育「一般的な手紙を書くことができる」（50.0%・52.3%）、学校教育以外「レポートや企画書などが書ける」（66.7%）が最も多い。

聞くこと

中等教育「会話の中で相手の考えや意見をだいたい理解することができる」（71.4%）が最も多く、高等教育「会話の中で相手の考えや意見をだいたい理解することができる」（50.0%）、学校教育以外「テレビニュース、学校の講義など一方的に話される、まとまった話がほぼ理解できる」（53.8%）が比較的多い。

話すこと

中等教育「会話の中で意見や考えを伝えることができる」（45.2%）が比較的多く、高等教育・学校教育以外「人前で論理的にまとまった話をするすることができる」（50.0%・73.1%）が最も多い。

・日本語教育に関する研修経験の有無

タイ人教師「ある」72.7%、「ない」27.3%、日本人教師「ある」66.7%、「ない」33.3%。所属別では、タイ人教師は中等教育が90.2%と多く、日本人教師は学校教育以外が80.6%と多い。

・研修経験の回数：所属に共通してタイ人教師54.0%、日本人教師77.6%で「1～3回」程度が多い。

〔要約〕：3-2. 授業について

・授業で使うもの

全体では「市販の教科書」「生教材」「プリント教材（市販）」「プリント教材（自作）」が多い。国籍別では、タイ人教師が「市販の教科書」（95.5%）、日本人教師は「プリント教材（自作）」（94.4%）が最も多い。また、タイ人教師は日本人教師に比べると「ビデオ（市販）」を多用し、日本人教師は「音声テープ（自作）」を37.1%が使っている。

・使用生教材

「写真」「雑誌」が共通して多い。国籍別では、タイ人教師「ビデオ」（56.5%）、日本人教師「新聞記事」（58.9%）が比較的多い。所属別では、タイ人教師は中等教育で「写真」（79.4%）「本」（70.6%）「音声テープ」（55.9%）「マンガ」（44.1%）が比較的多く、「新聞記事」は8.8%と少ない。高等教育では「インターネット」が30.0%で比較的良好に使われている。日本人教師は中等教育で「写真」（85.7%）「音声テープ」（71.4%）が比較的多く使われているが、「雑誌」が42.9%と比較的低く、「インターネット」は

0%。高等教育では「テレビ番組」(40.5%)「ビデオ」(48.6%)「マンガ」(40.5%)が比較的多い。「その他」では、「広告、チラシ、手紙、葉書、年賀状、メニュー」など。

・生教材を使う理由

国籍・所属に共通して①「学習者の興味・関心をひくため」(88.5%)②「日本の事物や文化に触れさせるため」(77.1%)③「学習者に本物の日本語に触れさせるため」(67.5%)。「その他」として「学習者の理解の手助け」「新しい情報やものを与えるため」「授業を楽しくするため」など。

・使用自作教材

国籍・所属に共通して①「練習問題などのプリント」(88.1%)②「フラッシュカード(絵カード・文字カードなど)」(74.6%)③「活動用補助シート(タスクシート・ロールカードなど)」(66.5%)。

・使用機材

全体的に①「テープレコーダー」(91.4%)②「ビデオ」(77.0%)が多い。所属別でみると、高等教育でタイ人教師が「OHP」を63.4%、日本人教師が61.4%と比較的多用している。

・授業での日本語使用の程度(タイ人教師対象)

全体的に「挨拶程度」「例文や本文を読む」「指示を出す」程度で、「全て日本語」は少ない。

・授業準備の際に利用するもの

全体的に①「教科書」(89.4%)②「辞書」(76.4%)が多い。

国籍別では、日本人教師が「教科書に付随した指導書」(68.9%)「他のタイ人教師」(47.8%)「他の日本人教師」(72.2%)「前回の教案」(56.7%)、タイ人教師は「参加した研修会での資料等」(40.4%)を比較的に利用している。所属別に見ると、タイ人教師は中等教育で「教科書に付随した指導書」(73.2%)「参考書」(78.0%)「音声テープ」(80.5%)「研修会での資料等」(58.5%)が比較的多く、「インターネット」は4.9%と少ない。高等教育では比較的に「その他」(69.0%)が多く、「他の日本人教師」(11.9%)が少ない。学校教育以外では、「他の日本人教師」(69.7%)が比較的多い。

日本人教師は、中等教育で「前回の教案」(75.0%)が比較的多く、「音声テープ」(25.0%)「ビデオ」(25.0%)「他の日本人教師」(37.5%)が少なく、「テレビ番組」「インターネット」は0%。高等教育・学校教育以外では「他の日本人教師」(79.6%・69.7%)が多く、学校教育以外では「教科書に付随した指導書」(81.8%)が比較的多い。所属別に日本人教師とタイ人教師を比較すると、中等教育でタイ人教師の「参考書」「音声テープ」「ビデオ」「辞書」「参加した研修会での資料等」の利用が日本人教師に比べて高い。高等教育ではタイ教師の「教科書に付随した指導書」「参考書」「他のタイ人教師」「他の日本人教師」の利用が日本人教師に比べて低い。学校教育以外ではタイ人教師の「教科書」「教科書に付随した指導書」「前回の教案」の利用が日本人教師に比べて低い。

・教師として重視する能力

タイ人教師が①「日本語の知識」②「日本語教育能力」、日本人教師が①「日本語教育能力」②「クラスマネジメント」を重視。「その他」として、「教材作成能力」「学習者の言語や文化を理解する力」「学習者に対する理解」「人柄」「学生とのコミュニケーション」「気力、体力」「教員同士の助け合い」「パソコンの使用能力」「教授計画を立てる」「次回への反省会」「普通の人(生活者)であること」「世界情勢」「優しさ」「経験」「やる気」「視野の広さ」など。

・教師の資質・能力の向上のために充実を希望するもの

ほとんどの項目について全体的に日本人教師よりもタイ人教師の希望が高い。共通して「辞書」(タイ人教師79.8%・日本人教師62.5%)の希望が高い。「その他」の希望として挙げられたものは、大きく(1)物(2)人(3)雇用条件や政策等に分類できる。

・充実を希望する「文法解説書」のレベル

日本人教師もタイ人教師も「中級レベル」の希望が高い。所属別では、中等教育で日本人教師・タイ人教師ともに「初級レベル」の希望が高く、高等教育・学校教育以外では「上級レベル」の希望が高い。

- ・充実を希望する「辞書」の種類：所属に共通してタイ人教師の「日タイ辞典」の希望（96.4%）が高い。
- ・充実を希望する「漢字字典」の使用言語
「タイ語版」の希望が国籍に共通して高い。所属別にみると、特に中等教育での「タイ語版」の希望が高く、逆に学校教育以外でのタイ人教師は「日本語版」字典の希望（76.5%）も高い。
- ・充実を希望する「音声テープ」の使用言語
国籍に共通して「日本語版」の希望が高く、特にタイ人教師（94.4%）が高い。所属別にみると、日本人教師は中等教育で「タイ語版」の希望（60.0%）が比較的高い。
- ・充実を希望する「コンピューターソフト」の使用言語
所属に共通して、タイ人教師は「日本語版」（89.2%）を希望し、日本人教師は言語による希望に大きな差はない。
- ・教師の資質・能力を向上させるために役立つもの
どの項目についても全体的に高いが、「教育経験を積む」はタイ人教師の方が比較的高く、「自分の授業を見てもらう」は日本人教師の方が比較的高い。「その他」としては国籍・所属別に特徴がみられた。
- ・実際に経験したもの
国籍に共通して①「他の教師と話す」②「研修会や勉強会に出席する」「参考書や専門書で勉強する」が高く、「テーマを決めて研究する」は低い。全項目で日本人教師の方がタイ人教師に比べて高く、特に「他の教師の授業を見学する」「自分の授業を見てもらう」で顕著。
所属別にみると、学校教育以外のタイ人教師は「他の教師の授業を見学する」（100%）「自分の授業を見てもらう」（55.0%）「テーマを決めて研究する」（40.0%）が比較的多い。日本人教師は、中等教育で「研修会や勉強会に出席する」（62.5%）「テーマを決めて研究する」（12.5%）が比較的低く、学校教育以外で「教育経験を積む」（85.7%）が比較的高い。一つも経験したことがない教師は17.2%で、理由はタイ人教師「研修会等の機会がないから」、日本人教師「現在の職場では問題がないから」が多い。
- ・コンピューターを利用してできること
タイ人教師①「タイ語用ワープロソフトによる文書作成（81.2%）②「日本語用ワープロソフトによる文書作成」（77.2%）、日本人教師①「日本語用ワープロソフトによる文書作成」（97.2%）②「電子メールの送受信」（90.8%）。日本人教師は「タイ語用ソフトによる文書作成」（28.7%）は低い。共通して「ホームページの作成」「コンピューターを使って教える教材の作成」は低い。
- ・日本語教育のためのコンピューター利用の必要性：全体的に高い。

（要約）：3-3. 日本語を使っているやりとりについて（以下、タイ人教師対象）

- ・日本語の授業以外での日本語でのやりとりの有無：全体で「ある」101人（91%）、「ない」10人（9%）
- ・やりとりの相手
共通して①「日本語の教師」（88人）②「知り合い」（61人）が多い。「その他」として「友達（日本人の友達、学生時代の友達、一緒に日本語を勉強している友達）」「日本人ボランティア」「大学に用事があつてきた人」「大学の日本人学生」「教えに来た人の通訳」「観光客」「日本にいる先生」など。
- ・最もやりとりをする相手
全体的に①「日本語の教師」（47.8%）②「知り合い」（22.4%）の順に多い。
- ・相手の国籍：「日本人」が73.7%で多く、所属による差はあまりない。
- ・相手の性別：全体的には81.1%と女性が多いが、学校教育以外では男性も65.2%いる。
- ・やりとりをするようになった頃の日本語力
中等教育が「日常会話程度できた」（55.9%）、高等教育・学校教育以外では「かなりできた」（47.6%・65.2%）が最も多い。

- ・やりとりの頻度
中等教育「週1回」(32.4%)、高等教育「毎日」(35.7%)、学校教育以外「週2,3回」(41.7%)が最も多い。
- ・やりとりの手段：共通して直接相手と「会って話す」(80.2%)が多い。
- ・日本語を使用する割合
中等教育「主に日本語」(41.2%)、高等教育・学校教育以外「全部日本語」(66.7%・66.7%)が多い。
- ・話す内容
共通して①「生活について」(69.4%)、②「仕事について」(58.2%)、③「日本語について」(44.9%)の順に多い。
- ・やりとりをする理由
どの項目についても高いが、「日本語能力向上や維持のため」は共通して最も高く、「日本語が最もわかりあえる言葉だから」は比較的低い。所属別では、高等教育で「日本語を使うのは楽しいから」「日本語の母語話者と話したいから」、学校教育以外で「仕事として義務付けられているから」が比較的低い。「その他」として「相手が日本人だから」「会話の練習」「もっと友人が欲しいから」など。
- ・授業以外で日本語を使わない理由：「日本語を使う相手がいない」

(要約)：3-4. 日本語が使われているものとの接触について

- ・身の回りでの見聞きの有無：「はい」106人(97.2%)。所属による差はない。
- ・日本語の授業以外での見聞きの有無：「はい」99.1%
- ・見聞きするもの
全体的に「本」(72.1%)が共通して多いが、中等教育では「音声テープ」(78.9%)が最も多く、「新聞」「コンピューター」が比較的低い。高等教育では「テレビ放送」(62.5%)が比較的多く、学校教育以外では「雑誌」(80.8%)が最も多い。
- ・最も見聞きするもの
「本」(32.5%)が共通して最も高い。所属別にみると、中等教育のみ「音声テープ」(16.7%)が高く、「新聞」は0%となっている。高等教育では「ビデオ・VCD」(2.5%)が低い。学校教育以外では「コンピューター」(26.3%)が高く、「テレビ放送」は0%。
- ・見聞きする頻度
中等教育が「週1回」(33.3%)・「週2,3回」(30.8%)、高等教育が「毎日」(40.0%)、学校教育以外が「毎日」(43.5%)・「月2,3回」(34.8%)が多い。
- ・見聞きするものの所有者：共通して「自分」(60.8%)が最も多い。
- ・見聞きするものの内容
「日本語」(54.9%)が共通して高い。所属別にみると、中等教育・学校教育以外は「社会・生活」(66.7%・60.9%)が最も高いが、高等教育は10.0%と低い。中等教育では「日本語学習」(41.0%)「日本」(53.8%)、高等教育では「文化・芸術」(42.5%)、学校教育以外では「科学技術」(30.4%)が比較的高い。
- ・見聞きする理由
どの項目についても共通して高い。中等教育で「日本語の力を試してみたいから」、学校教育以外で「様々な情報が得られるから」「日本や日本人について知ることができるから」が比較的高い。「その他」としては、「仕事」「今の仕事に関して興味がある日本語の本だから」「聞く能力を向上させるため」「円滑に会話できるように」「翻訳の仕事ができるから」「任務」「ストレス発散」など。

(要約)：3-5. 内容が日本や日本語のものとの接触について

- ・身の回りで内容が日本や日本語のもの(タイ語や英語によるものでも可)の有無:「ある」106人(97.2%)
- ・実際に見聞きした経験の有無:「ある」105人(99.1%)
- ・見聞きするもの
 - ①「テレビ放送」(74.8%) ②「雑誌」(70.9%) ③「本」(68.9%)が多い。所属別にみると、中等教育で「ビデオ・VCD」(70.0%)「音声テープ」(42.5%)が比較的多く、学校教育以外では「本」(45.5%)「ラジオ」(34.0%)が比較的低い。
- ・最もよく見聞きするもの
 - 全体では①「テレビ放送」(32.1%) ②「本」(23.1%) ③「雑誌」(16.7%)。所属別にみると、中等教育のみ「音声テープ」(9.7%)が挙げられ、「新聞」(3.2%)が低い。高等教育では「雑誌」(7.3%)が比較的低い。学校教育以外では「新聞」が26.7%と高い。
- ・見聞きするものの言語:「タイ語」が80.2%。「その他」としてはすべて「英語」。
- ・見聞きする頻度
 - 所属によって分散している。学校教育以外は「週2,3回」36.8%、「毎日」31.6%で比較的高い。
- ・見聞きするものの所有者:「自分」が66.7%で共通して高い。
- ・見聞きするものの内容
 - 共通して①「日本の社会・生活」(72.0%) ②「日本の文化・芸術」(62.0%) ③「日本人」(42.0%)の順に多い。
- ・見聞きする理由:どの項目も「全くそう思う」で共通している。

(要約)：3-6. 利用経験のある機会や場所について

- ・日本語学習に関する機会や場所の利用経験の有無:「ある」106人(96.4%)、「ない」4人(3.6%)
- ・利用経験のある機会や場所
 - ①「日本・日本語に関する資料センター」(84.0%) ②「日本人家庭への訪問」(74.5%) ③「日本・日本語に関するイベント」(73.6%)。所属別では、学校教育以外で「日本語が使われている職場でのアルバイト」が80.0%で最も多い。
- ・再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無:「ある」98.0%で所属に共通して多い。
- ・最も経験したいもの
 - ①「日本・日本語に関する資料センター」(26.4%) ②「日本人家庭への訪問」(20.8%)が多い。所属別では、中等教育で「日本・日本語に関する資料センター」(30.4%)「日本人家庭への訪問」(26.1%)が比較的多い。高等教育では「日本人家庭への訪問」は8.1%、「日本人のいる場所・日本人が集まる場所」は0%である。学校教育以外では「日本語が使われている職場でのアルバイト」(30.0%)が最も多い。
- ・再度あるいは継続して経験したい理由
 - ①「日本語学習に役立つものや情報が手に入るから」(75.8%) ②「日本語能力が向上するから」(74.7%) ③「日本や日本人について知ることができるから」(67.7%)。

(要約)：3-7. 日本語学習のために現在使っているものについて

- ・共通して①文法解説書(88.0%) ②辞書(81.5%) ③漢字字典(79.6%)の順に多く、コンピューター関係は低い。所属別にみると、中等教育では「日本語学習のための音声テープ」「日本語の歌の入った音楽テープ」が比較的多く使われている。

〔要約〕：3-8. 今後の充実を希望するものについて

・「日本語を使ったゲームソフト」「日本語のスピーチコンテスト」以外は、共通してすべて希望が高い。所属別にみると、中等教育では「日本語学習のためのコンピューターソフト」(73.8%)が比較的高く、「日本語を使うアルバイト」(40.5%)が低い。

3-1. 教師について

ここでは、本調査に回答した教師の性別、国籍、年齢、母語、日本語学習歴、訪日経験とその目的、日本語教育経験、専門領域、日本語力、日本語教育動機、研修歴等の基礎的情報について聞いた結果を報告する。

3-1-1. 性別

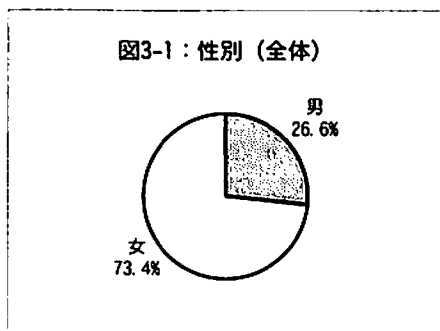
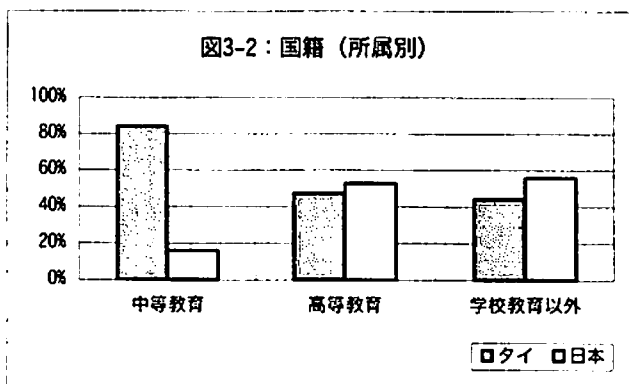


図 3-1 のように、全体的に女性教師が 73.4%で、所属・国籍に共通して多い。(教 F1)

〈表 3-2：性別〉

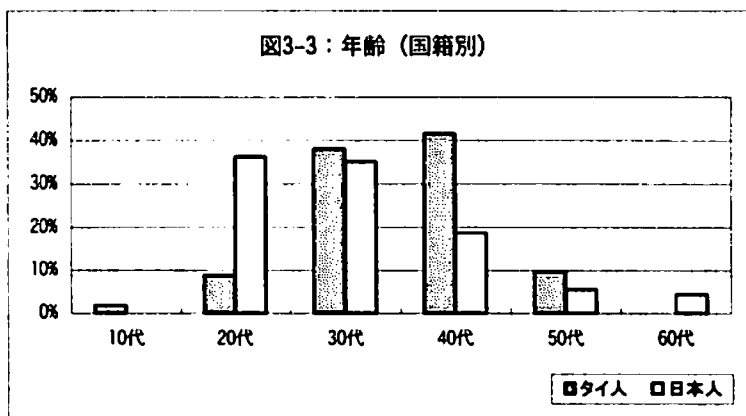
性別	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
男	6 (12.8)	25 (27.5)	22 (36.1)	53 (26.6)
女	41 (87.2)	66 (72.5)	39 (63.9)	146 (73.4)

3-1-2. 国籍

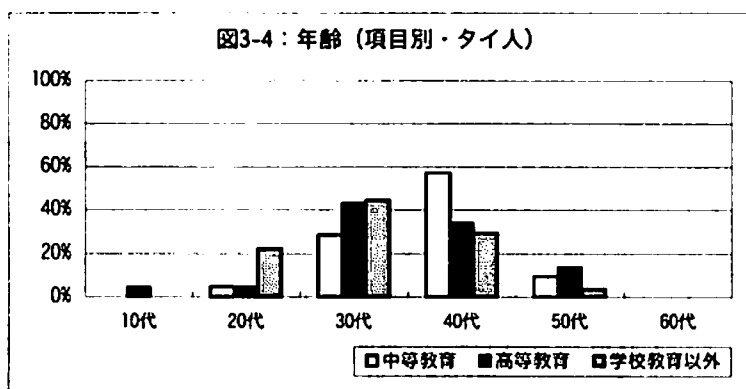


回答した教師の国籍は、「タイ」と「日本」のみであった。そこで、次節以降は「タイ人教師」と「日本人教師」という枠組みで比較・集計する。所属別では、図 3-2 のように中等教育では日本人教師が 8 人 (16.0%) と少ないのに対して、高等教育・学校教育以外ではほぼ半々となっている。(教 F2)

3-1-3. 年 齢



年齢は、図3-3のように全体としてタイ人教師は30・40代(79.7%)が多い。日本人教師は所属に共通して20・30代(71.5%)が多い。(F3)



タイ人教師は所属別で見ると、図3-4のように中等教育では40代(57.1%)、高等教育・学校教育以外では30代(43.2%・44.4%)が多い。

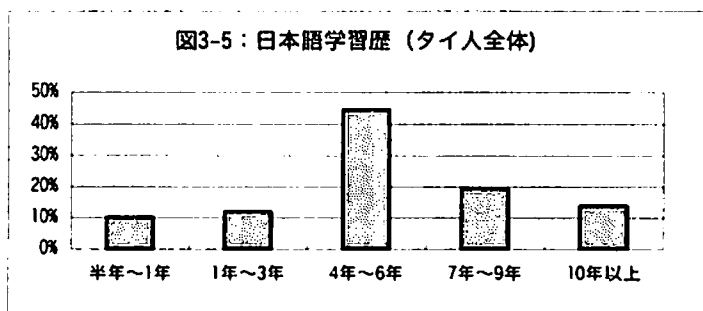
3-1-4. 母 語

教師の母語は、表3-3のようにタイ人教師が「タイ語」で98.2%、日本人教師は100%「日本語」となっている。(教F4)

〈表3-3：母語〉()内は%

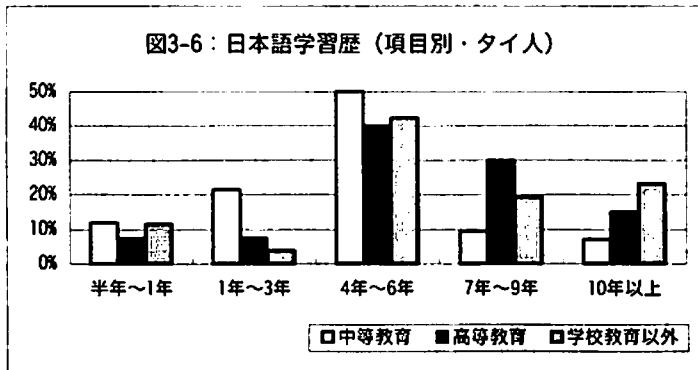
	母 語	タイ人	日本人	合 計
回答者数	タイ語	111 (98.2)	0 (0)	111 (54.7)
	日本語	2 (1.8)	90 (100)	92 (45.3)

3-1-5. 日本語学習歴



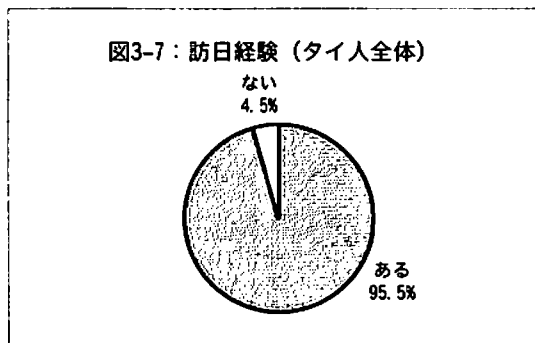
日本語学習歴についてタイ人教師に聞いたところ、全体的に4～6年が44.4%と最も多い(図3-5)。

〈教F5〉



所属別にみると、共通して4～6年が多いが、中等教育に比べて高等教育・学校教育以外の教師の方が学習歴が長い傾向にある。逆に、学習歴が1年未満で教えている教師も約10.2%いる（図3-6）。

3-1-6. 訪日経験

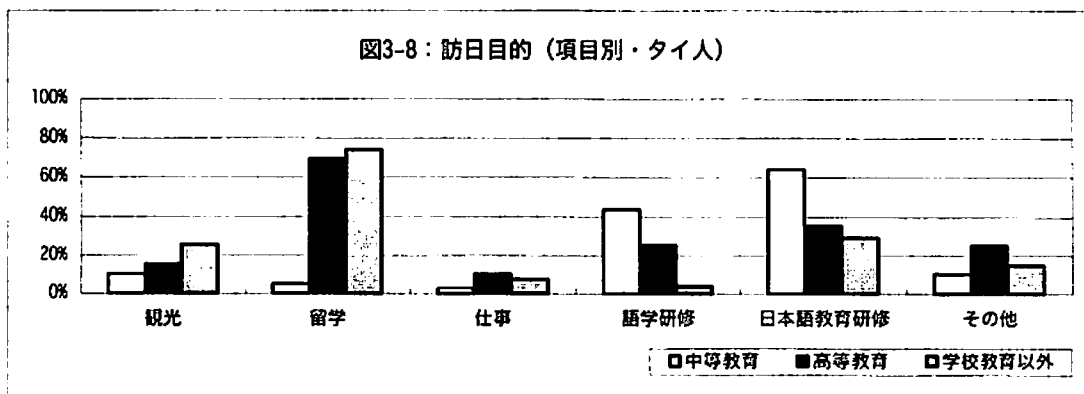


訪日経験の有無についてタイ人教師に聞いたところ、図3-7のように全体で95.5%と所属に共通して多い。（教F6）

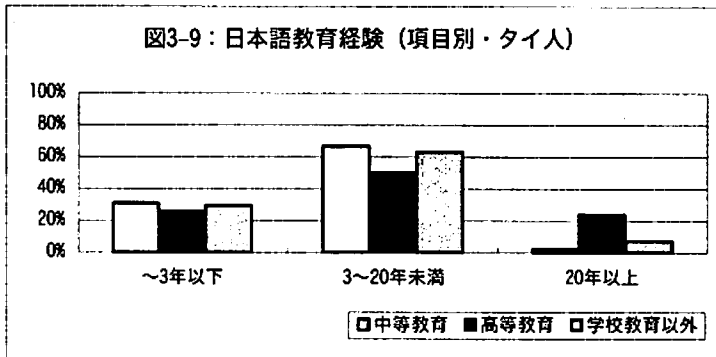
3-1-7. 訪日目的

訪日目的は、図3-8のように中等教育が「日本語教育研修」（64.1%）・「語学研修」（43.6%）が多いのに対して、高等教育・学校教育以外では「留学」（69.2%・74.1%）が多い。「その他」としては、中等教育では「生徒の引率」「研究」「交流プログラムへの参加」など、高等教育では「学位取得」「会議」「学会発表」「研究」「学生の引率」など、学校教育以外では「観光に関する研修」「研究」などが挙げられた。

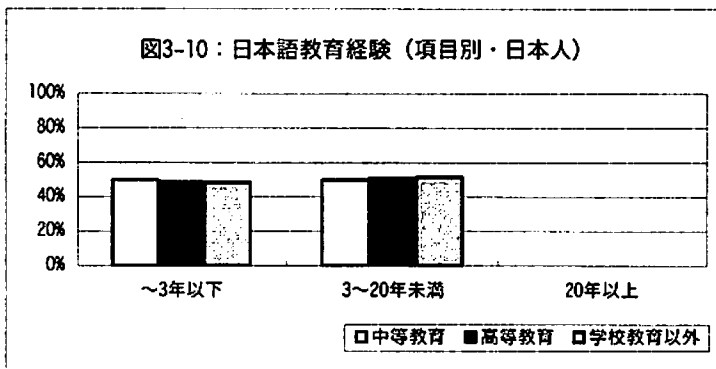
（教F6）



3-1-8. 日本語教育経験

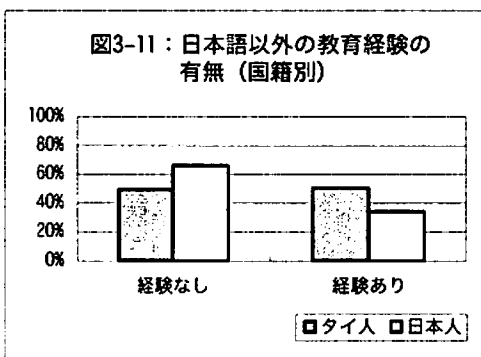


日本語教育経験について聞いたところ、図3-9のようにタイ人教師は「中堅（3～20年未満）」が66.7・50.0・63.0%と多く、高等教育では「ベテラン（20年以上）」が23.8%と比較的多い。（教F7）



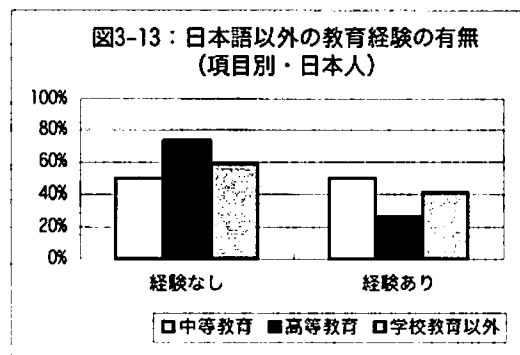
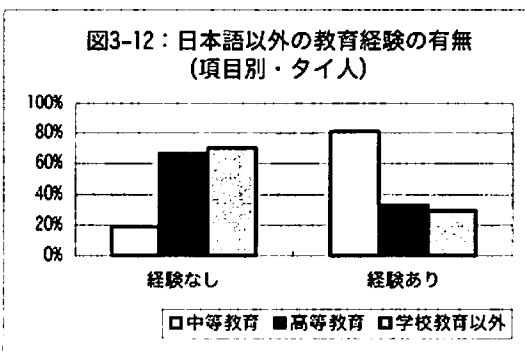
日本人教師は、図3-10のように所属に共通して「初任（3年以下）」と「中堅」が半々で、「ベテラン」が0%でいない。

3-1-9. 日本語以外の教育経験の有無



日本語以外の教育経験について聞いたところ、図3-11のようにタイ人教師は「ある」（50.5%）「ない」（49.5%）と半々で、日本人教師は「ある」（34.1%）「ない」（65.9%）で、経験がない人の方が多い。（教F8）

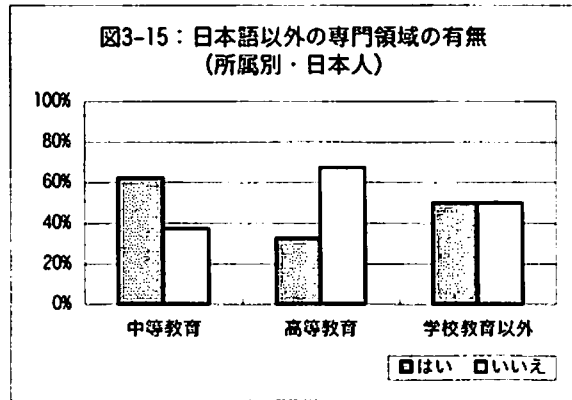
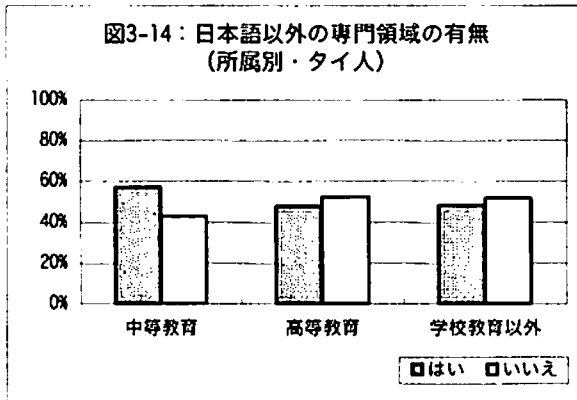
所属別では、図3-12のようにタイ人教師は中等教育で81.0%が経験しているのに対して、高等教育・学校教育以外では33.3%・29.6%と少ない。日本人教師は、図3-13のように高等教育で経験者が26.5%と比較的少ない。



3-1-10. 日本語以外の専門領域

日本語以外の専門領域があるかどうかについて聞いたところ、図3-14のようにタイ人教師は中等教育で「はい」が57.1%と比較的多い。日本人教師は、図3-15のように「はい」が中等教育で62.5%と高く、高等教育では32.7%と少ない。(教F9)

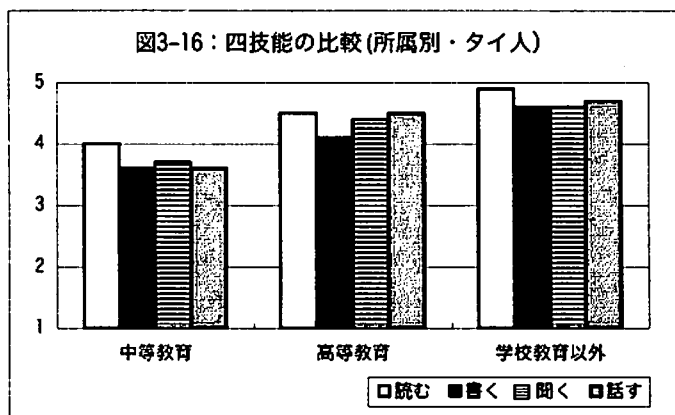
日本語以外の具体的な領域については表3-4のようになった。



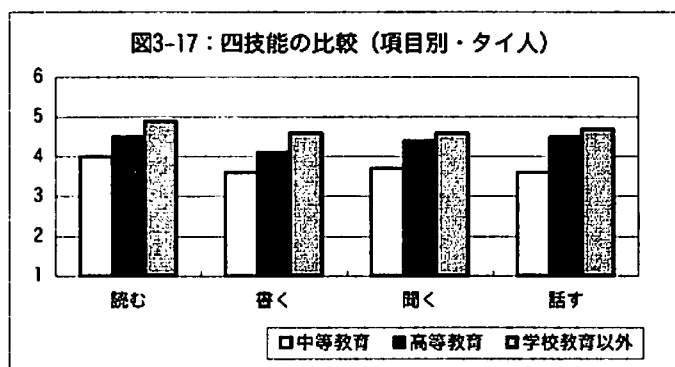
〈表3-4：日本語以外の専門領域(所屬別)〉()内は人数

タイ人	日本人
中等教育	
英語(15) 中国語, フランス語(2) 朝鮮語, 教育マネジメント, 社会学, ビジネス, カウンセリング, 数学, 農業(1)	英語(3) 人類学(2) 神学(1)
高等教育	
英語(4) 教育, 日本文学, タイ語, 言語学, 人類学(2) 児童文学, 会計学, 心理学, マーケティング, 観光, ビジネス経営, 教育経営, 政治学, フランス語, 社会学, 食養学, 理学(1)	英語(5) 国語教育, 法律学, 社会学, 人類学, 政治学, 職業史, 経済, 芸術, 自動車整備, 地理歴史, 営業, 空手, 航海学, 情報処理技術(1)
学校教育以外	
中国語, 英語, 工学(2) フランス語, タイ語, 言語学, 日本文学, 経済学, 国際関係, 化学工学, 東アジアの歴史(1)	英語, 国語教育(3) 初等教育, 日本文学(2) タイ研究, 家庭科教育, 障害者教育, 美術教育, 電子工学, 心理, イスラム圏研究, 新聞編集(1)

3-1-11. 日本語力



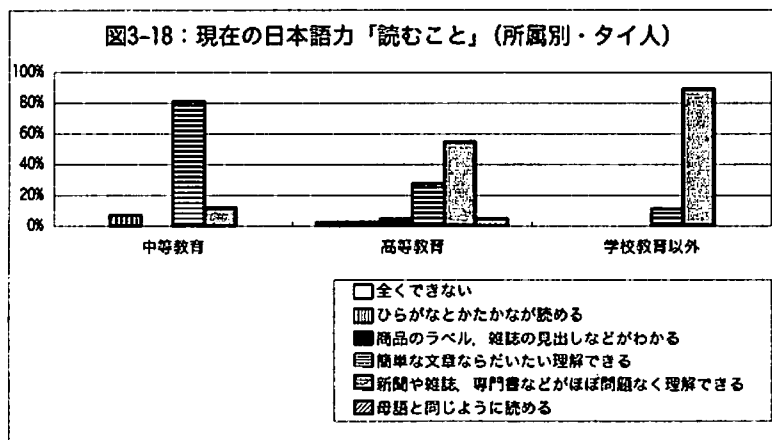
現在、どれぐらい日本語力があると思うか、タイ人教師に対して4技能について自己評価してもらった。数値の意味は各技能で異なるが、数値が高いほど、自己評価が高いことを示す。まず、図3-16のように所属別に4技能の平均値を比較したところ、中等教育では3.6~4.0、高等教育では4.1~4.5、学校教育以外では4.6~4.9で、全体的に4技能の間に大きな差はない。(教F10)



所属別にみると、図3-17のように中等教育<高等教育<学校教育以外の傾向がある。

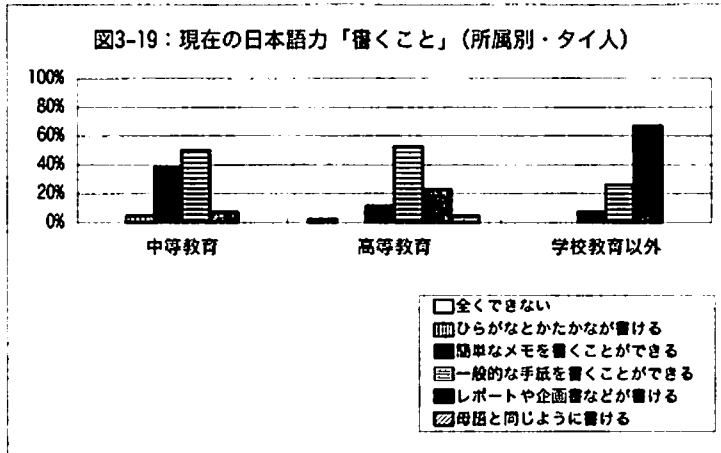
技能別の結果は以下のとおりである。

(1) 「読むこと」



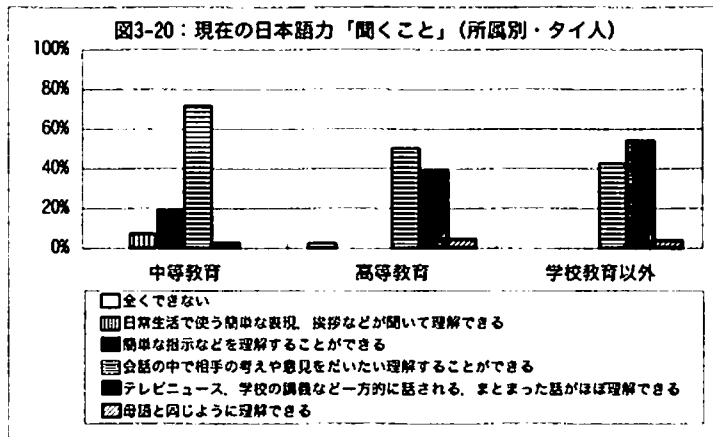
中等教育では「簡単な文章ならだいたい理解できる」が81.0%、高等教育・学校教育以外が「新聞や雑誌、専門書などがほぼ問題なく理解できる」が54.5%・88.9%が多い(図3-18)。

(2) 「書くこと」



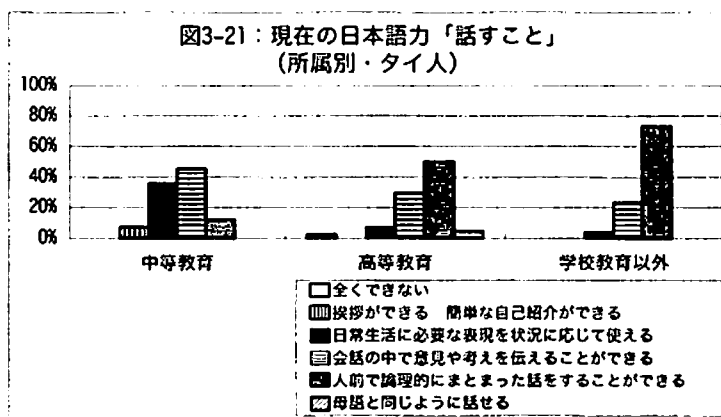
中等教育・高等教育では「一般的な手紙を書くことができる」が50.0%・52.3%と多く、学校教育以外では「レポートや企画書などが書ける」が66.7%と最も多い(図3-19)。

(3) 「聞くこと」



中等教育では「会話の中で相手の考えや意見をだいたい理解することができる」が71.4%と最も多い。高等教育では同様であるが50.0%、学校教育以外では「テレビニュース、学校の講義など一方的に話される、まとまった話がほぼ理解できる」が53.8%と比較的多い(図3-20)。

(4) 「話すこと」



中等教育では「会話の中で意見や考えを伝えることができる」が45.2%と比較的多く、高等教育・学校教育以外では「人前で論理的にまとまった話をする事ができる」が50.0%・73.1%で最も多い(図3-21)。

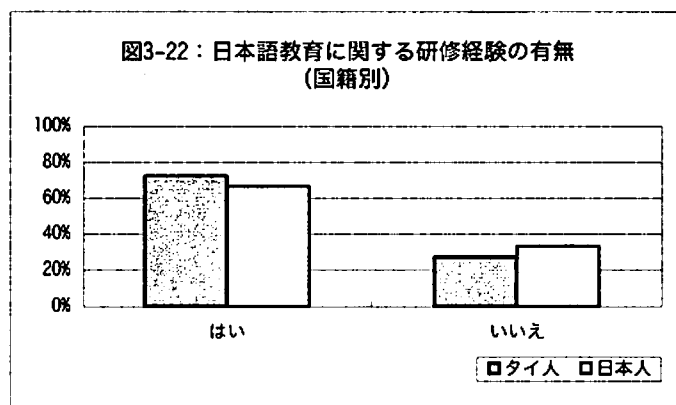
3-1-12. 日本語教育を始めた理由

日本語教育を始めた理由や動機について自由記述形式で聞いた。比較的多かった回答について表 3-5 にまとめる。〈教 F11〉

〈表 3-5：日本語教育を始めた理由（所属別）〉

タイ人教師	日本人教師
中等教育	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校や政府の方針 ・日本語や日本文化に興味があったため ・日本語教師の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語に対するニーズに応えるため
高等教育	
<ul style="list-style-type: none"> ・教えることが好きだったから ・専攻が日本語だったから ・自分の知識を生かしたかったから 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、あるいは日本語教育に興味関心があったから ・海外で働きたいと思ったから ・人の勧め ・タイ社会や文化を知るため ・語学を生かすため
学校教育以外	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識や経験を生かしたかったから ・日本語や日本文化が好きだから ・日本語を忘れないようにするため ・研究したり勉強したりする機会のある職業だから 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を教えることに興味があったから ・知人・友人の紹介(誘い) ・海外で生活したかったから

3-1-13. 日本語教育に関する研修の経験について

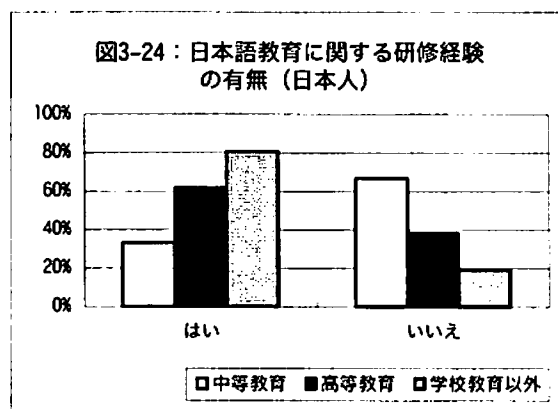
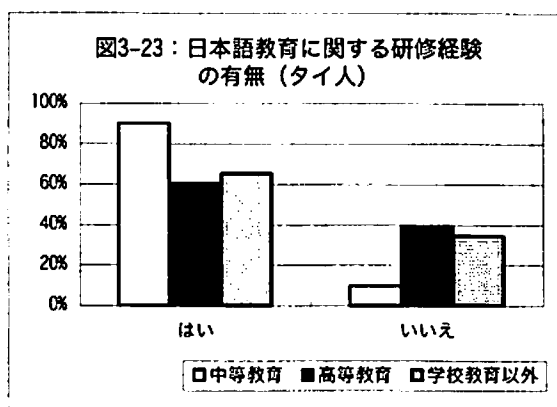


過去、日本語教育に関する研修等について受けたことがあるかどうかについて聞いたところ、タイ人教師の 72.7%、日本人教師の 66.7%が「ある」と答えている。一方、「ない」と答えた人も、タイ人教師 27.3%、日本人教師 33.3% いる（図 3-22）。〈教 F12〉

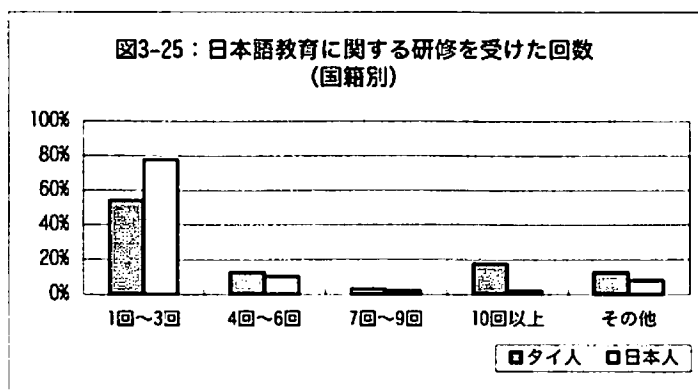
〈表 3-6：日本語教育に関する研修経験の有無〉（人数）

	中等・タイ	中等・日本	高等・タイ	高等・日本	学外・タイ	学外・日本	全体・タイ	全体・日本
経験あり	37	2	26	29	17	25	80	56
経験なし	4	4	17	18	9	6	30	28
無回答	1	2	1	2	1	3	3	7

所属別では、図 3-23 のようにタイ人教師は中等教育が 90.2%と多いのに対して、日本人教師は図 3-24 のように中等教育が 33.3%と少なく、学校教育以外が 80.6%と多い。



3-1-14. 日本語教育に関する研修を受けた回数



3-1-13 で過去に研修を受けたことのあるタイ人教師 80 人・日本人教師 56 人に対して、回数を聞いたところ、所属に共通して、タイ人教師が 54.0%、日本人教師が 77.6%と「1～3 回」程度が多い（図 3-25）。

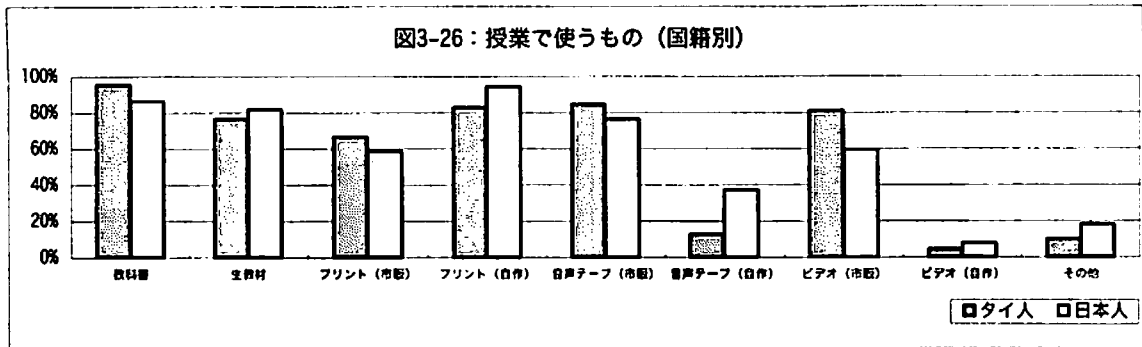
3-2. 授業について

ここでは、教師が普段の授業や授業の準備のために使っているものや、教師としての資質・能力向上のために必要なもの等について、教師に聞いた結果をまとめる。

3-2-1. 授業で使うもの

授業で使うものについて聞いたところ、図 3-26 のように全体では「市販の教科書」「生教材」「プリント教材（市販）」「プリント教材（自作）」が多く使われている。上位 3 位までを表 3-7 に示した。

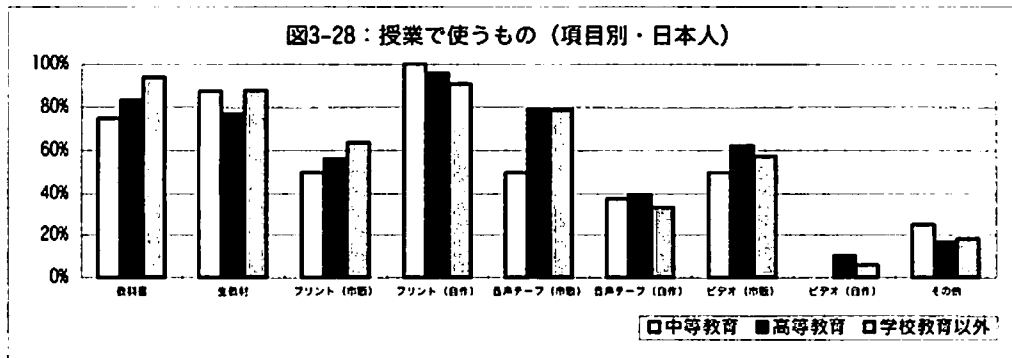
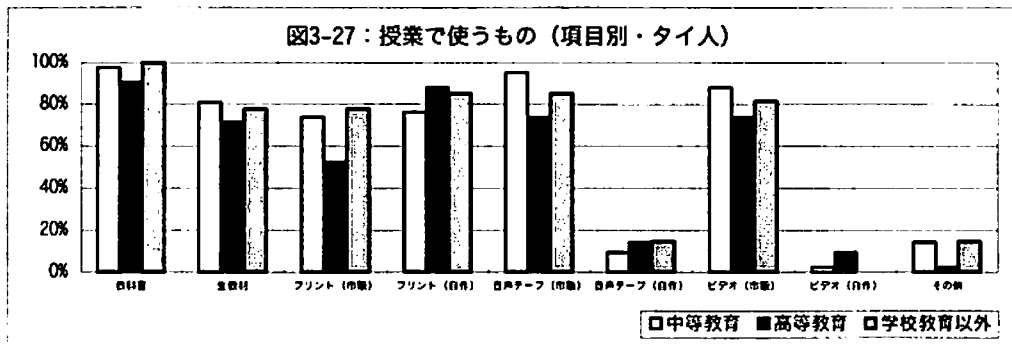
国籍別では、タイ人教師が「市販の教科書」（95.5%）を最も使っているのに対して、日本人教師は「プリント教材（自作）」（94.4%）となっている。また、タイ人教師は日本人教師に比べると「ビデオ（市販）」を多く使っており、日本人教師は「音声テープ（自作）」を 37.1%が使っている（図 3-26）。〈教 I Q1〉



〈表3-7：授業で使うもの（全体）〉（ ）内は%

順位	タイ人	日本人
1位	市販の教科書 (95.5)	プリント教材(自作) (94.4)
2位	音声テープ(市販) (84.7)	市販の教科書 (86.5)
3位	プリント教材(自作) (82.9)	生教材 (82.0)

所属別では、図3-27・3-28のようになり、上位3位までを表3-8に示した。上位に関してはあまり違いは見られないが、タイ人教師は高等教育で「プリント教材(市販)」が他に比べて52.4%で低い。日本人教師は中等教育で「音声テープ(市販)」が50.0%で他に比べると低い。「その他」には「絵カード」や「文字カード」が全体的に多く挙げられていた。



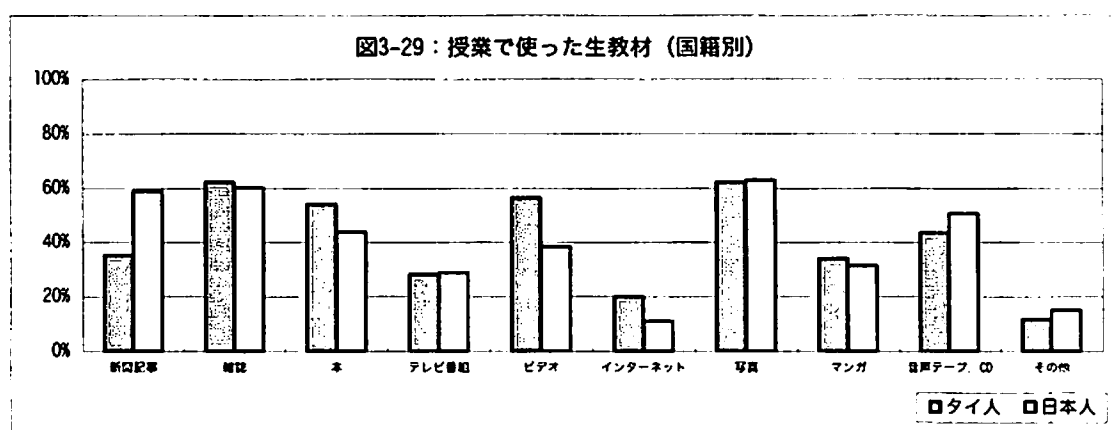
〈表 3-8：授業で使うもの(所属別)〉()内は%

順位	中等教育		高等教育		学校教育以外	
	タイ人	日本人	タイ人	日本人	タイ人	日本人
1位	市販の教科書 (97.6)	プリント教材 (自作) (100)	市販の教科書 (90.5)	プリント教材 (自作) (95.8)	市販の教科書 (100)	市販の教科書 (93.9)
2位	音声テープ (市販) (95.2)	生教材 (87.5)	プリント教材 (自作) (88.1)	市販の教科書 (83.3)	音声テープ (市販)	プリント教材 (自作) (90.9)
3位	ビデオ(市販) (88.1)	市販の教科書 (75.0)	音声テープ (市販) ビデオ (市販) (73.8)	音声テープ (市販) (77.1)	プリント教材 (自作) (85.2)	生教材 (87.9)

3-2-2. 生教材について

3-2-1でこれまでの授業で生教材を使ったことがある教師 158 人に対して、どのようなものを具体的に使ったのかについて聞いたところ、「写真」と「雑誌」が共通して多く使われている。

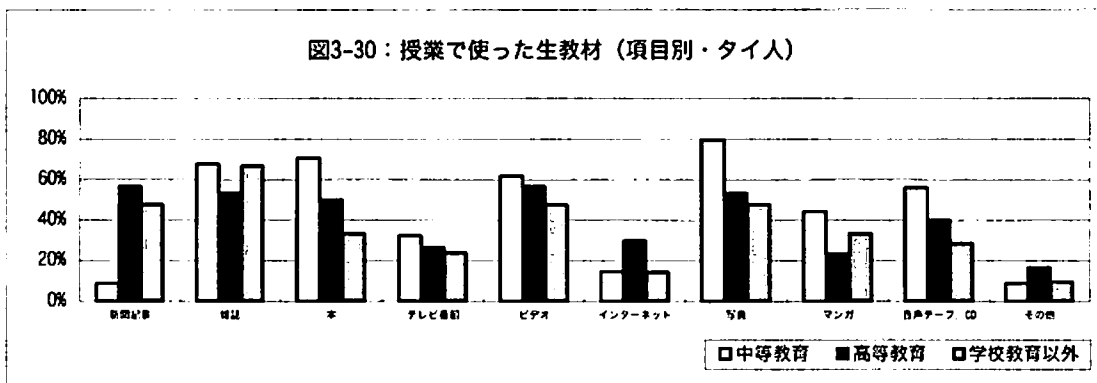
国籍別では、特にタイ人教師は「ビデオ」(56.5%)、日本人教師は「新聞記事」(58.9%)を比較的多く使っている(図 3-29)。(教 I Q2)



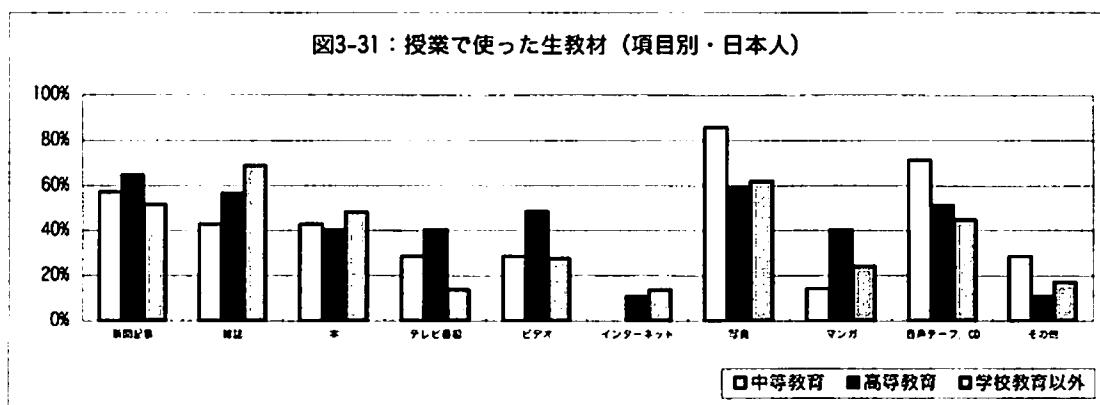
〈表 3-9：授業で使った生教材(全体)〉()内は%

順位	タイ人	日本人
1位	写真	写真 (63.0)
2位	雑誌 (62.4)	雑誌 (60.3)
3位	ビデオ (56.5)	新聞記事 (58.9)

所属別では、図 3-30・3-31 のようになり、上位 3 位までを表 3-10 に示した。タイ人教師は図 3-30 のように中等教育で「写真」(79.4%)「本」(70.6%)「音声テープ」(55.9%)「マンガ」(44.1%)を他に比べて多く使っているが、「新聞記事」が 8.8%と低い。高等教育では「インターネット」が 30.0%で他に比べて使われている。



日本人教師は図 3-31 のように中等教育で「写真」(85.7%)「音声テープ」(71.4%)を他に比べて多く使っているが、「雑誌」が42.9%と比較的低く、「インターネット」は0%と全く使われていない。高等教育では「テレビ番組」(40.5%)「ビデオ」(48.6%)「マンガ」(40.5%)が他に比べて多く使われている。



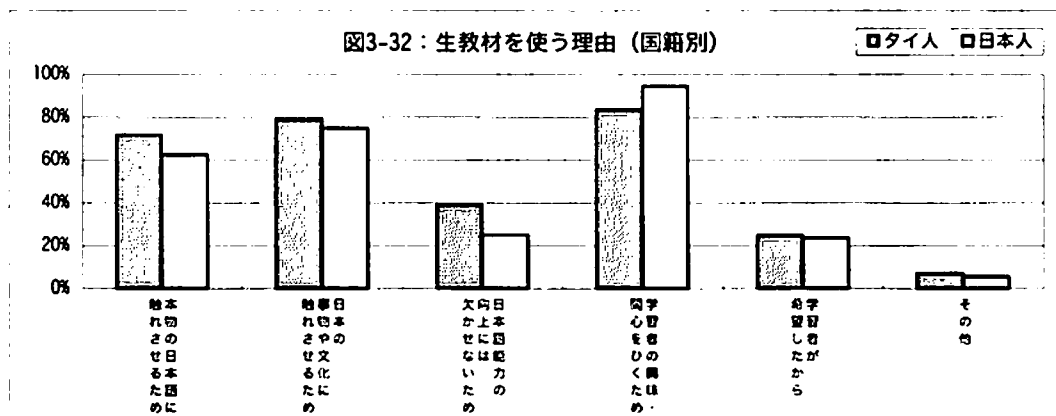
〈表 3-10：授業で使った生教材（所属別）〉（ ）内は%

順位	中等教育		高等教育		学校教育以外	
	タイ人	日本人	タイ人	日本人	タイ人	日本人
1位	写真 (79.4)	写真 (85.7)	音声テープ 〈市販〉	新聞記事 (64.9)	雑誌 (66.7)	雑誌 (69.0)
2位	本 (70.6)	音声テープ (71.4)	新聞記事 (56.7)	写真 (59.5)	新聞記事 ビデオ	写真 (62.1)
3位	雑誌 (67.6)	新聞記事 (57.1)	雑誌・写真 (53.3)	雑誌 (56.8)	写真 (47.6)	新聞記事 (51.7)

「その他」では、「広告、チラシ」「手紙、葉書、年賀状」「メニュー」などが比較的複数挙げられていた。それ以外には「日本料理のサンプル」「すし作りセット」「工芸品」「生食品、食べ物」「楽器」「折り紙」「おもちゃ」「紙芝居」「音楽テープ、CD」「食器」などがあつた。

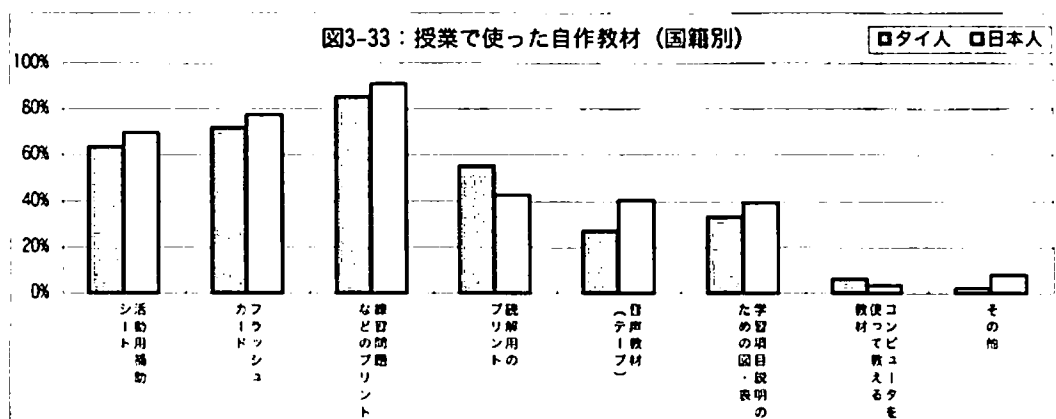
3-2-3. 生教材を使う理由

生教材を授業で使う理由について聞いたところ、国籍・所属に共通して①「学習者の興味・関心をひくため」(88.5%)が最も多く、②「日本の事物や文化に触れさせるため」(77.1%)③「学習者に本物の日本語に触れさせるため」(67.5%)となっている。「その他」に挙げられていたものは「学習者の理解の手助け」「新しい情報やものを与えるため」「授業を楽しくするため」などであった(図3-32)。(教1Q2-1)

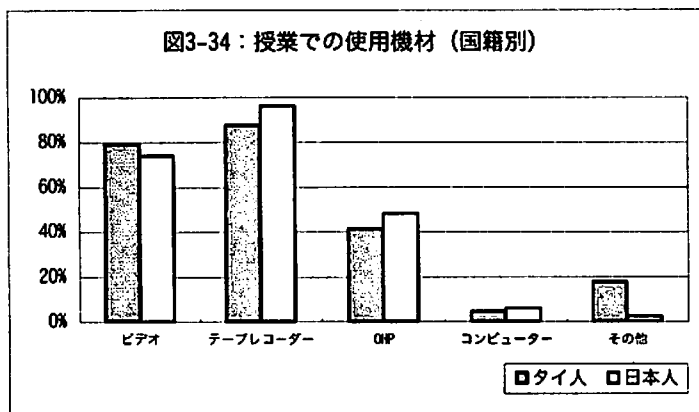


3-2-4. 自作教材について

授業で何らかの自作教材を使ったことがある教師にどのような自作教材を使ったかについて聞いたところ、国籍・所属に共通して①「練習問題などのプリント」(88.1%)②「フラッシュカード(絵カード・文字カードなど)」(74.6%)③「活動用補助シート(タスクシート・ロールカードなど)」(66.5%)の順に多かった。「その他」には「OHPシート」がいくつか挙げられていたが、高等教育では「学習者に合わせた教科書」や「自主テキスト」という回答もあった(図3-33)。(教1Q3)

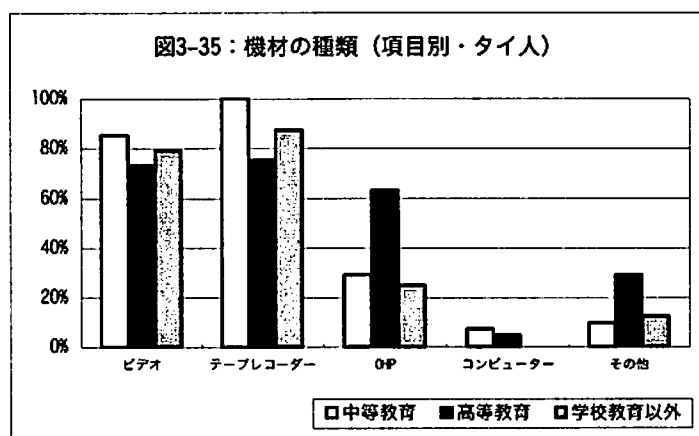


3-2-5. 授業での使用機材について

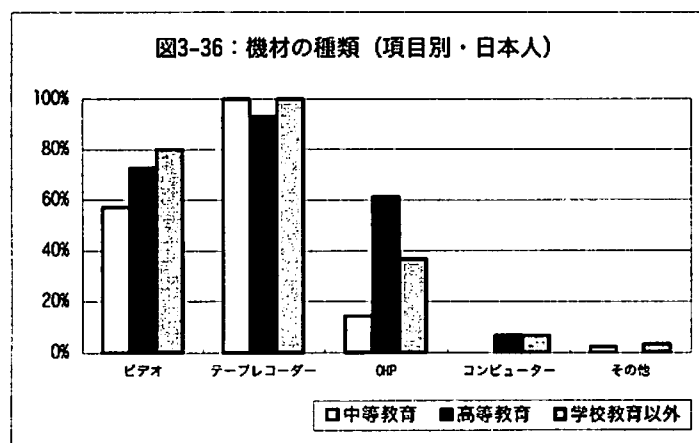


授業で使う使用機材について聞いたところ、図3-34のように全体的に①「テープレコーダー」(91.4%) ②「ビデオ」(77.0%)が多い。

〈教I Q4〉



所属別でみると、図3-35・3-36のように高等教育でタイ人教師が「OHP」を63.4%、日本人教師が61.4%と他に比べて多く使っている。

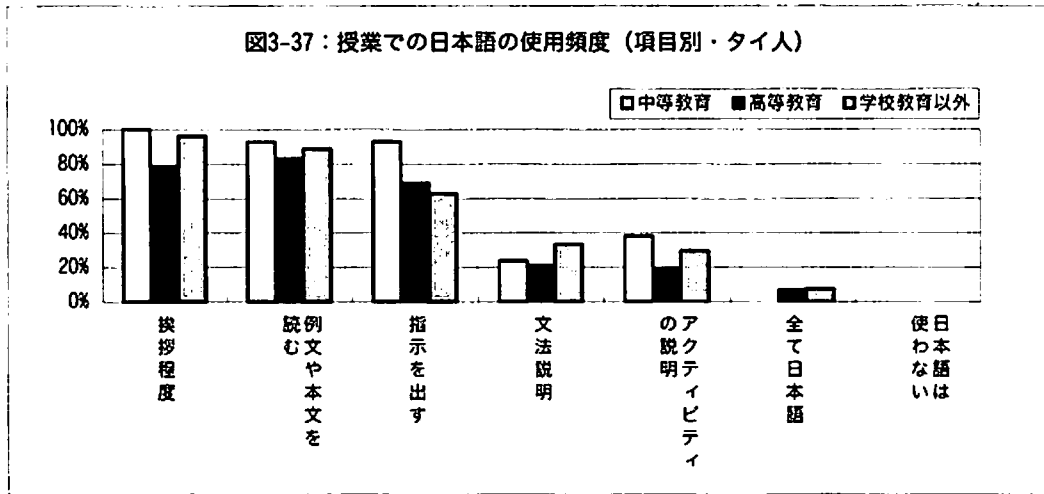


日本人教師は、所属に共通して「テープレコーダー」の使用が多い。中等教育では「OHP」が14.3%で比較的低い。「その他」の回答内容を見ると、「プリント」「絵カード」「文字カード」など機材とは言えないものがあり、回答者によって機材の捉え方が曖昧であった。

3-2-6. 授業での日本語の使用頻度

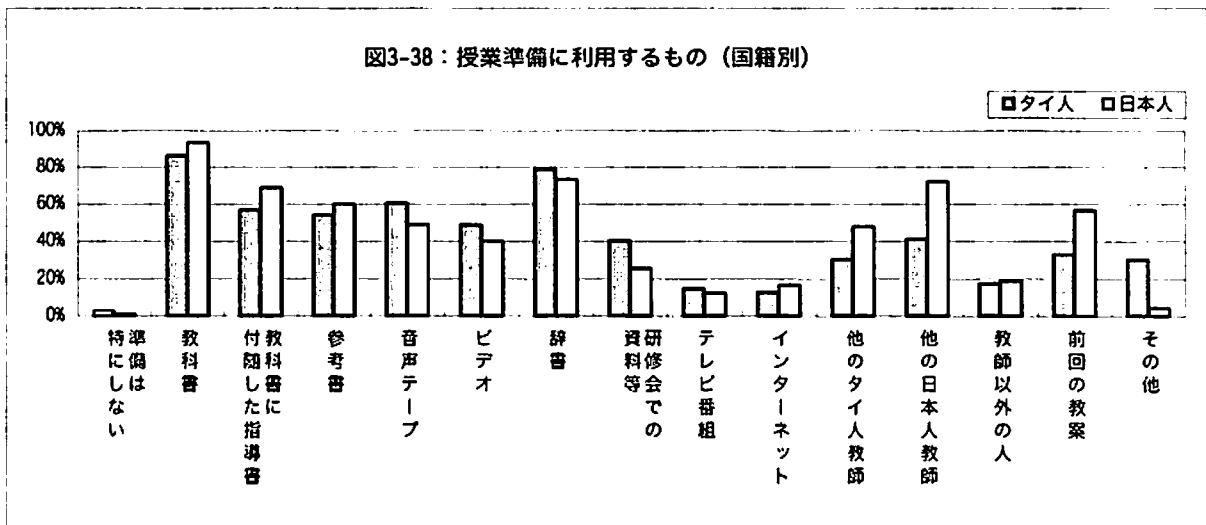
タイ人教師に授業でどの程度日本語を使うかについて聞いたところ、図3-37のように全体的に「挨拶程度」「例文や本文を読む」「指示を出す」については日本語が多く使われているが、「全て日本語」は低い。

〈教I Q5〉



3-2-7. 授業準備に利用するもの

授業を準備するとき利用したり、相談したりするものについて聞いたところ、図3-38のようにタイ人教師・日本人教師ともに①「教科書」(89.4%)②「辞書」(76.4%)が多くなっている。国籍別では、日本人教師の方が「教科書に付随した指導書」(68.9%)「他のタイ人教師」(47.8%)「他の日本人教師」(72.2%)「前回の教案」(56.7%)を比較的に利用しており、タイ人教師は「参加した研修会での資料等」(40.4%)を比較的に利用している。「その他」では、「自作の資料」「基金の図書館」「教科課程資料」「他の文法の本」「日本語の資料」「その他の教科書」などが挙げられた。(教I Q6)



〈表 3-11：授業準備に利用するもの（全体）〉（ ）内は%

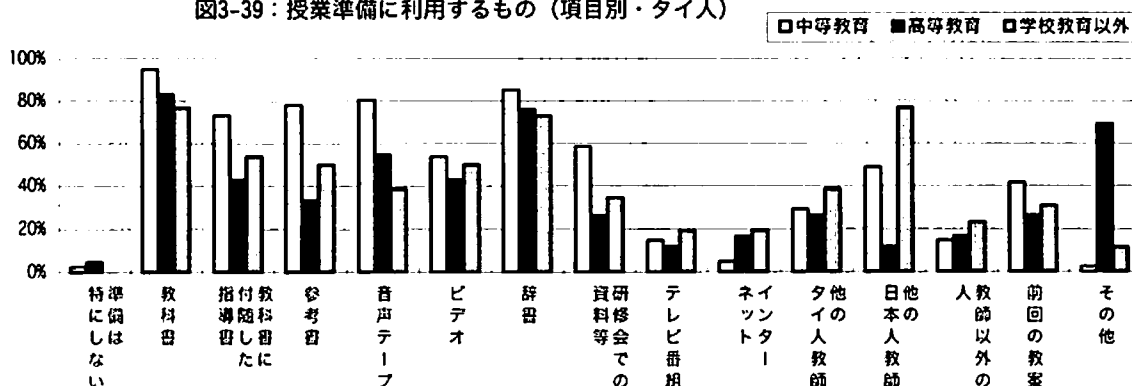
順位	タイ人	日本人
1位	教科書 (86.2)	教科書 (93.3)
2位	辞書 (78.9)	辞書 (73.3)
3位	音声テープ (60.6)	他の日本人教師 (72.2)

〈表 3-12：授業準備に利用するもの（所属別）〉（ ）内は%

順位	中等教育		高等教育		学校教育以外	
	タイ人	日本人	タイ人	日本人	タイ人	日本人
1位	教科書 (95.1)	教科書 (100)	教科書 (83.3)	教科書 (87.8)	教科書 他の日本人教師 (76.9)	教科書 (100)
2位	辞書 (85.4)	前回の教案 (75.0)	辞書 (76.2)	他の日本人教師 (79.6)	辞書 (73.1)	教科書に付随した指導書 (81.8)
3位	音声テープ (80.5)	辞書 (62.5)	その他 (69.0)	辞書 (85.4)		辞書 (75.8)

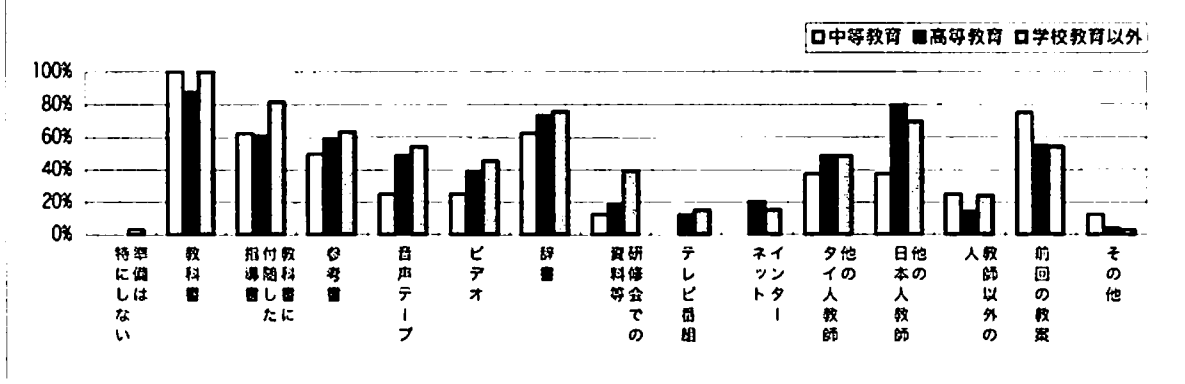
所属別に見ると、図 3-39・3-40 のようになり、上位 3 位までを表 3-12 に示した。図 3-39 のように中等教育のタイ人教師は「教科書に付随した指導書」(73.2%)「参考書」(78.0%)「音声テープ」(80.5%)「研修会での資料等」(58.5%) が他よりも使われており、「インターネット」は 4.9% とあまり使われていない。高等教育のタイ人教師は他に比べて「その他」が 69.0% と多く、「他の日本人教師」が 11.9% と低い。学校教育以外では、他に比べて「他の日本人教師」が 69.7% と多く利用されている。

図3-39：授業準備に利用するもの（項目別・タイ人）



一方、日本人教師は、図 3-40 のように中等教育で「前回の教案」(75.0%) が他に比べて使われており、逆に、「音声テープ」(25.0%)「ビデオ」(25.0%)「他の日本人教師」(37.5%) はあまり使われておらず、「テレビ番組」「インターネット」は 0% となっている。高等教育・学校教育以外では「他の日本人教師」の利用が 79.6%・69.7% と多く、学校教育以外では「教科書に付随した指導書」が 81.8% と他に比べて多く利用されている。

図3-40：授業準備に利用するもの（項目別・日本人）

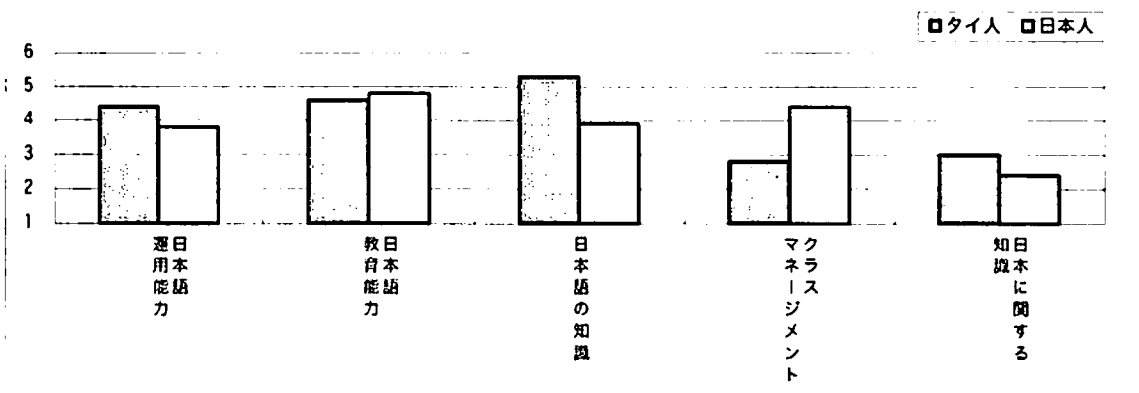


所屬別に日本人教師とタイ人教師を図3-39と図3-40で比較すると、中等教育でタイ人教師の「参考書」「音声テープ」「ビデオ」「辞書」「参加した研修会での資料等」の利用が日本人教師に比べて高い。高等教育ではタイ人教師の「教科書に付随した指導書」「参考書」「他のタイ人教師」「他の日本人教師」の利用が日本人教師に比べて低い。学校教育以外では「教科書」「教科書に付随した指導書」「前回の教案」の利用が日本人教師に比べて低くなっている。

3-2-8. 日本語教師としての能力に対する意識

日本語教師としてどのような能力が重要であるかについて聞いたところ、図3-41のようになった。上位3位について表3-13に示す。所属による違いはあまりないが、国籍別では、タイ人教師は日本人教師に比べて「日本語の知識」(5.3)を重視し、日本人教師はタイ人教師に比べて「クラスマネジメント」(4.4)を重視している。「その他」では、「教材作成能力」「学習者の言語や文化を理解する力」「学習者に対する理解」が多く挙げられていた。それ以外には「人柄」「学生とのコミュニケーション」「気力、体力」「教員同士の助け合い」「パソコンの使用能力」「教授計画を立てる」「次回への反省会」「普通の人(生活者)であること」「世界情勢」「優しさ」「経験」「やる気」「視野の広さ」などが挙げられた。(教1Q7)

図3-41：日本語教師としての能力に対する意識・ポイント（国籍別）



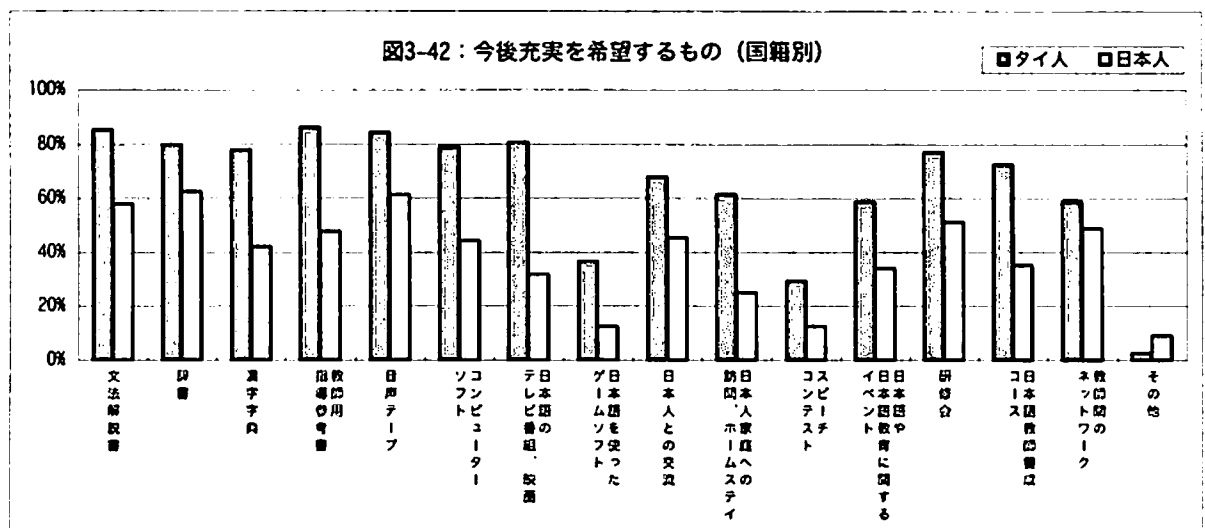
〈表 3-13：日本語教師としての能力に対する意識〉（ ）内はポイント

順位	タイ人	日本人
1位	日本語の知識 (5.3)	日本語教育能力 (4.8)
2位	日本語教育能力 (4.6)	クラスマネジメント(4.4)
3位	日本語運用能力 (4.4)	日本語の知識 (3.9)

3-2-9. 日本語教師の資質・能力向上のために充実を希望するもの

今後日本語教師の資質・能力の向上のために充実を希望するものについて聞いたところ、図3-42のようにほとんどの項目について全体的に日本人教師よりもタイ人教師の希望が高い。国籍別の上位3項目は表3-14のようになった。共通して「辞書」(タイ人教師79.8%・日本人教師62.5%)の希望が高い。

〈教1Q8〉



〈表 3-14：今後充実を希望するもの〉（ ）内は%

順位	タイ人	日本人
1位	教師用指導書 (86.2)	辞書 (62.5)
2位	文法解説書 (85.3)	日本語学習のための音声テープ (61.4)
3位	日本語学習のための音声テープ (84.4)	文法解説書 (58.0)

「その他」には以下のようなものが挙げられた。大きく (1) 物 (2) 人 (3) 雇用条件や政策等という観点から分類して示す。

(1) 物

「教えるためのコンピューター」「ビデオ」「タイ用の場面で作られた教材(教科書・活動集)など」「タイ人の誤用についての本」「日本語の歌(新しいもの)」

(2) 人

「匿名で、気軽にメール等を使って日本語について相談できる相手」

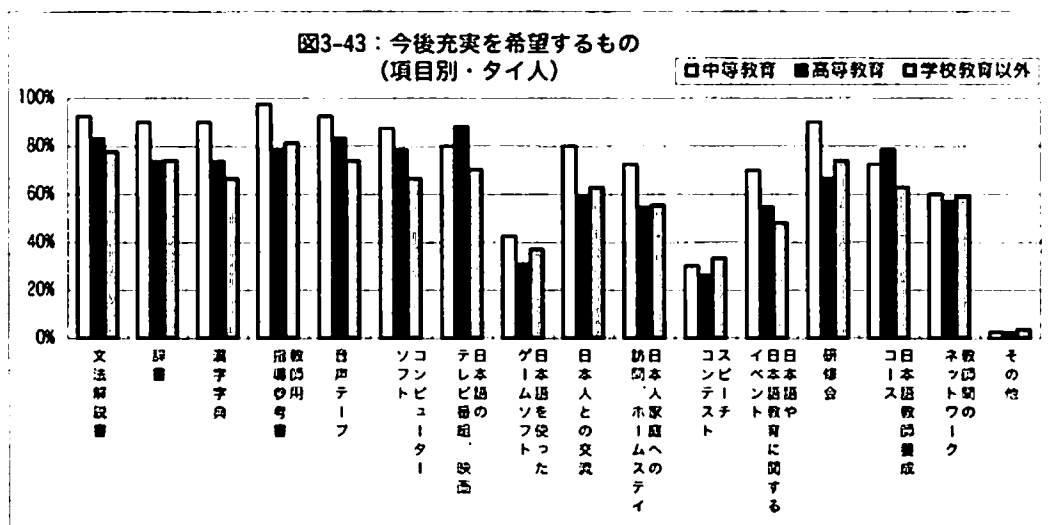
(3) 雇用条件や政策等

「日本語教師の収入安定」「福利厚生制度」「法制定の整備と日本政府による現地日本人への援助金」「資格制と昇給制度」「タイ・日本双方のお金の使い方」「良い先生の確保・待遇向上（タイ人教師のよい人材がビジネス界へ流出しているため）」

所属別に見ると、以下のようになる。

タイ人教師

「日本語を使ったゲームソフト」「スピーチコンテスト」以外はどの項目も比較的希望が高い。所属別の大きな違いは見られないが、多くの項目で中等教育の希望が他に比べて高い（図 3-43）。所属別の上位 3 項目については表 3-15 に示した。

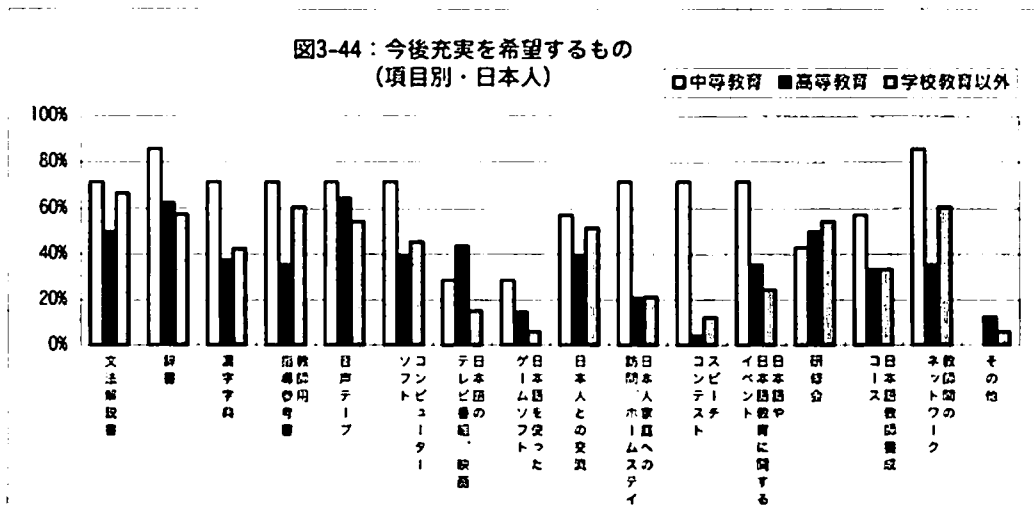


〈表 3-15：今後充実を希望するもの（タイ人）〉（ ）内は%

順位	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	教師用指導参考書 (97.5)	日本語のテレビ番組・映画 (88.1)	教師用指導参考書 (81.5)
2位	文法解説書	文法解説書	文法解説書 (77.8)
3位	日本語学習のための音声テープ (92.5)	日本語学習のための音声テープ (83.3)	辞書 日本語学習のための音声テープ研究会 (74.1)

日本人教師

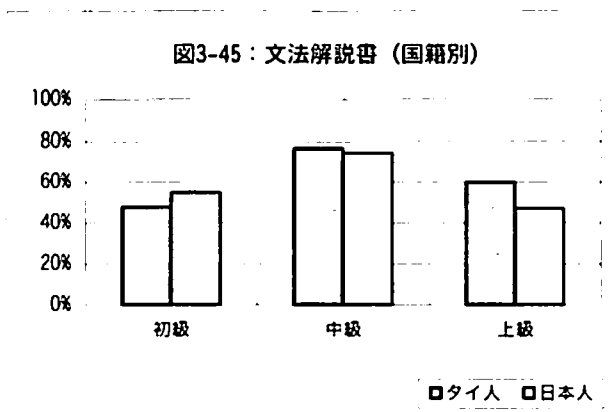
上位3項目を示した図3-44のように中等教育で希望の高い項目が多い。



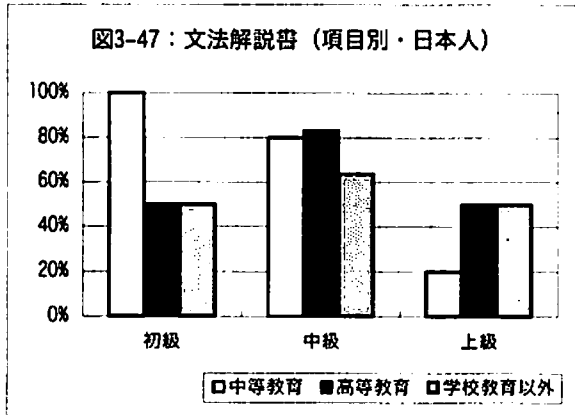
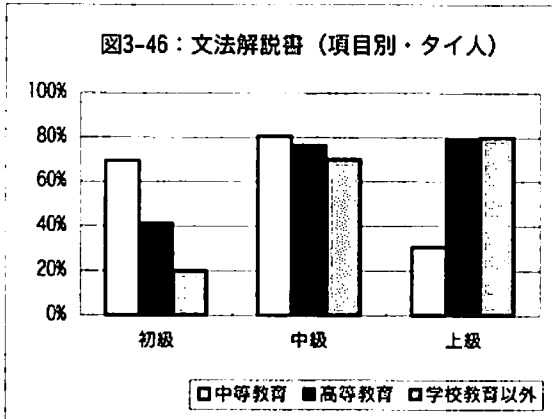
〈表3-16：今後充実を希望するもの（日本人）〉

順位	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	教師間のネットワーク	日本語学習のための音声テープ (64.6)	文法解説書 (66.7)
2位	辞書 (85.7)	辞書 (62.5)	教師用指導参考書
3位	文法解説書 漢字字典 教師用指導参考書 日本語学習のための音声テープ 日本語学習のためのソフト 日本人家庭への訪問・ホームステイ 日本語のスピーチコンテスト 日本・日本語・日本語教育に関するイベント (71.4)	文法説明書 研修会 (50.0)	教師間のネットワーク (60.6)

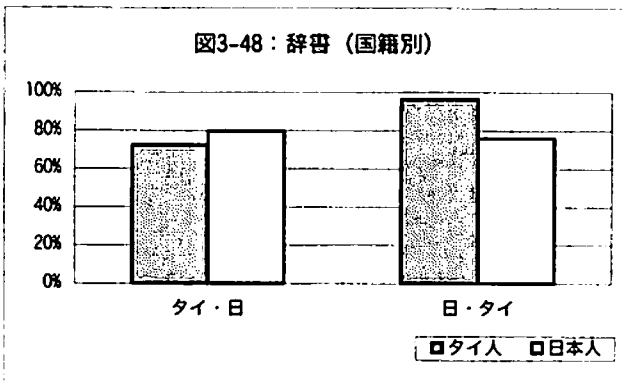
3-2-9-1. 充実を希望するもの：文法解説書



今後充実を希望するものとして「文法解説書」を挙げた教師に対し、そのレベルについて聞いたところ、図3-45のように日本人教師もタイ人教師も「中級」のニーズが高い。所属別では、図3-46・3-47のように中等教育で日本人教師・タイ人教師ともに「初級」のニーズが高い。逆に、高等教育・学校教育以外では「上級」の希望が高い。

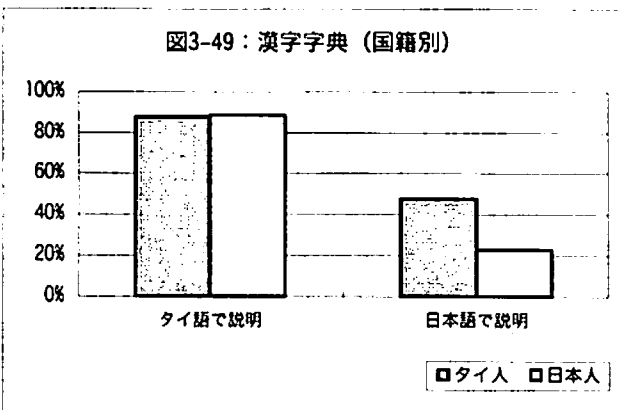


3-2-9-2. 充実を希望するもの：辞書

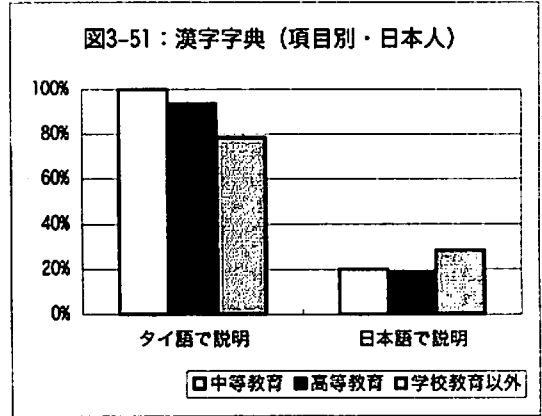
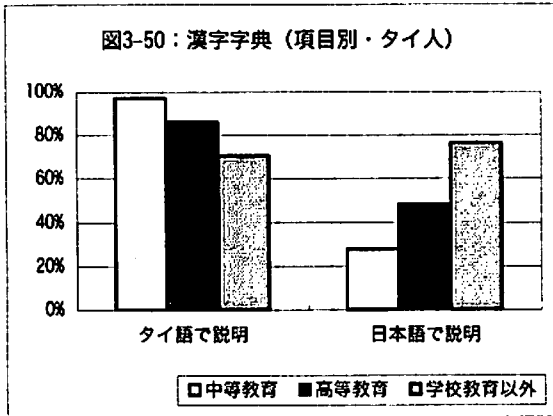


今後充実を希望するものとして「辞書」を挙げた教師に対し、その種類について聞いたところ、図3-48のように所属に共通してタイ人教師の「日タイ辞典」の希望が96.4%と高い。

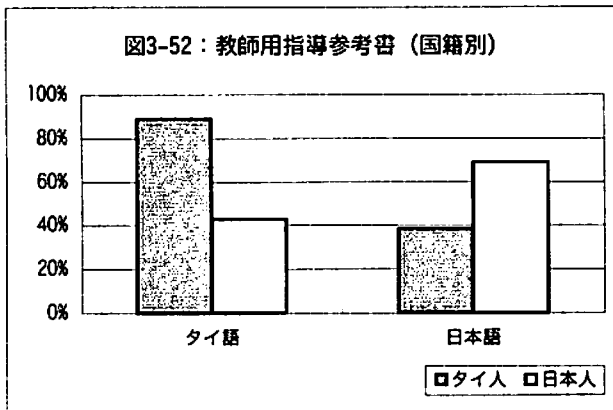
3-2-9-3. 充実を希望するもの：漢字字典



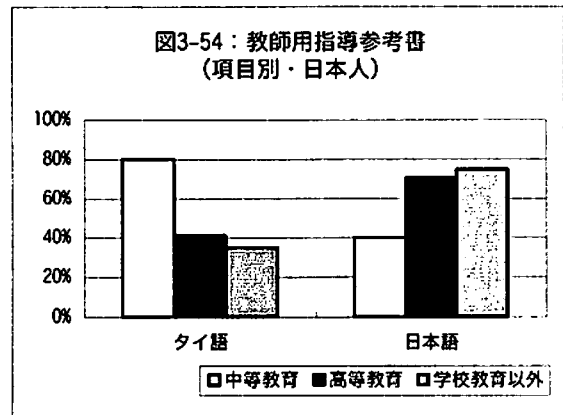
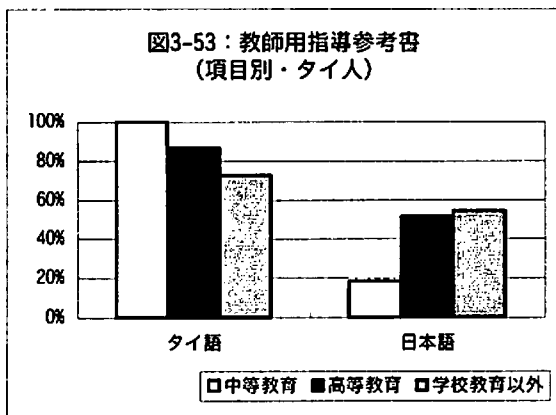
今後充実を希望するものとして「漢字字典」を挙げた教師に対し、その使用言語について聞いたところ、図3-49のようにタイ語で説明した漢字字典のニーズがタイ人・日本人に共通して高い。所属別にみると、図3-50・図3-51のように特に中等教育でのタイ語で説明した漢字字典のニーズが高く、逆に学校教育以外でのタイ人教師は日本語で説明された字典のニーズも76.5%と高い。



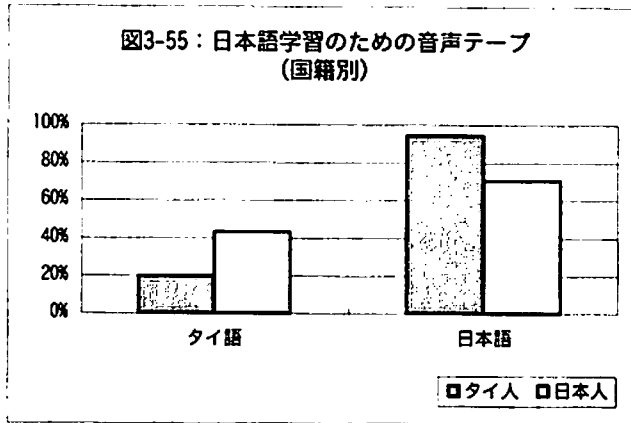
3-2-9-4. 充実を希望するもの：教師用指導参考書



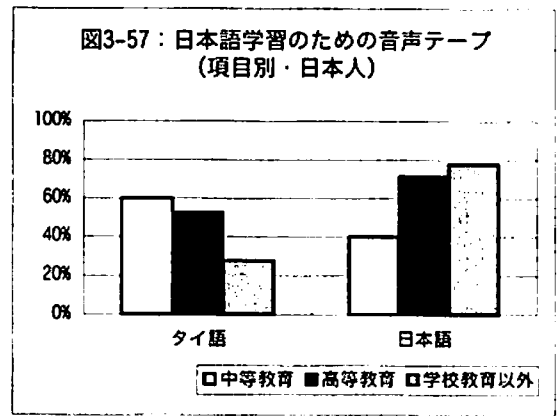
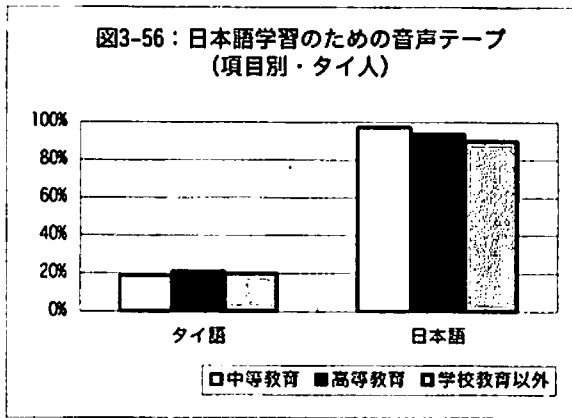
今後充実を希望するものとして「教師用指導参考書」を挙げた教師に対し、その使用言語について聞いたところ、図3-52のようにタイ人・日本人ともそれぞれの母語による参考書のニーズが高い。所屬別にみると、タイ人教師は中等教育で「タイ語版」に対する希望が100%と高く、日本人教師も中等教育では80.0%と「日本語版」より「タイ語版」のニーズが高い（図3-53・3-54）。



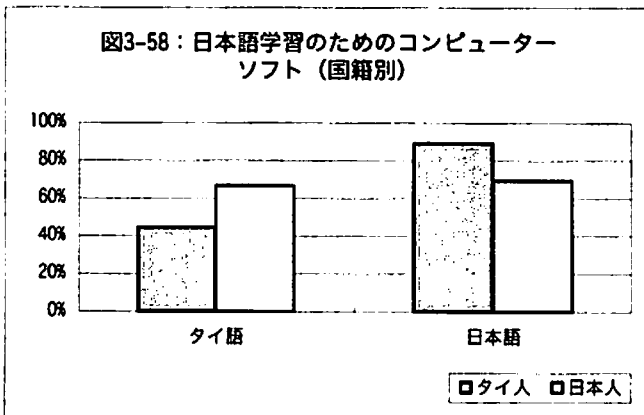
3-2-9-5. 充実を希望するもの：音声テープ



今後充実を希望するものとして「日本語学習のための音声テープ」を挙げた教師に対し、その使用言語について聞いたところ、図3-55のようにタイ人も日本人も「日本語」のニーズが高く、特にタイ人は94.4%と高い。所属別にみると、日本人教師は中等教育で「タイ語版」のニーズが60.0%と比較的高い(図3-56・3-57)。



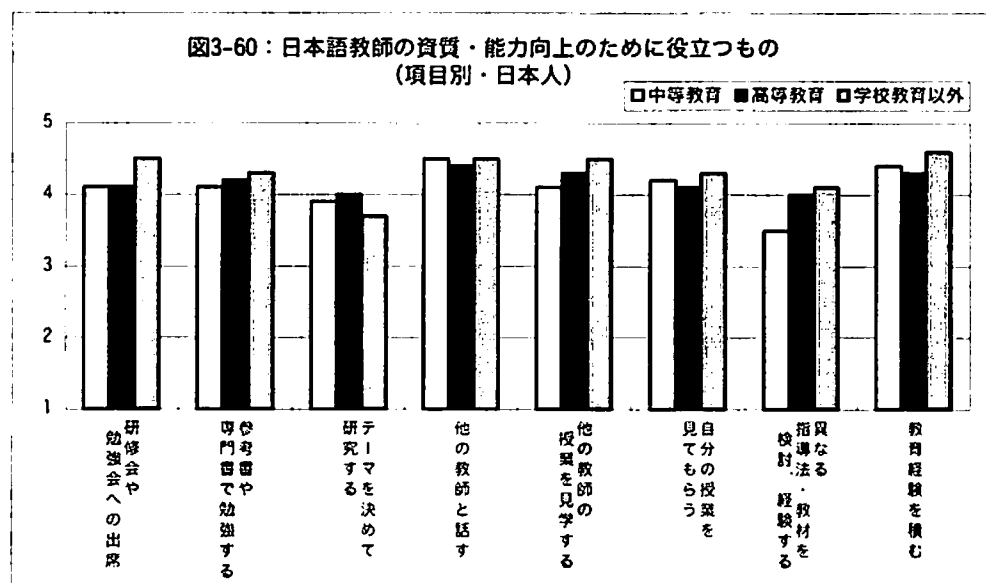
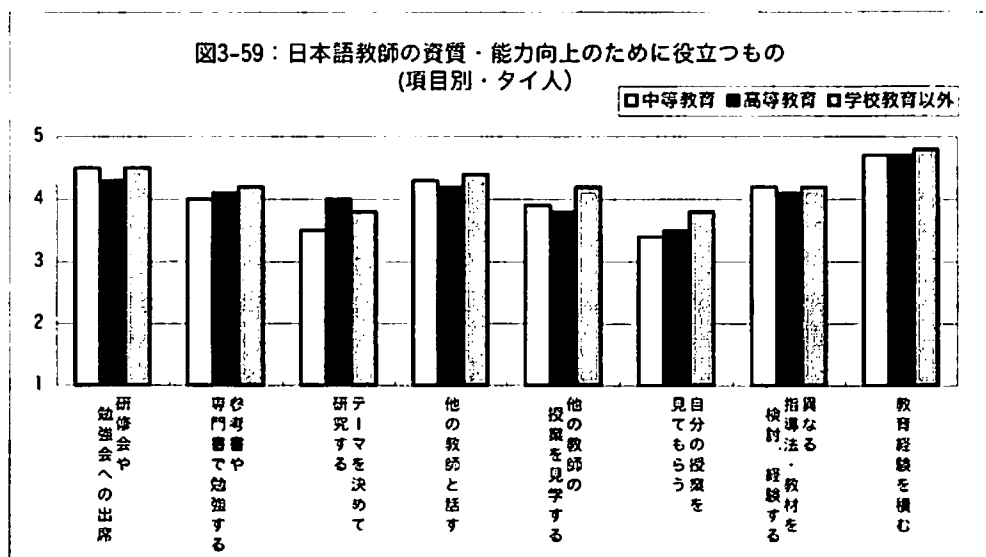
3-2-9-6. 充実を希望するもの：コンピューターソフト



今後充実を希望するものとして「日本語学習のためのコンピューターソフト」を挙げた教師に対し、その使用言語について聞いたところ、図3-58のように所属に共通して、タイ人教師は89.2%と「日本語版」を希望し、日本人教師は言語による希望に大きな差は見られなかった。

3-2-10. 日本語教師の資質・能力向上のために役立つもの

日本語教師の資質・能力を向上させるために役立つものは何かについて聞いたところ、図3-59・図3-60のようにどの項目についても全体的に高いが、「教育経験を積む」についてはタイ人教師の方が比較的高く、「自分の授業を見てもらう」については日本人教師の方が比較的高い傾向がある。(教IQ9)



ここで聞いた項目以外にどのようなものが役に立つと思うかについて聞いたところ、以下のようなものが挙げられた。

タイ人教師

中等教育：「日本での研修、見学、ホームステイ」「母語話者の授業への参加、ティームティーチング」

高等教育：「日本での研修」「日本について学ぶこと（文化、歴史、最新情報など）」

「質問を相談できる場所の設立」「研究会を作る」

学校教育以外：「勉強会やセミナーの実施」「他の教師との交流」「教科書の作成」

「学習者の宿題チェック」「インターネット上での例文検索」「母語話者に質問する」

日本人教師

中等教育：「タイ語の使用」「交流授業」「授業中の日本語使用量を増やす」「自分の授業をビデオで撮影」

「タイ人教師の日本での研修」

高等教育：「他言語の習得」「学習者の母語や文化の学習・理解」「学習者から意見を聞く」

「授業の振り返り」「社会経験」「他の教師や学校との交流」

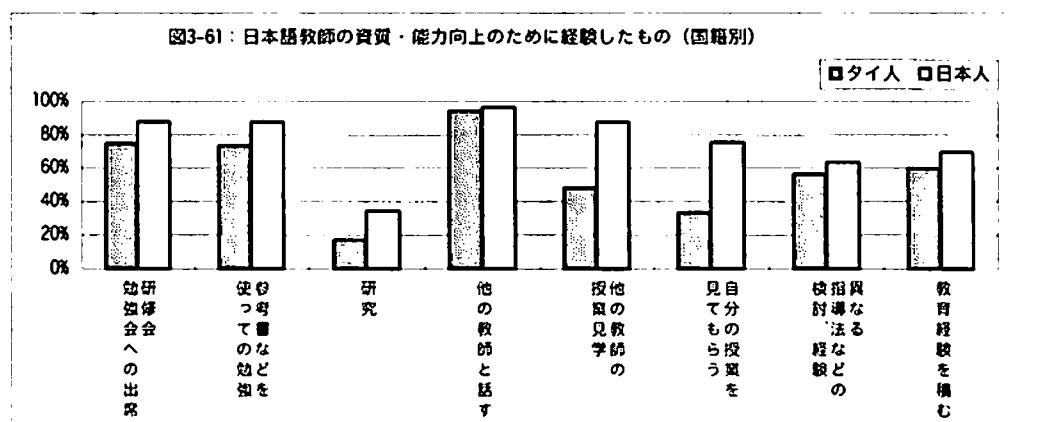
学校教育以外：「外国語の学習」「授業の振り返り」「社会経験、日本語教育以外の経験」

「学習者の意見を聞く」「他分野、他業種の人との交流」「日泰対照言語研究」

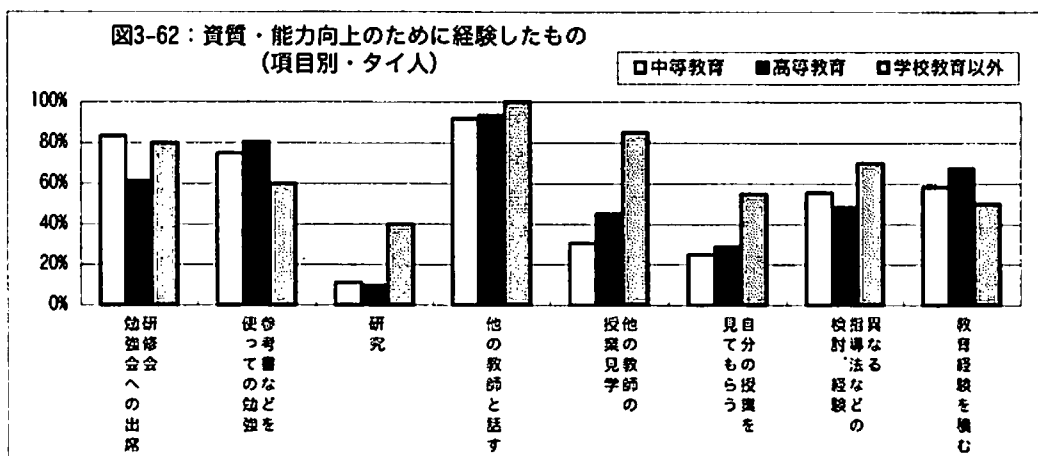
「基金内の相談窓口の設置」「人間性」

3-2-11. 日本語教師の資質・能力向上のために経験したもの

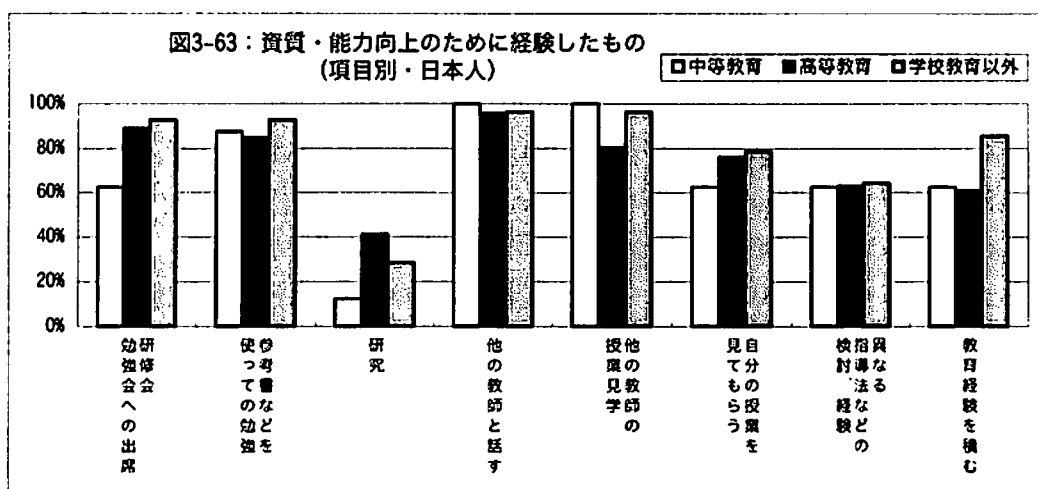
3-2-10 で取り上げた、日本語教師の資質・能力向上のために役に立つと思われる項目の中で、実際に経験したことがあるかどうかについて聞いたところ、図3-61のようにタイ人教師・日本人教師とも①「他の教師と話す」②「研修会や勉強会に出席する」「参考書や専門書で勉強する」が高く、「テーマを決めて研究する」は低い。全項目で日本人教師の方がタイ人教師に比べて高く、特に「他の教師の授業を見学する」「自分の授業を見てもらう」でその傾向は顕著である。（教1Q9-2）



所属別にみると、図3-62のように学校教育以外のタイ人教師は「他の教師と話す」（100%）「自分の授業を見てもらう」（55.0%）「テーマを決めて研究する」（40.0%）が比較的高い。

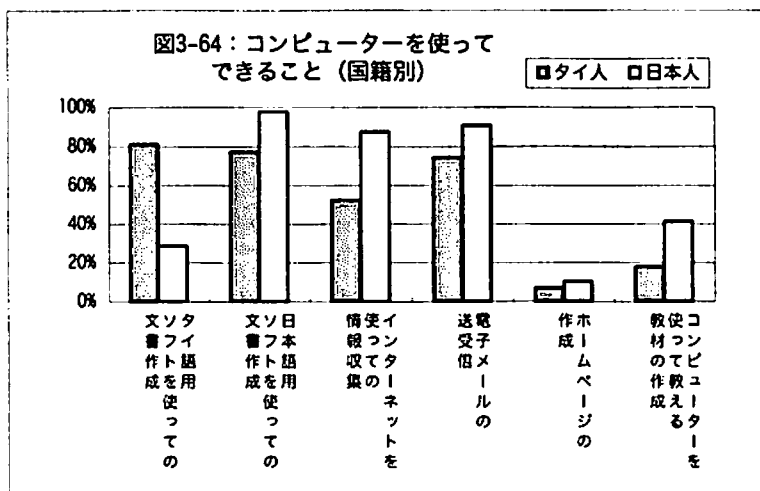


一方、日本人教師は、図3-63のように中等教育で「研修会や勉強会に出席する」(62.5%)「テーマを決めて研究する」(12.5%)が比較的低く、学校教育以外で「教育経験を積む」(85.7%)が比較的高い。



なお、3-2-10で取り上げた、日本語教師の資質・能力向上のために役に立つと思われる項目の中で、一つも経験したことがないという教師は、日本人教師もタイ人教師も少なく、全体として17.2%である。少ないながらも、理由として挙げられたのは、タイ人教師は「研修会等の機会がないから」、日本人教師は「現在の職場では問題がないから」となっている。

3-2-12. コンピューターを使ってできること



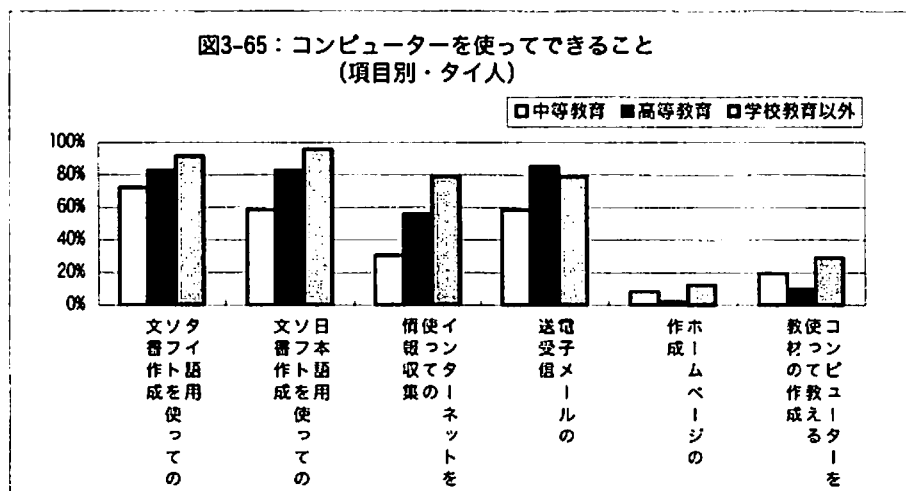
コンピューターを利用してできることは何かについて聞いたところ、図3-64のようになり、上位3項目を表3-17に示す。

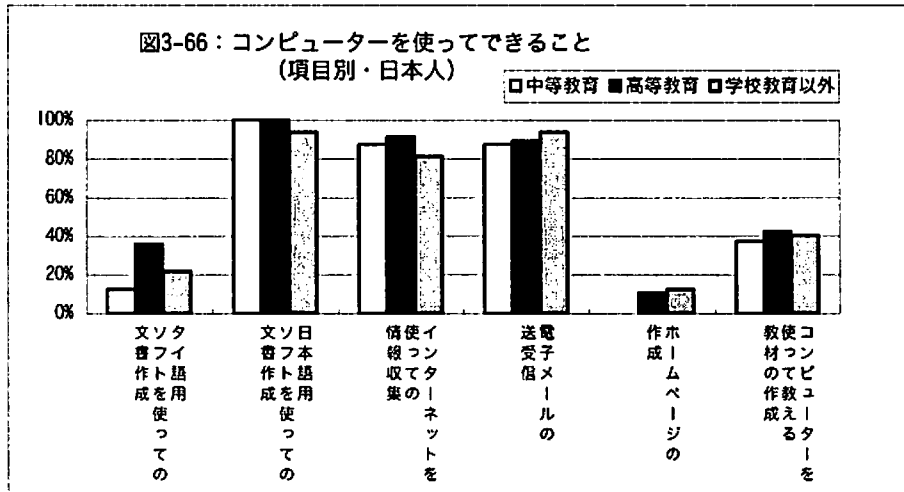
（教1Q10）

（表3-17：コンピューターを使ってできること）（ ）内は%

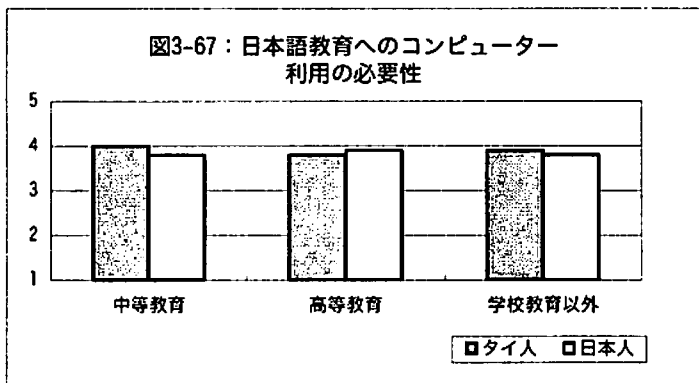
順位	タイ人	日本人
1位	ワープロソフトタイ語用を使っての文書作成 (81.2)	ワープロソフト日本語用を使っての文書作成 (97.7)
2位	ワープロソフト日本語用を使っての文書作成 (77.2)	電子メールの送受信 (90.8)
3位	電子メールの送受信 (74.3)	インターネットを利用した情報収集 (87.4)

表3-17のように日本人教師は上位3項目については高い割合でできているが、「タイ語ソフトを使っての文書作成」については28.7%と低い。タイ人教師も日本人教師も「ホームページの作成」「コンピューターを使って教える教材の作成」は低い。所属別では、図3-65・図3-66のようになり、日本人教師は所属による違いはあまりみられない。





3-2-13. 日本語教育へのコンピューター利用の必要性

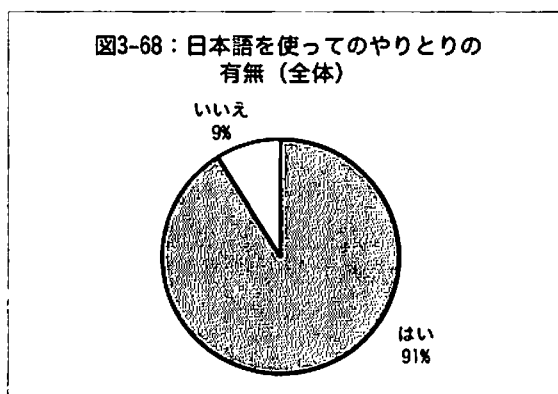


日本語教育のためにコンピューターを利用することは必要かどうかについて5段階（「5.とても必要」—「1.全く必要ない」）で聞いたところ、図3-67のようにタイ人教師・日本人教師とも高い。（教I Q11）

3-3. 日本語を使っているやりとりについて (以下、タイ人教師対象)

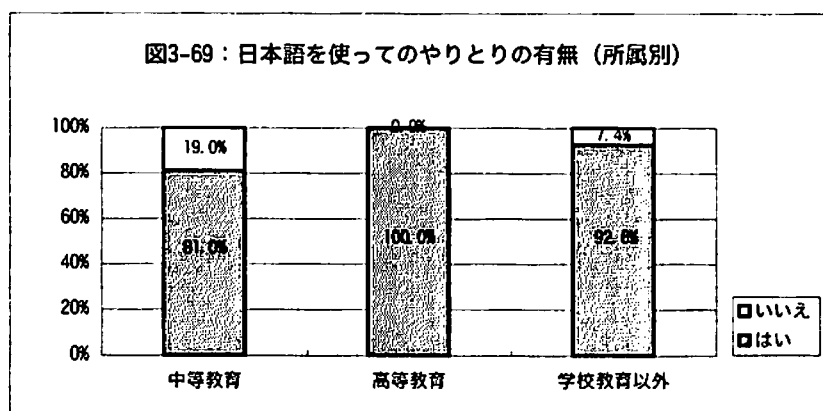
ここでは、タイ人教師のみを対象として、日本語の授業以外で教師が実際に日本語を使っているどのようなやりとりをしているのか、やりとりの有無、相手、頻度、手段、内容、理由等について聞いた結果をまとめる。なお、本節で扱う項目は「学習者」と「教師」の比較のため2-2で学習者に聞いた項目と同じになっており、その比較・分析結果については「報告書：分析編」で報告する。具体的な項目等は巻末資料の調査票を参照されたい。

3-3-1. 日本語を使っているやりとりの有無



日本語の授業以外での日本語でのやりとりについては、全体で101人(91%)が「ある」、10人(9%)が「ない」と答え、ほとんどの教師がやりとりをしている(図3-68・69、表3-18)。

〈教ⅡQ1〉



〈表3-18：日本語を使っているやりとりの有無〉()内は%

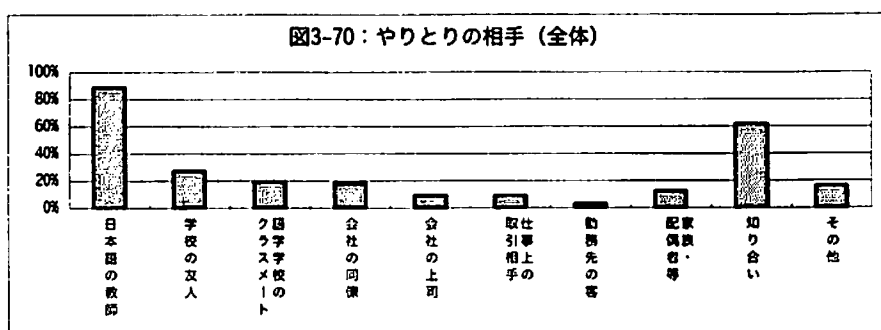
		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
回答者数	はい	34 (81.0)	42 (100)	25 (92.6)	101 (91.0)
	いいえ	8 (19.0)	0 (0)	2 (7.4)	10 (9.0)
	無回答	0	2	0	2

3-3-2. やりとりの相手

やりとりの相手は、表 3-19・図 3-70 のとおりである。全体的に所属に共通して、①「日本語の教師」(88 人) ②「知り合い」(61 人)が多い。「その他」としては、「友達(日本人の友達、学生時代の友達、一緒に日本語を勉強している友達)」(6)、「日本人ボランティア」(3)、「大学に用事があつてきた人」「大学の日本人学生」「教えに来た人の通訳」「観光客」「日本にいる先生」(各1)などが挙げられた。(教ⅡQ1-1)

〈表 3-19：やりとりの相手〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師(88.4)	日本語の教師(90.9)	日本語の教師(85.4)	日本語の教師(92.0)
2位	知り合い(61.6)	知り合い(48.5)	知り合い(63.4)	知り合い(76.0)
3位	学校の友人(27.3)	語学学校の クラスメート(30.3)	学校の友人(24.4)	学校の友人(48.0)



〈表 3-20：やりとりしている人の人数〉

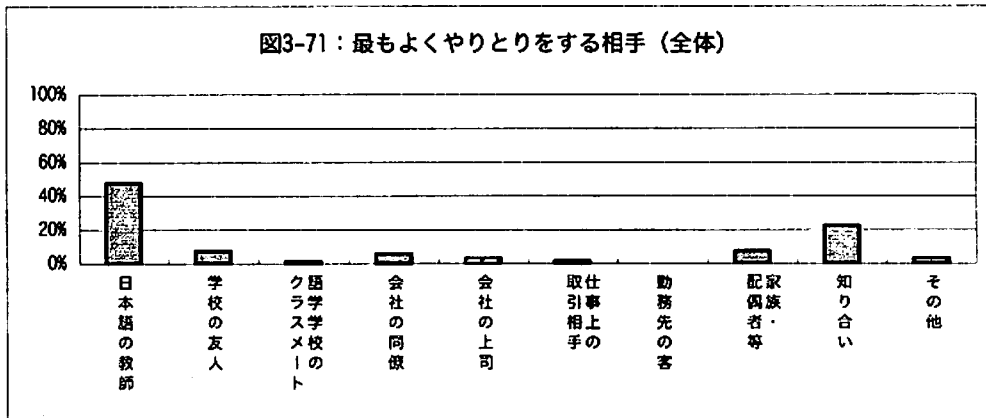
相 手	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
日本語の教師	88	30	35	23
学校の友人	27	5	10	12
語学学校のクラスメート	19	10	4	5
会社の同僚	18	2	5	11
会社の上司	9	0	3	6
仕事上の取引相手	9	1	3	5
勤務先の客	3	0	1	2
家族・配偶者等	12	0	5	7
知り合い	61	16	26	19
そ の 他	16	7	9	0

3-3-3. 最もよくやりとりをする相手

3-3-2の日本語でやりとりをする相手の中でも、最もよくやりとりをする相手について聞いた結果は、表 3-21・図 3-71 のとおりである。全体的に①「日本語の教師」(47.8%) ②「知り合い」(22.4%)の順に多く、3-3-2とほぼ同様の結果になっている。(教ⅡQ1-2)

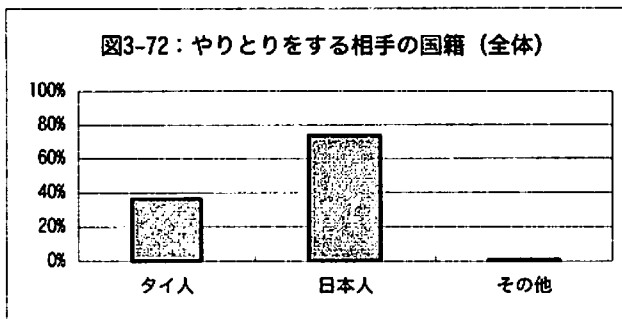
〈表 3-21：最もよくやりとりをする相手〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師 (47.8)	日本語の教師 (57.1)	日本語の教師 (38.1)	知り合い (37.5)
2位	知り合い (22.4)	知り合い (33.3)	学校の友人 (11.9)	日本語の教師 (25.0)
3位	学校の友人 家族・配偶者等 (7.5)	語学学校のクラスメート その他 (4.8)	家族・配偶者等 (7.1)	会社の同僚・上司 家族・配偶者等 (12.5)



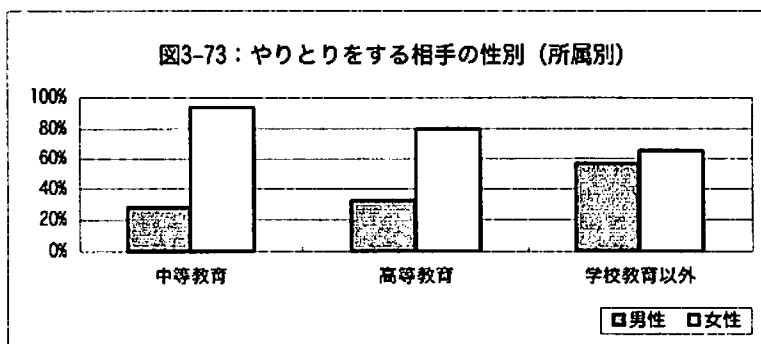
なお、最もよくやりとりする相手ごとの集計結果については、他の項目との関係を考慮して「報告書：分析編」にて詳細に扱い、本報告では全体的な集計結果のみを報告する。

3-3-4. やりとりをする相手の国籍



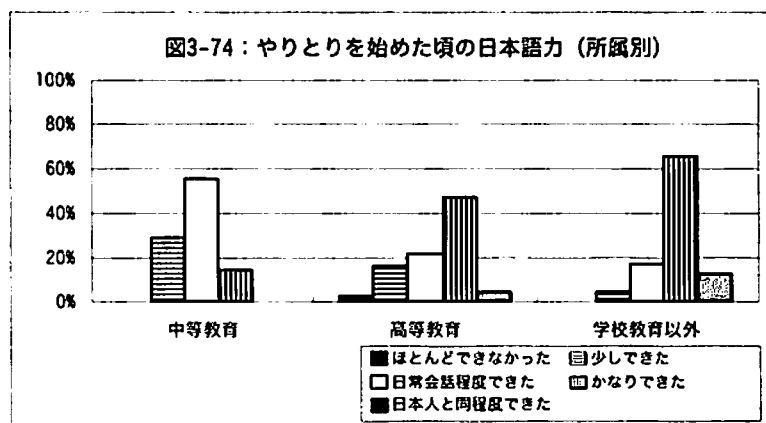
やりとりをする相手の国籍は、図 3-72 のように日本人が 73.7%と多く、所属による差はあまりみられない。〈教ⅡQ1-2〉

3-3-5. やりとりをする相手の性別



やりとりをする相手の性別は、全体的には 81.1%と女性が多いが、図 3-73 のように学校教育以外では男性も 56.5%となっている。〈教ⅡQ1-2〉

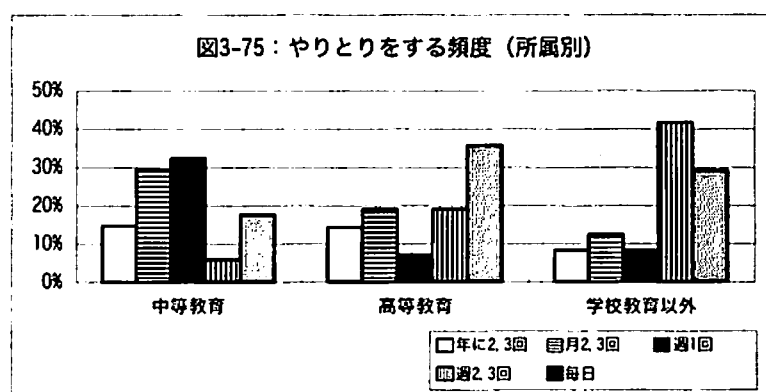
3-3-6. やりとりを始めた頃の日本語力



やりとりをするようになった頃の日本語力について自己評価してもらったところ、図3-74のように中等教育が「日常会話程度できた」(55.9%)、高等教育・学校教育以外では「かなりできた」(47.6%・65.2%)が最も多くなっている。

〈教ⅡQ1-2〉

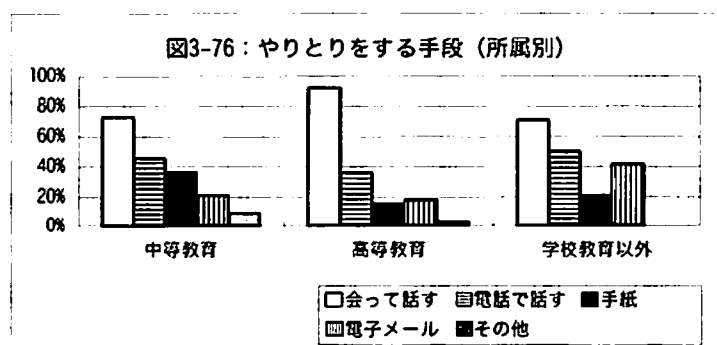
3-3-7. やりとりをする頻度



日本語でのやりとりをする頻度は、中等教育で「週1回」程度(32.4%)、高等教育で「毎日」(35.7%)、学校教育以外で「週2,3回」(41.7%)が最も高くなっている(図3-75)。

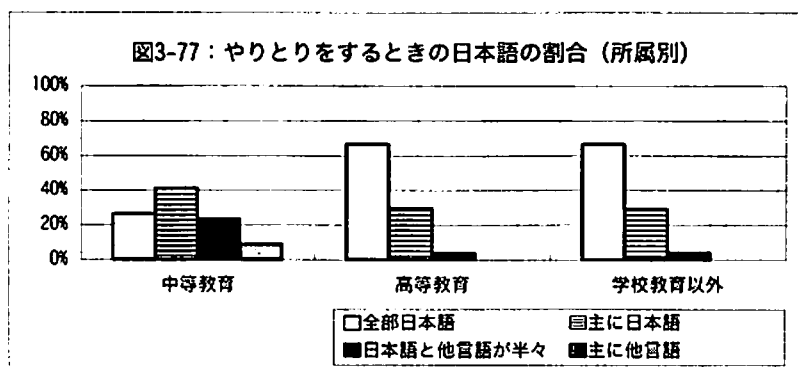
〈教ⅡQ1-2〉

3-3-8. やりとりをする手段



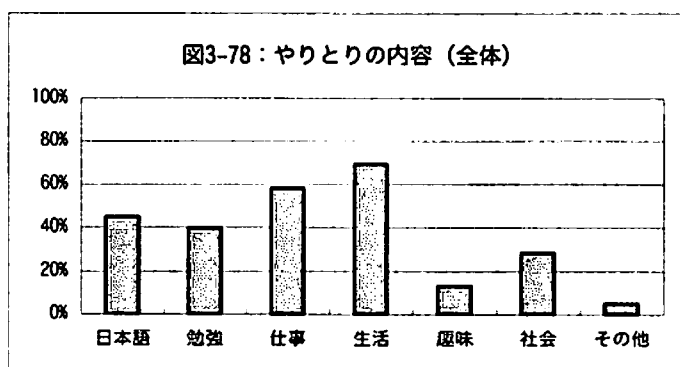
やりとりをするときの手段は、所属に共通して直接相手と「会って話す」が80.2%と多い(図3-76)。「その他」には「ノート」などが挙げられていた。(教ⅡQ1-2)

3-3-9. やりとりをするときの日本語の割合



やりとりをするときに日本語を使用する割合はどのくらいかについて聞いたところ、中等教育では「主に日本語」(41.2%)、高等教育・学校教育以外では「全部日本語」(66.7%・66.7%)が多い(図3-77)。(教ⅡQ1-2)

3-3-10. やりとりの内容



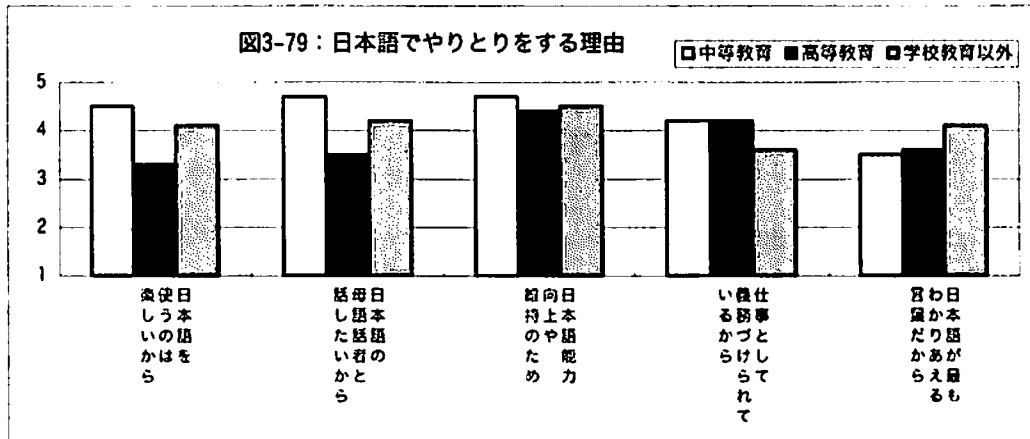
やりとりをして話す内容については、所属による違いはあまりなく、表3-22のように①「生活について」(69.4%)、②「仕事について」(58.2%)、③「日本語について」(44.9%)の順になっている。割合は低いですが、「その他」としては「日本語を教えること」「当時の出来事」などが挙げられていた。(教ⅡQ1-2)

〈表3-22：やりとりの内容〉()内は%

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	生活 (69.4)	生活 (61.8)	仕事 (75.0)	生活 (75.0)
2位	仕事 (58.2)	日本語	生活 (72.5)	仕事 (58.3)
3位	日本語 (44.9)	勉強 (50.0)	日本語 (52.5)	社会 (37.5)

3-3-11. 日本語でやりとりをする理由

日本語でやりとりをする理由を聞いたところ、図3-79のようになった。表3-23は各理由についての5段階評価の平均値を示す。どの理由についても全体的に「そう思う」という回答が多いが、「日本語能力向上や維持のため」は共通して最も高く、「日本語が最もわかりあえる言葉だから」は3.7ポイントと比較的低い。所属別では、高等教育で「日本語を使うのは楽しいから」(3.3)「日本語の母語話者と話したいから」(3.5)が比較的低く、学校教育以外で「仕事として義務付けられているから」(3.6)が比較的低い。「その他」として挙げられていた理由としては、「相手が日本人だから」「会話の練習」「もっと友人が欲しいから」が挙げられていた。(教ⅡQ1-2)



〈表 3-23：理由ポイント〉

理 由	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
日本語を使うのは楽しいから	4.0	4.5	3.3	4.1
日本語の母語話者と話したいから	4.2	4.7	3.5	4.2
日本語能力向上や維持のため	4.5	4.7	4.4	4.5
仕事として義務づけられているから	4.0	4.2	4.2	3.6
日本語が最もわかりあえる言葉だから	3.7	3.5	3.6	4.1

3-3-12. 授業以外で日本語を使わない理由

3-3-1で示したように、91%とほとんどの教師が授業以外で日本語を使っているが、使っていない教師10人に対して、使わない理由を聞いたところ、「日本語を使う相手がないから」と答えている。

〈教ⅡQ1-3〉

3-4. 日本語が使われているものとの接触について

ここでは、日本語の授業以外で教師が日本語で書かれたものや日本語が使われているものの中でどのようなものをどのように見たり聞いたりしているのか等について、教師に聞いた結果をまとめる。

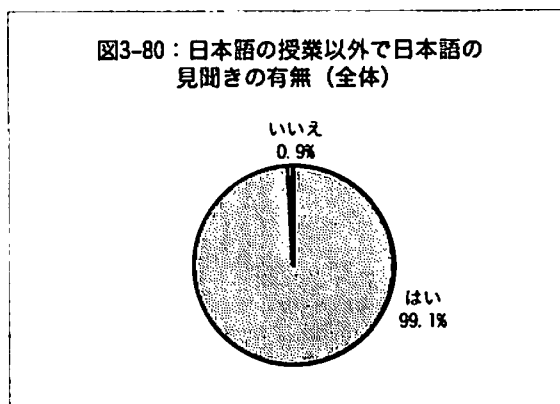
3-4-1. 身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無

まず、教師の身の回りで、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりしたことがあるかについて聞いたところ、表3-24のように106人(97.2%)の教師が「はい」と答え、所属による差はない。(教ⅡQ2)

〈表 3-24：身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無〉

		中等教育	高等教育	学校教育以外	全体
回答者数	はい	40 (97.6)	40 (97.6)	26 (96.3)	106 (97.2)
	いいえ	1 (2.4)	1 (2.4)	1 (3.7)	3 (2.8)
	無回答	1	3	0	4

3-4-2. 日本語の授業以外で日本語で書かれたものや日本語が使われているものの見聞きの有無



次に、3-4-1で「はい」と答えた106人の教師に、特に日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりすることがあるかについて聞いたところ、99.1%の教師が「はい」と答え、日本語の授業以外でも何らかの日本語を見聞きしている（図3-80）。

（教ⅡQ2-1）

〈表 3-25：日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無〉（ ）内は%

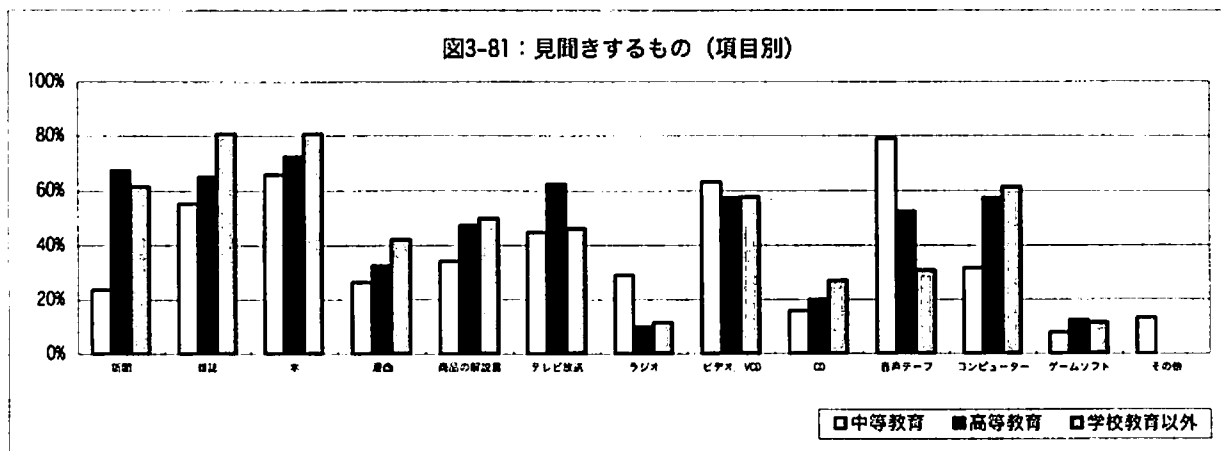
		中等教育	高等教育	学校教育以外	全体
回答者数	はい	39 (97.5)	40 (100)	26 (100)	105 (99.1)
	いいえ	1 (2.5)	0 (0)	0 (0)	1 (0.9)
	無回答	0	0	0	

3-4-3. 見聞きするもの

どのようなものを見聞きするのか聞いたところ、図3-81のようになり、上位3位までを表3-26に示した。全体的に「本」(72.1%)が共通して多いが、所属による特徴がある。中等教育では、「音声テープ」(78.9%)が最も多く、「新聞」「コンピューター」が比較的低い。高等教育では「テレビ放送」(62.5%)が比較的多く、学校教育以外では「雑誌」(80.8%)が最も多い。「その他」としては、中等教育で「料理の本」「広告看板」「店」「通信教育」「趣味（翻訳・編集）」などが挙げられていた。（教ⅡQ2-2）

〈表 3-26：見聞きするもの〉（ ）内は%

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	本 (72.1)	音声テープ (78.9)	本 (72.5)	本
2位	雑誌 (5.4)	本 (65.8)	新聞 (67.5)	雑誌 (80.8)
3位	ビデオ・VCD (59.6)	ビデオ・VCD (63.2)	雑誌 (65.0)	新聞 コンピューター (61.5)

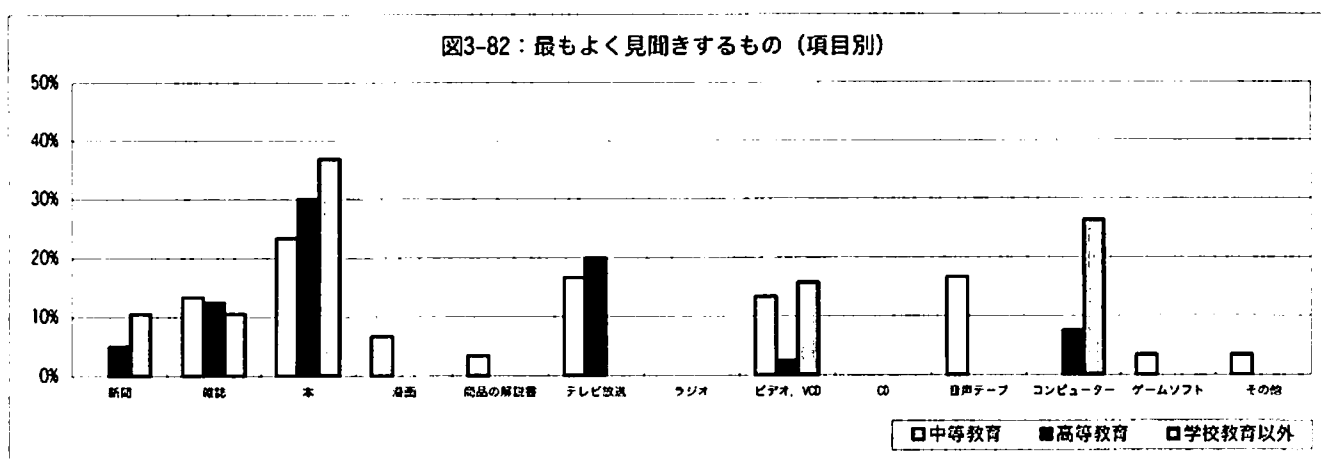


3-4-4. 最もよく見聞きするもの

3-4-3の見聞きするものの中でも、特に最も見聞きするものについては、図3-82のようになり、上位3位までを表3-27に示した。3-4-3と同様に「本」(32.5%)が共通して最も高い。所属別にみると、中等教育のみ「音声テープ」(16.7%)が高く、「新聞」は0%となっている。高等教育では「ビデオ・VCD」(2.5%)が低い。学校教育以外では「コンピューター」(26.3%)が高く、「テレビ放送」は0%となっている。(教II Q2-3)

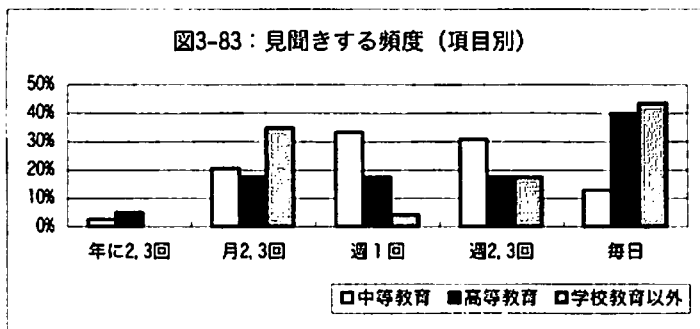
〈表3-27：最もよく見聞きするもの〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	本 (32.5)	本 (23.3)	本 (30.0)	本 (36.8)
2位	テレビ放送 (16.3)	テレビ放送	テレビ放送 (20.0)	コンピューター (26.3)
3位	雑誌 (13.8)	音声テープ (16.7)	雑誌 (12.5)	ビデオ (15.8)



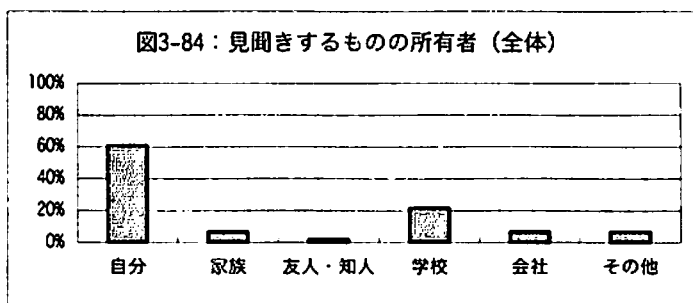
なお、最もよく見聞きするものごとの集計結果については、他の項目との関係を考慮して「報告書：分析編」にて詳細に扱い、本報告では全体的な集計結果のみを報告する。

3-4-5. 見聞きする頻度



日本語のものを見聞きする頻度は、中等教育は「週1回」(33.3%)・「週2,3回」(30.8%), 高等教育は「毎日」(40.0%), 学校教育以外は「毎日」(43.5%)・「月2,3回」(34.8%)が多い(図3-83)。(教ⅡQ2-3)

3-4-6. 見聞きするものの所有者



見聞きするものの所有者は、「自分」(60.8%)が最も多く、所属による差はない。「その他」としては、少ないが「図書館」「国際交流基金」などが挙げられた(図3-84)。

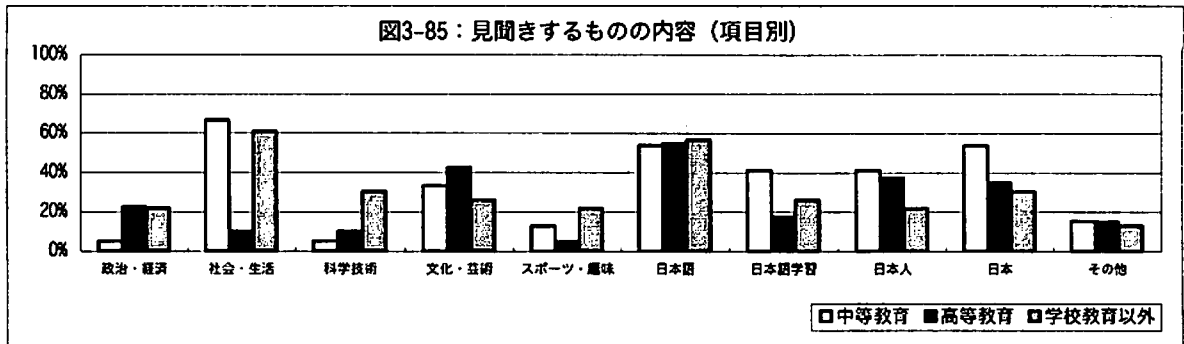
(教ⅡQ2-3)

3-4-7. 見聞きするものの内容

見聞きするものの内容については、「日本語」(54.9%)が共通して高い。所属別にみると、中等教育・学校教育以外は「社会・生活」(66.7%・60.9%)が最も高いが、高等教育は10.0%と低い。また、中等教育では「日本語学習」(41.0%)「日本」(53.8%), 高等教育では「文化・芸術」(42.5%), 学校教育以外では「科学技術」(30.4%)が比較的高い(表3-28・図3-85)。「その他」としては、「ニュース」「歌」「ドラマ・映画」「医療」などが挙げられた。(教ⅡQ2-3)

〈表3-28：見聞きするものの内容〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	社会・生活 (43.1)	社会・生活 (66.7)	日 本 語 (55.0)	社会・生活 (60.9)
2位	日 本 語 (54.9)	日 本	文化・芸術 (42.5)	日 本 語 (54.9)
3位	日 本 (41.2)	日 本 語 (53.8)	日 本 人 (37.5)	日 本 科学技術 (30.4)

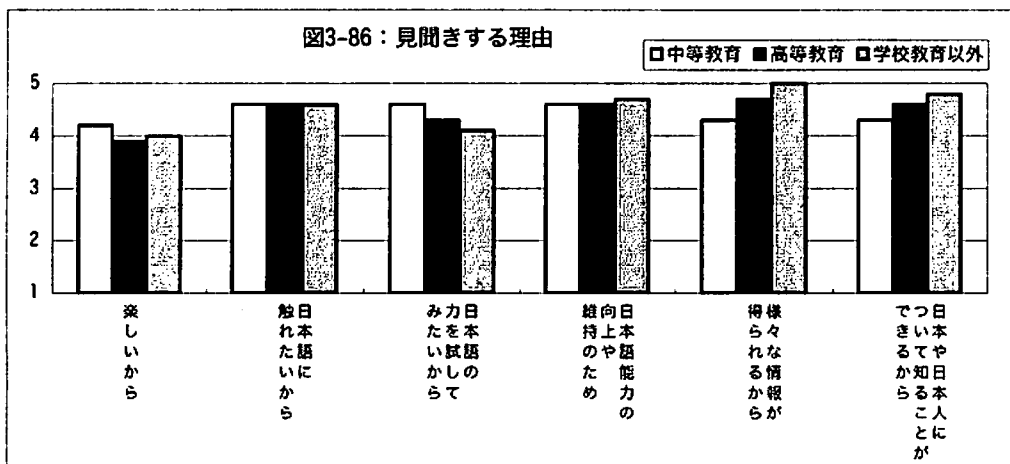


3-4-8. 見聞きする理由

日本語のものを見たり聞いたりする理由を聞いたところ、図3-86のようになった。表3-29は各理由についての5段階評価の平均値を示す。どの理由についても全体的に「全くそう思う」という回答が多い。中等教育で「日本語の力を試してみたいから」が4.6、学校教育以外で「様々な情報が得られるから」(5.0)「日本や日本人について知ることができるから」(4.8)が比較的高い。「その他」としては、「仕事」「今の仕事に関係し、興味がある日本語の本だから」「聞く能力を向上させるため」「円滑に会話できるように」「翻訳の仕事ができるから」「任務」「ストレス発散」などが挙げられた。(教ⅡQ2-3)

(表3-29：見聞きする理由)

理 由	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
楽しいから	4.1	4.2	3.9	4.0
日本語に触れたいから	4.6	4.6	4.6	4.6
日本語の力を試してみたいから	4.4	4.6	4.3	4.1
日本語能力の向上や維持のため	4.6	4.6	4.6	4.7
様々な情報が得られるから	4.6	4.3	4.7	5.0
日本や日本人について知ることができるから	4.5	4.3	4.6	4.8



3-5. 内容が日本や日本語のものとの接触について

3-4では、日本語の授業以外で日本語で書かれたものや日本語が使われているものを対象としたが、ここでは特に「日本語」で表現されたものに限定せず、タイ語や英語によるものであっても「内容」が日本や日本語のものを対象とする。その中でどのようなものをどのように見たり聞いたりしているのか等について、教師に聞いた結果をまとめる。

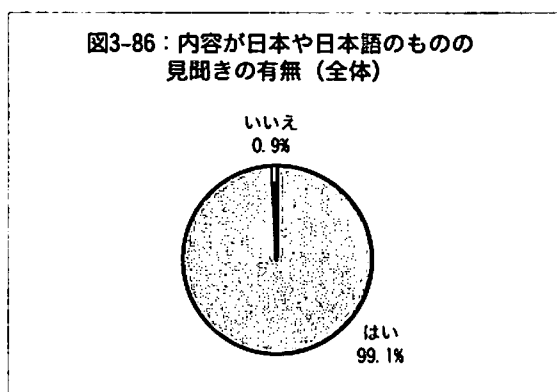
3-5-1. 身の回りで内容が日本や日本語のものの有無

まず教師の身の回りで、内容が日本や日本語のもの（タイ語や英語によるものでも可）があるかどうかについて聞いたところ、表3-30のように106人（97.2%）の教師が「はい」と答えている。（教ⅡQ3）

〈表3-30：身の回りで内容が日本や日本語のものの有無〉（ ）内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	全 体
回答者数	はい	41 (100)	41 (97.6)	24 (92.3)	106 (97.2)
	いいえ	0 (0)	1 (2.4)	2 (7.7)	3 (2.8)
	無回答	1	2	1	4

3-5-2. 内容が日本や日本語のものを見聞きの有無



次に、3-5-1で「はい」と答えた、つまり内容が日本や日本語のものがあると認識している106人の教師に、それらを実際に見たり聞いたりすることがあるかについて聞いたところ、105人（99.1%）が「はい」と答えている（図3-86・表3-31）。

（教ⅡQ3-1）

〈表3-31：内容が日本や日本語のものを見聞きの有無〉（ ）内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	全 体
回答者数	はい	41 (100)	41 (100)	23 (95.8)	105 (99.1)
	いいえ	0 (0)	0 (0)	1 (4.2)	1 (0.9)
	無回答	0	0	0	0

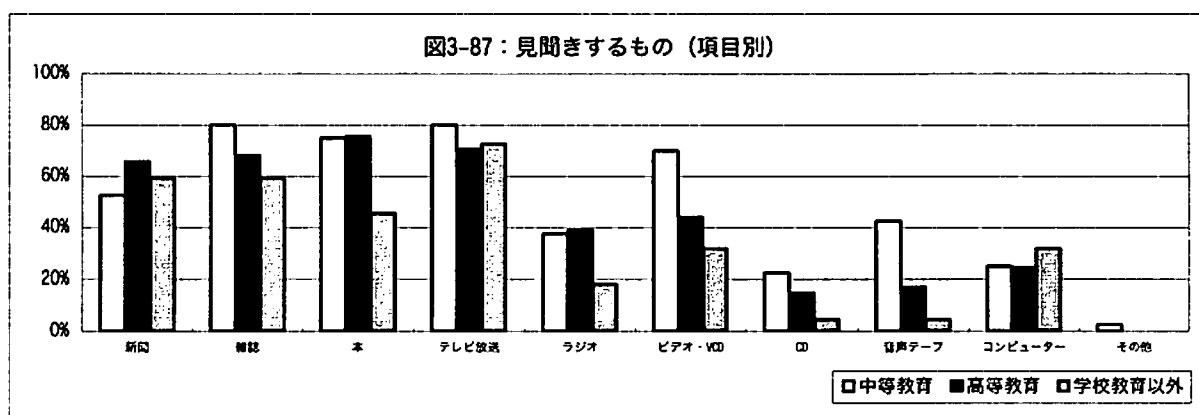
3-5-3. 見聞きするもの

3-5-2で「はい」と答えた105人に対して、どのようなものを見聞きするのか聞いたところ、上位3位までは表3-32のようになった。全体として、①「テレビ放送」(74.8%)②「雑誌」(70.9%)③「本」(68.9%)が多い。〈教ⅡQ3-2〉

〈表3-32：見聞きするもの〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ放送(74.8)	雑 誌	本 (75.6)	テレビ放送(72.7)
2位	雑 誌(70.9)	テレビ放送(80.0)	テレビ放送(70.7)	新 聞
3位	本 (68.9)	本 (75.0)	雑 誌(68.3)	雑 誌(59.1)

所属別にみると、図3-87のように、中等教育で「ビデオ・VCD」(70.0%)「音声テープ」(42.5%)が比較的多く、学校教育以外では「本」(45.5%)「ラジオ」(34.0%)が比較的低い。



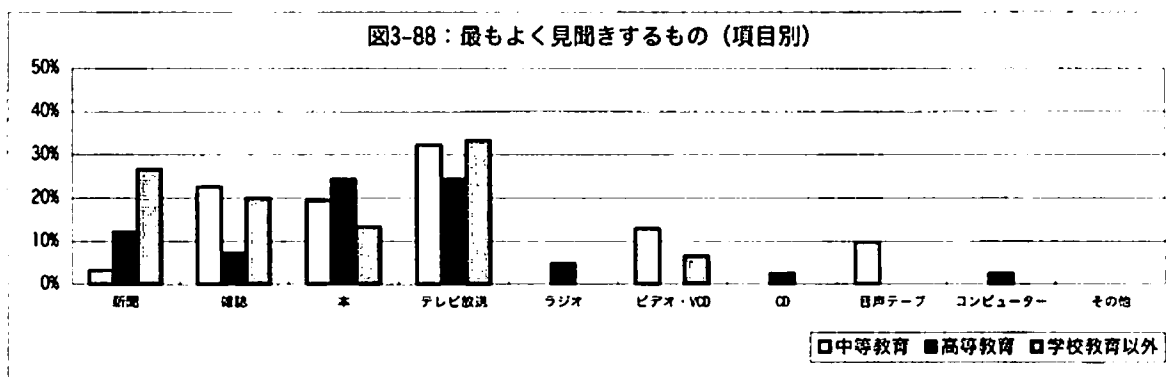
3-5-4. 最もよく見聞きするもの

3-5-3の見聞きするものの中でも、最もよく見聞きするものについては、表3-33のとおりである。全体では①「テレビ放送」(32.1%)②「本」(23.1%)③「雑誌」(16.7%)の順で3-5-3と似た結果であるが、「テレビ放送」の割合が最も高くなっている。〈教ⅡQ3-3〉

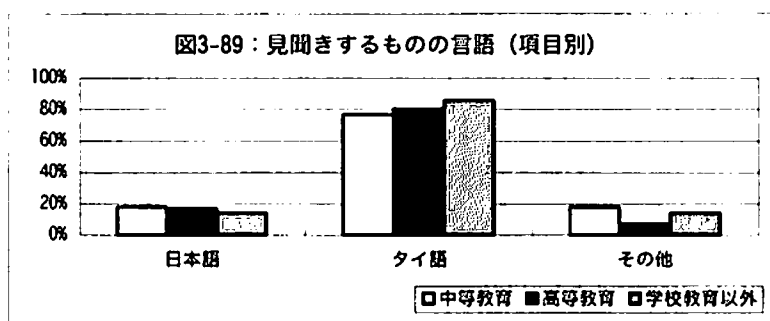
〈表3-33 最もよく見聞きするもの〉()内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ放送(32.1)	テレビ放送(32.3)	本	テレビ放送(33.3)
2位	本 (23.1)	雑 誌(22.6)	テレビ放送(24.4)	新 聞(26.7)
3位	雑 誌(16.7)	本 (19.4)	新 聞(12.2)	雑 誌(20.0)

所属別にみると、図3-88のように中等教育のみ「音声テープ」(9.7%)が挙げられ、「新聞」(3.2%)が低い。高等教育では「雑誌」(7.3%)が比較的低い。学校教育以外では「新聞」が26.7%と高い。



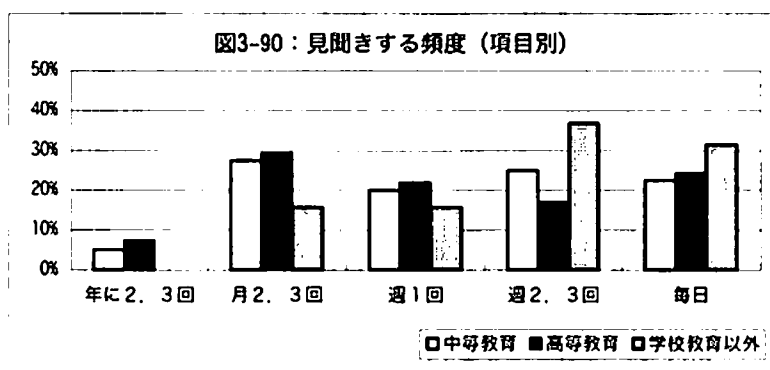
3-5-5. 見聞きするものの言語



見聞きするものの言語は、全体で「タイ語」が80.2%と共通して多い（図3-89）。「その他」の言語としては、回答のすべてが「英語」であった。

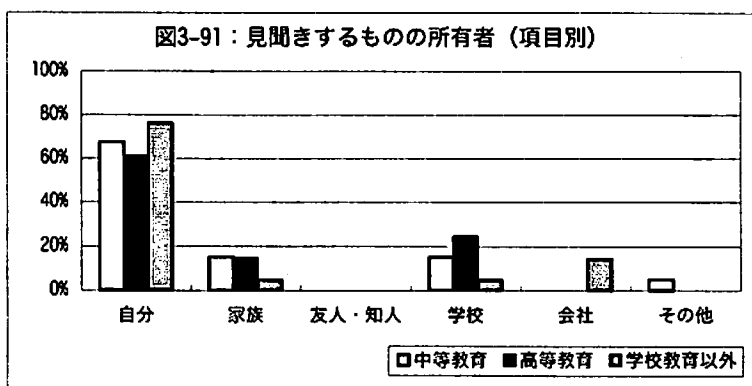
（教ⅡQ3-3）

3-5-6. 見聞きする頻度



内容が日本や日本語のものを見聞きする頻度は、図3-90のように分散している。学校教育以外は「週2, 3回」が36.8%、「毎日」が31.6%と比較的頻度が高い。（教ⅡQ3-3）

3-5-7. 見聞きするものの所有者

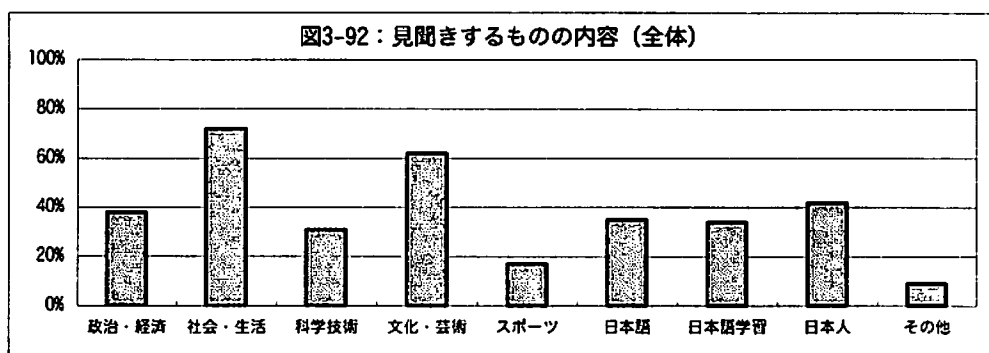


見聞きするものの所有者は、「自分」が全体的に66.7%と共通して高い（図3-91）。

〈教ⅡQ3-3〉

3-5-8. 見聞きするものの内容

見聞きするものの内容については、共通して①「日本の社会・生活」（72.0%）②「日本の文化・芸術」（62.0%）③「日本人」（42.0%）の順に多い（図3-92）。「その他」としては「ドラマ」（5）、「ゲーム」（2）、「歌・歌手」（2）、「テレビのゲーム」「映画」「料理の本」「お菓子」「テレビ番組」（各1）などが挙げられた。〈教ⅡQ3-3〉

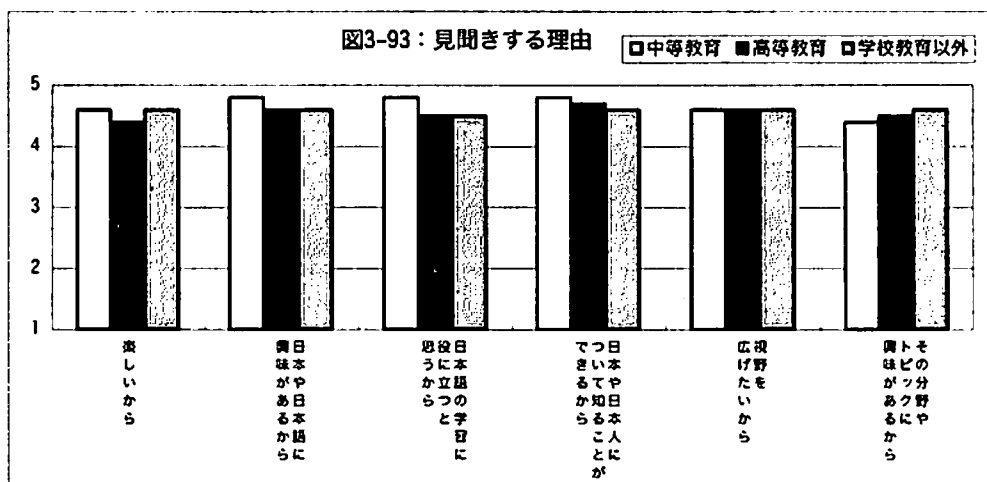


3-5-9. 見聞きする理由

内容が日本や日本語のものを見聞きする理由はどの項目も「全くそう思う」で共通している（表3-34・図3-93）。〈教ⅡQ3-3〉

〈表3-34：見聞きする理由〉

理由	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
楽しいから	4.5	4.6	4.4	4.6
日本や日本語に興味があるから	4.7	4.8	4.6	4.6
日本語の学習に役に立つと思うから	4.6	4.8	4.5	4.5
日本や日本人について知ることができるから	4.7	4.8	4.7	4.6
視野を広げたいから	4.6	4.6	4.6	4.6
その分野やトピックに興味があるから	4.5	4.4	4.5	4.6



3-6. 利用経験のある機会や場所について

ここでは、授業以外の様々な日本語学習の機会や場所をどれぐらい利用しているのか等について、教師に聞いた結果をまとめる。

3-6-1. 利用経験の有無

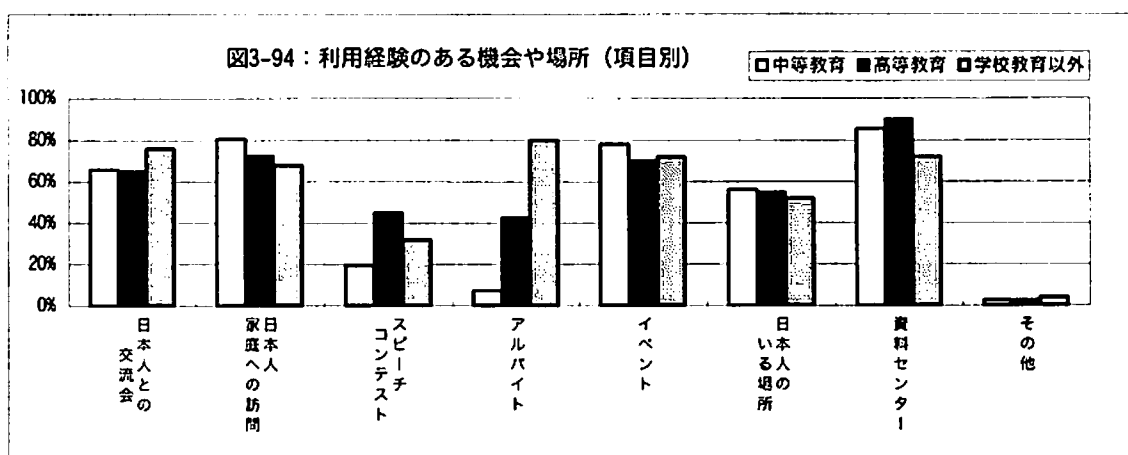
まず、これまでに何らかの日本語学習に関する機会や場所を利用した経験があるかどうかについて聞いたところ、全体で106人(96.4%)が経験があり、「経験したことがない」と答えた教師は4人(3.6%)となっている。(教ⅡQ4)

3-6-2. 利用経験のある機会や場所

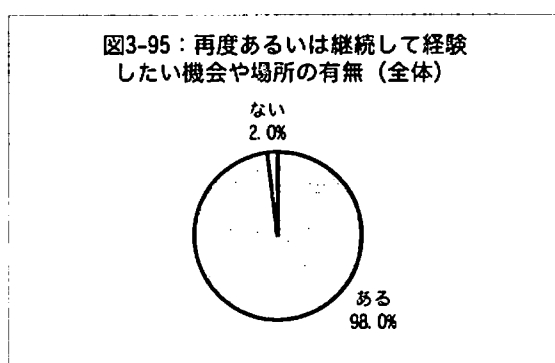
利用経験のある教師106人に対して、これまでに利用した経験のある機会や場所について聞いたところ、共通して①「日本・日本語に関する資料センター」(84.0%)②「日本人家庭への訪問」(74.5%)③「日本・日本語に関するイベント」(73.6%)が多い。所属別では、学校教育以外で「日本語が使われている職場でのアルバイト」が80.0%と最も多い(表3-35・図3-94)。「その他」としては、少ないが「日本語による特訓」「講義」「日本人に対しての講演」などが挙げられた。(教ⅡQ4)

〈表 3-35：利用経験のある機会や場所〉（ ）内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本・日本語に関する資料センター (84.0)	日本・日本語に関する資料センター (85.4)	日本・日本語に関する資料センター (90.0)	日本語が使われている職場でのアルバイト (80.0)
2位	日本人家庭への訪問 (74.5)	日本人家庭への訪問 (80.5)	日本人家庭への訪問 (72.5)	日本人との交流会 (76.0)
3位	日本・日本語に関するイベント (73.6)	日本・日本語に関するイベント (78.0)	日本・日本語に関するイベント (70.0)	日本・日本語に関するイベント、日本・日本語に関する資料センター (72.0)



3-6-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無



利用した経験のあるものの中で、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したい機会や場所があるかどうかについて聞いたところ、図 3-95 のように全体で 98.0%が「ある」と答え、所属に共通して多い。〈教ⅡQ4-1〉

〈表 3-36：再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無〉

		中等教育	高等教育	学校教育以外	全 体
回答者数	はい	38 (100)	37 (94.9)	23 (100)	98 (98.0)
	いいえ	0 (0)	2 (5.1)	0 (0)	2 (2.0)
	無回答	3	1	2	6

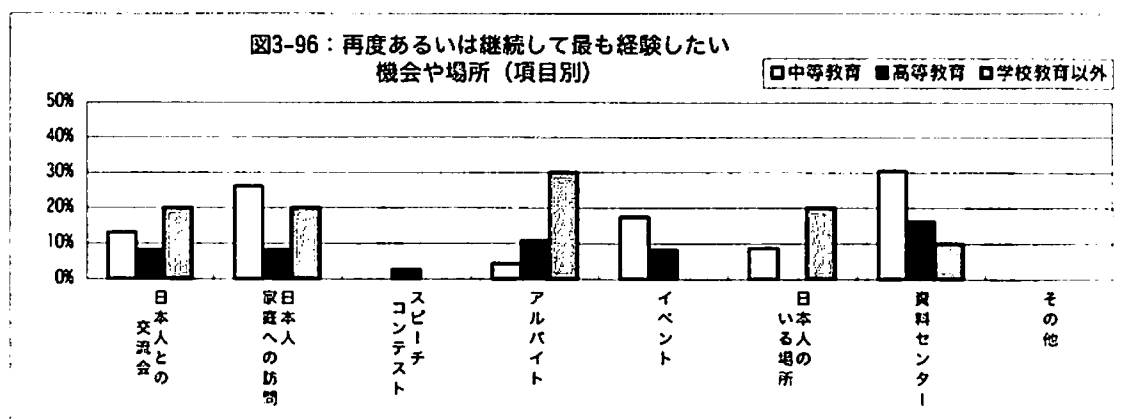
3-6-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所

もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思う機会や場所の中で、最も経験したいものについて聞いたところ、表 3-37 のように全体では①「日本・日本語に関する資料センター」(26.4%) ②「日本人家庭への訪問」(20.8%) が多くなっている。(教ⅡQ4-1)

〈表 3-37：再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所〉

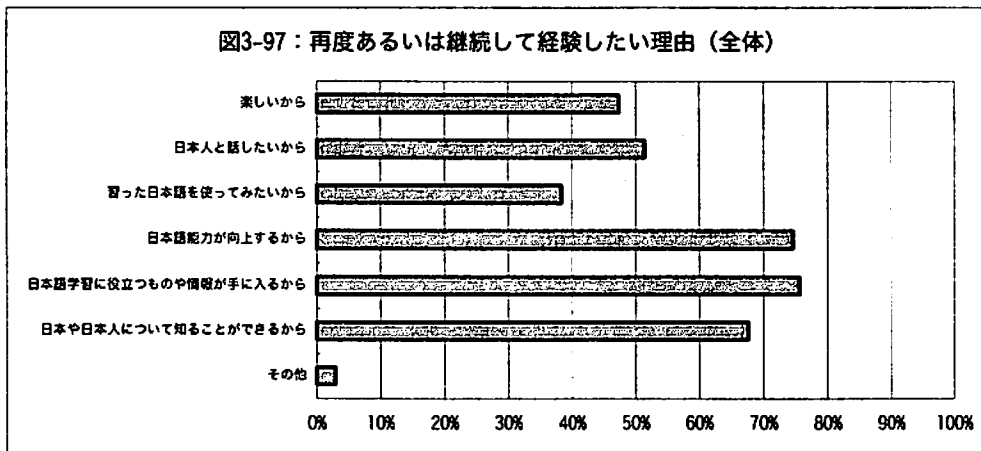
順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本・日本語に関する資料センター (26.4)	日本・日本語に関する資料センター (30.4)	日本・日本語に関する資料センター (16.2)	日本語が使われている職場でのアルバイト (30.0)
2位	日本人家庭への訪問 (20.8)	日本人家庭への訪問 (26.1)	日本語が使われている職場でのアルバイト (10.8)	日本人との交流会、日本人家庭への訪問、日本人のいる場所・日本人が集まる場所 (20.0)

所属別では、図 3-96 のように中等教育で「日本・日本語に関する資料センター」(30.4%) 「日本人家庭への訪問」(26.1%) が比較的高い。高等教育では「日本人家庭への訪問」は 8.1% と低く、「日本人のいる場所・日本人が集まる場所」は 0% である。学校教育以外では「日本語が使われている職場でのアルバイト」(30.0%) が最も高い。



3-6-5. 再度あるいは継続して経験したい理由

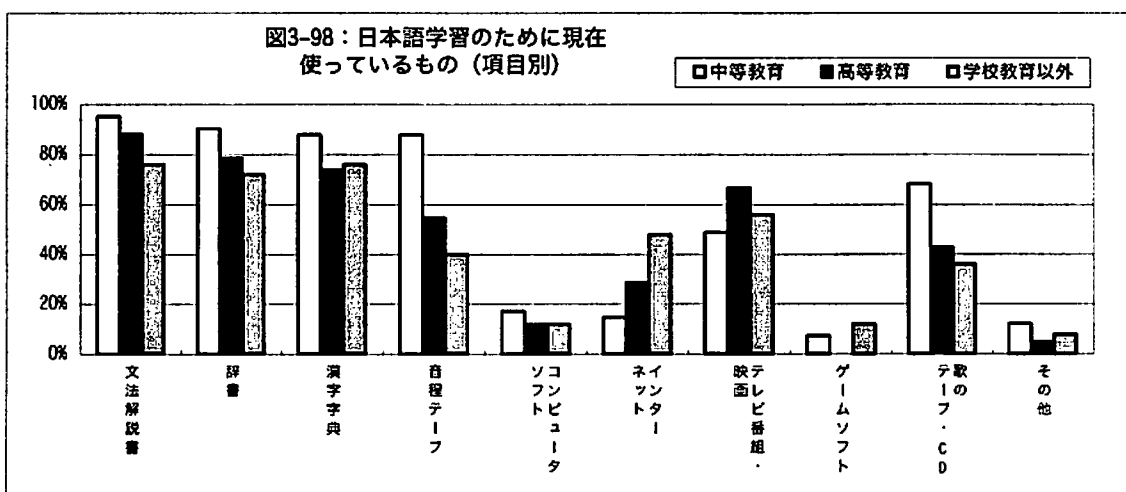
再度あるいは継続して経験したい理由について聞いたところ、図 3-97 のように共通して①「日本語学習に役立つものや情報が手に入るから」(75.8%) ②「日本語能力が向上するから」(74.7%) ③「日本や日本人について知ることができるから」(67.7%) となっている。(教ⅡQ4-2)



3-7. 現在日本語学習のために使っているものについて

ここでは、日本語学習のために現在どのようなものを使っているのかについて、教師に聞いた結果をまとめる。

現在使っているものとして、共通して①文法解説書 (88.0%) ②辞書 (81.5%) ③漢字字典 (79.6%) の順に多く、コンピューター関係は低い。所属別にみると、図3-98のように中等教育では「日本語学習のための音声テープ」「日本語の歌の入った音楽テープ」が他に比べて多く使われている。〈教II Q5〉



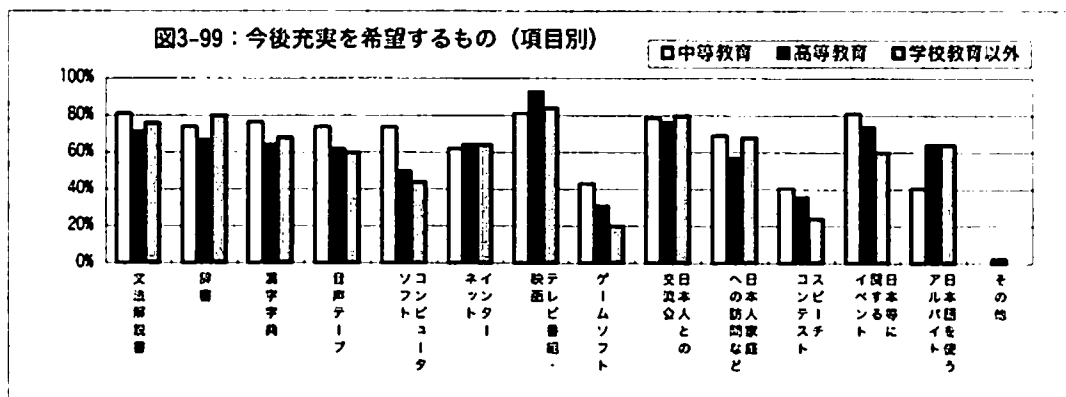
3-8. 今後充実を希望するものについて

ここでは、日本語学習や日本理解のために、今後さらに充実を希望するものとしてどのようなものがあるのかについて、教師に聞いた結果をまとめる。

今後の充実を希望するものとして、図3-99のように「日本語を使ったゲームソフト」「日本語のスピー

「コンピュータソフト」以外は、共通してすべてニーズが高い。所属別にみると、中等教育では「日本語学習のためのコンピュータソフト」(73.8%)が比較的高く、「日本語を使うアルバイト」(40.5%)が低い。

〈教ⅡQ6〉



第4章 課 題

本調査の目的は、ミクロ（個々の日本語学習や教育）・マクロ（日本語教育が置かれている社会環境）の視点から、学習者・教師の両面からアプローチし、アンケート・インタビューの手法を用いてタイ（バンコック）の学習環境と学習手段についての多様性の現状を把握することにあつた。そのうち、本報告書では特にアンケート調査の集計結果についてその概要を報告し、タイ（バンコック）の学習手段と学習環境の全体的な傾向について、所属別（中等教育・高等教育・学校教育以外）、教師については国籍別（タイ人教師・日本人教師）にその現状を示した。

しかし、本報告書は巻頭の「本報告書について」で述べたように、記述統計的な集計結果にとどまり、項目間の関係等の分析には敢えて踏み込んでいない。集計・分析の観点についても、所属別・国籍別以外に学年別等、様々な可能性が考えられる。また、アンケートは全体的な把握はできても、学習者・教師がなぜどのように個別のリソース（物、人、機会、場所等）を使っているのかについての個別的・具体的な実態について把握するには限界がある。そのため、同時平行で行った学習者・教師に対する個別インタビューの調査結果とを合わせた分析が今後重要になってくる。

翻つて、本調査は本調査研究課題「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」中、最初の調査地点であると同時に、学習環境と学習手段の実態把握を目的とした初めての海外調査の試みであり、韓国・オーストラリア等、今後の他地域での調査に向けたパイロット的な役割も担っていた。そのため、調査方法のあり方、アンケートやインタビュー調査の内容・技術に関する検討自体も重要な課題の一つであつた。その意味で、データ数は比較的十分確保することはできたが、内容的に本調査だけで現状を十分に把握しているとは言い切れない。

さらに、本調査結果はこれまで「多様である」としてその実態に踏み込んで来なかった現状に対して、リソースという新たな観点からこれからの日本語教育のあり方を議論・改善していくための契機、基礎的な資料としての役割も担っている。そのため、このような調査は一度で終らせるのではなく、調査結果を踏まえ、現地協力機関・協力者とのネットワークを広げながら、継続して調査・分析し、その成果を教育現場に還元していくことが重要である。

そこで、本調査結果を最大限に活用するべく、今後の分析の観点について、「今後の検討課題」として以下に挙げ、まとめとする。

- 本調査結果とインタビュー結果との関係
- 本調査結果と学習環境（社会状況や教育制度等）との関係
- 日本語学習に関する教師と学習者の比較
- 各項目間の関係（リソース、及びリソース利用の現状に影響を与えている要因の検討）
 - ・リソースとリソースの関係
 - ・あるリソースの利用と、他のリソース及び他のリソースの利用との関係
 - ・学習者の背景的情報（学年、訪日経験の有無、動機の種類、日本語力自己評価等）・教師の背景的情報

報（日本語学習歴，訪日経験の有無，日本語教育経験，日本語以外の教育経験，日本語以外の専門領域の有無，日本語力自己評価，日本語教育に関する研修経験，教師として重視する能力，教師の資質・能力を向上させるために役に立つと思うもの，コンピューター・リテラシー等）とリソース及びリソース利用の関係（どのような学習者・教師が何をリソースとして捉え，どのようなリソースをどのように利用しているのか）

- 日本語教師や友人等，日本語で最もよくやりとりをする相手（2-2・3-3）ごとの集計結果と比較，他の項目との関係
- 新聞，テレビ放送，ビデオ等，日本語を最もよく見聞きするもの（2-3・3-4）ごとの集計結果と比較，他の項目との関係
- 内容が日本や日本語のものの中で最もよく見聞きするもの（2-4・3-5）ごとの集計結果と比較，他の項目との関係
- その他

資 料

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究
—タイ（バンコック）アンケート調査—」調査票

学習者用（日本語版・タイ語版）

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」への

御協力をお願い

国立国語研究所日本語教育部門では、「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」を行っております。

インターネットを始めとする様々な情報流通のあり方の変化に伴い、日本語を学習する、あるいは教える環境や手段も多様化し、支援のあり方も柔軟に対応する必要があります。そのためには、まず国内外で日本語を学習、あるいは教えている方々がどのような環境で日本語を学習、あるいは教え、どのような手段で日本語を学習、あるいは教えているかについて広く情報収集し、「多様化」している現状を把握する必要があります。その一環として、本年度は国際交流基金バンコクセンターの御協力を得て、日本語教育支援のための基礎研究として、タイ(バンコク)での日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査を行っております。お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解くださり、別紙の「ご記入のお願い」をお読みの上、ご回答くださるようお願い致します。

〒115-8620 東京都北区西が丘 3-9-14
国立国語研究所日本語教育部門
TEL: 03-5993-7660
FAX: 03-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/js1/>

The Japan Foundation Bangkok Language Center
Serm Mit Tower 10F
159 Sukhumvit Soi 21
Bangkok 10110

ご記入にあたってのお願い

- (1) ご回答は、研究目的のためにのみ使わせていただきます。また、回答は統計処理を施して総括的に公表しますので、個別の回答を公表することはありません。
- (2) ご回答の方法は、各質問項目について異なりますので、各質問項目の指示にご注意ください。
- (3) 自由記述の項目及び「その他」を選択された場合は、その具体的な内容についてお書きください。
- (4) 2001年12月21日(金)までに担当の先生に御返却ください。
- (5) もし何かご不明の点がございましたら、下記まで御連絡ください。

連絡先:

〒115-8620 東京都北区西が丘 3-9-14
国立国語研究所日本語教育部門
TEL: 03-5993-7660
FAX: 03-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/js1/>

<学習者用アンケート>

* 選択肢のあるものは番号に○をしてください。

F1 性別 1. 男 2. 女

F2 国籍 _____

F3 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

F4 母語<最もよく話せることば> _____語

F5 身分 1. 高校生 _____年 2. 大学生 _____年 専攻 _____

3. 大学院生 _____年 専攻 _____

4. 勤労者

仕事で日本語を必要としますか。

1. いいえ

2. はい

「2. はい」と答えた方は次の4つのうち、最も必要とする技能は何ですか。

1. 読む 2. 聞く 3. 書く 4. 話す

5. 無職

6. その他 _____

F6 日本語の学習歴 約 _____年 _____か月

F7 あなたは今どこで日本語を勉強していますか。(複数回答可)

1. 高校

5. ソーノヨー

2. 大学

6. その他の日本語学校

3. 大学院

7. 基金 (中上級6クラス)

4. ソーソートー

8. その他 _____

F8 日本に行った経験がありますか。

1. ない

2. ある

「2. ある」と答えた方におたずねします。

日本に行った回数と期間をお書きください。

回数 _____回 期間(延べ) _____年 _____か月 _____日

日本に行った目的は何ですか。(複数回答可)

1. 観光 2. 留学 3. 仕事 4. 語学研修 5. 企業研修 6. 交流

7. その他 _____

F9 日本語の学習を始めた理由や動機は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選び、最も近いものから順に表に記入してください。

1. 大学の入試科目にあるから/大学入学に有利だから
2. 学校の授業にあるから
3. 就職に有利だから
4. 現在の仕事に必要なから
5. 日本人の知り合いがいるから
6. 親や知人などに勧められたから
7. 日本語を学ぶのは知的なこととしてまわりから評価されるから
8. 日本語は難しそうで、やりがいがあるから
9. 学びやすそうだから
10. 日本語に興味があるから国際的に重要な言語だから
11. 国際的に重要な言語だから
12. 日本の文化や社会についての情報を得たいから
13. 日本の文学や歴史に興味があるから
14. 日本に興味があるから
15. 日本に行きたいから
16. 日本のもの(テレビ、映画、ゲーム、歌など)が好きだから
17. その他 _____ →17.を選んだ場合は記入してください。

1	2	3

F10 あなたは現在、日本語がどのぐらいできると考えていますか(①)。そして、将来どのぐらいできるようになりたいと思っていますか(②)。「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」それぞれについて、最も適当なものを選んで、表の中に記入してください。

F10-1 【読むこと】

1. 全くできない。
2. ひらがなとかたかなが読める。
3. 商品のラベル、雑誌の見出しなどがわかる。
4. 簡単な文章ならだいたい理解できる。
5. 新聞や雑誌、専門書などがほぼ問題なく理解できる。
6. 母語と同じように読める。

①	②

F10-2 【書くこと】

1. 全くできない。
2. ひらがなとかたかなが書ける。
3. 簡単なメモを書くことができる。
4. 一般的な手紙を書くことができる。
5. レポートや企画書などが書ける。
6. 母語と同じように書ける。

①	②

F10-3 【聞くこと】

1. 全くできない。
2. 日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる。
3. 簡単な指示などを理解することができる。
4. 会話の中で、相手の考えや意見をだいたい理解することができる。
5. テレビニュース、学校の講義など一方的に話されるまとまった話がほぼ理解できる。
6. 母語と同じように聞いて理解できる。

①	②

F10-4 【話すこと】

1. 全くできない。
2. 挨拶ができる。簡単な自己紹介ができる。
3. 日常生活に必要な表現を状況に応じて使える。
4. 会話の中で、意見や考えを伝えることができる。
5. 人前で論理的にまとまった話を行うことができる。
6. 母語と同じように話せる。

①	②

Q1 日本語の授業以外で日本語を使ってやりとり（会話、電話、手紙、電子メールなど）をすることはありますか。

1. はい（→Q1-1へ） 2. いいえ（→Q1-3へ）

Q1-1 日本語の授業以外でどんな人と日本語でやりとりますか。やりとりする人全員に○をし、その方法を選んで○をつけてください。（複数回答可）

○ ↓	相手	方法			
		会話	手紙	電話	電子メール
1	日本語の教師				
2	学校の友人				
3	語学学校のクラスメート				
4	会社の同僚				
5	会社の上司				
6	仕事上の取引相手				
7	勤務先（レストラン等）の客				
8	家族・配偶者等				
9	知り合い				
10	その他 _____				

Q1-2 Q1-1 で○をした中で、もっともよく日本語でやりとりをする人あるいは人達について、答えてください。

その人は 1～10 のどれですか。	*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
何人ですか。	1. タイ人 2. 日本人 3. その他 _____
性別	1. 男 2. 女
やりとりをするようになった頃、あなたの日本語はどうでしたか。○を付けてください。	1. ほとんどできなかった 2. 少しできた 3. 日常会話程度できた 4. かなりできた 5. 日本人と同程度できた
やりとりをする頻度はどのぐらいですか。1つ選んでください。	1. 年に2、3回 2. 月2、3回 3. 週1回 4. 週2、3回 5. 毎日
やりとりの主な手段は何ですか。（複数回答可）	1. 会って話す 2. 電話で話す 3. 手紙 4. 電子メール 5. その他 _____
その人とやりとりをする時、日本語をどのぐらい使いますか。	1. 全部日本語 2. 主に日本語 3. 日本語と他の言語が半々 4. 主に他の言語

主にどんなことについて話しますか。(複数回答可)	1. 日本語について 2. 勉強について 3. 仕事について 4. 生活について 5. 趣味について 6. 社会について 7. その他 _____																																								
やりとりをその人とするとき、なぜ日本語を使うのですか。右の項目それぞれについて、5~1の尺度で教えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に教えてください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全くそう思う</th> <th>どちらともいえない</th> <th>全くそう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語を使うのは楽しいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本語の母語話者と話したいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本語能力向上や維持のため</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>仕事として義務づけられているから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本語が最もわかりあえる言葉だから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他 _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		全くそう思う	どちらともいえない	全くそう思わない	日本語を使うのは楽しいから	5	4	3	2	1	日本語の母語話者と話したいから	5	4	3	2	1	日本語能力向上や維持のため	5	4	3	2	1	仕事として義務づけられているから	5	4	3	2	1	日本語が最もわかりあえる言葉だから	5	4	3	2	1	その他 _____	5	4	3	2	1
	全くそう思う	どちらともいえない	全くそう思わない																																						
日本語を使うのは楽しいから	5	4	3	2	1																																				
日本語の母語話者と話したいから	5	4	3	2	1																																				
日本語能力向上や維持のため	5	4	3	2	1																																				
仕事として義務づけられているから	5	4	3	2	1																																				
日本語が最もわかりあえる言葉だから	5	4	3	2	1																																				
その他 _____	5	4	3	2	1																																				

Q1-3 (Q1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外で日本語を使わない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

1. 日本語を使う相手がいないから
2. 日本語を使いたいと思わないから
3. 自分の日本語力が充分ではないから
4. 恥ずかしいから
5. タイ語や英語の方が便利だから
6. その他 _____

Q2 身の回りに、日本語で書かれたものや日本語が使われているものはありますか。(教科書は除きます。)

1. はい (-Q2-1へ)
2. いいえ (-Q3へ)

Q2-1 日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているのを見たり聞いたりすることはありますか。

1. はい (-Q2-2へ)
2. いいえ (-Q2-4へ)

Q2-2 授業以外でどんなもの(日本語が使われているもの)を見たり聞いたりしますか。あてはまるもの全てに○をしてください。(複数回答可)

1. 新聞
2. 雑誌
3. 本
4. マンガ
5. 商品の解説書
6. テレビ放送
7. ラジオ
8. ビデオ(映画、テレビドラマ等)、VCD
9. CD
10. 音声テープ
11. コンピューター(インターネット等)
12. ゲームソフト
13. その他 _____

Q2-3 Q2-2で○をした中で、もっともよく見たり聞いたりするもの一つについて、教えてください。

それは1.~13.のどれですか。	*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.																																														
頻度はどのくらいですか。○を付けてください。	1. 年に2、3回 2. 月2、3回 3. 週1回 4. 週2、3回 5. 毎日																																														
それは誰のものですか。	1. 自分のもの 2. 家族のもの 3. 友人や知り合いのもの 4. 学校のもの 5. 会社のもの 6. その他 _____																																														
主にどんな内容ですか。(複数回答可)	1. 政治・経済 2. 社会・生活 3. 科学技術 4. 文化・芸術 5. スポーツ・趣味 6. 日本語 7. 日本語学習 8. 日本人 9. 日本 10. その他 _____																																														
見たり聞いたりする理由は何ですか。右の項目それぞれについて、5~1の尺度で教えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に教えてください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全くそう思う</th> <th>どちらともいえない</th> <th>全くそう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽しいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本語に触れたいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本語の力を試してみたいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本語能力の向上や維持のため</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>様々な情報が得られるから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本や日本人について知ることができるから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他 _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		全くそう思う	どちらともいえない	全くそう思わない	楽しいから	5	4	3	2	1	日本語に触れたいから	5	4	3	2	1	日本語の力を試してみたいから	5	4	3	2	1	日本語能力の向上や維持のため	5	4	3	2	1	様々な情報が得られるから	5	4	3	2	1	日本や日本人について知ることができるから	5	4	3	2	1	その他 _____	5	4	3	2	1
	全くそう思う	どちらともいえない	全くそう思わない																																												
楽しいから	5	4	3	2	1																																										
日本語に触れたいから	5	4	3	2	1																																										
日本語の力を試してみたいから	5	4	3	2	1																																										
日本語能力の向上や維持のため	5	4	3	2	1																																										
様々な情報が得られるから	5	4	3	2	1																																										
日本や日本人について知ることができるから	5	4	3	2	1																																										
その他 _____	5	4	3	2	1																																										

Q2-4 (Q2-1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているのを見たり聞いたりしない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

1. 見たり、聞いたりしたいと思わないから
2. 時間がないから
3. 自分の日本語力が充分でないから
4. 利用するのにお金がかかるから
5. その他 _____

Q3 身の回りに、内容が日本や日本語のもの（タイ語や英語によるものでも可）はありますか。
（教科書は除きます。）

1. はい（→Q3-1へ） 2. いいえ（→Q4へ）

Q3-1 内容が日本や日本語のもの（タイ語や英語によるものでも可）を見たり聞いたりすることはありますか。（教科書は除きます。）

1. はい（→Q3-2へ） 2. いいえ（→Q3-4へ）

Q3-2 どんなもの（タイ語や英語によるものでも可）を見たり聞いたりしますか。あてはまるもの全てに○をしてください。（複数回答可）

1. 新聞 2. 雑誌 3. 本 4. テレビ放送 5. ラジオ
6. ビデオ（映画、テレビドラマ等）、VCD
7. CD 8. 音声テープ 9. コンピューター（インターネット等）
10. その他 _____

Q3-3 Q3-2 で○をした中で、もっともよく見たり聞いたりするもの（タイ語や英語によるものでも可）二つについて、答えてください。

それは 1.~10. のどれですか。	*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.																																
それは何語ですか	1. 日本語 2. タイ語 3. その他の言語 _____																																
頻度はどのぐらいですか。○を付けてください。	1. 年に2、3回 2. 月2、3回 3. 週1回 4. 週2、3回 5. 毎日																																
それは誰のものですか。	1. 自分のもの 2. 家族のもの 3. 友人や知り合いのもの 4. 学校のもの 5. 会社のもの 6. その他 _____																																
主にどんな内容ですか。（複数回答可）	1. 日本の政治・経済 2. 日本の社会・生活 3. 日本の科学技術 4. 日本の文化・芸術 5. 日本のスポーツ 6. 日本語 7. 日本語学習 8. 日本人 9. その他 _____																																
見たり、聞いたりする理由は何ですか。右の項目それぞれについて、5~1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>全くそう思う</td> <td>どちらともいえない</td> <td>全く思わない</td> </tr> <tr> <td>楽しいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日本や日本語に興味があるから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日本語の学習に役に立つと思うから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日本や日本人について知ることができるから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>視野を広げたいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その分野やトピックに興味があるから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他 _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table>		全くそう思う	どちらともいえない	全く思わない	楽しいから	5	4	3	日本や日本語に興味があるから	5	4	3	日本語の学習に役に立つと思うから	5	4	3	日本や日本人について知ることができるから	5	4	3	視野を広げたいから	5	4	3	その分野やトピックに興味があるから	5	4	3	その他 _____	5	4	3
	全くそう思う	どちらともいえない	全く思わない																														
楽しいから	5	4	3																														
日本や日本語に興味があるから	5	4	3																														
日本語の学習に役に立つと思うから	5	4	3																														
日本や日本人について知ることができるから	5	4	3																														
視野を広げたいから	5	4	3																														
その分野やトピックに興味があるから	5	4	3																														
その他 _____	5	4	3																														

Q3-4 (Q3-1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

内容が日本や日本語のものを見たり聞いたりしない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いもの一つを選んでください。

1. 見たり聞いたりしたいと思わないから
2. 時間がないから
3. 利用するのにお金がかかるから
4. その他 _____

Q4 現在使っている日本語の教科書や授業で先生から渡されるものを授業以外の時間にも使いますか。

1. はい（→Q4-1へ） 2. いいえ（→Q4-2へ）

Q4-1 授業以外の時間に教科書や授業で先生から渡されるものを使って勉強するときに、どんなことをしていますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。（複数回答可）

1. 語句の意味を調べる
2. 漢字にふりがなをふる
3. タイ語に訳す
4. 日本語がわかる人に質問する
5. 練習問題を解く
6. 付属のカセットテープを聞く
7. 単語帳を作る
8. 自分で文を作る
9. 暗記、暗唱する
10. 練習相手を見つけて会話の練習をする
11. その他 _____

Q4-2 (Q4で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

日本語の教科書や授業で先生から渡されるものを授業以外の時間に使わない理由は何ですか。

1. 教科書を学校から持ち帰ることができないから
2. 授業以外の時間に勉強をしないから
3. どうやって使ったらいいかわからないから
4. 特に日本語に興味がないから
5. 教科書がわかりにくいから
6. その他 _____

Q5 次のような機会や場所を経験したことがありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

1. 日本人との交流会
2. 日本人家庭への訪問
3. 日本語のスピーチコンテスト
4. 日本語が使われている職場でのアルバイト
5. 日本・日本語に関するイベント
6. 日本人のいる場所、日本人が集まる場所
7. 日本・日本語に関する資料センター(例、バンコクセンター)
8. その他 _____
9. 経験したことがない(→Q5-3へ)

(→Q5-1へ)

Q5-1 経験したことがある場合、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思うものはありますか。最も経験したいと思うものをQ5の選択肢の中から一つだけ選んで記入してください。

1. ある ←Q5の選択肢の番号を一つ記入してください
2. 今後経験したいと思うものはない

Q5-2 もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思う理由はなんですか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

1. 楽しいから
2. 日本人と話したいから
3. 習った日本語を使ってみたいから
4. 日本語能力が向上するから
5. 日本語学習に役立つものや情報が手に入るから
6. 日本や日本人について知ることができるから
7. その他 _____

Q5-3 (Q5で1~8を選んだ人は回答する必要はありません。) 経験したことがないのはなぜですか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

1. 利用したいと思うが、そのような機会や場所がないから
2. お金がかかるから
3. 場所が遠いから
4. 時間がないから
5. 興味がないから
6. 必要がないから
7. 日本人と話すのが恥ずかしいから
8. 日本語がわからないと思うから
9. その他 _____

Q6 次の中で、日本語学習のために、現在使っているものはどれですか。(複数回答可)

1. 文法解説書
2. 辞書(書名: _____)
3. 漢字字典
4. 日本語学習のための音声テープ
5. 日本語学習のためのコンピューターソフト
6. インターネット
7. 日本語のテレビ番組、日本語の映画
8. 日本語を使ったゲームソフト
9. 日本語の歌の入った音楽テープ、CD
10. その他 _____

Q7 次の中で、日本語学習や日本理解のために、今後、もっと充実したらいと思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 文法解説書
2. 辞書
3. 漢字字典
4. 日本語学習のための音声テープ
5. 日本語学習のためのコンピューターソフト
6. インターネット
7. 日本語のテレビ番組、日本語の映画
8. 日本語を使ったゲームソフト
9. 日本人との交流会(パーティー、ハイキング、料理教室など)
10. 日本人家庭への訪問、ホームステイ
11. 日本語のスピーチコンテスト
12. 日本や日本語に関するイベント
13. 日本語を使うアルバイト
14. その他 _____

ขอความร่วมมือเรื่อง

「 การสำรวจวิจัยวิธีการเรียนและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่น 」

จากการเปลี่ยนแปลงด้านการรับส่งข้อมูลข่าวสารต่างๆ เช่น การใช้อินเทอร์เน็ต เป็นต้น ทำให้วิธีการเรียนและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นมีความหลากหลายมากขึ้น การให้ความช่วยเหลือและสนับสนุนจึงต้องมีการตอบสนองให้ได้อย่างเหมาะสม ดังนั้นจึงจำเป็นต้องรวบรวมข้อมูลเกี่ยวกับการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นว่า มีวิธีการอย่างไรและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอน ภาษาญี่ปุ่นเป็นอย่างไร โดยได้รับความร่วมมือจากมูลนิธิญี่ปุ่น กรุงเทพฯ ในการวิจัยเบื้องต้นและให้ความช่วยเหลือและสนับสนุนการศึกษาภาษาญี่ปุ่น จึงได้จัดทำการสำรวจเกี่ยวกับวิธีการเรียนและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นในกรุงเทพฯ

จึงเรียนมาเพื่อแจ้งให้ทราบถึงวัตถุประสงค์ของการวิจัยในครั้งนี้ และขอความร่วมมือในการกรอกแบบสอบถามตามที่แนบมานี้ด้วย

115-8620 Nishigaoka, Kita-ku, Tokyo 3-9-14
สถาบันวิจัยภาษาญี่ปุ่นแห่งชาติภาคการศึกษาภาษาญี่ปุ่น
TEL: +81-3-5993-7660
FAX: +81-3-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/jsl/>

The Japan Foundation Bangkok Language Center
Serm Mit Tower 10F
159 Sukhumvit Soi 21
Bangkok 10110

คำแนะนำในการกรอกแบบสอบถาม

- (1) ข้อมูลที่ได้จากการสำรวจจะใช้เพื่อการวิจัยเท่านั้น ผลที่ได้รับจะจัดทำเป็นสถิติแสดงผลโดยรวม และจะไม่ทำการเปิดเผยข้อมูลเป็นรายบุคคล
- (2) วิธีการตอบในแต่ละข้อจะแตกต่างกัน กรุณาอ่านคำถามในแต่ละข้ออย่างละเอียด
- (3) กรุณากรอกข้อความให้ชัดเจนในกรณีที่เลือก 「อื่น ๆ」 และข้อที่ให้เขียนรายละเอียด
- (4) กรุณาส่งคำตอบมายังไปยังอาจารย์ผู้รับผิดชอบ ภายในวันศุกร์ที่ 21 ธันวาคม 2544
- (5) หากมีข้อสงสัยใดๆ กรุณาติดต่อมายังสถานที่ด้านล่างนี้

115-8620 Nishigaoka, Kita-ku, Tokyo 3-9-14
สถาบันวิจัยภาษาญี่ปุ่นแห่งชาติภาคการศึกษาภาษาญี่ปุ่น
TEL: +81-3-5993-7660
FAX: +81-3-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/jsl/>

<แบบสอบถามสำหรับผู้เรียน>

กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขคำตอบที่เหมาะสม

F1 เพศ 1. ชาย 2. หญิง

F2 สัญชาติ _____

F3 อายุ 1. 10-19 ปี 2. 20-29 ปี 3. 30-39 ปี 4. 40-49 ปี 5. 50-59 ปี 6. 60 ปี ขึ้นไป

F4 ภาษาแม่ <ภาษาที่ใช้พูดมากที่สุด> ภาษา _____

F5 สถานภาพ

1. นักเรียนมัธยมศึกษาตอนปลายชั้นปีที่ _____
2. นักศึกษาระดับปริญญาตรีชั้นปีที่ _____ สาขาวิชา _____
3. นักศึกษาระดับปริญญาโทชั้นปีที่ _____ สาขาวิชา _____
4. ผู้มีงานทำ
 - จำเป็นต้องใช้ภาษาญี่ปุ่นในการทำงานหรือไม่
 1. ไม่จำเป็น
 2. จำเป็น และสิ่งที่จำเป็นต้องใช้มากที่สุดคืออะไร
 1. อ่าน 2. ฟัง 3. เขียน 4. พูด
 - 5. ผู้ไม่ได้ทำงาน
 - 6. อื่นๆ _____

F6 ประวัติการเรียนภาษาญี่ปุ่น(โดยประมาณ) _____ปี _____เดือน

F7 ปัจจุบัน คุณเรียนกำลังเรียนภาษาญี่ปุ่นอยู่ที่ไหน (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. โรงเรียนมัธยมปลาย
2. มหาวิทยาลัย(ปริญญาตรี)
3. มหาวิทยาลัย(ปริญญาโท)
4. สสท.
5. ส.น.ญ.
6. โรงเรียนสอนภาษาญี่ปุ่นอื่นๆ
7. มูลนิธิญี่ปุ่น กรุงเทพฯ
8. อื่นๆ _____

F8 เคยไปญี่ปุ่นหรือไม่

1. ไม่เคย
2. เคย จำนวนครั้ง _____ ครั้ง
 - ระยะเวลา (โดยประมาณ) _____ปี _____เดือน _____วัน
 - เคยไปญี่ปุ่นด้วยวัตถุประสงค์ใด(เลือกตอบที่ข้อก็ได้)
 1. ท่องเที่ยว
 2. เรียน
 3. ทำงาน
 4. ผูกอบรมด้านภาษา
 5. ผูกอบรมเรื่องงาน
 6. แลกเปลี่ยนความสัมพันธ์
 7. อื่นๆ (_____)

F9 เริ่มเรียนภาษาญี่ปุ่นด้วยเหตุผลหรือเหตุจูงใจใด เลือก 3 หัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ตรงกับความคิดของคุณมากที่สุด แล้วเติมลงในตารางด้านล่างโดยเรียงลำดับจากหัวข้อที่ตรงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. เป็นวิชาที่ใช้เพื่อสอบเข้าศึกษาต่อ
2. เป็นชั่วโมงเรียนในโรงเรียน
3. ได้เปรียบในการทำงาน
4. มีความจำเป็นในงานที่ทำอยู่ปัจจุบัน
5. มีคนรู้จักเป็นคนญี่ปุ่น
6. ได้รับการแนะนำจากพ่อแม่หรือคนรู้จัก
7. การเรียนภาษาญี่ปุ่นจะได้รับการประเมินจากคนรอบข้างว่าเป็นผู้มีความรู้
8. ภาษาญี่ปุ่นยากจึงคุ้มค่าที่จะเรียน
9. น่าจะเรียนรู้ได้ง่าย
10. สนใจในภาษาญี่ปุ่น
11. เป็นภาษาที่มีความสำคัญระดับนานาชาติ
12. ต้องการรับทราบข้อมูลเกี่ยวกับสังคมและวัฒนธรรมญี่ปุ่น
13. สนใจในประวัติศาสตร์และวรรณคดีญี่ปุ่น
14. สนใจในประเทศญี่ปุ่น
15. อยากไปญี่ปุ่น
16. ขอบลิ้นคำหรือผลิตภัณฑ์ของญี่ปุ่น เช่น รายการโทรทัศน์, ภาพยนตร์, เกม, เพลง ฯลฯ
17. อื่นๆ (ระบุ _____)

1	2	3

F10 จากหัวข้อ 「การอ่าน」 「การเขียน」 「การฟัง」 และ 「การพูด」 ด้านล่าง กรุณาตอบคำถามต่อไปนี้ โดยเลือกตัวเลขหน้าข้อที่เหมาะสมที่สุด แล้วเติมลงในตารางด้านล่าง

- ① คุณคิดว่าปัจจุบัน ความสามารถทางภาษาญี่ปุ่นของคุณอยู่ในระดับใด
- ② ในอนาคต คุณต้องการมีความสามารถในระดับใด

F10-1 「การอ่าน」

1. ไม่ได้เลย
2. อ่าน hiragana และ katakana ได้
3. เข้าใจสัทอักษรดั้ง หรือ พาดหัวนิตยสาร
4. ถ้าเป็นประโยชน์จากข่าวที่เขาใจ
5. สามารถอ่านและทำความเข้าใจหนังสือเฉพาะสาขา นิตยสารหรือหนังสือพิมพ์ได้เป็นส่วนใหญ่อย่างไร้ปัญหา
6. อ่านได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

F10-2 「การเขียน」

1. ไม่ได้เลย
2. เขียน hiragana และ katakana ได้
3. สามารถเขียนบันทึกอย่างง่ายได้
4. สามารถเขียนจดหมายทั่วไปได้
5. สามารถเขียนรายงานหรือหนังสือแผนงาน ฯลฯ ได้
6. เขียนได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

F10-3 「การฟัง」

1. ไม่ได้เลย
2. ฟังและทำความเข้าใจคำศัพท์บาง ส่วนที่ใช้เป็นประจำในชีวิตประจำวัน ฯลฯ ได้
3. สามารถเข้าใจคำสั่งอย่างง่ายได้
4. สามารถเข้าใจความคิดหรือความคิดเห็นของคู่สนทนาจากการสนทนาได้เป็นส่วนใหญ่
5. เข้าใจการบรรยายในโรงเรียน ข่าวทางโทรทัศน์ ฯลฯ ที่เป็นเรื่องราว โดยส่วนใหญ่เป็นผู้ฟังแต่เพียงฝ่ายเดียว
อย่างไร้ปัญหา
6. ฟังและทำความเข้าใจได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

F10-4 「การพูด」

1. ไม่ได้เลย
2. กล่าวทักทายและกล่าวแนะนำตัวเองอย่างง่ายได้
3. สามารถใช้สำนวนที่จำเป็นในชีวิตประจำวันได้ตามสถานการณ์
4. สามารถถ่ายทอดความคิด, ความคิดเห็นในการสนทนาได้
5. สามารถพูดเป็นเรื่องราวอย่างมีเหตุมีผลต่อหน้าสาธารณะชนได้
6. สามารถพูดได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

Q1 นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนภาษาญี่ปุ่นแล้ว คุณใช้ภาษาญี่ปุ่นในการสนทนา โทรศัพท์ จดหมาย e-mail หรืออื่นๆบ้างหรือไม่

1. ได้ใช้ (ไปตอบข้อ Q1-1) 2. ไม่ได้ใช้ (ข้ามไปตอบข้อ Q1-3)

Q1-1 นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนภาษาญี่ปุ่นแล้ว คุณใช้ภาษาญี่ปุ่นคิดต่อกับใคร กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมหมายเลขหน้าบุคคลทุกคนที่คิดต่อด้วย และเลือกวิธีที่คิดต่อใช้โดยใส่เครื่องหมายวงกลม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

○	วิธี	สนทนา	จดหมาย	โทรศัพท์	e-mail
1	ครูสอนภาษาญี่ปุ่น				
2	เพื่อนที่โรงเรียน				
3	เพื่อนร่วมห้องที่โรงเรียนสอนภาษา				
4	เพื่อนร่วมงานที่บริษัท				
5	เจ้านายที่บริษัท				
6	ลูกค้าที่คิดต่อด้วยเรื่องงาน				
7	ลูกค้าของที่ทำงาน(เช่น ร้านอาหาร)				
8	ครอบครัว คู่สมรส ฯลฯ				
9	คนรู้จัก				
10	อื่นๆ _____				

Q1-2 จากข้อ Q1-1 กรุณาตอบคำถามที่เกี่ยวกับบุคคลหรือกลุ่มบุคคลที่คิดต่อด้วยมากที่สุด

บุคคลที่คุณคิดต่อด้วยมากที่สุดคือใคร จาก 1~10	กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบหมายเลขที่อยู่หน้าตัวเลือกในตารางข้อ Q1-1 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. (กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก)					
คนชาติใด	1. คนไทย 2. คนญี่ปุ่น 3. อื่นๆ _____					
เพศ	1. ชาย 2. หญิง					
ช่วงแรกที่คุณคิดต่อด้วยภาษาญี่ปุ่นของคุณเป็นอย่างไร กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม	1. ส่วนมากไม่ได้ 2. ได้เล็กน้อย 3. ได้ระดับสนทนาในชีวิตประจำวัน 4. ค่อนข้างได้ 5. ได้ระดับเดียวกับคนญี่ปุ่น					
คิดต่อด้วยบ่อยแค่ไหน กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก	1. ปีละ 2~3 ครั้ง 2. เดือนละ 2~3 ครั้ง 3. อาทิตย์ละ 1 ครั้ง 4. อาทิตย์ละ 2~3 ครั้ง 5. ทุกวัน					
คิดต่อด้วยวิธีใด (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. พบแล้วพูดคุย 2. พูดคุยทางโทรศัพท์ 3. จดหมาย 4. e-mail 5. อื่นๆ _____					
ในการคิดต่อกับบุคคลนั้นใช้ภาษาญี่ปุ่นมากน้อยแค่ไหน	1. ภาษาญี่ปุ่นทั้งหมด 2. โดยมากเป็นภาษาญี่ปุ่น 3. ภาษาญี่ปุ่นและภาษาอื่นอย่างละครึ่ง 4. โดยมากเป็นภาษาอื่น					
พูดคุยเกี่ยวกับเรื่องใดเป็นส่วนใหญ่ (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. เกี่ยวกับภาษาญี่ปุ่น 5. เกี่ยวกับงานอดิเรก 2. เกี่ยวกับการเรียน 6. เกี่ยวกับสังคม 3. เกี่ยวกับงาน 7. อื่นๆ _____ 4. เกี่ยวกับชีวิตประจำวัน					
เหตุที่ใช้ภาษาญี่ปุ่นในการคิดต่อกับบุคคลนั้น	จากเหตุผลด้านข้างกรุณาวางกลมหมายเลขตรงกับความคิดของตัวเองมากที่สุด	ใช่	น่าจะใช่	ไม่แน่ใจ	น่าจะไม่ใช่	ไม่ใช่
	การใช้ภาษาญี่ปุ่นสนุกดี	5	4	3	2	1
	อยากพูดคุยกับคนที่พูดภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาแม่	5	4	3	2	1
	อยากรักษาและพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	เป็นหน้าที่ในฐานะที่เป็นเรื่องงาน	5	4	3	2	1
ภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาที่เขาใจซึ่งกันและกันได้ง่ายที่สุด	5	4	3	2	1	
อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2	1	

(ข้ามไปตอบข้อ Q-2)

Q1-3 (จากข้อ Q1. คนที่ตอบ '1') ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

นอกเหนือจากชั่วโมงเรียน เหตุผลที่ไม่ใช้ภาษาญี่ปุ่น นั้นเพราะอะไร กรุณาเลือกเพียงหนึ่งหัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. ไม่มีคู่สนทนาที่ใช้ภาษาญี่ปุ่น
2. ไม่ค่อยอยากใช้ภาษาญี่ปุ่น
3. ความสามารถทางภาษาญี่ปุ่นของตนเองไม่เพียงพอ
4. อาย
5. ภาษาไทย ภาษาอังกฤษหรือภาษาอื่นสะดวกกว่า
6. อื่นๆ _____

Q2 รอบตัวท่านมีสิ่งที่เขียนด้วยภาษาญี่ปุ่นหรือใช้ภาษาญี่ปุ่นอยู่หรือไม่ (ยกเว้น ตำราเรียน)

1. มี (ไปตอบข้อ Q2-1)
2. ไม่มี (ข้ามไปตอบข้อ Q3)

Q2-1 เวลาที่นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนภาษาญี่ปุ่นแล้ว ได้ฟังหรือได้ดูสิ่งที่เขียนด้วยภาษาญี่ปุ่นหรือใช้ภาษาญี่ปุ่นบ้างหรือไม่

1. ได้ (ไปตอบข้อ Q2-2)
2. ไม่ได้ (ข้ามไปตอบข้อ Q2-4)

Q2-2 นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนภาษาญี่ปุ่นแล้ว ได้ฟังหรือได้ดูอะไรบ้างที่เป็นภาษาญี่ปุ่น กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. หนังสือพิมพ์
2. นิตยสาร
3. หนังสือ
4. หนังสือการ์ตูน
5. คู่มือแนะนำการใช้ผลิตภัณฑ์
6. โทรทัศน์
7. วิทยุ
8. วีดีโอ(ภาพยนตร์ ละครโทรทัศน์ ฯลฯ) VCD
9. CD
10. เทปบันทึกเสียง
11. คอมพิวเตอร์(อินเทอร์เน็ต ฯลฯ)
12. ซอฟต์แวร์เกมส์
13. อื่นๆ _____

Q2-3 จากข้อ Q2-2 กรุณาตอบคำถามที่เกี่ยวข้องกับสิ่งของที่คุณดูหรือฟังที่เป็นภาษาญี่ปุ่นมากที่สุด

สิ่งนั้นคืออะไร จาก 1~13	กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบหมายเลขที่อยู่หน้าตัวเลือกในตารางข้อ Q2-2 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. (กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก)					
ความถี่ในการดูหรือฟัง กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม	1. บ่อย 2~3 ครั้ง	2. เดือนละ 2~3 ครั้ง	3. อาทิตย์ละ 1 ครั้ง	4. อาทิตย์ละ 2~3 ครั้ง	5. ทุกวัน	
สิ่งนั้นเป็นของของใคร	1. ของตัวเอง 2. ของครอบครัว 3. ของเพื่อนหรือคนรู้จัก 4. ของโรงเรียน 5. ของบริษัท 6. อื่นๆ _____					
โดยส่วนมากเป็นเรื่องเกี่ยวกับอะไร (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. เศรษฐกิจและการเมือง 2. สังคม การใช้ชีวิตประจำวัน 3. วิทยาศาสตร์และเทคโนโลยี 4. ศิลปวัฒนธรรม 5. กีฬา งานอดิเรก 6. ภาษาญี่ปุ่น 7. การศึกษาภาษาญี่ปุ่น 8. คนญี่ปุ่น 9. ประเทศญี่ปุ่น 10. อื่นๆ _____					
เหตุผลที่ใช้ภาษาญี่ปุ่นในการดูหรือฟัง	จากเหตุผลด้านล่างกรุณาวางกลมหมายเลขที่ตรงกับความคิดของท่านเองมากที่สุด	ใช่	น่าจะใช่	ไม่แน่ใจ	น่าจะไม่ใช่	ไม่ใช่
	สนุก	5	4	3	2	1
	อยากสัมผัสภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	อยากทดสอบความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	เพื่อรักษาและพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	เพื่อรับข้อมูลต่างๆ จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2	1	

(ข้ามไปตอบข้อ Q-3)

Q2-4 (จากข้อ Q2-1 คนที่ตอบ '1') ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนแล้ว เหตุผลที่ไม่ฟังหรือไม่ดูสิ่งที่เขียนด้วยภาษาญี่ปุ่นหรือใช้ภาษาญี่ปุ่นนั้นเพราะอะไร กรุณาเลือกเพียงหนึ่งหัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ตรงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. ไม่ค่อยอยากฟังหรืออยากดู
2. ไม่มีเวลา
3. ความสามารถทางภาษาญี่ปุ่นของตนเองไม่เพียงพอ
4. ค่อนข้างค่าใช้จ่าย
5. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q3 รอบตัวท่านมีสิ่งที่เป็นเรื่องราวหรือมีเนื้อหาเกี่ยวกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่นหรือไม่ (ยกเว้น ตำราเรียน)

1. มี (ไปตอบข้อ Q3-1)
2. ไม่มี (ข้ามไปตอบข้อ Q4)

Q3-1 ได้ฟังหรือได้ดูสิ่งที่เป็นเรื่องราวหรือมีเนื้อหาเกี่ยวกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่นบ้างหรือไม่ (ยกเว้น ตำราเรียน)

1. ได้ (ไปตอบข้อ Q3-2)
2. ไม่ได้ (ข้ามไปตอบข้อ Q3-4)

Q3-2 ได้ฟังหรือได้ดูอะไรบ้างที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่น กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. หนังสือพิมพ์
2. นิตยสาร
3. หนังสือ
4. โทรทัศน์
5. วิทยุ
6. วีดีโอ(ภาพยนตร์ ละครโทรทัศน์ ฯลฯ) VCD
7. CD
8. เทปบันทึกเสียง
9. คอมพิวเตอร์ เช่น อินเทอร์เน็ต ฯลฯ
10. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q3-3 จากข้อ Q3-2 กรุณาตอบคำถามที่เกี่ยวกับสิ่งที่คุณดูหรือฟังบ่อยมากที่สุด(ที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่น) เพียงหนึ่งอย่าง

สิ่งนั้นคืออะไร จาก 1~10	กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบหมายเลขที่ดูหรือฟังบ่อยที่สุดในตารางข้อQ3-2 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. (กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก)																																															
สิ่งนั้นเป็นภาษาอะไร	1. ภาษาญี่ปุ่น 2. ภาษาไทย 3. ภาษาอื่น(ระบุ) _____																																															
ความถี่ในการดูหรือฟัง กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบ ตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม	1. บ่อย 2~3 ครั้ง 2. เดือนละ 2~3 ครั้ง 3. อาทิตย์ละ 1 ครั้ง 4. อาทิตย์ละ 2~3 ครั้ง 5. ทุกวัน																																															
สิ่งนั้นเป็นของของใคร	1. ของตัวเอง 2. ของครอบครัว 3. ของเพื่อนหรือคนรู้จัก 4. ของโรงเรียน 5. ของบริษัท 6. อื่นๆ _____																																															
โดยส่วนมากเป็นเรื่องเกี่ยวกับอะไร (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. การเมืองและเศรษฐกิจของญี่ปุ่น 2. สังคม การใช้ชีวิตประจำวันของญี่ปุ่น 3. วิทยาศาสตร์และเทคโนโลยีของญี่ปุ่น 4. ศิลปวัฒนธรรมของญี่ปุ่น 5. กีฬาของญี่ปุ่น 6. ภาษาญี่ปุ่น 7. การศึกษาภาษาญี่ปุ่น 8. คนญี่ปุ่น 9. อื่นๆ(ระบุ) _____																																															
เหตุผลที่ฟังหรือดูนั้นเพราะอะไร	จากเหตุผลด้านล่างกรุณาวงกลมหมายเลขที่ ตรงกับความคิดของตัวเองมากที่สุด																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ใช่</th> <th>น่าจะ ใช่</th> <th>ไม่ แน่ใจ</th> <th>ไม่ น่าจะ ใช่</th> <th>ไม่ใช่</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>สนุก</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>มีความสนใจในญี่ปุ่นและภาษาญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>มีความรู้ประโยชน์ในการเรียนภาษาญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>อยากขยายทัศนวิสัย</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>สนใจในสาขาและหัวข้อ(topic)นั้น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>อื่นๆ(ระบุ) _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		ใช่	น่าจะ ใช่	ไม่ แน่ใจ	ไม่ น่าจะ ใช่	ไม่ใช่	สนุก	5	4	3	2	1	มีความสนใจในญี่ปุ่นและภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	มีความรู้ประโยชน์ในการเรียนภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	อยากขยายทัศนวิสัย	5	4	3	2	1	สนใจในสาขาและหัวข้อ(topic)นั้น	5	4	3	2	1	อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2
	ใช่	น่าจะ ใช่	ไม่ แน่ใจ	ไม่ น่าจะ ใช่	ไม่ใช่																																											
สนุก	5	4	3	2	1																																											
มีความสนใจในญี่ปุ่นและภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
มีความรู้ประโยชน์ในการเรียนภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
อยากขยายทัศนวิสัย	5	4	3	2	1																																											
สนใจในสาขาและหัวข้อ(topic)นั้น	5	4	3	2	1																																											
อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2	1																																											

(ข้ามไปตอบข้อ Q-4)

Q3-4 (จากข้อ Q3-1 คนที่ตอบ 「1」 ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

เหตุผลที่ไม่ฟังหรือไม่ดูสิ่งที่เป็นเรื่องราวหรือมีเนื้อหาเกี่ยวกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นนั้นเพราะเหตุใด
กรุณาเลือกเพียงหนึ่งหัวข้อ จากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. ไม่คิดอยากดูหรืออยากฟัง
2. ไม่มีเวลา
3. ต้องเสียค่าใช้จ่ายในการใช้
4. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q4 คุณใช้สำราหรือสิ่งที่ได้รับแจกจากอาจารย์ในช่วงโรงเรียนที่ใช้อยู่ในปัจจุบัน ในเวลาที่นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนหรือไม่

1. ใช่ (ไปตอบข้อ Q4-1)
2. ไม่ใช่ (ข้ามไปตอบข้อ Q4-2)

Q4-1 เวลาที่นอกเหนือจากชั่วโมงเรียนแล้ว ได้ใช้สำราเรียนหรือสิ่งที่ได้รับแจกจากอาจารย์ในช่วงโรงเรียน ในการเรียนอย่างไร กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม(เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. ค้นหาความหมายของคำศัพท์
2. เขียนคำอ่านของคันจิ
3. แปลเป็นภาษาไทย
4. ถามปัญหาเกี่ยวกับคำที่เข้าใจภาษาญี่ปุ่น
5. ทำแบบฝึกหัด
6. ฟังเพลงที่แนบมาด้วย
7. ทำรายการคำศัพท์
8. แต่งประโยคด้วยตัวเอง
9. ท่องจำ
10. หาคู่สนทนาแล้วฝึกบทสนทนา
11. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q4-2 (จากข้อ Q4 คนที่ตอบ 「1」 ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

เหตุผลที่ไม่ใช้สำราหรือสิ่งที่ได้รับแจกจากอาจารย์ในช่วงโรงเรียนในเวลาทีนอกเหนือจากชั่วโมงเรียนนั้นเพราะเหตุใด

1. ไม่สามารถนำสำราเรียนออกจากโรงเรียนได้
2. โดยปกติจะไม่เรียนในเวลาทีนอกเหนือจากชั่วโมงเรียน
3. ไม่รู้จะใช้อย่างไร
4. ไม่ได้สนใจภาษาญี่ปุ่นเป็นพิเศษ
5. สำราเรียนเข้าใจยาก
6. อื่นๆ(ระบุ) _____

(ข้ามไปตอบข้อ Q-5)

Q5 คุณเคยมีส่วนร่วมในโอกาสหรือสถานที่ดังต่อไปนี้หรือไม่ กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. งานแลกเปลี่ยนความสัมพันธ์กับคนญี่ปุ่น
2. เข้ามหาวิทยาลัยหรือคนญี่ปุ่น
3. การประกาศสุนทรพจน์ภาษาญี่ปุ่น
4. ทำงานพิเศษในที่ทำงานที่มีการใช้ภาษาญี่ปุ่น
5. งานหรือกิจกรรมที่เกี่ยวข้องกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่น
6. สถานที่ที่มีคนญี่ปุ่นอยู่ สถานที่ที่เป็นศูนย์รวมคนญี่ปุ่น
7. ศูนย์เอกสารข้อมูลเกี่ยวกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่น เช่น มูลนิธิญี่ปุ่น ฯลฯ
8. อื่นๆ _____
9. ไม่เคย (ข้ามไปตอบข้อ Q5-3)

ข้ามไปตอบข้อ Q5-1

Q5-1 ในกรณีที่เคย มีข้อที่คิดว่าอยากมีส่วนร่วมหรือใช้โอกาสหนึ่งอีกครั้ง หรือ อยากใช้โอกาสหนึ่งอย่างคอบหรือไม่ จากตัวเลือกในข้อ Q5 กรุณาเลือกข้อที่คิดว่าอยากใช้โอกาสนั้นมากที่สุดเพียงหนึ่งข้อ

1. มี ← ใส่เฉพาะหมายเลขของตัวเลือกข้อ Q5 เพียงหนึ่งข้อ
2. ไม่มีข้อที่คิดว่าอยากใช้โอกาสนั้นอีก (ข้ามไปคอบข้อ Q6)

Q5-2 เหตุผลที่คิดว่าอยากใช้โอกาสนั้นอีกครั้ง หรือ อยากใช้โอกาสนั้นอย่างคอบเนื่องนั้นเพราะเหตุใด กรุณาเลือก หัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณมากที่สุด (เลือกคอบที่ข้อก็ได้)

1. สนุกดี
2. อยากพูดคุยกับคนญี่ปุ่น
3. อยากลองใช้ภาษาญี่ปุ่นที่เรียนมา
4. ต้องการพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น
5. ต้องการรับชมหรือสิ่งที่มีประโยชน์ในการเรียนภาษาญี่ปุ่น
6. ต้องการรู้เรื่องเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น
7. อื่นๆ _____

(ข้ามไปคอบข้อ Q6)

Q5-3 (จากข้อ Q5 คนที่เลือก1~8 ไม่ต้องคอบคำถามข้อนี้) เพราะเหตุผลถึงไม่เข้าร่วมหรือไม่ใช้โอกาสดังกล่าว กรุณาเลือกเหตุผลจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณ (เลือกคอบที่ข้อก็ได้)

1. อยากมีส่วนร่วมในโอกาสหรือสถานที่นั้น แต่ไม่มีโอกาส
2. ต้องเสียค่าใช้จ่าย
3. สถานที่อยู่ไกล
4. ไม่มีเวลา
5. ไม่สนใจ
6. ไม่มีความจำเป็น
7. อายที่จะพูดคุยกับคนญี่ปุ่น
8. คิดว่าคงไม่เข้าใจภาษาญี่ปุ่น
9. อื่นๆ _____

Q6 จากตัวเลือกด้านล่าง ปัจจุบันคุณใช้อะไรในการเรียนภาษาญี่ปุ่น (เลือกคอบที่ข้อก็ได้)

1. หนังสืออธิบายไวยากรณ์
2. พจนานุกรม (ชื่อพจนานุกรม: _____)
3. พจนานุกรมคันจิ
4. เทปบันทึกเสียงเพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
5. ซอฟต์แวร์คอมพิวเตอร์เพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
6. อินเทอร์เน็ต
7. รายการโทรทัศน์ภาษาญี่ปุ่น ภาพยนตร์ภาษาญี่ปุ่น
8. ซอฟต์แวร์เกมส์ที่เป็นภาษาญี่ปุ่น
9. เทปหรือCD เพลงภาษาญี่ปุ่น
10. อื่นๆ _____

Q7 จากตัวเลือกด้านล่าง สิ่งที่คุณคิดว่าจากนี้ไปจะเป็นการศึกษาดำเนินไปอย่างไรบ้าง เพื่อความเข้าใจในญี่ปุ่นหรือ เพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น (เลือกคอบที่ข้อก็ได้)

1. หนังสืออธิบายไวยากรณ์
2. พจนานุกรม
3. พจนานุกรมคันจิ
4. เทปบันทึกเสียงเพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
5. ซอฟต์แวร์คอมพิวเตอร์เพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
6. อินเทอร์เน็ต
7. รายการโทรทัศน์ภาษาญี่ปุ่น ภาพยนตร์ภาษาญี่ปุ่น
8. ซอฟต์แวร์เกมส์ที่เป็นภาษาญี่ปุ่น
9. งานแลกเปลี่ยนความสัมพันธ์กับคนญี่ปุ่น (งานเลี้ยง ปีนเขา ห้องเรียนทำอาหาร ฯลฯ)
10. เยี่ยมเยือนครอบครัวคนญี่ปุ่น โฮมสเตย์
11. การประกวดสุนทรพจน์ภาษาญี่ปุ่น
12. งานหรือนิทรรศการที่เกี่ยวข้องกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่น
13. งานพิเศษที่ใช้ภาษาญี่ปุ่น
14. อื่นๆ _____

教師用（日本語版・タイ語版）

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」への

御協力をお願い

国立国語研究所日本語教育部門では、「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」を行っております。

インターネットを始めとする様々な情報流通のあり方の変化に伴い、日本語を学習する、あるいは教える環境や手段も多様化し、支援のあり方も柔軟に対応する必要があります。そのためには、まず国内外で日本語を学習、あるいは教えている方々がどのような環境で日本語を学習、あるいは教え、どのような手段で日本語を学習、あるいは教えているかについて広く情報収集し、「多様化」している現状を把握する必要があります。その一環として、本年度は国際交流基金バンコクセンターの御協力を得て、日本語教育支援のための基礎研究として、タイ（バンコク）での日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査を行っております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解くださり、別紙の「ご記入のお願い」をお読みの上、ご回答くださるようお願い致します。

〒115-8620 東京都北区西が丘 3-9-14
国立国語研究所日本語教育部門
TEL: 03-5993-7660
FAX: 03-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/jsl/>

The Japan Foundation Bangkok Language Center
Serm Mit Tower 10F
159 Sukhumvit Soi 21
Bangkok 10110

ご記入にあたってのお願い

- (1) ご回答は、研究目的のためにのみ使わせていただきます。また、回答は統計処理を施して総括的に公表しますので、個別の回答を公表することはありません。
- (2) ご回答の方法は、各質問項目について異なりますので、各質問項目の指示にご注意ください。
- (3) 自由記述の項目及び「その他」を選択された場合は、その具体的な内容についてお書きください。
- (4) 2001年12月21日(金)までに担当の先生に御返却ください。
- (5) もし何かご不明の点がございましたら、下記まで御連絡ください。

連絡先:

〒115-8620 東京都北区西が丘 3-9-14
国立国語研究所日本語教育部門
TEL: 03-5993-7660
FAX: 03-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/jsl/>

<教師用アンケート>

※選択肢のあるものは番号に○をしてください。日本人の方はF5, F6, F10の質問には答える必要はありません。

F1 性別 1. 男 2. 女

F2 国籍 _____

F3 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

F4 第一言語 _____語

F5 日本語学習歴 _____年

F5-1 その他の外国語学習歴 _____語 _____年

F6 日本に行った経験がありますか 1. ない 2. ある

「2」と答えた方はその目的は何ですか

1. 観光
2. 留学
3. 仕事
4. 語学研修
5. 日本語教育研修
6. その他 _____

F7 日本語教育経験 合計 _____年

【内訳】 大学・大学院 _____年

高校 _____年

民間日本語教育施設 _____年

企業 _____年

その他 _____年

F8 日本語以外の教育経験 _____年

F9 日本語以外に専門の領域があれば教えてください。 _____

F10 あなたは現在、日本語がどのくらいできると考えていますか (①)。そして、将来どのくらいできるようになりたいと思っていますか (②)。「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」それぞれについて、最も適当なものを選んで、表の中に記入してください。

【読むこと】

1. 全くできない。
2. ひらがなとかたかなが読める。
3. 商品のラベル、雑誌の見出しなどがわかる。
4. 簡単な文章ならだいたい理解できる。
5. 新聞や雑誌、専門書などがほぼ問題なく理解できる。
6. 母語と同じように読める。

①	②

【書くこと】

1. 全くできない。
2. ひらがなとかたかなが書ける。
3. 簡単なメモを書くことができる。
4. 一般的な手紙を書くことができる。
5. レポートや企画書などが書ける。
6. 母語と同じように書ける。

①	②

【聞くこと】

1. 全くできない。
2. 日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる。
3. 簡単な指示などを理解することができる。
4. 会話の中で相手の考えや意見をだいたい理解することができる。
5. テレビニュース、学校の講義など一方向的に話されるまとまった話がほぼ理解できる。
6. 母語と同じように聞いて理解できる。

①	②

【話すこと】

1. 全くできない。
2. 挨拶ができる。簡単な自己紹介ができる。
3. 日常生活に必要な表現を状況に応じて使える。
4. 会話の中で意見や考えを伝えることができる。
5. 人前で論理的にまとまった話をする事ができる。
6. 母語と同じように話せる。

①	②

F11 日本語教育を始めた理由は何ですか。(自由記述)

F12 日本語教育の研修を受けたことがありますか。

1. いいえ (—Q1)
2. はい

全部で何回、研修を受けましたか。 _____回

そのうちの主なものについて記入してください。

研 修 名	期 間

① 音段なさっている御自分の授業について質問をします。

Q1 授業ではどんなものを使いますか。(複数回答可)

1. 既成の教科書
2. 生教材
3. プリント教材(既成)
4. プリント教材(自作)
5. 音声テープ(既成)
6. 音声テープ(自作)
7. ビデオ(既成)
8. ビデオ(自作)
9. その他 _____

Q2 授業で「2」生教材を使ったことがある人はどんなものを使いましたか。(複数回答可)

1. 新聞記事
2. 雑誌
3. 本
4. テレビ番組
5. ビデオ
6. インターネット
7. 写真
8. マンガ
9. 音声テープ・CD
10. その他 _____

Q2-1 なぜそれらを使いましたか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

1. 学習者に本物の日本語に触れさせるため
2. 日本の事物や文化に触れさせるため
3. 日本語能力の向上には欠かせないため
4. 学習者の興味・関心をひくため
5. 学習者が希望したから
6. その他 _____

Q3 授業で自作教材を使ったことがある人はどんな自作教材を使いましたか。(複数回答可)

1. 活動用補助シート(タスクシート、ロールカードなど)
2. フラッシュカード(絵カード、文字カードなど)
3. 練習問題などのプリント
4. 読解用のプリント
5. 音声教材(テープ)
6. 学習項目説明のための図・表
7. コンピューターを使って教える教材
8. その他 _____

Q4 授業で機材を使いますか。 1. いいえ 2. はい

「2」と答えた人はどんな機材を使いますか。(複数回答可)

1. ビデオ
2. テープレコーダー
3. OHP
4. コンピューター
5. その他 _____

Q5 授業で日本語をどのくらい使いますか。(複数回答可)

1. あいさつ程度
2. 例文や本文を読む
3. 指示を出す
4. 文法説明
5. アクティビティの説明
6. 全て日本語
7. 日本語は使わない

Q6 授業を準備するときに利用したり、相談したりするものを選んでください。(複数回答可)

1. 準備は特にしない
2. 教科書
3. 教科書に付随した指導書
4. 参考書
5. 音声テープ
6. ビデオ
7. 辞書
8. 参加した研修会での資料等
9. テレビ番組
10. インターネット
11. 他のタイ人教師
12. 他の日本人教師
13. 教師以外の人
14. 前回の教案
15. その他

Q7 日本語教師の能力について、重要であると思う順番に数字を書いてください。

- () 日本語運用能力
 () 日本語教育能力
 () 日本語の知識
 () クラスマネージメント
 () 日本に関する知識
 () その他 _____

Q8 日本語教師の資質・能力向上のために、今後、充実に希望するものはどれですか。(複数回答可)

1. 文法解説書 一次のどれですか。(1. 初級 2. 中級 3. 上級)
2. 辞書 一次のどれですか。(1. タイ-日 2. 日-タイ)
3. 漢字辞典 一次のどれですか。(1. タイ語で説明 2. 日本語で説明)
4. 教師用指導参考書 一次のどれですか。(1. タイ語 2. 日本語)
5. 日本語学習のための音声テープ 一次のどれですか。(1. タイ語 2. 日本語)
6. 日本語学習のためのコンピュータソフト 一次のどれですか。(1. タイ語 2. 日本語)
7. 日本語のテレビ番組、日本語の映画
8. 日本語を使ったゲームソフト
9. 日本人との交流
10. 日本人家庭への訪問、ホームステイ
11. 日本語のスピーチコンテスト
12. 日本・日本語・日本語教育に関するイベント
13. 研修会
14. 日本語教師養成コース(大学・大学院)
15. 教師間のネットワーク
16. その他 _____

Q9 日本語教師の資質・能力向上のために何が役に立つと思いますか。1～8 それぞれについて右の5～1の尺度で答えてください。

	とても役に立つ	役に立つ	どちらともいえない	役に立たない	全く役に立たない
1. 研修会や勉強会に出席する	5	4	3	2	1
2. 参考書や専門書で勉強する	5	4	3	2	1
3. テーマを決めて研究する	5	4	3	2	1
4. 他の教師と話す	5	4	3	2	1
5. 他の教師の授業を見学する	5	4	3	2	1
6. 自分の授業を見てもらう	5	4	3	2	1
7. 異なる指導法・教材を検討したり、経験する	5	4	3	2	1
8. 教育経験を積む	5	4	3	2	1

Q9-1 他にどんなものが役に立つと思いますか。書いてください。(自由回答)

また、その中で経験したことがあるものには○をしてください。

1. _____ 2. _____
3. _____ 4. _____

Q9-2 Q9の選択肢1～8の中で、経験したことがあるものの番号を全て書いてください。

Q9-3 Q9-1、Q9-2で○をつけたものがない方(経験したものがない方)におたずねします。それはなぜですか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

1. 研修会等を知らなかったから
2. 研修会等の機会がないから
3. お金がかかるから
4. 研修会等の場所が遠いから
5. 興味がないから
6. 現在の職場では問題がないから
7. 十分な日本語教育能力があるから
8. その他 _____

Q10 コンピューターを使って以下のことができますか。できること全てに○をしてください。(複数回答可)

1. ワードソフト(タイ語用)を使って文書を作成する
2. ワードソフト(日本語用)を使って文書を作成する
3. インターネットを利用して、情報を収集する
4. 電子メールを送受信する
5. ホームページ作成ソフトを使ってホームページを作る
6. コンピューターを使って教える教材を作成する

Q11 日本語教育のために、コンピューターを利用することは必要だと思いますか。

とても必要	どちらともいえない	全く必要ない
5	4	3
		2
		1

□ *以下は、日本語が母語でない方のみお答えください。

Q1 日本語の授業以外で日本語を使ってやりとり（会話、電話、手紙、電子メールなど）をすることはありますか。

1. はい (→Q1-1へ) 2. いいえ (→Q1-3へ)

Q1-1 日本語の授業以外でどんな人と日本語でやりとりしますか。やりとりする人全員に○をし、その方法を選んで○をつけてください。(複数回答可)

○	相手	方法			
		会話	手紙	電話	電子メール
1	日本語の教師				
2	学校の友人				
3	語学学校のクラスメート				
4	会社の同僚				
5	会社の上司				
6	仕事上の取引相手				
7	勤務先（レストラン等）の客				
8	家族・配偶者等				
9	知り合い				
10	その他				

Q1-2 Q1-1で○をした中で、もっともよく日本語でやりとりをする人あるいは人達について、答えてください。

その人は 1~10 のどれですか。	*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
何人ですか。	1. タイ人 2. 日本人 3. その他 _____
性別	1. 男 2. 女
やりとりをするようになった頃、あなたの日本語はどうでしたか。○を付けてください。	1. ほとんどできなかった 2. 少しできた 3. 日常会話程度できた 4. かなりできた 5. 日本人と同程度できた
やりとりをする頻度はどのくらいですか。1つ選んでください。	1. 年に2、3回 2. 月2、3回 3. 週1回 4. 週2、3回 5. 毎日
やりとりの主な手段は何ですか。(複数回答可)	1. 会って話す 2. 電話で話す 3. 手紙 4. 電子メール 5. その他 _____

その人とやりとりをする時、日本語をどのくらい使いますか。	1. 全部日本語 2. 主に日本語 3. 日本語と他の言語が半々 4. 主に他の言語																												
主にどんなことについて話しますか。(複数回答可)	1. 日本語について 2. 勉強について 3. 仕事について 4. 生活について 5. 趣味について 6. 社会について 7. その他 _____																												
やりとりをその人とするとき、なぜ日本語を使うのですか。右の項目それぞれについて、5~1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全くそう 思う</th> <th>どちらとも いえない</th> <th>全くそう 見わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語を使うのは楽しいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3 2 1</td> </tr> <tr> <td>日本語の母語話者と話したいから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3 2 1</td> </tr> <tr> <td>日本語能力向上や維持のため</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3 2 1</td> </tr> <tr> <td>仕事として義務づけられているから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3 2 1</td> </tr> <tr> <td>日本語が最もわかりあえる言葉だから</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3 2 1</td> </tr> <tr> <td>その他 _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3 2 1</td> </tr> </tbody> </table>		全くそう 思う	どちらとも いえない	全くそう 見わない	日本語を使うのは楽しいから	5	4	3 2 1	日本語の母語話者と話したいから	5	4	3 2 1	日本語能力向上や維持のため	5	4	3 2 1	仕事として義務づけられているから	5	4	3 2 1	日本語が最もわかりあえる言葉だから	5	4	3 2 1	その他 _____	5	4	3 2 1
	全くそう 思う	どちらとも いえない	全くそう 見わない																										
日本語を使うのは楽しいから	5	4	3 2 1																										
日本語の母語話者と話したいから	5	4	3 2 1																										
日本語能力向上や維持のため	5	4	3 2 1																										
仕事として義務づけられているから	5	4	3 2 1																										
日本語が最もわかりあえる言葉だから	5	4	3 2 1																										
その他 _____	5	4	3 2 1																										

Q1-3 (Q1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外で日本語を使わない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

- 日本語を使う相手がいないから
- 日本語を使いたくと思わないから
- 自分の日本語力が充分ではないから
- 恥ずかしいから
- タイ語や英語などの方が便利だから
- その他 _____

Q2 身の回りに、日本語で書かれたものや日本語が使われているものはありますか。(教科書は除きます。)

1. はい (→Q2-1へ) 2. いいえ (→Q3へ)

Q2-1 日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりすることはありますか。

1. はい (→Q2-2へ) 2. いいえ (→Q2-4へ)

Q2-2 授業以外でどんなもの（日本語が使われているもの）を見たり聞いたりしますか。あてはまるもの全てに○をしてください。（複数回答可）

1. 新聞 2. 雑誌 3. 本 4. 漫画 5. 商品の解説書 6. テレビ放送
7. ラジオ 8. ビデオ（映画、テレビドラマ等）、VCD 9. CD
10. 音声テープ 11. コンピューター（インターネット等）
12. ゲームソフト 13. その他 _____

Q2-3 Q2-2で○をした中で、もっともよく見たり聞いたりするもの一つについて、教えてください。

それは 1.～13. のどれですか。	*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。																	
頻度はどのぐらいですか。○を付けてください。	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.					
それは誰のものですか。	1. 自分のもの 2. 家族のもの 3. 友人や知り合いのもの 4. 学校のもの 5. 会社のもの 6. その他 _____																	
主にどんな内容ですか。（複数回答可）	1. 政治・経済 2. 社会・生活 3. 科学技術 4. 文化・芸術 5. スポーツ・趣味 6. 日本語 7. 日本語学習 8. 日本人 9. 日本 10. その他 _____																	
見たり聞いたりする理由は何ですか。右の項目それぞれについて、5～1の尺度で教えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に教えてください。	全くそう思う	どちらともいえない	全くそう思わない	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	楽しいから	日本語に触れたいから	日本語の力を試してみたいから	日本語能力の向上や維持のため	様々な情報が得られるから	日本や日本人について知ることができるから	その他 _____											

Q2-4 (Q2-1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりしない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いもの一つを選んでください。

1. 見たり、聞いたりしたいと思わないから
2. 時間がないから
3. 自分の日本語力が充分でないから
4. 利用するのにお金がかかるから
5. その他 _____

Q3 身の回りに、内容が日本や日本語のもの（タイ語や英語によるものでも可）はありますか。（教科書は除きます。）

1. はい → (Q3-1へ) 2. いいえ → (Q4へ)

Q3-1 内容が日本や日本語のもの（タイ語や英語によるものでも可）を見たり聞いたりすることはありますか。（教科書は除きます。）

1. はい (→Q3-2へ) 2. いいえ (→Q3-4へ)

Q3-2 どんなもの（タイ語や英語によるものでも可）を見たり聞いたりしますか。あてはまるもの全てに○をしてください。（複数回答可）

1. 新聞 2. 雑誌 3. 本 4. テレビ放送 5. ラジオ
6. ビデオ（映画、テレビドラマ等）、VCD
7. CD 8. 音声テープ 9. コンピューター（インターネット等）
10. その他 _____

Q3-3 Q3-2で○をした中で、もっともよく見たり聞いたりするもの（タイ語や英語によるものでも可）一つについて、教えてください。

それは 1.～10. のどれですか。	*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。									
それは何語ですか	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.
頻度はどのぐらいですか。○を付けてください。	1. 年に2、3回 2. 月2、3回 3. 週1回 4. 週2、3回 5. 毎日									
それは誰のものですか。	1. 自分のもの 2. 家族のもの 3. 友人や知り合いのもの 4. 学校のもの 5. 会社のもの 6. その他 _____									

主にどんな内容ですか。(複数回答可)	1. 日本の政治・経済		2. 日本の社会・生活		3. 日本の科学技術	
	4. 日本の文化・芸術		5. 日本のスポーツ		6. 日本語	
	7. 日本語学習		8. 日本人		9. その他 _____	
見たり、聞いたりする理由は何ですか。右の項目それぞれについて、5～1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。			全くそう思う	どちらともいえない	全くそう思わない	
楽しいから	5	4	3	2	1	
日本や日本語に興味があるから	5	4	3	2	1	
日本語の学習に役に立つと思うから	5	4	3	2	1	
日本や日本人について知ることができるから	5	4	3	2	1	
視野を広げたいから	5	4	3	2	1	
その分野やトピックに興味があるから	5	4	3	2	1	
その他 _____	5	4	3	2	1	

Q3-4 (Q3-1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

内容が日本や日本語のものを**見たり聞いたりしない理由**は何ですか。次の中からあなたの考えに近いもの一つを選んでください。

1. 見たり聞いたりしたいと思わないから
2. 時間がないから
3. 利用するのにお金がかかるから
4. その他 _____

Q4 次のような機会や場所を経験したことがありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

1. 日本人との交流会
2. 日本人家庭への訪問
3. 日本語のスピーチコンテスト
4. 日本語が使われている職場でのアルバイト
5. 日本・日本語に関するイベント
6. 日本人のいる場所、日本人が集まる場所
7. 日本・日本語に関する資料センター (例、バンコクセンター)
8. その他 _____
9. 経験したことがない (→Q4-3へ)

(→Q4-1へ)

Q4-1 経験したことがある場合、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思うものはありますか。最も経験したいと思うものをQ4の選択肢の中から一つだけ選んで記入してください。

1. ある

→Q4の選択肢の番号の一つ記入してください

2. 今後経験したいと思うものはない

Q4-2 もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思う理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

1. 楽しいから
2. 日本人と話したいから
3. 習った日本語を使ってみたいから
4. 日本語能力が向上するから
5. 日本語学習に役立つものや情報が手に入るから
6. 日本や日本人について知ることができるから
7. その他 _____

Q4-3 (Q4で1～8を選んだ人は回答する必要はありません。) 経験したことがないのはなぜですか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

1. 利用したいと思うが、そのような機会や場所がないから
2. お金がかかるから
3. 場所が遠いから
4. 時間がないから
5. 興味がないから
6. 必要がないから
7. 日本人と話するのが恥ずかしいから
8. 日本語がわからないと思うから
9. その他 _____

Q5 次の中で、日本語学習のために、現在使っているものはどれですか。(複数回答可)

1. 文法解説書
2. 辞書 (書名: _____)
3. 漢字字典
4. 日本語学習のための音声テープ
5. 日本語学習のためのコンピューターソフト
6. インターネット
7. 日本語のテレビ番組、日本語の映画
8. 日本語を使ったゲームソフト
9. 日本語の歌の入った音楽テープ、CD
10. その他 _____

Q6 次の中で、日本語学習や日本理解のために、今後、もっと充実したらいと思うものはどれですか。
(複数回答可)

1. 文法解説書
2. 辞書
3. 漢字字典
4. 日本語学習のための音声テープ
5. 日本語学習のためのコンピューターソフト
6. インターネット
7. 日本語のテレビ番組、日本語の映画
8. 日本語を使ったゲームソフト
9. 日本人との交流会 (パーティー、ハイキング、料理教室など)
10. 日本人家庭への訪問、ホームステイ
11. 日本語のスピーチコンテスト
12. 日本や日本語に関するイベント
13. 日本語を使うアルバイト
14. その他 _____

ขอความร่วมมือเรื่อง
[การสำรวจวิจัยวิธีการเรียนและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่น]

จากการเปลี่ยนแปลงด้าน การรับส่งข้อมูลข่าวสารต่างๆ เช่น การใช้อินเตอร์เน็ต เป็นต้น ทำให้วิธีการเรียนและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นมีความหลากหลายมากขึ้น การให้ความช่วยเหลือและสนับสนุนจึงต้องมีการตอบสนองให้ได้อย่างเหมาะสม ดังนั้นจึงจำเป็นต้องรวบรวมข้อมูลเกี่ยวกับการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นว่า มีวิธีการอย่างไรและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอน ภาษาญี่ปุ่น เป็นอย่างไร โดยได้รับความร่วมมือจากมูลนิธิญี่ปุ่น กรุงเทพฯ ในการวิจัยเบื้องต้นและให้ความช่วยเหลือและสนับสนุนการศึกษาภาษาญี่ปุ่น จึงได้จัดทำการสำรวจเกี่ยวกับวิธีการเรียนและสิ่งแวดล้อมในการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นในประเทศไทย

จึงเรียนมาเพื่อแจ้งให้ทราบถึงวัตถุประสงค์ของการวิจัยในครั้งนี้ และขอความร่วมมือในการกรอกแบบสอบถามตามที่แนบมานี้ด้วย

115-8620 Nishigaoka, Kita-ku, Tokyo 3-9-14
สถาบันวิจัยภาษาญี่ปุ่นแห่งชาติภาคการศึกษาภาษาญี่ปุ่น
TEL:+81-3-5993-7660
FAX:+81-3-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/jsl/>

The Japan Foundation Bangkok Language Center
Sem Mit Tower 10F
159 Sukhumvit Soi 21
Bangkok 10110

คำแนะนำในการกรอกแบบสอบถาม

- (1) ข้อมูลที่ได้จากการสำรวจนี้จะใช้เพื่อการวิจัยเท่านั้น ผลที่ได้รับจะจัดทำเป็นสถิติแสดงผลโดยรวม และจะไม่ทำการเปิดเผยข้อมูลเป็นรายบุคคล
- (2) วิธีการกรอกคำตอบในแต่ละข้อจะแตกต่างกัน กรุณาอ่านคำถามในแต่ละข้ออย่างละเอียด
- (3) กรุณากรอกข้อความให้ชัดเจนในกรณีทีเลือก 「อื่นๆ」 และขอให้เขียนรายละเอียด
- (4) กรุณาส่งคำตอบมาขังไปยังอาจารย์ผู้รับผิดชอบ ภายในวันศุกร์ที่ 21 ธันวาคม 2544
- (5) หากมีข้อสงสัยใดๆ กรุณาติดต่อมายังสถานที่ด้านล่างนี้

115-8620 Nishigaoka, Kita-ku, Tokyo 3-9-14
สถาบันวิจัยภาษาญี่ปุ่นแห่งชาติภาคการศึกษาภาษาญี่ปุ่น
TEL:+81-3-5993-7660
FAX:+81-3-3906-3530
<http://www.kokken.go.jp/jsl/>

< แบบสอบถามสำหรับผู้สอน >

กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขคำตอบที่เหมาะสม

F1 เพศ 1. ชาย 2. หญิง

F2 สัญชาติ _____

F3 อายุ 1. 10-19 ปี 2. 20-29 ปี 3. 30-39 ปี 4. 40-49 ปี 5. 50-59 ปี 6. 60 ปี ขึ้นไป

F4 ภาษาแม่ คือ ภาษา _____

F5 ประวัติการเรียนภาษาญี่ปุ่น _____ ปี

F5-1 ประวัติการเรียนภาษาต่างประเทศอื่นๆ ภาษา _____ ปี

F6 เคยไปญี่ปุ่นหรือไม่ 1. ไม่เคย

2. เคย เคยไปญี่ปุ่นด้วยวัตถุประสงค์ใด(เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. ท่องเที่ยว

4. ผักอบรมคำณภาษา

2. เรียน

5. ผักอบรมการสอนภาษาญี่ปุ่น

3. ทำงาน

6. อื่นๆ(ระบุ) _____

F7 ประสบการณ์การสอนภาษาญี่ปุ่น รวม _____ ปี

โดยสอนในระดับปริญญาตรี ปริญญาโท _____ ปี

โดยสอนในระดับมัธยมปลาย _____ ปี

โดยสอนในสถานประกอบการสอนภาษาญี่ปุ่นของเอกชน _____ ปี

โดยสอนในบริษัท องค์กร _____ ปี

อื่นๆ(ระบุ) _____ ปี

F8 ประสบการณ์การสอนอื่นนอกเหนือจากการสอนภาษาญี่ปุ่น _____ ปี

F9 สาขาอื่นๆที่เรียนนอกเหนือจากภาษาญี่ปุ่น(ถ้ามี) _____

F10 จากหัวข้อ 「การอ่าน」 「การเขียน」 「การฟัง」 และ 「การพูด」 ด้านล่าง กรุณาตอบคำถามต่อไปนี้ โดยเลือก

ตัวเลขหน้าข้อที่เหมาะสมที่สุด แล้วเติมลงในตารางด้านล่าง

① คุณคิดว่ามีจจุบัน ความสามารถทางภาษาญี่ปุ่นของคุณอยู่ในระดับใด

② ในอนาคต คุณต้องการมีความสามารถในระดับใด

「การอ่าน」

1. ไม่ได้เลย

2. อ่านhiragana และ katakanaได้

3. เข้าใจสลากสินค้าหรือหาตัวหนังสือ

4. ถ้าเป็นประโยคง่ายๆก็พอเข้าใจ

5. สามารถอ่านและทำความเข้าใจหนังสือเฉพาะสาขา นิตยสารหรือหนังสือพิมพ์ได้เป็นส่วนใหญ่อย่างไม่มีปัญหา

6. อ่านได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

「การเขียน」

1. ไม่ได้เลย

2. เขียนhiragana และ katakanaได้

3. สามารถเขียนบันทึกอย่างง่ายได้

4. สามารถเขียนจดหมายทั่วไปได้

5. สามารถเขียนรายงานหรือหนังสือแผนงาน ฯลฯ ได้

6. เขียนได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

「การฟัง」

1. ไม่ได้เลย

2. ฟังและทำความเข้าใจคำหยาบๆ ส่วนที่ใช้เป็นประจำในชีวิตประจำวัน ฯลฯ ได้

3. สามารถเข้าใจคำสั่งอย่างง่ายได้

4. สามารถเข้าใจความคิดหรือความคิดเห็นของคู่สนทนาได้จากการสนทนาได้เป็นส่วนใหญ่

5. เข้าใจการบรรยายในมหาวิทยาลัย, ข่าวทางโทรทัศน์ ฯลฯ ได้เป็นส่วนใหญ่อย่างไม่มีปัญหา

6. ฟังและทำความเข้าใจได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

「การพูด」

1. ไม่ได้เลย

2. กล่าวหยาบๆและกล่าวแนะนำตัวเองอย่างง่ายได้

3. สามารถใช้สำนวนที่จำเป็นในชีวิตประจำวันได้ตามสถานการณ์

4. สามารถถ่ายทอดความคิด ความคิดเห็นได้

5. สามารถพูดคุยเรื่องที่มีความยาวพอสมควรได้โดยไม่ต้องเตรียมตัวล่วงหน้า สามารถสนทนาโต้ตอบ

กับคนญี่ปุ่นได้

6. สามารถพูดได้ในระดับเดียวกับภาษาแม่

①	②

F11 เหตุผลที่เริ่มสอนภาษาญี่ปุ่น (เขียนรายละเอียด)

F12 เคยเข้ารับการฝึกอบรมการสอนภาษาญี่ปุ่นหรือไม่

1. ไม่เคย (ข้ามไปตอบข้อ Q1)

2. เคย เข้ารับการฝึกอบรมทั้งกี่ครั้ง _____ ครั้ง

กรุณากรอกหัวข้อการฝึกอบรมทั้งหมดที่เคยเข้ารับการฝึกอบรมมาและระยะเวลาในการฝึกอบรม

หัวข้อการฝึกอบรม	ระยะเวลา

1 คำถามเกี่ยวกับชั่วโมงการสอนตามปกติของคุณ

Q1 จากตัวเลือกด้านล่าง คุณใช้อะไรในชั่วโมงการสอน (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. สำราเรียนที่มีอยู่แล้ว
2. อุปกรณ์การสอนเดิม
3. เอกสารแผ่น(ที่มีอยู่แล้ว)
4. เอกสารแผ่น(ที่ทำขึ้นเอง)
5. เทปบันทึกเสียง(ที่มีอยู่แล้ว)
6. เทปบันทึกเสียง(ที่ทำขึ้นเอง)
7. วีดีโอ(ที่มีอยู่แล้ว)
8. วีดีโอ(ที่ทำขึ้นเอง)
9. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q2 คนที่เคยใช้ 「2」 อุปกรณ์การสอนเดิมในชั่วโมงการสอน อุปกรณ์การสอนของคุณได้แก่อะไร (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. บทความหนังสือพิมพ์
2. นิตยสาร
3. หนังสือ
4. รายการโทรทัศน์
5. วีดีโอ
6. อินเทอร์เน็ต
7. รูปถ่าย
8. หนังสือการ์ตูน
9. เทปบันทึกเสียงหรือCD
10. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q2-1 เหตุผลที่ใช้

1. เพื่อให้ผู้เรียนได้สัมผัสภาษาญี่ปุ่นอย่างแท้จริง
2. เพื่อให้ผู้เรียนได้สัมผัสวัฒนธรรมหรือญี่ปุ่นอย่างแท้จริง
3. เป็นสิ่งที่น่าสนใจในการพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น
4. เพื่อดึงดูดความสนใจของผู้เรียน
5. เป็นความต้องการของผู้เรียน
6. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q3 คนที่เคยใช้อุปกรณ์การสอนที่ทำขึ้นเองในชั่วโมงการสอน อุปกรณ์การสอนที่ทำขึ้นเองนั้นได้แก่อะไร (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. เอกสารแผ่น(sheet)ช่วยเสริมสร้างกิจกรรม เช่น task sheet, role card เป็นต้น
2. flash card เช่น การ์ดรูปภาพ การ์ดคำศัพท์ เป็นต้น
3. เอกสารแผ่นสำหรับทำแบบฝึกหัดหรืออื่นๆ
4. เอกสารแผ่นเพื่อการอ่านทำความเข้าใจ
5. อุปกรณ์โสตศึกษา(เทป)
6. ตาราง แผนผัง เพื่ออธิบายหัวข้อในการเรียน
7. ใช้อินเทอร์เน็ตเป็นอุปกรณ์การสอน
8. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q4 คุณใช้อุปกรณ์การสอนในชั่วโมงการสอนหรือไม่

1. ไม่ใช่
2. ใช่ อุปกรณ์การสอนที่ใช้คืออะไร (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)
 1. วีดีโอ
 2. เทปบันทึกเสียง
 3. OHP
 4. คอมพิวเตอร์
 5. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q5 คุณใช้ภาษาญี่ปุ่นในชั่วโมงสอนอย่างไรบ้าง(เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. กล่าวคำทักทาย
2. อ่านเรื่องราวหรือประโยคตัวอย่าง
3. ออกคำสั่ง
4. อธิบายไวยากรณ์
5. อธิบายกิจกรรมเสริมในห้องเรียน
6. ใช้ภาษาญี่ปุ่นตลอดชั่วโมงสอน
7. ไม่ใช้ภาษาญี่ปุ่นเลย

Q6 ในการเตรียมการสอน คุณใช้สิ่งใดหรือปรึกษาใคร (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. ไม่ได้เตรียมตัวอะไรเป็นพิเศษ
2. สำราเรียน
3. หนังสือแนะนำสำหรับผู้สอนที่มาพร้อมกับสำราเรียน
4. หนังสือคู่มือ
5. เทปบันทึกเสียง
6. วีดีโอ
7. พจนานุกรม
8. เอกสารจากการเข้าร่วมอบรมต่างๆ
9. รายการโทรทัศน์
10. อินเทอร์เน็ต
11. ผู้สอนชาวไทยคนอื่น
12. ผู้สอนชาวญี่ปุ่นคนอื่น
13. บุคคลอื่นที่นอกเหนือจากครูผู้สอน
14. แผนการสอนครั้งที่ผ่านๆมา
15. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q7 กรุณาเขียนหมายเลขเรียงตามลำดับความสำคัญตามความคิดเห็นของคุณ ในเรื่องเกี่ยวกับความสามารถในการสอนภาษาญี่ปุ่น

- () ความสามารถในการใช้ภาษาญี่ปุ่น
- () ความสามารถในการสอนภาษาญี่ปุ่น
- () ความรู้ภาษาญี่ปุ่น
- () การดูแลจัดการภายในห้องเรียน
- () ความรู้เกี่ยวกับประเทศญี่ปุ่น
- () อื่นๆ(ระบุ) _____

Q8 คุณต้องการสิ่งใด เพื่อพัฒนาประสิทธิภาพ ความสามารถของผู้สอนภาษาญี่ปุ่น (เลือกตอบที่ข้อก็ได้)

1. หนังสืออธิบายไวยากรณ์
กรุณาตอบด้วยว่าระดับใด 1. ชั้นต้น 2. ชั้นกลาง 3. ชั้นสูง
2. พจนานุกรม
ภาษาอะไร 1. ไทยญี่ปุ่น 2. ญี่ปุ่นไทย
3. พจนานุกรมคันจิ
ลักษณะของพจนานุกรม 1. อธิบายด้วยภาษาไทย 2. อธิบายด้วยภาษาญี่ปุ่น
4. หนังสือคู่มือแนะนำสำหรับผู้สอน
เป็นภาษาอะไร 1. ไทย 2. ญี่ปุ่น
5. เทปบันทึกเสียงเพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
เป็นภาษาอะไร 1. ไทย 2. ญี่ปุ่น
6. ซอฟต์แวร์คอมพิวเตอร์เพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
เป็นภาษาอะไร 1. ไทย 2. ญี่ปุ่น
7. รายการโทรทัศน์ภาษาญี่ปุ่น ภาพยนตร์ภาษาญี่ปุ่น
8. ซอฟต์แวร์เกมส์ที่เป็นภาษาญี่ปุ่น
9. แลกเปลี่ยนความสัมพันธ์กับคนญี่ปุ่น
10. เยี่ยมเยือนครอบครัวคนญี่ปุ่น โฮมสเตย์
11. การประกวดสุนทรพจน์ภาษาญี่ปุ่น
12. งานหรือนิทรรศการที่เกี่ยวข้องกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นหรือการศึกษาภาษาญี่ปุ่น
13. การฝึกอบรม
14. หลักสูตรเสริมสร้างผู้สอนภาษาญี่ปุ่น (ปริญญาตรี ปริญญาโท)
15. เครือข่าย(network)ระหว่างผู้สอน
16. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q9 จากกิจกรรมดังกล่าวไปนี้ คุณคิดว่าจะเป็นประโยชน์สำหรับการพัฒนาประสิทธิภาพและความสามารถของผู้สอน
ภาษาญี่ปุ่นมากน้อยเพียงใด โดยวงกลมหมายเลขที่ตรงกับความคิดของคุณมากที่สุด

	มีประโยชน์ มาก	มีประโยชน์ พอสมควร	ไม่สนใจ	ไม่ค่อย มีประโยชน์	ไม่มี ประโยชน์
1. เข้าร่วมการฝึกอบรมหรือการจัดกลุ่มสนทนาเชิงวิชาการ	5	4	3	2	1
2. เรียนจากหนังสือคู่มือหรือหนังสือเฉพาะสาขา	5	4	3	2	1
3. กำหนดหัวข้อแล้ววิจัย	5	4	3	2	1
4. พูดคุยกับผู้อื่น	5	4	3	2	1
5. ดูงานข่าวในวงสนทนาของผู้สอนอื่น	5	4	3	2	1
6. ให้ผู้อื่นดูข่าวในวงสนทนาของตนเอง	5	4	3	2	1
7. ปรึกษาแลกเปลี่ยนอุปกรณ์การสอนและวิธีการสอนกับผู้สอนอื่น	5	4	3	2	1
8. สังเกตประสบการณ์การสอน	5	4	3	2	1

Q9-1 คิดว่ามีสิ่งอื่นที่เป็นประโยชน์อีกหรือไม่(เขียนรายละเอียด) และกรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลข
หน้าข้อที่คุณเคยมีประสบการณ์มาแล้ว

1 _____ 2 _____
3 _____ 4 _____

Q9-2 จากตัวเลือก 1-8 ในข้อ Q9 กรุณาเขียนตัวเลขข้อที่คุณเคยมีประสบการณ์

Q9-3 จากข้อ Q9-1 และ Q9-2 คนที่ไม่ได้ใส่เครื่องหมายวงกลม(ไม่เคยมีประสบการณ์)ขึ้นเพราะเหตุใด
กรุณาเลือกจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณ (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. ไม่รู้ว่ามีกิจกรรม
2. ไม่มีโอกาสเข้าร่วมการฝึกอบรม
3. ต้องเสียค่าใช้จ่าย
4. สถานที่จัดกิจกรรมอยู่ไกล
5. ไม่สนใจ
6. ไม่มีปัญหาในงานที่ทำปัจจุบัน
7. มีความสามารถในการสอนภาษาญี่ปุ่นอย่างเพียงพอ
8. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q10 เกี่ยวกับทักษะการใช้คอมพิวเตอร์ คุณสามารถใช้คอมพิวเตอร์ในเรื่องใดดังต่อไปนี้บ้าง กรุณาใส่เครื่องหมาย
วงกลมข้อที่คุณปฏิบัติได้ (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. ใช้ซอฟต์แวร์ของword processor พิมพ์สร้างประโยคได้ (ภาษาไทย)
2. ใช้ซอฟต์แวร์ของword processor พิมพ์สร้างประโยคได้ (ภาษาญี่ปุ่น)
3. ใช้อินเทอร์เน็ตรวบรวมข้อมูล
4. รับผิดชอบ e-mail
5. ใช้ซอฟต์แวร์สำหรับสร้างhomepage สร้าง homepage ได้
6. ใช้คอมพิวเตอร์เป็นอุปกรณ์การสอน

Q11 คุณคิดว่าการศึกษาภาษาญี่ปุ่นจำเป็นต้องใช้คอมพิวเตอร์หรือไม่
จำเป็นมาก ค่อนข้างจำเป็น ไม่แน่ใจ จำเป็นน้อย ไม่จำเป็นเลย

5 4 3 2 1

<แบบสอบถามสำหรับผู้สอน>

2) ศาสนาด้านล่างนี้สำหรับผู้ที่ไม่ได้ใช้ภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาแม่

Q1 นอกเหนือจากชั่วโมงสอนภาษาญี่ปุ่นแล้ว คุณใช้ภาษาญี่ปุ่นในการสนทนา โทรศัพท์ จดหมาย e-mail หรืออื่นๆ
บ้างหรือไม่

1. ได้ใช้ (ไปตอบข้อ Q1-1)
2. ไม่ได้ใช้ (ข้ามไปตอบข้อ Q1-3)

Q1-1 นอกเหนือจากชั่วโมงสอนภาษาญี่ปุ่นแล้ว คุณใช้ภาษาญี่ปุ่นในการคิดเกี่ยวกับใคร กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลม
หมายเลขหน้าบุคคลทุกคนที่คิดด้วย และเลือกรหัสที่ใช้คิดโดยไม่เครื่องหมายวงกลม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

○	คุณสนทนา	วิธี	สนทนา	จดหมาย	โทรศัพท์	e-mail
1	ครูสอนภาษาญี่ปุ่น					
2	เพื่อนที่โรงเรียน					
3	เพื่อนรวมห้องที่โรงเรียนสอนภาษา					
4	เพื่อนร่วมงานที่บริษัท					
5	เจ้านายที่บริษัท					
6	ลูกค้าที่ติดต่อด้วยเรื่องงาน					
7	ลูกค้าของที่ทำงาน(เช่น ร้านอาหาร)					
8	ครอบครัว คู่สมรส ฯลฯ					
9	คนรู้จัก					
10	อื่นๆ					

Q1-2 จากข้อ Q1-1 กรุณาตอบคำถามที่เกี่ยวกับบุคคลหรือกลุ่มบุคคลที่คิดด้วยมากที่สุด

บุคคลที่คุณคิดด้วยมากที่สุด คือใคร จาก 1~10	กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบหมายเลขที่ดูหน้าตัวเลือกในตารางข้อ Q1-1 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. (กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก)
คนชาติใด	1. คนไทย 2. คนญี่ปุ่น 3. อื่นๆ _____
เพศ	1. ชาย 2. หญิง
ช่วงแรกที่คุณคิดว่าภาษาญี่ปุ่น ของคุณเป็นอย่างไร กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อม รอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม	1. ส่วนมากไม่ได้ 2. ได้เล็กน้อย 3. ได้ระดับสนทนาในชีวิตประจำวัน 4. คล่องชางได้ 5. ได้ระดับเดียวกับคนญี่ปุ่น
ติดต่อด้วยบ่อยแค่ไหน กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก	1. บ่อย 2~3 ครั้ง 2. เดือนละ 2~3 ครั้ง 3. อาทิตย์ละ 1 ครั้ง 4. อาทิตย์ละ 2~3 ครั้ง 5. ทุกวัน
ติดต่อด้วยวิธีใด (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. พบแล้วพูดคุย 2. พูดคุยทางโทรศัพท์ 3. จดหมาย 4. e-mail 5. อื่นๆ _____
ในการติดต่อกับบุคคลนั้น ใช้ภาษาญี่ปุ่นมากน้อยแค่ไหน	1. ภาษาญี่ปุ่นทั้งหมด 2. ใตยมากเป็นภาษาญี่ปุ่น 3. ภาษาญี่ปุ่นและภาษาอื่นอย่างละครึ่ง 4. ใตยมากเป็นภาษาอื่น
พูดคุยเกี่ยวกับเรื่องใดเป็นส่วนใหญ่ (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. เกี่ยวกับภาษาญี่ปุ่น 5. เกี่ยวกับงานอดิเรก 2. เกี่ยวกับการเรียน 6. เกี่ยวกับสังคม 3. เกี่ยวกับงาน 7. อื่นๆ _____ 4. เกี่ยวกับชีวิตประจำวัน
เหตุที่ใช้ภาษาญี่ปุ่นในการติดต่อกับ บุคคลนั้น	จากเหตุผลด้านล่างกรุณาวงกลมหมายเลขที่ตรงกับ ความคิดของคุณมากที่สุด
	ไม่ ใช้น่าสนใจ ไม่แน่นอน ไม่แน่นอน ไม่แน่นอน ไม่แน่นอน
	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1

(ข้ามไปตอบข้อ Q-2)

Q1-3 (จากข้อ Q1. คนที่ตอบ 「1」 ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

นอกเหนือจากชั่วโมงสอนแล้ว เหตุผลที่ใช้ภาษาญี่ปุ่นขึ้นเพราะอะไร กรุณาเลือกเพียงหนึ่งหัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. ไม่มีคู่สนทนาที่ใช้ภาษาญี่ปุ่น
2. ไม่คิดอยากใช้ภาษาญี่ปุ่น
3. ความสามารถทางภาษาญี่ปุ่นของตนเองไม่เพียงพอ
4. อาย
5. ภาษาไทย ภาษาอังกฤษหรือภาษาอื่นสะดวกกว่า
6. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q2 รอบตัวท่านมีสิ่งใดเขียนด้วยภาษาญี่ปุ่นหรือใช้ภาษาญี่ปุ่นอยู่หรือไม่ (ยกเว้น ตำราเรียน)

1. มี (ไปตอบข้อ Q2-1)
2. ไม่มี (ข้ามไปตอบข้อ Q3)

Q2-1 เวลาที่นอกเหนือจากชั่วโมงสอนภาษาญี่ปุ่น ได้ฟังหรือได้ดูสิ่งใดเขียนด้วยภาษาญี่ปุ่นหรือใช้ภาษาญี่ปุ่นบ้างหรือไม่

1. ได้ (ไปตอบข้อ Q2-2)
2. ไม่ได้ (ข้ามไปตอบข้อ Q2-4)

Q2-2 นอกเหนือจากชั่วโมงสอนภาษาญี่ปุ่นแล้ว ได้ฟังหรือได้ดูอะไรบ้างที่เป็นภาษาญี่ปุ่น กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. หนังสือพิมพ์
2. นิตยสาร
3. หนังสือ
4. หนังสือการ์ตูน
5. คู่มือแนะนำการใช้ผลิตภัณฑ์
6. โทรทัศน์
7. วิทยุ
8. วีดีโอ(ภาพยนตร์ ละครโทรทัศน์ ฯลฯ) VCD
9. CD
10. เทปบันทึกเสียง
11. คอมพิวเตอร์(อินเทอร์เน็ต ฯลฯ)
12. ซอฟต์แวร์เกมส์
13. อื่นๆ _____

Q2-3 จากข้อ Q2-2 กรุณาตอบคำถามเกี่ยวกับสิ่งที่คุณดูหรือฟังที่เป็นภาษาญี่ปุ่นมากที่สุด

สิ่งนั้นคืออะไร จาก 1~13	กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบหมายเลขที่ดูหรือฟังในตารางข้อ Q2-2 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. (กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก)																																															
ความถี่ในการดูหรือฟัง กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม	1. 1-3 ครั้ง 2. เดือนละ 2~3 ครั้ง 3. อาทิตย์ละ 1 ครั้ง 4. อาทิตย์ละ 2~3 ครั้ง 5. ทุกวัน																																															
สิ่งนั้นเป็นของของใคร	1. ของตัวเอง 2. ของครอบครัว 3. ของเพื่อนหรือคนรู้จัก 4. ของโรงเรียน 5. ของบริษัท 6. อื่นๆ _____																																															
โดยส่วนมากเป็นเรื่องเกี่ยวกับอะไร (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. เศรษฐกิจและการเมือง 2. สังคม การใช้ชีวิตประจำวัน 3. วิทยาศาสตร์และเทคโนโลยี 4. ศิลปวัฒนธรรม 5. กีฬา งานอดิเรก 6. ภาษาญี่ปุ่น 7. การศึกษาภาษาญี่ปุ่น 8. คนญี่ปุ่น 9. ประเทศญี่ปุ่น 10. อื่นๆ _____																																															
เหตุผลที่ใช้ภาษาญี่ปุ่นในการดูหรือฟัง	จากเหตุผลด้านล่างกรุณาวงกลมหมายเลขที่ตรงกับความคิดของตัวเองมากที่สุด																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ใช่</th> <th>น่าจะใช่</th> <th>ไม่แน่ใจ</th> <th>น่าจะไม่ใช่</th> <th>ไม่ใช่</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>สนุกดี</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>อยากสัมผัสภาษาญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>อยากลองทดสอบความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>เพื่อรักษาและพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>เพื่อรับข้อมูลต่างๆ</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>อื่นๆ(ระบุ) _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		ใช่	น่าจะใช่	ไม่แน่ใจ	น่าจะไม่ใช่	ไม่ใช่	สนุกดี	5	4	3	2	1	อยากสัมผัสภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	อยากลองทดสอบความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	เพื่อรักษาและพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	เพื่อรับข้อมูลต่างๆ	5	4	3	2	1	จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น	5	4	3	2	1	อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2
	ใช่	น่าจะใช่	ไม่แน่ใจ	น่าจะไม่ใช่	ไม่ใช่																																											
สนุกดี	5	4	3	2	1																																											
อยากสัมผัสภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
อยากลองทดสอบความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
เพื่อรักษาและพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
เพื่อรับข้อมูลต่างๆ	5	4	3	2	1																																											
จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น	5	4	3	2	1																																											
อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2	1																																											

(ข้ามไปตอบข้อ Q-3)

Q2-4 (จากข้อ Q2-1 คนที่ตอบ 「1」 ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

นอกเหนือจากชั่วโมงเรียน เหตุผลที่ไม่ฟังหรือไม่ดูสิ่งใดเขียนด้วยภาษาญี่ปุ่นหรือใช้ภาษาญี่ปุ่นขึ้นเพราะอะไร กรุณาเลือกเพียงหนึ่งหัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ตรงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. ไม่คิดอยากฟังหรืออยากดู
2. ไม่มีเวลา
3. ความสามารถทางภาษาญี่ปุ่นของตนเองไม่เพียงพอ
4. ต้องเสียค่าใช้จ่าย
5. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q3 รอบตัวท่านมีสิ่งที่เป็นเรื่องราวหรือมีเนื้อหาเกี่ยวกับประเทศญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่นหรือไม่ (ยกเว้น ตำราเรียน)

1. มี (ไปตอบข้อ Q3-1)
2. ไม่มี (ข้ามไปตอบข้อ Q4)

Q3-1 ได้ฟังหรือได้ดูสิ่งที่เป็นเรื่องราวหรือมีเนื้อหาเกี่ยวกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่นบ้างหรือไม่ (ยกเว้น ตำราเรียน)

1. ได้ (ไปตอบข้อ Q3-2)
2. ไม่ได้ (ข้ามไปตอบข้อ Q3-4)

Q3-2 ได้ฟังหรือได้ดูอะไรบ้างที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่น กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. หนังสือพิมพ์
2. นิตยสาร
3. หนังสือ
4. โทรทัศน์
5. วิทยุ
6. วีดีโอ(ภาพยนตร์ ละครโทรทัศน์ ฯลฯ) VCD
7. CD
8. เทปบันทึกเสียง
9. คอมพิวเตอร์ เมน อินเทอร์เน็ต ฯลฯ
10. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q3-3 จากข้อ Q3-2 กรุณาตอบคำถามที่เกี่ยวกับสิ่งที่คุณดูหรือฟังบ่อยมากที่สุด (ที่ไม่ได้เป็นภาษาญี่ปุ่น)

เพียงหนึ่งอย่าง

ถึงขั้นคืออะไร จาก 1~10	กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบหมายเลขที่ดูหน้าตัวเลือกในตารางข้อ Q3-2 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. (กรุณาเลือกเพียงหนึ่งตัวเลือก)					
ถึงขั้นเป็นภาษาอะไร	1. ภาษาญี่ปุ่น 2. ภาษาไทย 3. ภาษาอื่น(ระบุ) _____					
ความถี่ในการดูหรือฟัง กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบ ตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม	1. 1 ถึง 2~3 ครั้ง	2. 2 ถึง 3 ครั้ง	3. อาทิตย์ละ 1 ครั้ง			
ถึงขั้นเป็นของของใคร	1. ของตัวเอง 2. ของครอบครัว 3. ของเพื่อนหรือคนรู้จัก 4. ของโรงเรียน 5. ของบริษัท 6. อื่นๆ _____					
โดยส่วนมากเป็นเรื่องเกี่ยวกับอะไร (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)	1. การเมืองและเศรษฐกิจของญี่ปุ่น 2. สังคม การใช้ชีวิตประจำวันของญี่ปุ่น 3. วิทยาศาสตร์และเทคโนโลยีของญี่ปุ่น 4. ศิลปวัฒนธรรมของญี่ปุ่น 5. กีฬาของญี่ปุ่น 6. ภาษาญี่ปุ่น 7. การศึกษาภาษาญี่ปุ่น 8. คนญี่ปุ่น 9. อื่นๆ(ระบุ) _____					
เหตุผลที่ฟังหรือดูนั้นเพราะอะไร	จากเหตุผลด้านหลักสูตรของวิทยุหรือโทรทัศน์ ตรงกับความคิดของตัวเองมากที่สุด	ใช่	น่าจะ ใช่	ไม่ แน่ใจ	ไม่ ใช่	ไม่ ใช่
	สนุก	5	4	3	2	1
	มีความสนใจในญี่ปุ่นและภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	คิดว่ามีประโยชน์ในการเรียนภาษาญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	จะได้รู้เรื่องราวเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น	5	4	3	2	1
	อยากขยายทัศนวิสัย สนใจในสาขาและหัวข้อ(topic)นั้น	5	4	3	2	1
อื่นๆ(ระบุ) _____	5	4	3	2	1	

(ข้ามไปตอบข้อ Q-4)

Q3-4 (จากข้อ Q3-1 คนที่ตอบ 「1」 ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้)

เหตุผลที่ไม่ฟังหรือไม่ดูถึงที่เป็นเรื่องราวหรือมีเนื้อหาเกี่ยวกับประเทศญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่นนั้นเพราะเหตุใด

กรุณาเลือกเพียงหนึ่งหัวข้อ จากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณมากที่สุด

1. ไม่คิดอยากดูหรืออยากฟัง
2. ไม่มีเวลา
3. ต้องเสียค่าใช้จ่าย
4. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q4. คุณเคยมีส่วนร่วมในโอกาสหรือสถานที่ดังต่อไปนี้หรือไม่ กรุณาใส่เครื่องหมายวงกลมล้อมรอบตัวเลขหน้าข้อความที่เหมาะสม (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. งานแลกเปลี่ยนความสัมพันธ์กับคนญี่ปุ่น
2. เยี่ยมเยือนครอบครัวคนญี่ปุ่น
3. การประกวดสุนทรพจน์ภาษาญี่ปุ่น
4. หน่วยงานพิเศษในทำงานที่มีการใช้ภาษาญี่ปุ่น
5. งานหรือนิทรรศการที่เกี่ยวข้องกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่น
6. สถานที่ที่มีคนญี่ปุ่นอยู่ สถานที่ที่เป็นศูนย์รวมคนญี่ปุ่น
7. ศูนย์เอกสารข้อมูลเกี่ยวกับประเทศญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่น เช่น มูลนิธิญี่ปุ่น ฯลฯ
8. อื่นๆ(ระบุ) _____
9. ไม่เคย (ข้ามไปตอบข้อ Q4-3)

ข้ามไปที่ข้อ Q4-1

Q4-1 ในกรณีที่เคย มีข้อที่คิดว่าอยากมีส่วนร่วมหรือใช้โอกาสอื่นอีกครั้ง หรือ อยากใช้โอกาสนั้นอย่างต่อเนื่องหรือไม่ จากข้อ Q4 กรุณาเลือกข้อที่คิดว่าอยากใช้โอกาสนั้นมากที่สุดเพียงหนึ่งข้อ

1. มี _____ — โปรดระบุหมายเลขของตัวเลือกข้อ Q4 เพียงหนึ่งข้อ
2. ไม่มีข้อที่คิดว่าอยากใช้โอกาสอื่นอีก (ข้ามไปตอบข้อ Q5)

Q4-2 เหตุผลที่คิดว่าอยากใช้โอกาสอื่นอีกครั้ง หรือ อยากใช้โอกาสนั้นอย่างต่อเนื่องนั้นเพราะเหตุใด กรุณาเลือกหัวข้อจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณมากที่สุด (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. สนุกดี
2. อยากพูดคุยกับคนญี่ปุ่น
3. อยากลองใช้ภาษาญี่ปุ่นที่เรียนมา
4. ต้องการพัฒนาความสามารถทางภาษาญี่ปุ่น
5. ต้องการรับข้อมูลหรือสิ่งของที่มีประโยชน์ในการเรียนภาษาญี่ปุ่น
6. ต้องการรู้เรื่องเกี่ยวกับญี่ปุ่นและคนญี่ปุ่น
7. อื่นๆ(ระบุ) _____

(ข้ามไปตอบข้อ Q5)

Q4-3 (จากข้อ Q4 คนที่เลือก 1~8 ไม่ต้องตอบคำถามข้อนี้) เพราะเหตุใดถึงไม่เข้าร่วมหรือไม่ใช้โอกาสดังกล่าว

กรุณาเลือกเหตุผลจากตัวเลือกด้านล่างที่ใกล้เคียงกับความคิดของคุณ (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. อยากมีส่วนร่วมในโอกาสหรือสถานที่นั้น แต่ไม่มีโอกาส
2. ต้องเสียค่าใช้จ่าย
3. สถานที่อยู่ไกล
4. ไม่มีเวลา
5. ไม่สนใจ
6. ไม่มีความจำเป็น
7. อาจที่จะพูดคุยกับคนญี่ปุ่น
8. คิดว่าคงไม่เข้าใจภาษาญี่ปุ่น
9. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q5 จากตัวเลือกด้านล่าง ปัจจุบันคุณใช้อะไรในการศึกษาภาษาญี่ปุ่น (เลือกตอบกี่ข้อก็ได้)

1. หนังสืออธิบายไวยากรณ์
2. พจนานุกรม (ชื่อพจนานุกรม: _____)
3. พจนานุกรมคันจิ
4. เทปบันทึกเสียงเพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
5. ซอฟต์แวร์คอมพิวเตอร์เพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
6. อินเทอร์เน็ต
7. รายการโทรทัศน์ภาษาญี่ปุ่น ภาพยนตร์ภาษาญี่ปุ่น
8. ซอฟต์แวร์เกมส์ที่เป็นภาษาญี่ปุ่น
9. เทปหรือ CD เพลงภาษาญี่ปุ่น
10. อื่นๆ(ระบุ) _____

Q6 จากตัวเลือกด้านล่าง สิ่งที่คุณคิดว่าจากปีนี้จะเป็นการดีถ้าใช้ประโยชน์ใหม่มากขึ้น เพื่อความเข้าใจในญี่ปุ่นหรือเพื่อการสอนภาษาญี่ปุ่น (เลือกคอมที่ข้อก็ได้)

1. หนังสืออธิบายไวยากรณ์
2. พจนานุกรม
3. พจนานุกรมคันจิ
4. เทปบันทึกเสียงเพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
5. ซอฟต์แวร์คอมพิวเตอร์เพื่อการเรียนภาษาญี่ปุ่น
6. อินเทอร์เน็ต
7. รายการโทรทัศน์ภาษาญี่ปุ่น ภาพยนตร์ภาษาญี่ปุ่น
8. ซอฟต์แวร์เกมส์ที่เป็นภาษาญี่ปุ่น
9. งานแลกเปลี่ยนความสัมพันธ์กับคนญี่ปุ่น (งานเลี้ยง ปินเซา ห้องเรียนทำอาหาร ฯลฯ)
10. เยี่ยมเยือนครอบครัวคนญี่ปุ่น โฮมสเตย์
11. การประกวดสุนทรพจน์ภาษาญี่ปุ่น
12. งานหรือนิทรรศการที่เกี่ยวข้องกับญี่ปุ่นหรือภาษาญี่ปุ่น
13. งานพิเศษที่ใช้ภาษาญี่ปุ่น
14. อื่นๆ(ระบุ) _____

学校フェイスシート（日本語版・タイ語版）

別紙

※選択肢のあるものは番号に○をつけてください。

学校名： _____

住所： _____

担当者名： _____

F1 日本語教員数 常 勤 _____名 (タイ人_____名 日本人_____名)
非常勤名 _____名 (タイ人_____名 日本人_____名)

F2 学 生 数 全学生数： _____人

日本語を受講している学生数：

高 校 1年 _____人 2年 _____人 3年 _____人

大 学 1年 _____人 2年 _____人 3年 _____人 4年 _____人

大学院 M1 _____人 M2 _____人

F3 学校で使用できる設備や利用できるものに○をつけてください。

1. コンピューター (教師用 _____台 学生用 _____台)
2. インターネットの利用 (主な利用者：1. 学生 2. 教師 3. 両方)
3. テレビやビデオの視聴 (主な利用者：1. 学生 2. 教師 3. 両方)
4. LL
5. OHP
6. テープレコーダー, CDプレイヤー
7. 日本語関係の蔵書 (1. 100～1000 冊以下 2. 2000 冊以上)
(主な利用者：1. 学生 2. 教師 3. 両方)

F4 貴校が行っている、または参加している日本語関係の行事に○をつけてください。

1. 日本人との交流会 (1. 主催 2. 他機関が主催 3. 両方)
2. 日本との交換留学制度 (1. 主催 2. 他機関が主催 3. 両方)
3. スピーチコンテスト (1. 主催 2. 他機関が主催 3. 両方)
4. そ の 他： _____
(1. 主催 2. 他機関が主催 3. 両方)

F5 日本語コース/日本語クラスのカリキュラム, シラバスなどが分かる資料を同封してください。

เอกสารเพิ่มเติม: กรุณาใส่เครื่องหมาย○ในส่วนที่เป็นตัวเลือก

ชื่อสถาบันการศึกษา : _____

ที่อยู่ : _____

ผู้รับผิดชอบ : _____

F1 จำนวนผู้สอนภาษาญี่ปุ่น อาจารย์ประจำ _____ ท่าน (ชาวไทย _____ ท่าน, ชาวญี่ปุ่น _____ ท่าน)
อาจารย์พิเศษ _____ ท่าน (ชาวไทย _____ ท่าน, ชาวญี่ปุ่น _____ ท่าน)

F2 จำนวนนักเรียน/นักศึกษา รวมทั้งหมด _____ คน

จำนวนนักเรียน/นักศึกษาที่เรียนภาษาญี่ปุ่น

ระดับมัธยมศึกษาตอนปลาย ม.4 _____ คน, ม.5 _____ คน, ม.6 _____ คน

ระดับปริญญาตรี ปี 1 _____ คน, ปี 2 _____ คน, ปี 3 _____ คน, ปี 4 _____ คน

ระดับปริญญาโท ปี 1 _____ คน, ปี 2 _____ คน

F3 กรุณาใส่เครื่องหมาย○ในข้อที่เป็นอุปกรณ์ที่มีใช้ในสถาบันการศึกษาของท่าน

1. คอมพิวเตอร์ (สำหรับอาจารย์ _____ เครื่อง สำหรับนักเรียน _____ เครื่อง)

2. อินเทอร์เน็ต (ผู้ใช้หลัก: 1. นักเรียน 2. อาจารย์ 3. ทั้งอาจารย์และนักเรียน)

3. โทรทัศน์หรือวีดีโอ (ผู้ใช้หลัก: 1. นักเรียน 2. อาจารย์ 3. ทั้งอาจารย์และนักเรียน)

4. LL

5. OHP

6. เครื่องเล่นเทป เครื่องเล่นCD

7. หนังสือที่เกี่ยวกับภาษาญี่ปุ่น (1. ต่ำกว่า 1,000 เล่ม 2. 2,000เล่มขึ้นไป)

(ผู้ใช้หลัก: 1. นักเรียน 2. อาจารย์ 3. ทั้งอาจารย์และนักเรียน)

F4 กรุณาใส่เครื่องหมาย○ในข้อที่เป็นกิจกรรมที่เกี่ยวข้องกับภาษาญี่ปุ่นที่ทางสถาบันของท่านได้

จัดขึ้นหรือมีส่วนร่วม

1. งานพบปะสังสรรค์กับชาวญี่ปุ่น (1. สถาบันท่านเป็นผู้จัด 2. สถาบันอื่นเป็นผู้จัด 3. จัดร่วมกัน)

2. โครงการแลกเปลี่ยนนักเรียน (1. สถาบันท่านเป็นผู้จัด 2. สถาบันอื่นเป็นผู้จัด 3. จัดร่วมกัน)

3. การประกวดสุนทรพจน์ (1. สถาบันท่านเป็นผู้จัด 2. สถาบันอื่นเป็นผู้จัด 3. จัดร่วมกัน)

4. อื่นๆ : _____ (1. สถาบันท่านเป็นผู้จัด 2. สถาบันอื่นเป็นผู้จัด 3. จัดร่วมกัน)

F5 กรุณาแนบเอกสารเกี่ยวกับหลักสูตร เช่น รายวิชาที่เปิดสอน หรือ เนื้อหาในคอร์สภาษาญี่ปุ่น เป็นต้น

■担当者

杉戸清樹（国立国語研究所日本語教育部門長）
石井恵理子（国立国語研究所日本語教育部門第一領域長）
柳澤好昭（国立国語研究所日本語教育部門第二領域長）
金田智子（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）
小河原義朗（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）
笠井淳子（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）

■刊行物検討委員会

杉戸清樹（委員長：国立国語研究所日本語教育部門長）
井上文子（国立国語研究所情報資料部門第二領域）
山口昌也（国立国語研究所研究開発部門第一領域）
小河原義朗（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）

■所外協力者

国際交流基金バンコック日本語センター

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」海外調査委員会

李徳奉（同徳女子大学校）
ロビン・スペンス・ブラウン（モナシュ大学）
工藤節子（台湾東海大学）
大竹啓司（国際交流基金バンコック日本語センター）
阿久津智（日本マレーシア高等教育大学連合）

研究協力者

佐藤純（タイ商工会議所大学）
タナサーンセーニー美香（アサンブション大学）

■調査委託会社

藤田茂（株式会社ストーム）

■編集協力

藤本恵理
伊藤啓子
鈴木理子
ティップコーン・アンチャリーポーン
中山健一

平成 13 年度
「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」
タイ（バンコック）アンケート調査集計結果報告書

平成 15 年 3 月 31 日

国立国語研究所日本語教育部門
〒115-8620 東京都北区西が丘 3-9-14

TEL : 03-5993-7660

FAX : 03-3906-3530

URL : <http://www.kokken.go.jp>

(平 14-18)